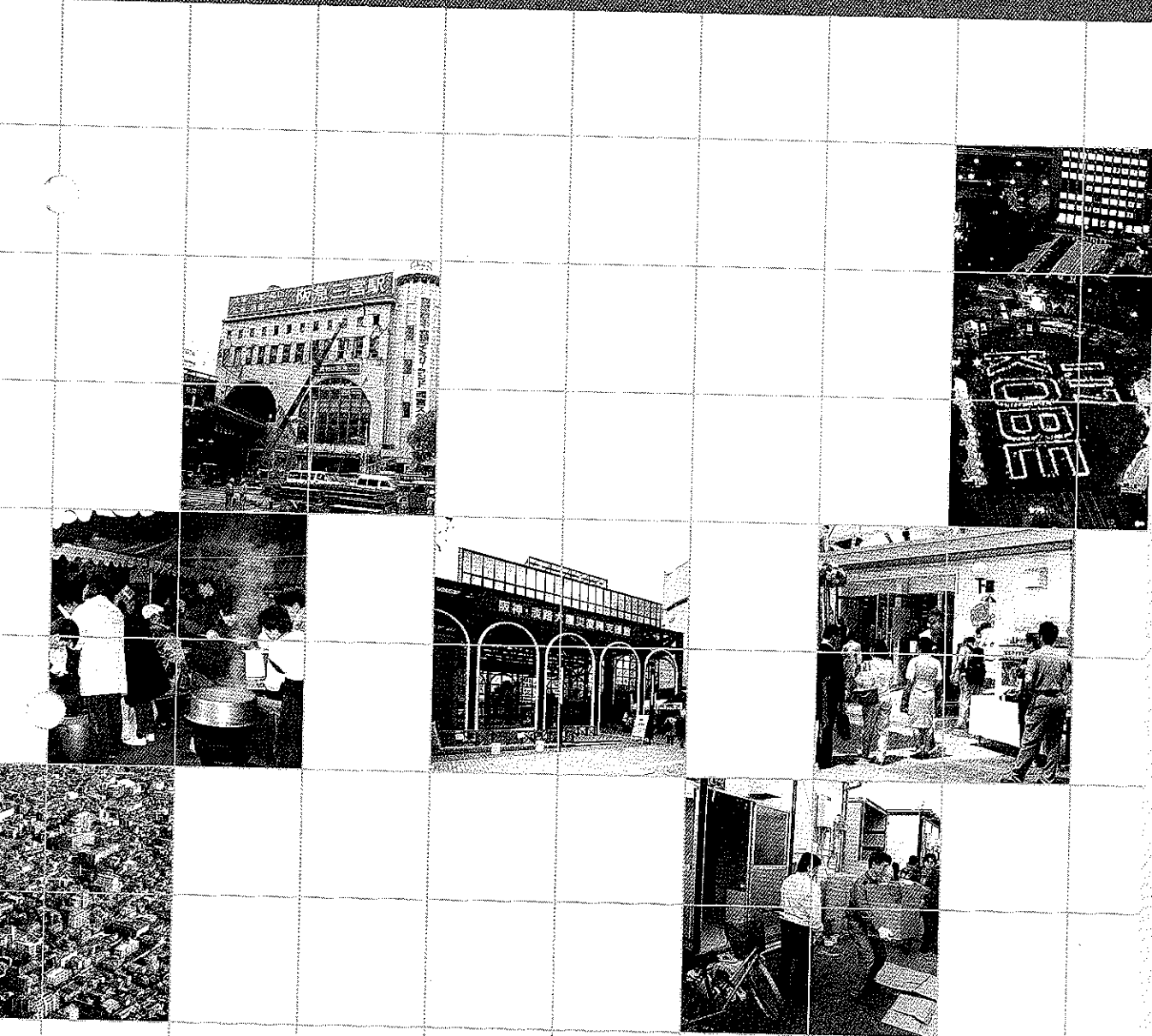


生活復興県民ネットの歩み

—2001日の記録—

Phoenix Citizen's Recovery Network



生活復興県民ネット

生活復興県民ネットの歩み

—2001日の記録—

発刊に寄せて

未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災から1年8カ月余が経過した平成8年10月8日に、被災者の生活復興を支援するネットワーク組織として発足した“生活復興県民ネット”も、平成13年度末をもって、「2001日」が経過しました。

この間、被災者を取り巻く環境も大きく変わり、「仮設住宅中心」「仮設住宅から恒久住宅への環境移行期」「恒久住宅移行後」という3つの復興ステージの移行に応じ、被災者の1日も早い生活復興に向けて、県民の方々のエネルギーを結集して、さまざまな支援活動を被災地を中心に展開してきました。

このたび、発足から5年半の支援活動の足跡や成果を、広く理解いただくために、中間報告として取りまとめることとしました。

そのねらいは、県域で活動する主要な公益団体や企業等が互いに連携・協力しながら、被災者の生活復興を支援してきた“生活復興県民ネット”の活動の仕組みや事業ノウハウを、これからの市民社会を支える新たな原動力として期待される県民のボランティアな活動へと継承・発展させていくための検討資料として提供することにあります。

本冊子が、21世紀の成熟社会にふさわしい“参画と協働”を基本とした地域づくりの参考として活用いただければ幸いです。

目次

発刊に寄せて

I 生活復興県民ネットの概要

(1) 発足経緯	1
(2) 組織	1
(3) 組織の性格と大きな特徴	2
(4) 事業の推移	3
(5) 予算	4
(6) 幹事名簿	5
(7) 事業の推移(一覧)	6
(8) 年次別予算額	7

II 生活復興県民運動の取り組み

8年度

・被災地を取り巻く現状・課題	9
・当時の主な出来事	10
1 フェニックス出会いの広場	
・事業のあらまし	11
・マッチングのしくみ	11
・主なマッチング事例(年度別)	13
2 地域スタッフ	
・事業のあらまし	15
・主な活動内容	15
・地域スタッフ名簿(年度別)	17
3 フェニックス活動助成	
・事業のあらまし	18
・応募の特徴・傾向	18
・活動内容、件数等の推移	19
・助成団体の主なプラン例(年度別)	21
4 愛のもちより運動	
・事業のあらまし	25
・これまでの取り組み	25
・もちつき大会実施状況	27
5 県外被災者生活復興フォーラムの開催	
・事業のあらまし	28
・県外被災者の生活復興を考えるフォーラム	28
・県外に住む被災者のための集い	29
6 ふるさとひょうごキャラバン隊派遣	
・事業のあらまし	31
・派遣先	32
・キャラバン隊派遣状況	36

7 情報提供事業

・事業のあらまし	40
・発行部数、送付先等	40
・ハートネットの主な特集内容	40

9年度

・被災地を取り巻く現状・課題	43
・当時の主な出来事	44

8 引っ越しボランティア支援事業

・事業のあらまし	46
・事業の実施方法	46
・これまでの実績(年度別)	47

9 第4次災害復興公営住宅周辺マップの作成

・事業のあらまし	49
・取り組み状況	49
・マップ縮刷版(写真)	51

10年度

・被災地を取り巻く現状・課題	53
・当時の主な出来事	54

10 生活復興NPO情報プラザの運営

・事業のあらまし	56
・利用状況	57
・施設案内	57

11 「あったか“ひょうご”のまちかど運動」の展開

60

12 コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催相談事業

・事業のあらまし	61
・取り組み状況	61

13 「男もカンタンにできるいどばた料理教室」開催支援事業

・事業のあらまし	62
・これまでの取り組み状況	62
・料理教室の様相(写真)	63

14 自治会づくり支援事業

・事業のあらまし	64
・取り組み状況	64
・縮刷版の抜粋	65



15 暮らしの便利読本作成支援事業

- ・事業のあらまし……………66
- ・冊子の内容・作成状況……………66
- ・便利読本（写真）……………68

11年度

- ・被災地を取り巻く現状・課題……………69
- ・当時の主な出来事……………70

16 地域活動推進講座助成事業

- ・事業のあらまし……………72
- ・年度別開催状況……………72
（講座数・地域別・テーマ別）

17 地域活動ステーションの運営

- ・事業のあらまし……………76
- ・取り組み内容……………76
- ・地域活動ステーション設置数と内訳……………76
（地域別・施設種類別・設置数の推移）
- ・シンボルマークについて……………78
- ・地域活動ステーションから寄せられた主な声……………78

18 ひょうごコミネットの運営

- ・事業のあらまし……………81
- ・取り組み内容……………81
- ・会員数・アクセス件数等の推移……………82

12年度

- ・被災地を取り巻く現状・課題……………85
- ・当時の主な出来事……………86

19 地域活動に関する相談、情報提供、マッチング

- ・事業のあらまし……………88
- ・活動内容……………88
- ・これまでの活動実績……………88

20 活動情報サポーターによる情報提供

- ・事業のあらまし……………90
- ・活動内容……………90
- ・登録者等の状況……………90

21 地域活動ハンドブックの作成

- ・事業のあらまし……………93
- ・作成までの流れ・内容……………93

22 コミュニティ・フェスティバルの開催

- ・事業のあらまし……………95
- ・各地域での取り組み
神戸・播磨地域……………95
阪神地域……………97
淡路地域……………99

13年度

- ・被災地を取り巻く現状・課題……………101
- ・当時の主な出来事……………102

23 フェニックス地域活動フォーラムの開催

- ・事業のあらまし……………104
- ・取り組み内容……………104
- ・シンポジウム……………104
- ・ボランティアひろば……………106

24 地域活動情報バンクの開設

- ・事業のあらまし……………108
- ・取り組み内容……………108

25 地域通貨実験支援事業

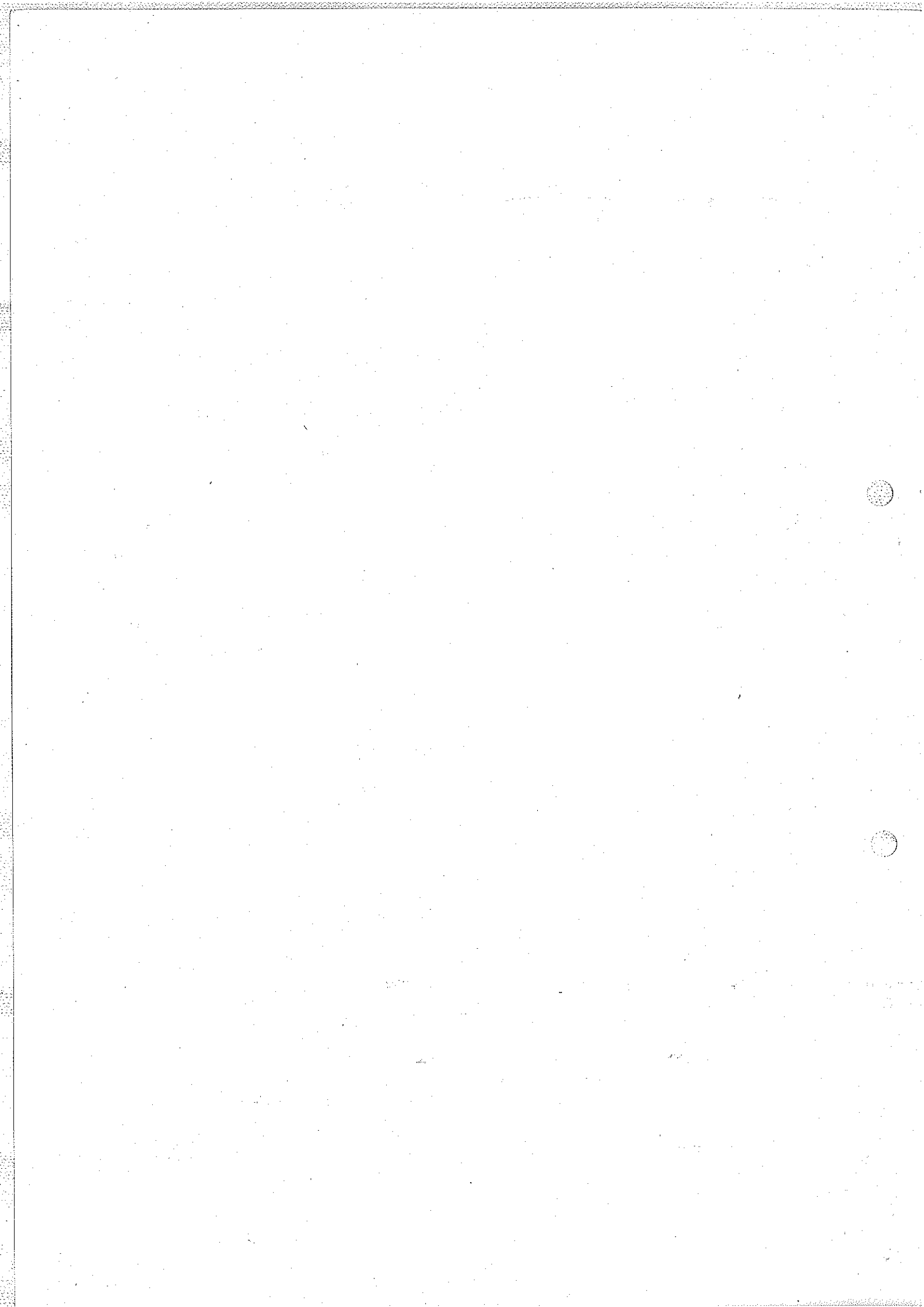
- ・事業のあらまし……………109
- ・取り組み内容……………109
- ・助成グループ・団体一覧……………111

III 資料編 1

- 1 生活復興県民ネット規約……………113
- 2 フェニックス活動助成団体一覧……………115
・助成団体活動状況アンケート集計結果要約……………137
・助成団体活動状況アンケート集計結果……………139
- 3 生活復興NPO情報プラザ登録団体一覧……………157
- 4 地域活動推進講座助成団体一覧……………165
・地域活動推進講座アンケート調査結果……………177
- 5 地域活動ステーション一覧……………178

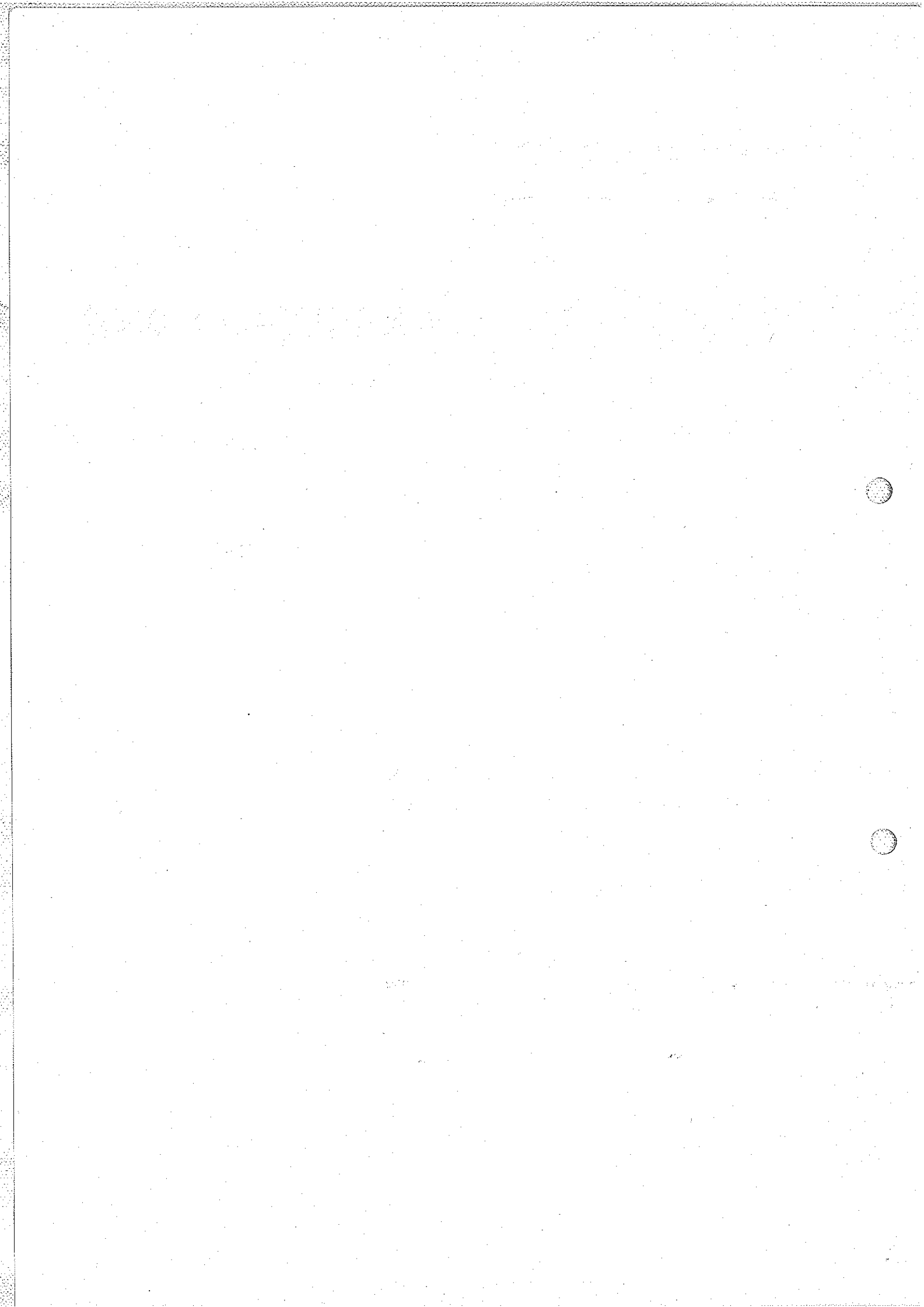
IV 資料編 2

- 1 阪神・淡路大震災の被害状況……………187
- 2 生活復興への足どり……………190
- 3 震災の経験と教訓の発信……………193





I 生活復興県民ネットの概要



生活復興県民ネットの概要

(1) 発足経緯

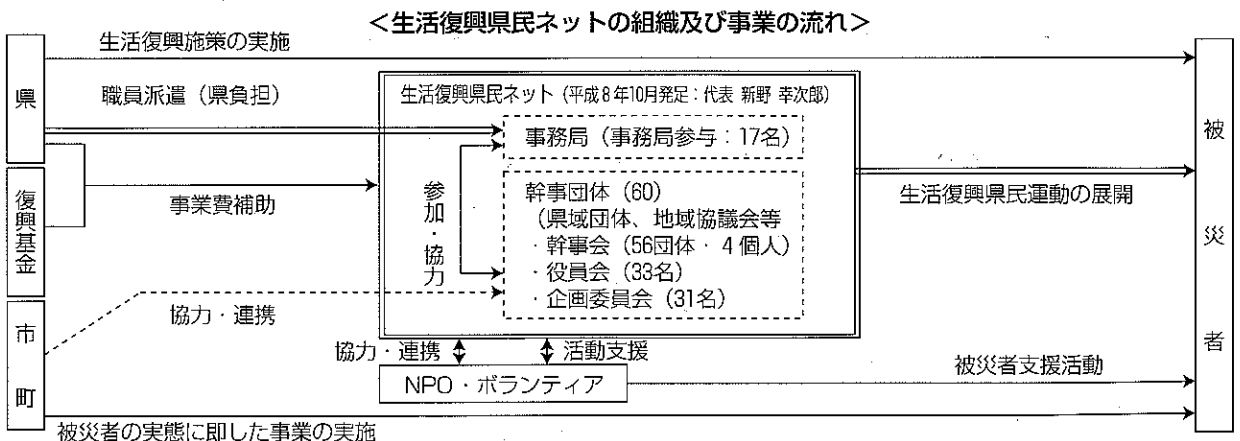
高齢化の進む大都市を直撃した阪神・淡路大震災から1年8か月が経過した平成8年9月。当時、震災直後の危機的状況を、地域の人々の励まし合いや助け合い、各地からの支援により乗り越え、被災者自身による日々の生活の中での生きがいづくりや生活復興に向けた力強い動き（白地地域でのまちづくりを進めるための住民による話し合い、仮設住宅に住む方々がボランティア団体の協力を得ながらのオリジナル商品の製作・販売等）がみられるようになった。

こうした被災者の方々の生活復興に向けた積極的な取り組みを、県民が一体となって、温かい心で支え合い、復興に向けた苦しみと喜び、明日への希望を共有することが必要であると考え、県内の主な団体の代表者など55人が発起人となり、県民の広範なエネルギーの結集を図り、広く生活復興を進めていく運動を展開していくため、「生活復興県民ネット」の発足を呼びかけた。

この趣旨に賛同した54団体、学識経験者3名が参画し、平成8年10月8日、阪神・淡路大震災復興支援館（フェニックスプラザ）において、生活復興県民ネットが発足し、生活復興県民運動を展開していくこととなった。

(2) 組織（14年3月31日現在）

- ①目的 県民、各種団体、ボランティアグループ、企業等が被災者の生活復興に向けて展開してきた様々な活動の連携を図り、より充実、発展させていくため、幅広いエネルギーの結集を図ったネットワークを形成し、生活復興県民運動をより広範に展開する。
- ②構成 領域の主要な団体、企業、労働組合 等
 - ・代表 表：新野 幸次郎（神戸大学名誉教授、震災対策国際総合検証会議座長）
 - 幹事団体 56団体 学識経験者 4名 計60団体・個人（P5参照）
- ③機関
 - ・幹事会：予算、決算、事業計画等を決定する機関
 - ・役員会：幹事会に諮る議案等を審議する機関
 - ・企画委員会：運動の具体的な展開や連携方策の検討、意見交換等を行う機関
- ④事務局
 - ・職員 員：13名（うち兵庫県職員7名、非常勤職員等6名）
 - ・事務局参与：17名（幹事団体から選任）



(3) 組織の性格と大きな特徴

① 幹事会・役員会

生活復興県民ネットは、広く開かれたネットワーク組織として、特定の団体、個人だけで構成するという意味に聞こえる「構成団体」という言葉はあえて使わず、それに相当するものを『幹事団体』と呼んでいる。

また、それに呼応して、予算、事業計画などを審議、決定する機関を、一般的に使われる「総会」ではなく、『幹事会』としている。

役員会は、幹事団体の中から選任された団体で構成され、運動の基本方策や「幹事会」に諮る議事を審議し、承認する場として機能している。

② 企画委員会

課題の解決手法や事業の具体的な実施方法などについて、実質的な議論を行う場として、『企画委員会』を設置した。

企画委員会は、中核となるコアの固定メンバーと公開による自由参加のメンバーで構成し、固定メンバーは、幹事団体20団体の中から事務局長レベルの者をあらかじめ選定した。

開かれた委員会とするため、毎回、委員会の開催日程を新聞発表するとともに、主なボランタリーグループには、あらかじめ声をかけ出席を呼びかけた。

仮設住宅から恒久住宅への本格的な移行を迎える平成10年度まで、原則、毎月1回開催した。

「引っ越しボランティア運動」「県外被災者支援運動」「愛のもちより運動」「復興住宅周辺マップづくり」などの企画や展開手法、「フェニックス活動助成」のスキームや助成基準などは、すべて企画委員会で議論されたものである。

ところが、参加者自由の公開委員会であったため、定足数などもなく、何かを決定するという性格がなかったことから、「議して決せず」の形で終わることも少なくなく、参加者にとって消化不良の感じが残ったことも否めない。

しかし、こうしたいくつかの反省点はあったものの、生活復興県民ネットが、ボランタリーグループとパイプを持ちながら、さまざまな運動が展開できたのは企画委員会の大きな成果であり、その後（平成10年4月）に設置された市民活動団体やボランティアグループの活動・情報・交流拠点である「生活復興NPO情報プラザ」やボランタリー活動の全県的支援拠点である「ひょうごボランタリープラザ（平成14年6月開設）」の運営手法の一つとして活かされることになった。

③ 事務局参与

ネットワーク組織としての生活復興県民ネットの大きな特徴の一つとして、「事務局参与」制度があげられる。

事務局参与には、事務局員とともに、共同して事務作業に関わっていただくことを想定して、各団体の事務局次長レベルの方を委嘱した。

実際には作業をしてもらうというよりも、生活復興県民運動が円滑に進められるよう、各団体と生活復興県民ネットとのパイプ役として、団体内部での働きかけ、調整の役割を担っていただいた。

その結果として、県外に居住する被災者（以下「県外被災者」という）を兵庫県に招いて行った交流会では、連合兵庫が豚汁の炊き出し、連合婦人会が炊き込みご飯、コープこうべが商品の提供、農協が兵庫県産米の提供など、多くの団体から全面的な支援が得られた。

また、事務局参与には、実際に生活復興県民ネットの事業に従事いただく実働部隊として位置づけるとともに、自ら企画し、自ら実施していただく体制をとった。

前述の交流会の他、県外被災者を支援するキャラバン隊の派遣でも、訪問先、日程等の企画、現地での交流会の準備、会場の確保、現地での記者発表、当日の運営など、すべてを事務局参与に任せ、事務局はどちらかというと黒子に徹する形をとった。

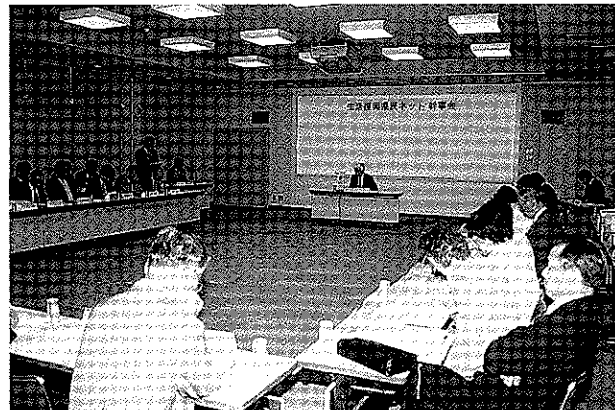
このことが、他府県の系列団体との強いパイプを持つ幹事団体の機能を、有効に活用する結果となった。

④ 事務局の所在と勤務体制

生活復興県民ネットの事務局は、阪神・淡路大震災復興支援館（フェニックスプラザ：神戸市中央区三宮町1丁目7）に置かれた。

同プラザは、県の復興対策案を総合的に紹介する情報拠点として整備され、JR三ノ宮駅前にあって阪急、阪神三宮駅も集積した交通至便な地に位置していた。このため、被災者自身や被災者を支援するボランティアグループ・団体をはじめ、復興の取り組み等を学ぶ見学者などが引きも切らず来所するなど、より効果的、効率的に幅広く県民運動として生活復興を支援する生活復興県民ネットにとって、最も活動に適した場所であった。

併せて、事務局はいつでも被災者からの相談に迅速に対応できるよう、年末年始を除きフルオープン体制で臨み、立地条件の良さとも相まって、事務局にはいつも被災者やボランティアグループが問い合わせや相談、活動や交流の場として気軽に立ち寄れるとともに、幹事団体との定期的な打ち合わせや情報交換の場としても広く活用されるなど、ネットワーク組織としての生活復興県民ネットが、被災者の身近な存在として機能し続けた大きなゆえんといえる。



(4) 事業の推移

各種団体、企業、ボランティアグループ、個人など、被災者の生活復興に向けた幅広いエネルギーの連携と結集を図り、県民の参画と協働のもと、被災者の生活環境等の変遷に応じて、きめ細かな生活復興県民運動を展開してきた。

〈平成8年度～10年度〉

仮設住宅中心の頃、仮設から恒久住宅への環境移行期には、①「愛のもちより運動」や「フェニックス活動助成」による被災者の元気回復や仲間づくり、②「引っ越し手伝い運動」をはじめとする地域が一体となった共助による地域コミュニティづくり、③「ふるさとひょうごキャラバン隊の派遣」などの県外被災者への支援活動、④被災者を支援するグループ・団体等のネットワークの形成・強化に向けた生活復興県民運動を展開した。

〈平成11年度～13年度〉

恒久住宅移行後には、被災住民が地域の一員として自発的に地域活動に参画できるよう、各地域におけるグループ・団体と連携・協働しながら、①恒久住宅におけるコミュニティの活性化、②「地域活動推進講座」を通じた地域活動の担い手づくり、③「地域活動ステーション」や「ひょうごコミネット」の整備による地域活動情報のネットワーク化、④地縁団体とテーマ系NPOとの連携、協働に向けた地域活動推進事業を展開した。

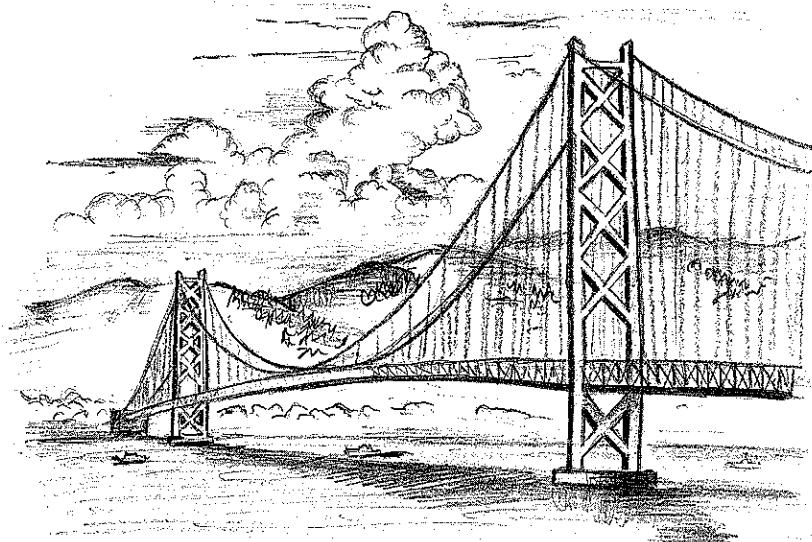
※ 各年度の実績は、「生活復興県民ネット事業の推移」(P6参照)参照

(5) 予算

兵庫県及び阪神・淡路大震災復興基金からの補助金

8年度	49,858,000円	(県 17,429,000円	基金 32,429,000円)
9年度	97,491,000円	(県 26,246,000円	基金 71,245,000円)
10年度	116,332,000円	(県 26,934,000円	基金 89,398,000円)
11年度	180,914,000円	(県 24,878,000円	基金 156,036,000円)
12年度	115,243,000円	(県 12,792,000円	基金 102,451,000円)
13年度	115,558,000円	(県 12,471,000円	基金 103,087,000円)

※ 各年度の事業別内訳は、「生活復興県民ネット事業年次別予算額」(P7参照)参照



生活復興県民ネット幹事名簿

(H14. 3. 31現在)

No.	団体名	役員会	企画委	参与
1	芦屋市環境衛生協会			
2	尼崎市市民運動推進委員会			
3	川西市コミュニティ協議会連合会			
4	コープこうべ	○	○	②
5	国際ロータリー第一2680地区			
6	こころ豊かな淡路づくり推進協議会	○	○	
7	こころ豊かな家づくり運動推進協議会			
8	こころ豊かな馬づくり推進協議会	○	○	
9	こころ豊かな丹波づくり推進協議会	○	○	
10	こころ豊かな中播磨づくり推進協議会	○	○	
11	こころ豊かな西播磨づくり推進協議会	○	○	
12	こころ豊かな阪神南づくり推進協議会	○	○	
13	こころ豊かな阪神北づくり推進協議会	○	○	
14	こころ豊かな東播磨づくり推進協議会	○	○	
15	こころ豊かな北播磨づくり推進協議会	○	○	
16	こころ豊かな兵庫づくり県民運動伊丹市連絡協議会			
17	こころ豊かな兵庫づくり推進協議会	○	○	
18	神戸YMCA			
19	神戸兵庫県青少年本部	○	○	
20	神戸兵庫県老人クラブ連合会	○	○	○
21	神戸ガールスカウト日本連盟兵庫支部			
22	神戸日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会	○	○	○
23	神戸兵庫県医師会	○	○	○
24	神戸兵庫県看護協会			
25	神戸兵庫県子ども会連合会	○	○	○
26	神戸兵庫県歯科医師会			
27	神戸兵庫県薬剤師会			
28	社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会	○	○	○
29	西宮コミュニティ協会			
30	日本ボーイスカウト兵庫連盟			
31	日本労働組合総連合会兵庫県連合会	○	○	②

団

体

No.	団体名	役員会	企画委	参与	
32	兵庫県愛育連合会				
33	兵庫県いずみ会				
34	兵庫県米養士会				
35	兵庫県漁業協同組合連合会		○		
36	兵庫県経営者協会				
37	兵庫県JA女性協議会		○	○	
38	兵庫県商工会議所連合会		○	○	
39	兵庫県商工会連合会				
40	兵庫県商店連合会				
41	兵庫県消費者団体連絡協議会		○	○	
42	兵庫県森林組合連合会				
43	兵庫県生活研究グループ連絡協議会				
44	兵庫県生活協同組合連合会		○	○	
45	兵庫県精神保健協会				
46	兵庫県青年洋上大学同窓会		○	○	
47	兵庫県中小企業団体中央会				
48	兵庫県農業協同組合中央会		○	○	
49	兵庫県PTA協議会		○	○	
50	兵庫県ボランティア協会		○	○	
51	兵庫県民生委員児童委員連合会				
52	兵庫県連合自治会		○	○	
53	兵庫県連合婦人会		○	○	
54	ふれあいのまちKOBE・愛の輪運動推進委員会		○		
55	ライオンズクラブ国際協会385-A地区		○	②	
56	ライオンズクラブ国際協会385-D地区		○	○	
No.	名前	役職等	役員会	企画委	参与
1	堯天 義久	神戸大学名誉教授、 神戸市復興・活性化推進懇話会座長			○
2	小西 康生	神戸大学教授・経営経営研究所 前被災者復興支援会議座長			
3	室崎 益輝	神戸大学都市安全研究センター教授、 被災者復興支援会議Ⅱ座長			
4	新野幸次郎	神戸大学名誉教授、 元震災対策国際総合検証会議座長			○
			33	31	17

個

人

生活復興県民ネット事業の推移

(H14.3.31現在)

ネット概要

区分	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
背景	仮設住宅中心	仮設住宅から恒久住宅への移行	仮設住宅から恒久住宅への移行の本格化 恒久住宅におけるコミュニティづくりへの胎動	仮設住宅の解消(H12.1月) 恒久住宅におけるコミュニティづくりの活発化	恒久住宅におけるコミュニティ活動の活性化	恒久住宅におけるコミュニティ活動の活性化 公共的領域への参画・協働
課題	被災者の元気回復、仲間づくり 支援グループ・団体等のネットワークの形成	被災者の生活の基盤となる住まいを中心とした生活復興 支援グループ・団体等のネットワークの強化	住まい環境の移行に伴う、地域一体となった受け入れ、共助による地域コミュニティづくり 支援グループ・団体等のネットワークの強化・協働	地域活動の活性化に向けた担い手づくり 地域活動情報ネットワークの形成 支援グループ・団体等のネットワークの強化・協働	地域活動の担い手づくり 地域活動情報ネットワークの形成 地域活動のコーディネート 支援グループ・団体等とネットワークの強化・協働	地域活動の担い手づくり 地域活動情報ネットワークの形成 地域活動のコーディネート 地縁団体とNPOと連携、協働
団体等の自主的な活動の連携支援事業	◎地域スタッフの設置 設置数 42人 ◎愛のもちより運動 実施数 160件 ◎出合いの広場 提出プラン 135件 マッチングプラン 54件 マッチング 78件	設置数 42人 提出プラン 126件 マッチングプラン 28件 マッチング 40件 ◎引越し手伝い運動 登録人数 105人 依頼件数 96件 参加件数 69件 参加延人数 288人 ◎第4次災害復興公営住宅周辺案内マップの作成	設置数 40人 提出プラン 117件 マッチングプラン 32件 マッチング 54件 ◎あったか「ひょうご」のまちかど運動 登録人数 117人 依頼件数 249件 参加件数 190件 参加延人数 724人 ◎暮らしの便利誌本1作成支援 完成 13エリア ◎「男もカンタンにできるい」とば料理教室1開催支援 募集 50団体 実施 45団体(191回) ◎自治会づくり支援 「自治会をつくりたい時に読む本」 2万部作成・配付済 ◎コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催相談事業 交流会 5回 ワークショップ 2回	設置数 32人 提出プラン 161件 マッチングプラン 23件 マッチング 76件 登録人数 59人 依頼件数 30件 参加件数 26件 参加延人数 94人 募集 50団体 実施 45団体(192回)	提出プラン 195件 マッチングプラン 30件 マッチング 107件	提出プラン 177件 マッチングプラン 10件 マッチング 21件
	◎フェニックス活動助成 一般活動助成 応募 214件/助成 59件	一般活動助成 応募 289件/助成 110件 団体連携活動助成 応募 31件/助成 18件	一般活動助成 応募 285件/助成 106件 団体連携活動助成 応募 37件/助成 17件 ◎生活復興NPO情報プラザの開設 ・利用状況 登録団体数 175団体 印刷コーナー、図書コーナー、情報コーナー、ミーティングコーナー、グループ連絡ボックス相談コーナー 登録団体との意見交流会の開催 6回	一般活動助成 応募 336件/助成 105件 団体連携活動助成 応募 31件/助成 17件 ・利用状況 登録団体数 262団体 登録団体との意見交流会の開催 8回 ◎生活復興のための地域活動推進事業 ○地域活動ステーションの設置 221カ所 (公共施設等と連携、機器の貸与等) ○ひょうごコミネットの運営 ・ホームページの開設 団体情報、イベント情報、お知らせ情報、募集情報、出合いの広場情報 ・会員数 526団体・個人 ○地域活動推進講座の開催 実施 119講座(95団体) (団体等に委託して実施) ○地域活動推進交流会の開催 ブロック3回、全体1回 ○地域活動推進クラブの育成支援 講座受講生によるクラブづくりの奨励 結成 8グループ(79人)	一般活動助成 応募 336件/助成 105件 団体連携活動助成 応募 31件/助成 17件 ・利用状況 登録団体数 317団体 ・会員数 458団体・個人	一般活動助成 応募 336件/助成 105件 団体連携活動助成 応募 31件/助成 17件 ・利用状況 登録団体数 355団体 ・会員数 475団体・個人 ○地域活動情報バンクの開設 (ひょうごコミネットの充実)
◎県外被災者の生活復興を考えるフォーラム(約180人参加) ◎ふるさとひょうごキャラバン隊 派遣数 1県 ◎広報 ハートネット(2万部)	◎県外に住む被災者のための集い(約150人参加) 派遣数 10都県	◎ふるさとひょうごキャラバン隊のフォロー				
	ハートネット(2万部)	ハートネット(2万部)	ハートネット(2万部)	ハートネット(2万部)	ハートネット(1万7千部)	ハートネット(1万7千部)
その他の事業					◎フェニックス地域活動フォーラムの開催 (実行委員会方式) 平成14年1月19日(土) (神戸市勤労会館) ◎ボランティア登録数 (1,798人)	◎フェニックス地域活動フォーラムの開催 (実行委員会方式) 平成14年1月19日(土) (神戸市勤労会館) ◎ボランティア登録数 (1,886人)

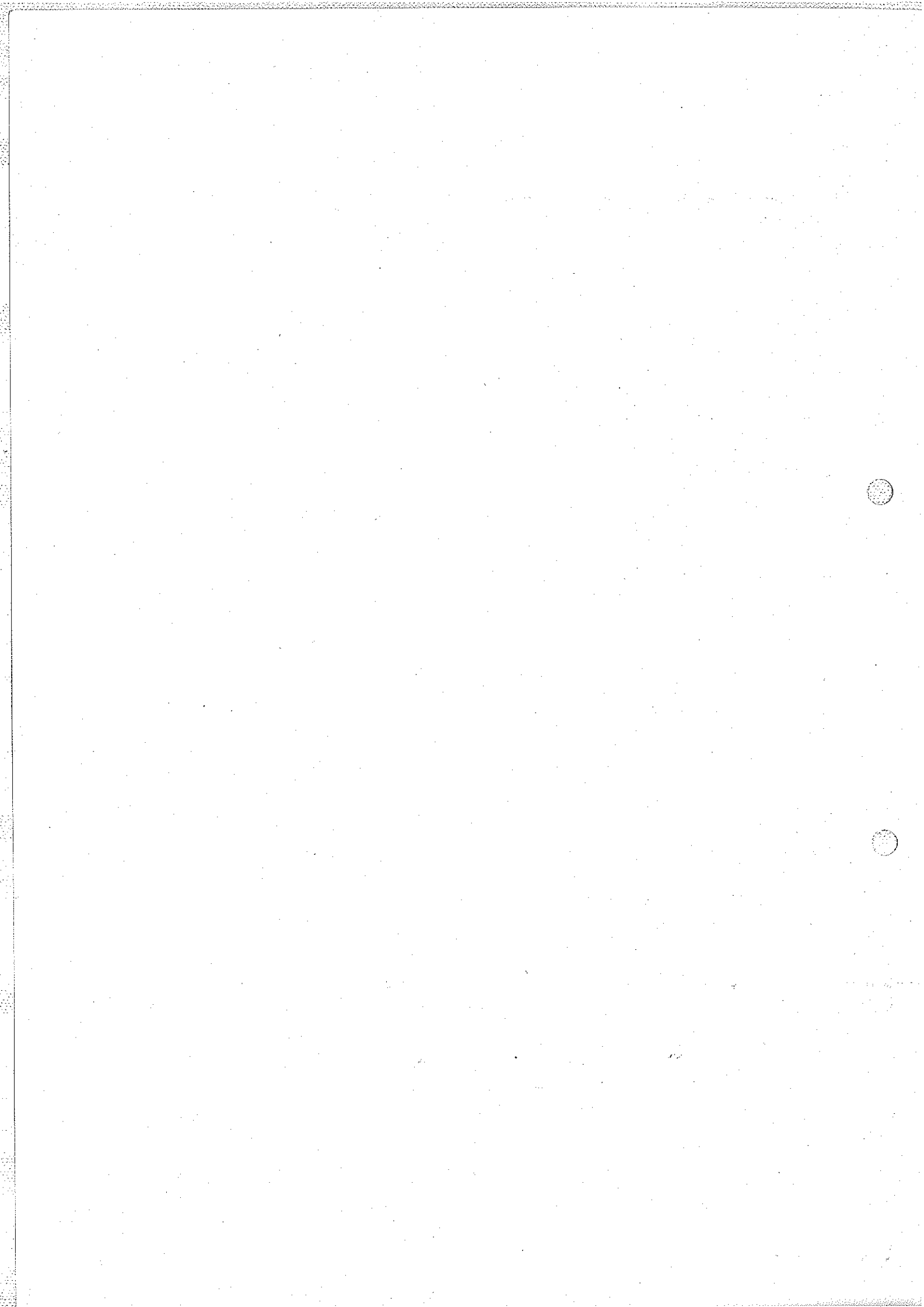
生活復興県民ネット事業年次別予算額

(単位：千円)

ネット概要

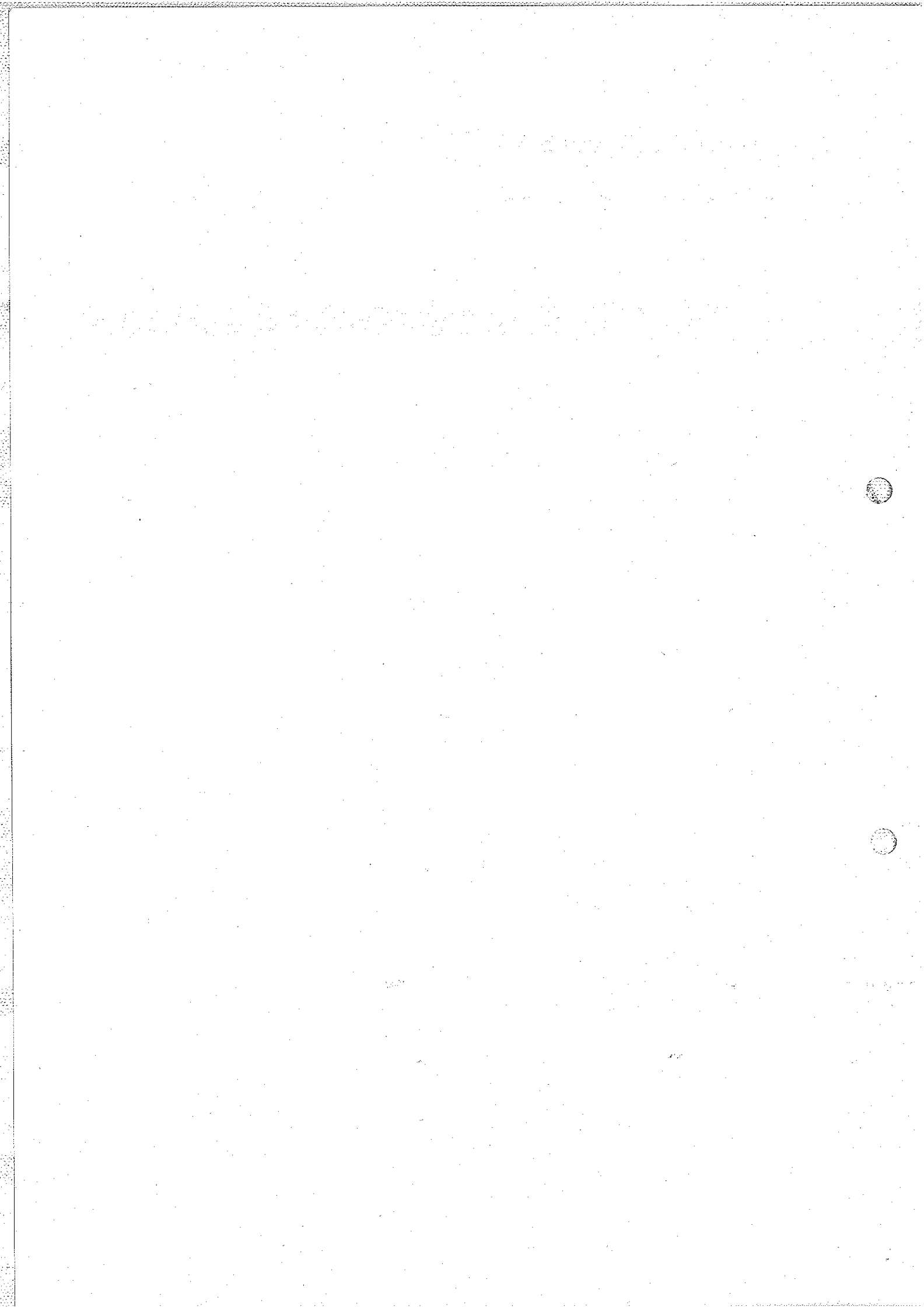
年 度 / 事 業	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	計
生活復興県民ネット設置運営費	18,040	17,600	17,698	17,770	12,014	11,520	94,642
地域スタッフ設置事業	11,518	22,126	22,126	16,290			72,060
愛のもちより運動	0	(1,385)	(620)				(2,005)
フェニックス出合いの広場	5,300	10,016	10,292	9,904	8,902	8,486	52,900
フェニックス活動助成	15,000	45,000	45,000	45,000			150,000
県外被災者の生活復興を考えるフォーラム	(489)	2,749					2,749
ふるさとひょうごキャラバン隊	(442)	(1,634)					(2,076)
引っ越し手伝い運動							0
第4次災害復興公営住宅周辺マップ作成		(898)					(898)
県外に住む被災者のための集い		(489)					(489)
「暮らしの便利読本」			15,900				15,900
「男もカンタンにできるいどばた料理教室」	ボランティア活動助成対応						0
自治会づくり支援			(924)				(924)
コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催			1,563	2,341			3,904
生活復興NPO情報プラザの運営			3,753	5,793	4,668	4,936	19,150
地域活動ステーションの運営				47,413	31,978	34,696	114,087
ひょうごコミネットの管理・運営				3,403	4,941	5,163	13,507
地域活動推進講座の開催支援				33,000	32,699	29,699	95,398
地域活動コーディネーターの配置					7,749	8,300	16,049
地域活動ハンドブックの作成					1,452		1,452
コミュニティ・フェスティバルの開催					2,190		2,190
活動情報サポーターの設置					8,650	7,262	15,912
地域活動情報バンクの開設						1,796	1,796
地域通貨の実験的取り組み支援						1,200	1,200
フェニックス地域活動フォーラムの開催						2,500	2,500
計	49,858	97,491	116,332	180,914	115,243	115,558	675,396

(注) () 内数字は、他の事業経費より充当





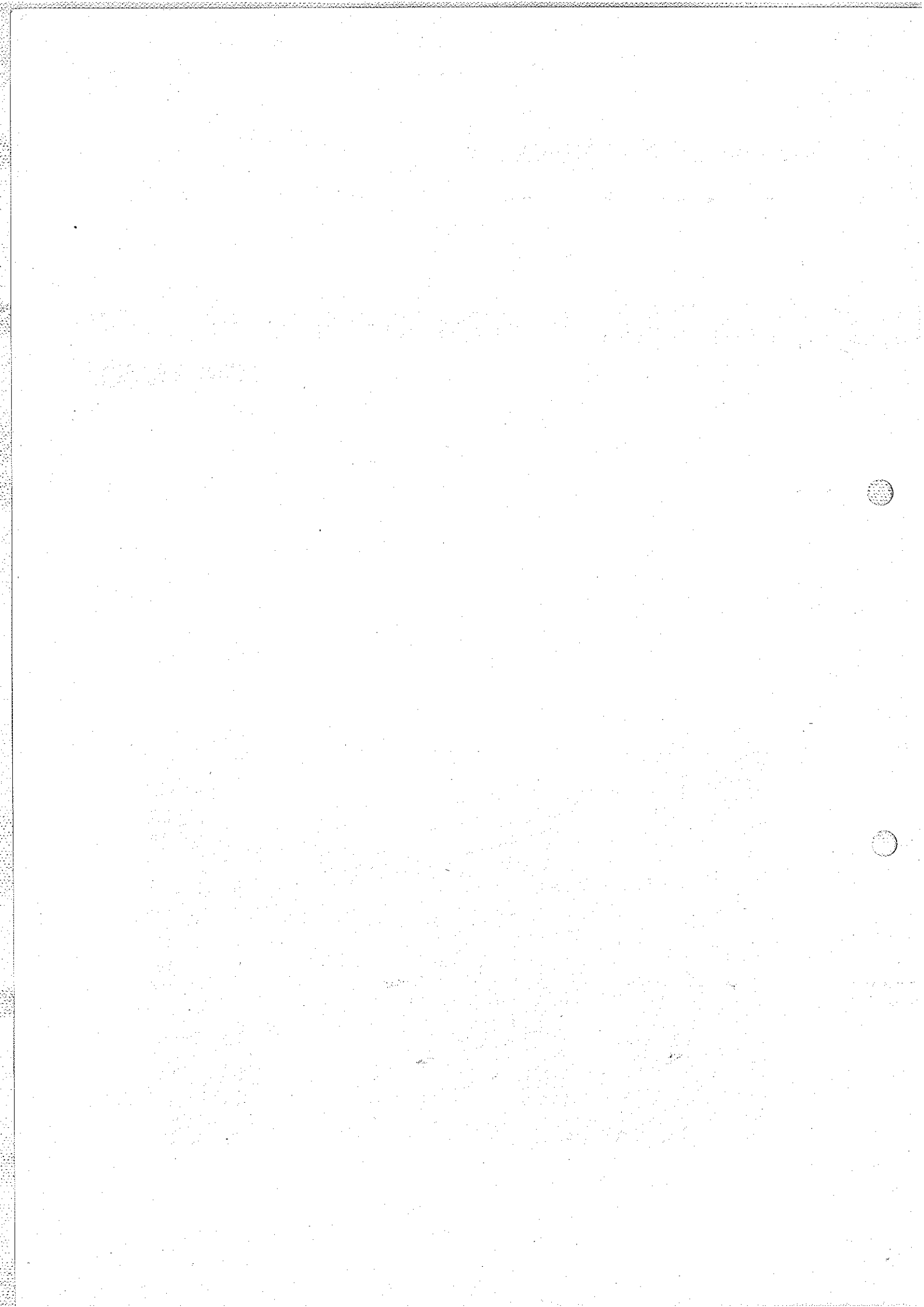
Ⅱ 生活復興県民運動の取り組み



II 生活復興県民運動の取り組み

(平成8年度)





生活復興県民運動の取り組み

8年度 (8.10~9.3)

被災者を取り巻く現状

震災から1年半余が経過した平成7年の暮れには、神戸ルミナリエが開催され、華やかな光彩が被災地に勇気と希望を与えた。

平成8年7月には、2年ぶりに神戸まつりが復活し、被災した「そごう百貨店」も営業を再開、JR新長田駅も装いを一新して開業するなど復興の進捗を示す出来事が相次ぎ、被災地の復興はハード面を中心に着実に進みつつあった。

兵庫県ではこの平成8年度を「復興元年」と位置付け、被災者の生活再建に向けて、一人ひとりの生活実態に即したさまざまな施策を打ち出した。

県では、6月に「恒久住宅への移行プログラム」を策定、7月には「生活復興局」を設置、「災害援護金第3次配分」「生活支援金の決定」、8月には恒久住宅の確保など生活再建に向けた総合的な相談・支援を行う「生活支援アドバイザー」制度を設け、10月には被災高齢者の生きがいづくりを目的とした「いきいき仕事塾」を開設、12月から「ふるさとひょうごカムバックプラン」に基づく“ひょうご便りだより”を発行するとともに「県外被災者用相談フリーダイヤル」の設置、「生活復興資金貸付」の受け付けをスタートした。

10月には災害復興公営住宅2次募集の当選者の鍵渡しが始まったが、仮設住宅には約6万6千人(8.12)が居住するほか、県外に避難し、ふるさとへの思いを抱きながらも戻るに戻れない被災者も少なくなく、自助努力で再建を進める人がいる一方で、生活再建が遅れている人がいるという『生活再建の二極化』が明確になってきた。

・ 仮設住宅入居戸数	(8.7) 41,507戸	→	(8.10) 39,747戸
・ 災害復興公営住宅募集戸数	1次 (7.10~7.11)		6,108戸
	2次 (8.7~8.8)		11,325戸 計 17,433戸

課題

- ・ 被災者の元気回復、仲間づくり、生きがいづくり
- ・ 仮設住宅のコミュニティづくり
- ・ 県外居住避難者のフォローアップ
- ・ 支援グループ、団体等のネットワークの形成



新規事業

- ・ 地域スタッフの設置
- ・ 愛のもちより運動
- ・ フェニックス出合いの広場
- ・ フェニックス活動助成(一般活動助成)
- ・ 県外被災者の生活復興を考えるフォーラム
- ・ ふるさとひょうごキャラバン隊派遣
- ・ 広報誌“ハートネット”の発行

● 当時の主な出来事

(平成8年度)

- 8.4.1 兵庫県、「住まい復興局」、神戸市、「生活再建本部」を設置
- 7.1 兵庫県、「生活復興局」を設置
- 10.1 JR神戸線「甲南山手駅」(神戸市東灘区)開業
神戸・南京町のシンボル「長安門」再建、復興祭が始まる
- 7 持家再建支援策の拡充・創設及び民間賃貸住宅家賃負担軽減事業の受付開始
- 8 **被災者の生活復興に向けた活動に取り組む各種団体、ボランティア、企業等が連携・結集を図る「生活復興県民ネット」が発足**
- 21 兵庫県、「ひょうご住宅5ヶ年計画」の策定
仮設住宅(神戸市北区ひよどり台南第2住宅)で火事発生、4戸全焼、1戸半焼
- 23 災害復興公的(賃貸)住宅一元募集(第2次)の当選者への鍵渡し始まる
- 26 「フェニックス・リレーマーケット」スタート
- 11.4 被災した高齢者を対象とした「いきいき仕事塾」スタート
- 22 「第1回世界鷹取祭」開催(～11/24:神戸市長田区鷹取地区)
- 25 神戸市内の各種団体が「元気アップ神戸」を発足
- 12.2 「県外被災者用相談ダイヤル」開設
- 12 「神戸ルミナリエ」開幕(～12/25、約385万人)
「自然災害に対する国民的保障制度を求める兵庫県民会議」が開始した「国民的保障制度」の創設を求める署名が県下で約416万人(11月末現在)に達したと発表
- 16 兵庫県、「生活復興資金貸付制度」受付開始
- 19 兵庫県、「民間賃貸住宅家賃負担軽減事業」の拡充、県外被災者総合支援策「ふるさとひょうごカムバック・プラン」、高齢被災者らに対する「生活再建支援金」給付制度の創設などを発表
- 9.1.11 東京都内で「兵庫アート・ウィーク・イン東京」開催(～1/31)
- 17 **震災から2周年**
「阪神・淡路大震災犠牲者追悼式」開催(兵庫県公館)等各地で2周年記念事業開催される
- 29 災害復興賃貸住宅(第3次)一元募集の概要発表(2/27受付開始)
- 2.10 住宅・都市整備公団、被災者用住宅の貸与1年間延長を決定
(平成9年3月末→平成10年3月末)
- 20 「自然災害に対する国民的保障制度を求める国民会議」が内閣総理大臣あてに約2,400万人の署名を提出
- 22 兵庫県、「生活復興支援詳細プログラム」「住まい復興詳細プログラム」等の震災対策を発表
- 24 兵庫県、「生活復興資金貸付制度」要件(収入条件、保証人等)緩和
- 27 災害復興(賃貸)住宅の第3次一元募集開始(～3/19)
- 3.10 被災した高齢者を対象とした「高齢者語りべ・昔の遊び伝承事業」スタート
- 18 財新産業創造研究機構が設立
- 31 神戸港、大震災から804日ぶりに復旧

1 フェニックス出合いの広場事業【平成8年10月～】

1 事業のあらまし

震災から1年半余り経過。この間、仮設住宅の設置にはじまり、ふれあいセンターや仮設診療所の設置、巡回相談、地域型仮設への生活援助員の派遣など、行政のさまざまな支援策が講じられる中、行政だけに頼らず、住民自らが復興の主体となり、自分たちの力で復興を進める試みとして、人材、アイデア、ノウハウ、資金などを必要としているグループと、提供できるグループをマッチングさせる「フェニックス出合いの広場事業」を展開した。

阪神・淡路大震災復興支援館（フェニックスプラザ）に設置した掲示板や情報誌「ハートネット」、インターネット上の生活復興県民ネットのホームページなどで広く情報公開し、お互いがプランを持ち寄り、生活復興に向けたさまざまな支援プランを実現してきた。

2 マッチングのしくみ

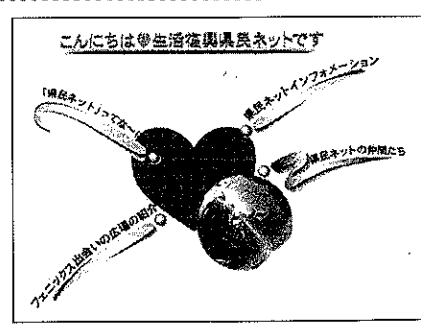
- ①登録 「出合いの広場参加カード」に、さまざまなプラン、必要としている資源（人材、アイデア、もの、情報、場所、機会、資金等）、提供できる資源等を記載して、生活復興県民ネットに送ってもらう。
- ②公開 送られてきたプランを、次の方法で広く公開する。
 - ・フェニックスプラザに設置された掲示板
 - ・情報誌「ハートネット」
 - ・ホームページ「ひょうごコミネット」
- ③マッチング プランのマッチングは、原則として本人同士が直接連絡のうえ協議・調整し、マッチングができた場合は、生活復興県民ネットまで連絡する。
 なお、必要に応じて、地域活動コーディネーターがマッチングを促進するための手伝いを行う。

◆プラン提出およびマッチング状況

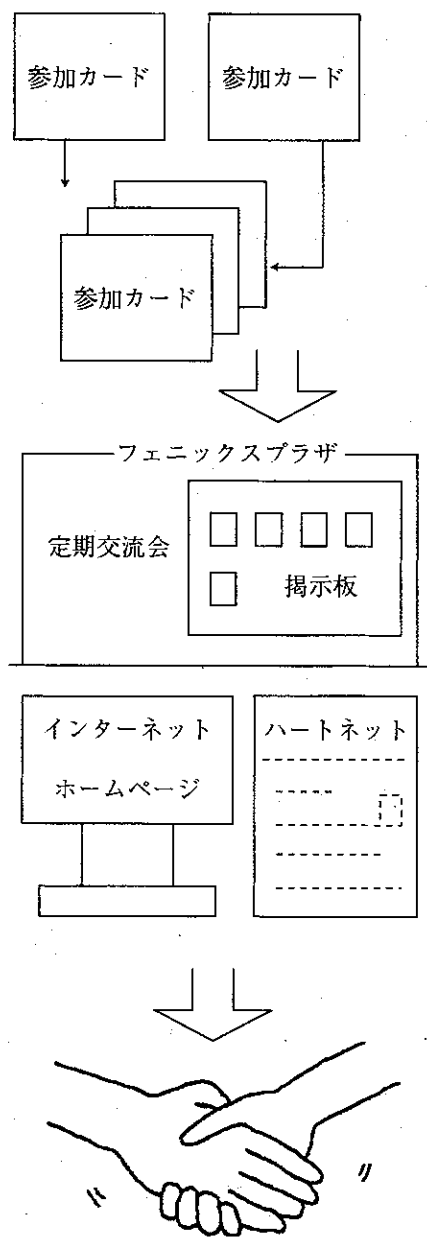
区 分	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	累 計
登録プラン件数A	135件	125件	117件	161件	195件	177件	214件	1,124件
マッチングプラン件数B	54件	26件	32件	23件	30件	10件	10件	185件
マッチング率B/A	40.0%	20.8%	27.4%	14.3%	15.4%	5.6%	4.7%	16.5%
マッチング延べ件数C	79件	39件	54件	76件	107件	21件	54件	430件
マッチング率C/A	58.5%	31.2%	46.2%	47.2%	54.9%	11.9%	25.2%	38.3%

生活復興県民ネットのホームページ

平成8年12月20日開設
 (掲載内容)・ハートネットの紹介
 ・フェニックス出合いの広場
 ・生活復興県民ネット参加団体の紹介など
 (ホームページアドレス)
<http://Tokyo Web.OR.JP/net-hyogo/>
 (E-mailアドレス)
nethyogo@magical.egg.or.jp



《フェニックス出合いの広場事業の仕組み》



1 登録

参加カードに記入のうえ、生活復興県民ネット事務局へ送付

2 公開・呼びかけ

掲示板、情報誌「ハートネット」、インターネット、交流会でプランを公開

3 マッチング

公開されたプランのマッチングは、直接相手先と行って下さい。マッチングしたら事務局にも連絡して下さい。

(事業評価)

震災を通じて「分かち合い、支え合い、助け合う」ことの大切さを学んだことが、本事業の始まりや継続にもつながっている。事業開始以来、毎年100~200件の登録件数で推移しており、こうした相互扶助の仕組みが、被災地の市民文化として、緩やかではあるが、少しずつ浸透してきたことがうかがえる。

震災復興過程という特殊な状況、神戸・阪神間を中心とした地域事情、ボランティア活動の高まりという要因があったものの、件数の多寡は別としてマッチング率は4割近くあり、被災者の生活復興に果たした役割は大きい。

また、この取り組みは、県域でのボランティア活動や市民活動にとっても有益であり、被災地の復興過程のみならず、恒常的に県域に拡大、継続すべきシステムと考えられる。

◆主なマッチング事例

(平成8年度)

- ・「室内フェニックスステーションAさん」は、“もちつき道具一式ともちつきボランティア5～6名”を「寿ボランティアグループ、仮設王子公園自治会、岩屋公園避難所救援ボランティア、弱者たすけあいの会」へ派遣した。
- ・「神戸市立鷹匠中学校」は、“タンカー重油事故の油回収活動に必要な古タオル”を、「寿ボランティアグループ」へ提供した。
- ・「徳島県麻植郡美郷村美郷梅工房のBさん」は、“梅干し30kg、米60kg”を、「神戸元氣村」ほかを通じて、被災者へ提供した。

(平成9年度)

- ・東京都の「山の人から神戸の人」事務局は、震災で壊された家の補修材として“間伐材130本”を、ボランティアグループ「ナスカ」へ提供した。
- ・東京都の「徳丸海運株式会社」は、“オリックス年間予約スーパーシート(2席)”を、「ゆいまーる神戸」へ提供した。
- ・「新潟県柏崎市立鏡が沖中学校」は、“仮設住宅住民に配布するお米、物資など”を、J・C・Mボランティアチーム「ノーサイド」へ提供した。
- ・「富士通テン舞蹈部」は、民舞・新舞踊を「深江浜仮設住宅など被災地内の各地」で披露した。
- ・岸和田市にある「岸城神社」は“震災チャリティーポストカードや被災児童の絵画を展示するための場所”を「芦屋児童美術教育研究会」へ提供した。

(平成10年度)

- ・「灘中央地区ボランティア」は、“引っ越し用の段ボール箱1600箱”をボランティアグループ「マイムマイム」へ提供した。
- ・東京都の「有限会社神光商事」は、“まごころの詩ほか1曲の入ったCDとカセットテープ千本”を「八尾志紀仮設住宅ほか4グループ・団体」へ提供した。
- ・「学園都市仮設連合ボランティア」は、復興住宅の高齢者を対象にじゃがいもなどの野菜を配るボランティアを募り、“19名の個人”が参加した。
- ・東京都の「有限会社神光商事」は、入居者の交流を図るための“カラオケと集会室の冷蔵庫”を、「明石市営魚住北住宅生活援助員」へ提供した。
- ・「NPOシンフォニー(現NPO法人シンフォニー)」は、“中古の事務用ファイルやバインダー約400個”を、「震災しみん情報室(現NPO法人市民活動センター・神戸)ほか11グループ・団体」へ提供した。

(平成11年度)

- ・「宮崎県の日本画友の会」は、色紙に描いた“日本画30枚と絵手紙10枚”を、「県営魚崎高層住宅ほか4団体」へ提供した。
- ・石川県の「有限会社川森食品」は、“田舎味噌18kg入り65缶”を「都賀川仮設住宅」ほか24団体・個人に提供した。
- ・「岡山県赤磐郡山陽団地のCさんと神崎郡大河内町のDさん」は、“手芸の活動に使う端切れ”などを、「かちかち山」へ提供した。
- ・「大阪府守口市のEさん」は、“オリジナル曲「がんばろう」が収録されたカセットテープ”を「仲良会」ほか4団体・個人へ提供した。
- ・「ひまわりの夢企画」は、幸せを呼ぶ“赤いひまわりの種(品種名：ありがとう神戸)”を、「芦屋市のFさんほか2個人」へ提供した。

(平成12年度)

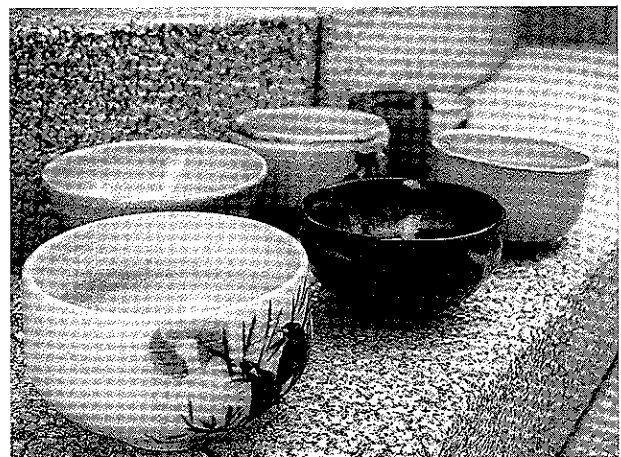
- ・「ソクラテスプロジェクト」は、関東在住被災者とボランティアによる“手作りのこいのぼり”を、「神戸市立渚中学校」と「カナダのぐれーすひゅーまんらいふの会」へ提供した。
- ・「神戸市東灘区のGさん」は、“オリジナル曲「神戸に来てくれませんか」のCDとカセットテープ”を、「熊本県で毎年震災チャリティーコンサートを開催しているグループ」ほか17団体、個人へ提供した。
- ・「語り部グループ 117」は、「広島県廿日市立七尾中学校」が修学旅行で被災地を訪れた際、“震災の語り”を聞かせた。
- ・「グループ「わ」垂水部会」は、「神戸市立塩屋中学校」の総合学習の一環として“昔の遊び”を、生徒に指導した。
- ・「高倉台リンキングエンジェルス」は、「月見山自治会館」からの依頼で、“ハンドベルの演奏”を披露した。

(平成13年度)

- ・「神戸相撲甚句会（現、神戸櫓の会）」は、「高倉台ふれあいのまちづくり協議会」ほか6団体の依頼で、“相撲甚句と櫓太鼓”を披露した。
- ・「神戸・市民交流会」は、“「1.17KOBEに灯りを」で使用した竹を竹炭にするためのボランティア”を募り、「神戸市兵庫区のHさんほか3名の個人」が参加することになった。
- ・「農業公園陶芸教室（手作り）ほか2個人」は、毎月開催される誕生日会で使用する“抹茶茶碗など茶道具一式”を、「ベルデ名谷友愛訪問グループ」へ提供した。
- ・「N・C・D・T（ニュー・チャイニーズ・ダンス・シアター）」は、「須磨区役所福祉課ほか11団体・グループ」から依頼され、“中国民族舞踊”を披露した。
- ・「SCI（サービスシビルインターナショナル）明石」は、“インド西部地震の救援のため資金”を募り、「県立明石高校の生徒会等」から募金が贈られた。
- ・「FMわいわい」が“運営スタッフ（パソコン入力）”を募集し、フェニックスプラザの掲示板で情報を知った「神戸市灘区の男性」が、週1回手伝うこととなった。
- ・J・C・Mボランティアチーム「ノーサイド」が、アメリカ同時多発テロによって働き手を失った子ども達やお年寄りへの支援金を一般に募り、“12,000\$（約150万円）”が集まった。
（支援金は、ノーサイド代表が11月下旬にニューヨーク市庁に赴き手渡した。）



こいのぼり



抹茶茶碗一式

2 地域スタッフ【平成8年度10月～平成11年度】

1 事業のあらまし

生活復興県民ネットが展開する事業が、地域において効果的に、また広範な県民の参画を得て展開されるよう、平成8年10月から、県民局や市町からの推薦を受けた自治会や婦人会役員など地域に精通した人材として、阪神・東播磨・西播磨・淡路地域（神戸地域は、平成9年2月～）に、「地域スタッフ」を配置した。

以降平成12年3月末まで、「地域スタッフ」は被災者一人ひとりの心の復興に向け、仮設住宅や恒久住宅入居者への訪問活動、行政が実施する各種の支援制度の情報提供、ふれあいセンターでのイベントや住民の集い、もちつき大会のお世話や参加呼びかけなど、地域活動のつなぎ役として活動した。

2 主な活動内容

- ・情報誌「ハートネット」の配布、地域の情報収集 (H8～11)
- ・第4次災害復興公営住宅周辺案内マップ作成への参画 (H9)
- ・「暮らしの便利読本」作成への参画 (H10)
- ・「男もカンタンにできるいどばた料理教室」の開催支援 (H10～11)
- ・コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催相談事業のニーズ把握 (H10～11)
- ・地域活動推進事業の啓発 (H11)

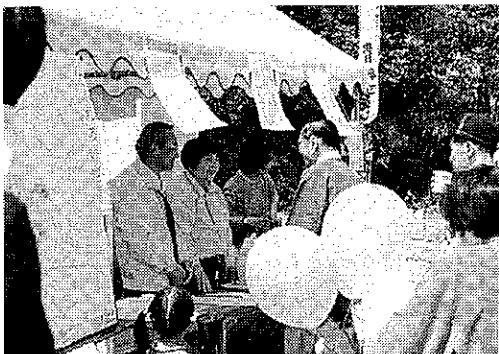
〈地域スタッフだより〉

ハートネット（第6号～19号：平成9年4月～平成10年5月）に掲載

- | | | |
|---------|---------------------------|---------------|
| (9年4月) | ・小さな輪から大きな輪へ | 堂見 和子 (阪神地域) |
| | ・ふれあいセンターから広がる交流の輪 | 西川 幸子 (東播磨地域) |
| (9年5月) | ・元気アップ神戸「ちょっと気配り灘のまち」区民運動 | 松本 信子 (神戸地域) |
| | ・津名町における生活復興への支援活動 | 原 道子 (淡路地域) |
| (9年6月) | ・地域の中の絆づくりを | 中村美津子 (阪神地域) |
| | ・自他共存で自立 | 津田 良一 (西播磨地域) |
| (9年7月) | ・無事に終わった植木市 | 川岸 俊夫 (神戸地域) |
| | ・仮設住宅から転居された方々を訪ねて | 中村 喜代 (東播磨地域) |
| (9年8月) | ・人形劇と紙芝居で子どもたちの心にうるおいを | 足立 成子 (阪神地域) |
| | ・昔の料理いつまでも忘れずに | 村上ちず子 (淡路地域) |
| (9年9月) | ・まちかどなんでも相談 | 石川 曜 (神戸地域) |
| | ・三木からおたよりします！ | 橋野 美子 (東播磨地域) |
| (9年10月) | ・北区ふれあい健康・福祉フェア | 山本 壽治 (神戸地域) |
| | ・ボランティアの輪 | 西岡 宏泰 (阪神地域) |
| (9年11月) | ・岐阜県根尾谷断層をたずねて | 高田佳世子 (淡路地域) |
| | ・四国大学学園祭交流体験ツアー | 元津八千代 (淡路地域) |
| (9年12月) | ・地域のきずなを大切に元気アップ須磨！ | 田中 信 (神戸地域) |

- (10年1月) ・ボランティアフェスティバルに燃えている宝塚
・今こそ心に橋をかけよう
・「愛のもちより運動」で今年を締めくくる
- (10年2月) ・人の輪を大切に
・復興住宅に入居者を迎えて、県下で最も早い瑞穂自治会の取り組み
- (10年3月) ・「元気を奮い起こし、心のきずなをより強く…」
・茶話会をつづけて3年目に
- (10年4月) ・小学校区に東灘プラザ誕生
・「自主防災」
- (10年5月) ・被災して高砂にお住まいのみなさまへ
・「PP隊を送る集い」巡回に心から感謝

- 二宮 幸子 (阪神地域)
- 竹田 弘 (神戸地域)
- 井口 正子 (西播磨地域)
- 徳 正夫 (神戸地域)
- 三宅 修平 (阪神地域)
- 二星 栄 (神戸地域)
- 酒井 和子 (東播磨地域)
- 大江 惇二 (神戸地域)
- 浅川 好雄 (阪神地域)
- 西村 慶子 (東播磨地域)
- 西川 幸子 (東播磨地域)



(事業評価)

発足当初、地域拠点をもたない生活復興県民ネットにとって、地域に精通した地域スタッフを配置することによって、事業趣旨を住民へスムーズに周知できるとともに、事業を実施する場合の協力が比較的得やすくなるなど、円滑な事業遂行に向けて有効に機能したと考えられる。

本事業は、住民が身近な所（公民館や地域福祉センターなどの公的施設、NPOの事務所等）で地域活動の情報交換や交流ができるコミュニティづくりの拠点である「地域活動ステーション」の整備（平成11年度～）に伴い、発展的解消することとなった。

地域スタッフ名簿

	8年度	9年度	10年度	11年度
神戸	18人 永井 秀男 大江 惇二 皆木 喜一 松本 信子 川岸 俊夫 米田 一郎 石川 曜 黒瀬 寿雄 尾本 市造 山本 壽治 茅原 一誠 徳 正夫 田中 伸 堀本 修 安田 典一 竹田 弘 竹内 勇 二星 栄	18人 大江 惇二 永井 秀男 松本 信子 皆木 喜一 川岸 俊夫 米田 一郎 石川 曜 黒瀬 寿雄 尾本 市造 山本 壽治 茅原 一誠 徳 正夫 田中 伸 堀本 修 竹田 弘 安田 典一 竹内 勇 二星 栄	18人 大江 惇二 永井 秀男 松本 信子 皆木 喜一 川岸 俊夫 米田 一郎 石川 曜 黒瀬 寿雄 尾本 市造 山本 壽治 茅原 一誠 徳 正夫 田中 伸 堀本 修 竹田 弘 安田 典一 竹内 勇 二星 栄	18人 大江 惇二 永井 秀男 松本 信子 皆木 喜一 川岸 俊夫 米田 一郎 石川 曜 黒瀬 寿雄 尾本 市造 山本 壽治 茅原 一誠 徳 正夫 田中 伸 堀本 修 竹田 弘 安田 典一 竹内 勇 二星 栄
阪神	9人 浜田百合子 西岡 宏恭 山形 隆子 足立 成子 浅川 好雄 中村美津子 三宅 修平 二宮 幸子 堂見 和子	9人 浜田百合子 西岡 宏恭 山形 隆子 足立 成子 浅川 好雄 中村美津子 三宅 修平 二宮 幸子 堂見 和子	9人 浜田百合子 西岡 宏恭 山形 隆子 足立 成子 浅川 好雄 多田 洋子 三宅 修平 二宮 幸子 堂見 和子 6/参加	9人 浜田百合子 西岡 宏恭 山形 隆子 足立 成子 浅川 好雄 多田 洋子 三宅 修平 二宮 幸子 堂見 和子
西播磨	3人 梅谷 公子 井口 正子 津田 良一	3人 梅谷 公子 井口 正子 津田 良一	3人 梅谷 公子 井口 正子 津田 良一	0人
東播磨	6人 西川 幸子 中村 喜代 橋野 美子 酒井 和子 西村 慶子 前田 和子	6人 西川 幸子 中村 喜代 橋野 美子 酒井 和子 西村 慶子 前田 和子	6人 西川 幸子 中村 喜代 橋野 美子 酒井 和子 西村 慶子 前田 和子	2人 西川 幸子 中村 喜代 久保 和子
淡路	6人 小寺 安見 高田佳世子 元津八千代 原 道子 物部 清二 村上ちず子	6人 小寺 安見 高田佳世子 元津八千代 原 道子 物部 清二 村上ちず子	4人 高田佳世子 元津八千代 仲野 和美 原田真太郎	4人 高田佳世子 元津八千代 仲野 和美 原田真太郎
合計	42人	42人	39人(4/1)40人(6/1)	33人

8年度

3 フェニックス活動助成事業【平成8～11年度】

1 事業のあらまし

震災から1年半余りが経過。被災者の中には、既に自らの力で生活再建を果たした人もいれば、その途上にある人も数多く見られる。

今日・明日の暮らしへの不安や悩みを抱き今後の生活設計にも見通しを持ち得ない人がいるなど、被災者の状況が多様化、個別化が進む中、被災者が安心して生きがいある生活を送るため、被災者や支援者のグループ・団体などが実施する「ふれあいセンターでの茶話会の開催」「仮設住宅から災害復興公営住宅への引っ越し手伝い」「恒久住宅での入居者同士の交流会、夏祭りや盆踊り大会」などの元気回復や仲間づくり、生活復興につながる活動に対して経費助成を行った。

(1) 助成額

- ・一般活動助成 1団体当たり30万円を限度に助成
- ・団体連携活動助成 複数の団体が連携する場合、90万円を限度に助成（平成9年度～）

(2) 助成対象活動

- ・被災者の生きがい創造、元気回復、仲間づくりを目的とした活動
- ・恒久住宅移行後のコミュニティづくりに向けた活動
- ・県外に居住する被災者への支援活動

(3) 審査方法

学識経験者やマスコミ関係者などで構成される審査委員会において、効果性、先駆性・モデル性、被災者の参画性の観点などに着目して審査、決定した。

2 応募の特徴・傾向

【8年度】

50団体程度の助成枠に対して214件の企画があり、震災を通してボランティア活動の裾野の広がりを表しているとともに、各団体やグループが活動資金に苦労していることが伺える。

【9年度】

神戸、阪神地域以外からの応募の割合が高くなっており、県内各地、県外での活動の取り組みが広がりをみせ、特に、県外では6カ所の自主的な組織あるいは支援するボランティアグループから活動助成の申請があるなど、被災地を越えて広域的に主体的な活動へと発展する芽が育ってきた。

【10年度】

仮設住宅から恒久住宅（復興住宅）への移行が本格化している状況を反映し、恒久住宅へ移り住んだ住民を対象とした活動が多数採択され、新しい地域コミュニティづくりに向けた活動が活発化してくる一方で、神戸、阪神地域以外からの応募割合が減少するなど、復興に対する地域の温度差が表れてきた。

【11年度】

応募件数が順調に増加し、依然としてボランティア活動に対するニーズは高い。

復興住宅居住者同士あるいは地域住民との交流を目的とするプランが大半を占めているが、被災者全体を対象にしたものから、高齢者・障害者等の自立・助け合いをテーマにした活動にシフトしてきた。

3 活動内容・件数等の推移

(一般活動助成)

年度別		平成8年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度		計	
		応募	助成	応募	助成	応募	助成	応募	助成	応募	助成
内容・地域別											
応募・助成件数		214	59	289	112	285	106	336	105	1,124	382
テーマ別	被災者の生きがい創造・元氣回復・仲間づくり	177	40	237	74	206	72	174	48	794	234
	恒久住宅で安心して生活を送るための支援活動	12	5	32	21	67	24	162	57	273	107
	県外に居住する被災者への支援活動	25	14	20	17	12	10	—	—	57	41
	恒久住宅移行後の長期的コミュニティづくり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域別	神戸地域	105	27	137	51	139	58	193	62	574	198
	阪神地域	70	14	91	26	98	27	101	22	360	89
	東播磨地域	8	2	7	4	17	4	8	3	40	13
	西播磨地域	4	2	11	6	3	1	—	—	18	9
	淡路地域	3	1	13	5	6	2	12	5	34	13
	丹波地域	1	0	5	2	2	0	—	—	8	2
	県外	23	13	25	18	20	14	22	13	90	58
採 択 率		27.6%		38.8%		37.2%		31.3%		34.0%	

8年度

(団体連携活動助成)

8
年
度

内容・地域別		年度別		平成8年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度		計	
		応募	助成	応募	助成	応募	助成	応募	助成	応募	助成	応募	助成
応募・助成件数		-	-	31	18	37	17	31	17	99	52		
テーマ別	被災者の生きがい創造・元気回復・仲間づくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	恒久住宅で安心して生活を送るための支援活動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	県外に居住する被災者への支援活動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	恒久住宅移行後の長期的コミュニティづくり	-	-	31	18	37	17	31	17	99	52		
地域別	神戸地域	-	-	16	10	21	10	20	12	57	32		
	阪神地域	-	-	10	3	9	4	9	3	28	10		
	東播磨地域	-	-	1	1	2	0	0	0	3	1		
	西播磨地域	-	-	0	0	1	0	-	-	1	0		
	淡路地域	-	-	1	1	1	1	0	0	2	2		
	丹波地域	-	-	0	0	0	0	-	-	0	0		
	県外	-	-	3	3	3	2	2	2	8	7		
採 択 率		-		58.1%		46.0%		54.8%		52.5%			

計(一般・団体連携)	214	59	320	130	322	123	367	122	1,223	432
採 択 率	27.6%		40.0%		38.2%		33.2%		35.3%	

〈助成団体の主なプラン例〉

●被災者の生きがい創造・元気回復・仲間づくり

【8年度】

- ・アルコール依存症に対する偏見を取り除き、ともに立ち上がっていくことを目的としたフォーラムを開催する。(カイン神戸)
- ・被災高齢者の地域活動への参画や障害者の就業支援を目的とした、初級の養成講座からソフト作成等の高度な技術を身につけるパソコン教室を開催する。(パソコン教室・グループmado)

【9年度】

- ・被災地のみならず、国内外の子どもたちから、独創的で楽しく心あたたまる絵画や詩を募集し、展覧会の開催を通じて被災者の元気回復を図る。(フェニックスこども作品展実行委員会)
- ・石鹸の表面への絵柄加工、小石の箸置きづくりなど被災者の共同作業を通じた生きがいづくりの支援と恒久住宅へ転居した被災者への情報提供活動等を行う。(おもいやりネットワーク)

【10年度】

- ・被災者を対象として、手芸教室、園芸教室など、さまざまな学習の場を提供し、仲間づくりや高齢者の生きがいづくり、仕事づくりのきっかけとする。(プロジェクト1-2)
- ・復興住宅の入居者を対象に、子どもから高齢者まで参加できるもちつき大会やグランドゴルフなどを開催するほか、共同浴場の清掃活動などを通じてふれあいを大切にした心の通うまちづくりを進める。(町づくり委員会ふれあい推進グループ)

【11年度】

- ・芦屋市内に住む被災高齢者が、自らの被災体験をもとに演劇を上演することで、生きがい・健康づくりを図るとともに、年月とともに風化しがちな震災体験を再現することで、人間のきずなの大切さを観客とともに確かめ合う。(あしやYO倶楽部演劇グループ)
- ・復興住宅集会室で、被災した高齢女性を対象に手芸の講習会を開催し、作品の展示、販売を行うことで、被災者の生きがい、しごとづくりへとつなげていく。(木馬の会)

●恒久住宅で安心して生活するための支援活動

【8年度】

- ・避難所や仮設住宅等での貴重な経験を生かした新しいコミュニティづくりを模索するための事例検討会を開催する。(NPOシンフォニー)

【9年度】

- ・被災者に「正確に、わかりやすく」情報を伝えることを基本とした、恒久住宅に関する電話相談、周辺マップの配布、支援制度の情報提供を通じて生活再建を支援する。(震災・活動記録室)
- ・復興住宅に転居した被災者相互の交流機会の提供を通じて、入居者自らが企画して参加するイベントの開催につなげ、自らコミュニティづくりに取り組んでいけるようサポートを行う。(東灘・地域助け合いネットワーク)

【10年度】

- ・灘区新在家南住宅入居者のコミュニケーションを図ることを目的とした昼食会を開催するほか、自治会づくりの支援、健康・介護相談を行う。(生き生きクラブ六甲)
- ・コレクティブハウジングにおいて、手芸などのサークル活動、昼食会や喫茶コーナーの運営などを通じて、住民のふれあいづくりを支援する。(金楽寺コレクティブハウジング応援団)

【11年度】

- ・復興住宅入居高齢者を対象に、交流を図るための茶話会や食事会を開催するとともに、介護保険や消費生活に関する講座を開催し、高齢社会における安心できる暮らしについて考えるきっかけとする。
(ボランティアけやき)
- ・復興住宅でのボランティアによる継続的な支援に対する住民のニーズを探るとともに、住宅周辺に関するクイズ大会や、住民出展による書道、絵画展の開催を通じて、住民同士の交流とボランティアグループ間の協働関係を形成する。
(ユニバーサルボランティア)
- ・高齢者、障害者等の要支援者を把握するとともに、福祉マップ、防災安全マップづくりにより、地域助け合いネットワークの形成を図る。
(小地域助け合いネットワークづくり研究会)

●県外居住被災者への支援活動

【8年度】

- ・県外居住被災者（以下「県外被災者」）の実態把握が難しいなか、岡山県に避難している被災者への個別訪問による会員名簿作成、被災地情報や会員の状況を掲載した情報誌を発行する。(月1回)
(おかやま阪神会)
- ・同じ悩みを持つ県外被災者が集まり、心おきなく語り合える小人数の茶話会の開催を呼びかけたり、開催の支援を行う。(全国30回程度)
(街づくり支援協会)

【9年度】

- ・関東地方に居住する被災者同士のネットワークの拡大を目的に、各地での交流会の開催や会報の発行などを行うとともに、住宅、福祉、法律等の専門家を招いて相談に応じる。
(神戸YWCA救援センター支援会・東京)
- ・四国地方に居住する被災者同士が、互いに支え合えるネットワークを創っていくことをめざして、ふれあいトークやふれあい交流会を開催するほか、被災者の便りや行政サービスなどの情報を掲載した「かわら版」を発行する。
(四国被災者ネットワーク「hand in hand」)

【10年度】

- ・京都に住む被災者同士の定期的な茶話会・交流会の開催やハガキなどによる情報提供を通じて、交流と情報交換を図るとともに、今後被災者自身の主体的な活動として取り組み、仲間づくり、生きがいづくりを進めていく。
(震災県外避難者京都集いの会)
- ・香川県高松市春日町に住む被災者同士の親睦や地域との交流を深めることを目的として、地元ボランティアなどの協力を得て、週1回の交流会を実施する。
(ひまわり会)

【11年度】

- ・関東地方に住む被災者を支援するため、交流会の定期的な開催や会報の発行などにより、被災者同士のネットワークの拡大を図るとともに、住宅、福祉、医療などの専門家を招いて、学習会や個別相談会を開催する。
(神戸YWCA救援センター支援会・東京)
- ・大阪に住む被災者を対象に、語り合いの場としてふれあい喫茶を実施するほか、地域寄席に招待して、楽しいひとときを過ごしていただく。
(大阪・田辺救援活動グループ)

●恒久住宅移行後を見据えた新しいコミュニティづくりに資する長期的または広域的な活動

【10年度】

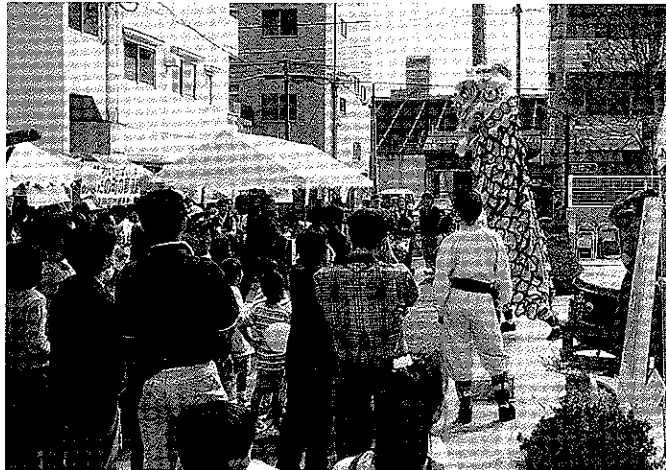
- ・須磨区名谷東復興住宅で、入居者や地域住民と協力して「ふれあい喫茶」「ふれあい昼食会」などを定期的に開催するとともに、自治的組織づくりのサポートを通じて、入居者が地域住民と気軽に交

流できるようコミュニティづくりを支援する。 (ボランティアグループさくらんぼ他2団体)
・垂水区内の復興住宅入居者を対象に、区内の各種施設、史跡の見学会を行い、日常生活に役立つ情報と地域の魅力を知ってもらうとともに、見学会を通して入居者同士の親睦やコミュニティの形成を図る。 (垂水生活文化協会 他2団体)

(事業評価)

生活復興を支援する多彩で、創意工夫に富んだ活動への助成金補助制度は、本来の趣旨である被災者の元気回復や仲間づくりにつながる一方で、結果として、ボランティア活動の資金繰りに苦勞している団体・グループにとって、資金調達面で副次的効果ももたらした。また、被災地(者)を取り巻く環境の変遷に呼応して、活動団体・グループが支援プログラムの組みかえなど柔軟に対応するなど、活動傾向の明らかなシフトが読みとれたひとつの事業例である。

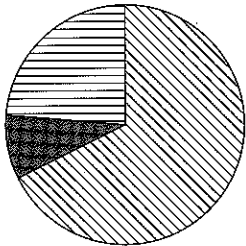
また、こうした動きが、震災を契機に芽生えた助け合い、支え合う新しいコミュニティづくりの活動を広げるひとつの気運になったことも否めない。



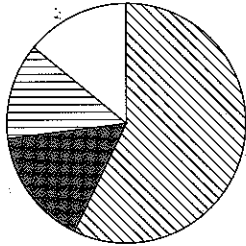
8
年
度

《助成対象活動別の内訳》集計用

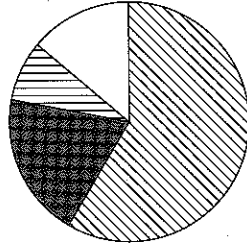
活動	年度	8	9	10	11
被災者の生きがい創造や、元気回復、仲間づくりを目的とした活動		40	74	72	48
恒久住宅移行後のコミュニティづくりに向けた活動		5	21	24	57
県外被災者への支援活動		14	17	10	—
恒久住宅移行後のコミュニティづくりに向けた長期的または広域的な活動		—	18	17	17
計		59	130	123	122



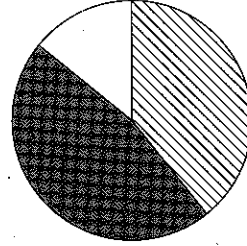
平成8年度



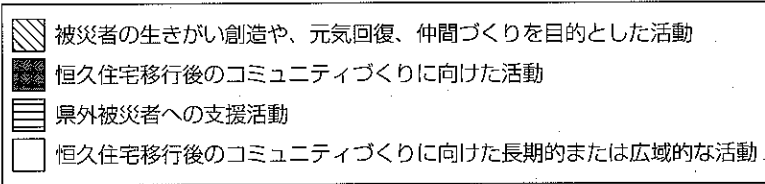
平成9年度



平成10年度

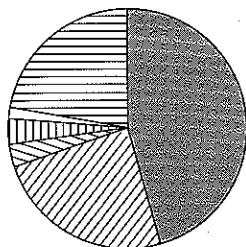


平成11年度

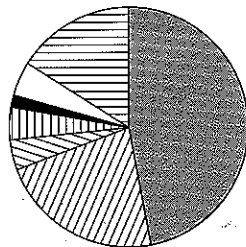


《地域別内訳》

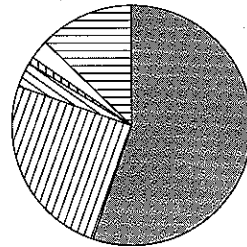
地域	年度	8	9	10	11
神戸地域		27	61	68	74
阪神地域		14	29	31	25
東播磨地域		2	5	4	3
西播磨地域		2	6	1	—
丹波地域		—	2	—	—
淡路地域		1	6	3	5
兵庫県外		13	21	16	15
計		59	130	123	122



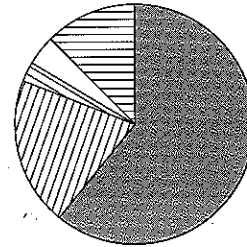
平成8年度



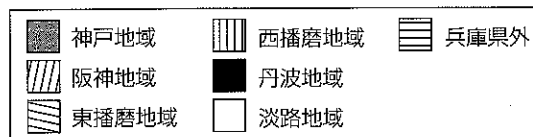
平成9年度



平成10年度



平成11年度



4 愛のもちより運動【平成8～10年度】

1 事業のあらまし

震災から2度目の年末を迎え、被災された方々と地域にお住まいの方々が、お互いの交流を図りながら明るい新年を迎えられることを願って、仮設住宅を中心に、被災各地で「もちつき大会」の開催を支援する「愛のもちより運動」を提唱した。

もちつき大会に取り組む団体等には、生活復興県民ネットに団体等から提供のあったもち米を配布する等の支援を行ったほか、生活復興県民ネット事務局でも県民や構成団体の参加によるもちつき大会を開催した。

2 これまでの取り組み

① もちつき大会の開催

被災地各地で、次のとおりもちつき大会が開催された。(生活復興県民ネットで把握できたもの)

平成8年度	163件 (P27参照)
9年度	136件
10年度	95件

② 県民の取り組みに対する支援

〈もち米の提供〉

兵庫県米穀事業協同組合をはじめとする団体・個人から提供されたもち米を、もちつき大会に取り組む団体等に配布した。

	(提供を受けたもち米)		(もち米の配布先)
平成8年度	1,090kg (3件)	→	34件
9年度	2,362kg (17件)	→	82件
10年度	1,663kg (7件)	→	84件

〈道具、出前もちつきボランティア〉

平成8年度の「愛のもちより運動」において、「もちつきしたいが道具がない」「もちつきをしてくれるボランティアを紹介してほしい」等の問い合わせが多かったため、9年度から、「道具、ボランティア」等のマッチングを図る制度を新設した。

〈マッチングの状況〉

	(きね・うす)		(出前もちつき)
平成9年度	17件	→	9件
10年度	7件	→	9件

③ 事務局主催もちつき大会の開催

各住宅の住民、各種団体等の参加により、もちつき大会を開催した。

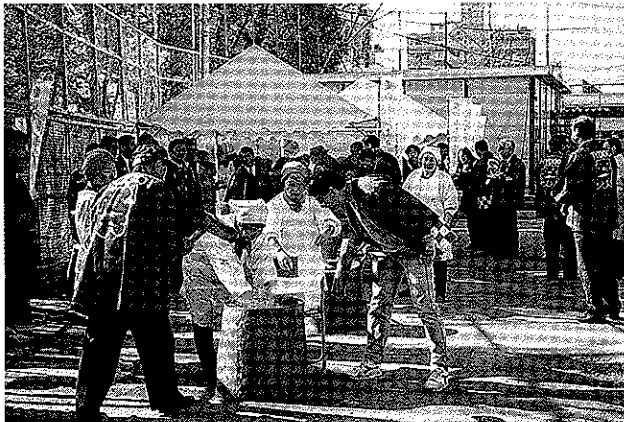
平成8年度 (平成8年12月27日)	王子南公園仮設住宅 (神戸市中央区)
9年度 (平成9年12月27日)	住吉公園仮設住宅 (神戸市東灘区)
10年度 (平成10年12月13日)	県営岩屋北町住宅 (神戸市灘区)

〈王子南仮設住宅でのもちつき大会から〉

震災から2回目の正月を間近に控え、仮設住宅に住んでいる被災者に不安な気持ちを皆で吹き飛ばし、元気に新年を迎えることを願い、役所の御用納めの12月27日、中央区大日通りの王子南仮設住宅で、生活復興県民ネット主催の「もちつき大会」を開催した。

同仮設住宅では初めてのもちつき。開催にあたっては、兵庫県米穀事業協同組合、兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県生活改善実行グループ連絡協議会、及び兵庫県プロパンガス協会から、物資提供（餅米、のり、プロパンガス等）の協力を得た。

当日は、好天にも恵まれ、住民の方約70名、新野生活復興県民ネット代表をはじめ参加団体からも30名と大勢の方が参加して行われた。貝原兵庫県知事も途中から駆けつけていただき、一緒におもちをついたり丸めたり、終始、和気あいあいとした雰囲気の中、100kgのおもちをつきあげ、楽しいひとときを過ごした。



（事業評価）

震災から2回目の年末・年始を前に、生活再建も思うにはかどらず、もちつきどころの心境ではない状態の被災者の方を、少しでも元気づけ、明るく新年を迎えていただくために事業化されたものである。

つきあがったもちを前に「これで安心して正月が迎えられる」といった、安堵にも似た感謝の声が多く聞かれるなど、仮設住宅に住む被災者の方々にとって、平成8年12月から始まった、神戸の冬の風物詩として定着しつつある「ルミナリエ」ともども、将来への希望や明日への光明を見いだす一つのきっかけとなったと考えられる。

8
年
度

〈もちつき大会実施状況〉（8年度）

主催者 地域別	仮設自治会		ボランティア等		フェニックスステーション		合 計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
神戸	16 (16)	2,170 (2,170)	64 (42)	11,903 (5,871)	10	1,120	90 (58)	15,193 (8,041)
阪神	12 (12)	1,675 (1,675)	23 (5)	6,396 (1,140)	3	800	38 (17)	8,871 (2,815)
東播磨	—	—	9 (8)	2,160 (2,060)	4 (1)	1,600 (200)	13 (9)	3,760 (2,260)
西播磨	—	—	5 (5)	600 (600)	—	—	5 (5)	600 (600)
淡路	1 (1)	76 (76)	11 (2)	1,093 (54)	2	250	14 (3)	1,169 (130)
その他	2 (2)	300 (300)	1	200	—	—	3 (2)	500 (300)
合 計	31 (31)	4,221 (4,221)	113 (62)	22,352 (9,725)	19 (1)	3,770 (200)	163 (94)	30,343 (14,146)

* () は内数で、仮設住宅内で実施された件数を示す。

* 「その他」の内訳は、大阪府下の仮設住宅2件、丹波地域1件。

〈参考〉県下仮設住宅団地数（一部大阪府下含む） 634団地

（内訳）

- ・自治会の有る仮設団地 352団地
- ・ふれあいセンターのある仮設団地 231団地
- ・その他 51団地

8年度

5 県外被災者生活復興フォーラムの開催【平成8～9年度】

1 事業のあらまし

県外に避難し、慣れない土地で何かと不自由で不便な生活を余儀なくされ、また、情報不足等から、復興に取り残されるのではないかと不安を抱いている人たちの生活復興に向けて、被災者本人をはじめ、県内外の各種団体、ボランティアグループなど、広く県民が一堂に集い、ともに話し合い、連携して支援できる活動について考えるフォーラムや県職員による生活復興関連施策（復興住宅4次募集、生活再建資金）の説明会を開催した。

同時に、ボランティアの手作り料理などを囲んで、参加者同士が交流、互いの悩みを語り合う参加者交流会も開催した。

2 これまでの取り組み

(1) 県外被災者の生活復興を考えるフォーラム

- ① 日 時 平成8年12月14日（土） 13：30～15：30
- ② 場 所 兵庫県教育会館 5階ホール
- ③ テーマ 「みんなで考えよう 県外被災者への支援」
- ④ 参加者 150人
- ⑤ 内 容 パネルディスカッション
〈コーディネーター〉品田 充儀（神戸市外国語大学助教授）
〈パネリスト〉山田 一彦（広島市在住）
清島 輝夫（枚方市在住）
車谷美枝子（大阪市在住）
中西 光子（市外・県外避難者ネットワークりんりん事務局長）
在里 俊一（神戸西・助け合いネットワーク代表）
藤田 三儀（コープこうべ第6地区本部長）

《参加者の声》

（県外に住む被災者）

- ・ 県内の被災者と平等に取り扱ってほしい。
- ・ 県外被災者の生活実態の調査をしてほしい。
- ・ 知らない所での一人暮らしのなか、県が郵送をはじめた「ひょうご便り」は嬉しかった。
- ・ 広報誌を通じて情報は入るが、きめ細かな情報は入らない。
- ・ 仮設住宅は孤独と言われるが、県外に避難している者はもっと孤独だ。
- ・ 兵庫県から遠く、ボランティアの援助もないので、協力してほしい。

（ボランティア・生活復興県民ネット参加団体）

- ・ 茶話会のお世話をしているが、場所代や通信費がかかる。
- ・ 心のケアで、前向きになれるようにすることが必要だ。
- ・ 被災地と県外被災者の情報のパイプ役になるとともに、全国的な対応も検討したい。
- ・ 全国のネットワークを活用すれば、様々な支援ができる。

(コーディネーター)

- ・ 県外被災者の実態把握が難しい。県外被災者は自分の連絡先を市町に知らせてほしい。
- ・ 県外被災者は県内でのサービスを受けにくい。
- ・ 将来どこに住みたいかの希望がバラバラで一律の対応が難しい。
- ・ このフォーラムが続くことで、県外被災者の問題に対する県内の方の意識を高めれば、心のつながりができてくる。
- ・ ネットワークづくりを進めて、失望感を希望や自立へ向けることが大切。



(2) 県外に住む被災者のための集い

- ① 日 時 平成9年10月5日(日) 11:00~15:00
- ② 場 所 兵庫県中央労働センター 大ホール・小ホール
- ③ テーマ 「仲間づくりから始めよう 一人ひとりの生活復興を！」
- ④ 参加者 150人
- ⑤ パネルディスカッション
 - 〈コーディネーター〉 山口 一史 (財団法人神戸新聞文化財団常務理事)
 - 〈パネリスト〉 川島 景司 (和歌山県に住む被災者)
 - 妹尾 実 (岡山県に住む被災者)
 - 林 康文 (滋賀県に住む被災者)
 - 逢沢 詳子 (“ソクラテスプロジェクト”メンバー)
 - 佐々木 俊彦 (生活復興県民ネット事務局参与)

《参加者の声》

(県外に住む被災者)

- ・ 生活復興県民ネットの「ふるさとひょうごキャラバン隊」による交流会をきっかけに、被災者グループ「あじさい和歌山」が平成9年6月に発足し、例会を重ねるごとに参加者が増えている。
- ・ 「おかやま阪神会」を平成8年7月に結成。避難した者同士が一緒になれ、心を癒すことができるようになった。また、行政やボランティアからの情報が入りやすくなった。
- ・ 東京などの離れた地域とか、時間が経つにつれ、情報の伝わり方などに温度差が出てきている。震災は他人事ではなく、誰もが、いつ、どこで悲惨な災害にあうかわからないことを理解してもらうことが、自分にできることだと思う。

(ボランティア・生活復興県民ネット参加団体)

- ・被災者の交流会を重ねるごとに、少しずつ変化が出てくる。自分たちで何かやってみようとか、特技を皆に伝えていきたいという思いが膨らみ、すごいなぁと感じている。私たちにできることは、こういった会を続けていくことだと思う。
- ・「ふるさとひょうごキャラバン隊」で、関東、中部、近畿、中国、四国の11都県に赴いたが、一番よかったのは、その地域のボランティアグループが応援してくれたこと。
- ・皆さんがそれぞれの地域に戻られたら、多くの被災者の方に声をかけ、この集いをより大きな輪に広げてもらいたい。

(コーディネーター)

- ・自分で望んで県外に出られたわけではないので、同じ体験を持った方々が集まり、話し合いを持って、体験を大事にしながらかに進んでいく場づくりが必要だ。
- ・県外に出られた方も、県内におられる方も、つなぎの役割をいろんな場所で果たしていかなければならない。そのことが、県外に出られた方の毎日の暮らしの張り合いにつながるのではないか。



(事業評価)

震災による県外転出者は、住民基本台帳に基づく推計で約5万5千人(9年10月)。しかし住民票を移していない場合もあり、実際はさらに上回る。国や自治体による調査は一度もなく、その実数が明らかでない県外に避難した者の生活実態が垣間見れるとともに、「神戸に早く帰りたい」「忘れられているのではないか」という焦りにも似た切なる思いが明らかになったことは、フォーラムの大きな意義といえる。

また、県内では、多くのボランティアグループ等が生活復興に向けた多彩な活動を展開しているが、県外に居住する被災者には積極的な支援活動が展開できていない状況のなか、行政、企業、ボランティアなどが、生活復興に向けた具体的な支援のあり方を考える機会につながり、一方では、県外に避難した者のネットワークづくりや仲間づくりの自主的な動きを盛り上げる一つの機運となった。

6 ふるさとひょうごキャラバン隊派遣事業【平成8～9年度】

1 事業のあらまし

住み慣れた土地を離れ、情報が入りにくい県外に避難した被災者同士の仲間づくりや自主的なネットワークのきっかけづくりを支援しようと、生活復興県民ネットの参加団体等により編成された「ふるさとひょうごキャラバン隊」を、関東、中部、近畿、中国、四国など、11都府県に派遣。

それぞれの避難先で「ふるさとひょうご交流会」を開催し、兵庫県に帰りたいと願う被災者同士が、ひょうごの物産を味わいながら、被災体験や生活復興への思いをともに語り合った。

〈ねらい〉

- ① 県外被災者同士の地元でのネットワークづくりを進める。
 - ・この交流を契機に地元での県外被災者の会をつくってもらうよう働きかける。
 - ・県外被災者の会ができた後は、当該県外被災者の会に生活復興県民ネット参加団体等が継続的な支援をする際の窓口になってもらう。
- ② 同じ被災体験をした者同士が互いに辛い思いを吐き出す機会をつくることで、次のステップに進む道を見いだす（被災者同士による心のケア）。
- ③ 直接、生活復興県民ネットの参加団体が県外被災者と接する機会を設けることで、その後の継続的な支援活動をする契機とする。
- ④ 生活復興県民ネットの参加団体の中には、全国的な組織を有する団体もあることから、これらの組織的な活動を誘因するきっかけとする。

〈交流会の主な内容〉

- ① 自己紹介
- ② グループに分かれて懇談
- ③ 短冊づくり
- ④ 参加者名簿づくり（親睦会の結成）
- ⑤ 「ふるさと」の合唱

(交流会の様子)



2 派遣先

目 程	派 遣 先	交流会開催場所	県 外 避難者	地 元 ボランティア
平成9年3月23日(日)	岡山県赤磐郡山陽町	山陽団地	40人	—
平成9年4月20日(日)	滋賀県大津市	大津市社会教育会館	20人	—
平成9年4月27日(日)	愛知県名古屋市	ウイル愛知(愛知県女性総合センター)	32人	7人
平成9年5月11日(日)	和歌山県和歌山市	和歌山市勤労者総合センター	10人	1人
平成9年5月18日(日)	三重県津市	三重県勤労者福祉会館	12人	1人
平成9年8月30日(土)	東京都中央区	ひょうご倶楽部・東京	30人	3人
平成9年8月31日(日)	埼玉県浦和市	浦和商工会議所会館	7人	4人
平成9年8月31日(日)	千葉県千葉市	千葉市文化センター	22人	10人
平成9年9月6日(土)	香川県高松市	香川県社会福祉総合センター	13人	7人
平成9年9月7日(日)	徳島県徳島市	徳島市立文化センター	10人	5人
平成9年9月7日(日)	愛媛県松山市	愛媛県視聴覚福祉センター	9人	—
合 計	11カ所		205人	39人

ふるさとひょうごキャラバン隊に参加して

私たちは、「ふるさとひょうごキャラバン隊」に参加して各地に出向き、「ふるさとひょうご交流会」を開催しました。会場に着くまでは果たして何人の方が来られているんだろうかと不安な気持ちで行きます。

どこの会場でも、兵庫県からわざわざ出向いて集いを開いてくれたことや、なつかしい神戸や阪神間の人達に会えたことなど、みなさんから大変感謝されました。

まず、異口同音におっしゃることは、こちらでは被災者の気持ちを理解してくれる人がいないので寂しい思いをしてきたこと、やっと被災者のことが分かってくれる人と会えてうれしいということでした。

そして、「自分たちが住んでいた被災地の状況はどうなっているのか」「親しい人と連絡が取れなくて困っていること」「早く帰りたいけど受け入れがどうなっているのか」「なぜ、自分たちには仮設住宅の募集情報が来なかったのか」「行政の被災者支援とか住宅に対する支援はどうなっているのか」など全く情報が入ってこないなかで大変不安であったことなどを涙ながらに、一気に話されます。

もっと早く訪ねたら良かったと云うちょっぴり反省もしますが、同じように県外の知り合いを訪ねて避難している人が一同に集まったこと、どんな思いで生活をし、何を希望しておられるか、どこで被災した人がどこに住んでいるかなどの情報が把握できたことなどの多くの成果がありました。そして、この集いは県外の被災者から本当に感謝されたすばらしい企画でした。

(事務局参与：日本労働組合総連合会兵庫県連合会 在里俊一)

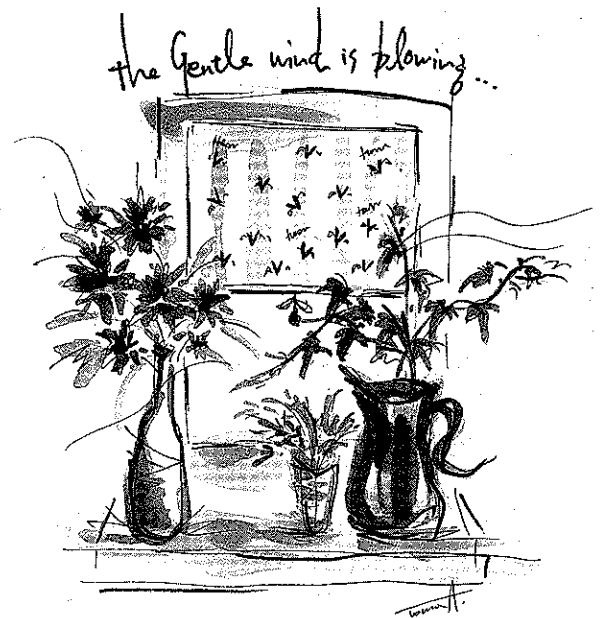
(事業評価)

このキャラバン隊派遣事業は、平成8年12月に開催した「県外被災者の生活復興を考えるフォーラム」を通じて、生活復興に向けてのさまざまな課題が出され、その解決策のひとつとして、避難先での自主的組織の必要性が認識されたことを受け、その組織づくりのきっかけを提供し、応援するために企画された。

同じ境遇にある者が、ふるさとひょうごの思いや生活復興への課題を語り合うことを通じて、不安や孤立感を和らげ、お互いの交流を深める機会になるとともに、これを機に、全国各地で、被災者同士の自主的な集いの開催やグループの結成が図られるなど、慣れない土地での暮らしのなかで、ともすれば孤立しがちな思いを持つ県外に避難された方の“横のつながり”をつくるひとつのきっかけとなった。

また、きっかけづくりだけにとどまらず、その後の活動を息長くフォローできたのも、生活復興県民ネット構成団体の全国各地のネットワーク網が有効に機能したからであり、生活復興県民ネットのネットワークが最も活かされた事業例のひとつであったと言える。

8
年
度



平成9年8月24日 朝日新聞

8月24日 日曜日 夏月

地元離れた被災者同志 つながりを探る交流会

県民ネット
浦和で31日

阪神大震災で被災し、県内にもひびく引越してきた人同士の交流を図ろうと、被災者支援を進める「生活復興県民ネット」（事務局・神戸市）は三十日、浦和市高砂の浦和商工会議所会館で「ふるさとひょうご交流会」を開く。

兵庫県外に移住した人の中には、新しい土地での生活に孤独を感じる人もいる。兵庫に戻りたくても住宅情報がなく困っている人もい

る。そんな被災者を励まし、情報交換ができればという。

同ネットは、今春から兵庫県外の被災者を対象に、交流会を開いており、すでに大津市や和歌山市など四カ所で実施した。

「土地の事情がわからず、家に閉じこもりがちになる」、「神戸弁を聞くことができてうれし」となどの声があったという。和歌山市では交流会をきっかけに、ボランティア団体の支援を受けながら、常設のネットワークづくりが始まった。そこで同ネットは浦和市をはじめ関東地方でも交流会を開くことにした。

当日は、参加者にはこれまでの暮らしや悩みを話してもらい、そのうえで被災者同士のネットワークづくりを促したいという。

問い合わせは同ネット事務局（☎078-3222222・762222）。

平成9年9月7日 山陽新聞

震災疎開者ら交流

高松 近況報告や名簿作製



被災当時の状況や近況を話し合う交流会参加者ら

県内に疎開している阪神・神戸市）は六日、高松市大震災の被災者同士の交流、番町、県社会福祉総合センターとネットワークづくりを進める「ふるさとひょうご交流会」を開いた。

「生活復興県民ネット」（事務局や、県内の親類宅に身を寄

せている被災者ら十五人が参加。自己紹介の後、疎開までの経緯や近況を報告し合ったほか、主催者側から神戸市周辺の復興状況について説明を受けた。参加者の中には、見知らぬ土地で暮らす孤独や悩みを訴える人もいたが、懐かしい神戸弁が飛び交う会場で、それぞれがひと時、故郷に戻った気分になった。

兵庫県西宮市の自宅が全壊したため、妻と二人で高松市内の県営団地に疎開してきた男性（こ）が「経済援助など行政の支援体制が不十分のため、帰りたいけど帰れないのが実情だ」と不満を漏らすと、何人もが共感の面持ちでうなずいていた。

交流会ではこの後、参加者同士の連絡用の名簿を作製。また、会に参加したボランティア団体など県内の支援団体が、被災者の交流

組織結成に向けて協力していくことも申し合わせた。生活復興県民ネットは昨年十月に発足。関東・近畿圏を中心に疎開被災者の交流会を開いているが、四国での開催は初めて。和歌山県では会をきっかけに交流組織が結成されるなど、各地で被災者同士のネットワークづくりが進んでいるという。

平成9年8月31日 東京新聞

神戸の被災者が交流会



東京周辺に移住している阪神大震災の被災者同士のネットワークづくりを進めようと「ふるさとひょうご交流会」が三十日、神戸で開かれ、被災者三十人が出席した。

交流会は兵庫県の商工会議所や連合婦人会、各市民団体など五十一団体でつくる「兵庫県復興民ネット」事務局一が主催。参加者たちはほぐれが初対面だったが、「関西弁が懐かしい」、「神戸のあの店の豆腐をまた食べたいわね」など久しぶりの同郷人との交流に会話も弾んだ。

しかし、今なお震災の傷が心に残る人も少なくない。神戸市兵庫区で被災し、住居とともに仕事も失った山崎清美さん（東

久し振りの同郷人同士の交流に会話も弾心被災者一東京・中央区の「ひょうご倶楽部・東京」でやっても解かない。自分が悪いのは分かっているが……」と嘆く。

神戸市長田区で被災、東京都中央区に女と同居する女性（仮名）も同じような思いを抱えている。神戸に帰りたいが帰ったと云え仕事がないのでと涙。

同ネット事務局では二十一日にも、同様の交流会を埼玉県と千葉県で開く。会場は埼玉県の浦和商工センター（電話048・639・7700）、千葉県は千葉市文化センター（電話043・2224）8時～11時、いずれも午後二時から入場無料の先から何者ら。

平成9年9月8日 徳島新聞

「ふるさとひょうご交流会」

県内の被災移住者弾む

阪神・淡路大震災で被災した約二万五千人を離れ、徳島県内に移り住んでいる被災者のネットワークづくりを進めようと「ふるさとひょうご交流会」が七日、徳島市内の市文化センターで開かれ、11人が参加した。



徳島県内に住む震災被災者が集まった「ふるさとひょうご交流会」＝徳島市文化センター

神戸の近況^なと交換

交流会は兵庫県の各種団体をつくる「兵庫県復興民ネット」(代表、新野幸次、神戸市長田区)の呼び掛で開かれた。事務局は「ふるさとひょうごキャラバン隊」の四人も参加した。参加者は自紹介した。参加者は「いい情報交換の場になった」と交流会開始を喜んだ。

同ネットは、被災者池田、兵庫県内の公営住宅の募集状況の情報を交換し、各地に出向いて被災者相互に支援を呼びかけ、神戸、東京、海部、愛知など九都府県には「神戸に帰る」県内交流会を開いている。

ます「家には帰って来ないままに、被災で県外移住を余儀なくされた被災者の生活の立て直しを図って来た被災者の気持ちを分かち合った。

神戸市長田区の自らが全神戸市長田区に移り住んでいる大木さん(仮名)は「これまで被災者同士で話をする機会がなかった。きょうは本気で話した。被災者同士の情報交換の場になった」と交流会開始を喜んだ。

8年度

ふるさとひょうごキャラバン隊派遣状況

No.1

県名	実施日等	参加者の主な意見	備考(成果等)
岡山	平成9年3月23日(日) 岡山県赤磐郡山陽町 山陽団地 (県外被災者) 40人 (地元ボランティア) 0人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 5人 ・生活復興県民ネット事務局員 5人	<ul style="list-style-type: none"> ・市民税、国民健康保険料等、義務的な請求はきつちり来るが、義援金、住宅募集等の肝心の案内や情報は来ない ・公営住宅は、県外被災者は阻害されているのかほとんど当たらない。 ・県外被災者は住宅の申し込み用紙を取り寄せるのも容易ではない。募集の広報には申込用紙と一緒に送付してほしい。 ・義援金の配分に不信を持っている。 ・被災者名簿を行政はプライバシーの観点から公開してくれない。そのため、会の名簿づくりが難しい。 ・兵庫県に戻りたいが、今、通院している病院との関係で戻れない。 ・バスの便が少なく不便。しかし、利用者が少ないので増便してもらえない。 ・今日の訪問は、ここへ避難してきてから一番嬉しかった。喋って歌ったら、今まで鬱積していた思いが涙になって抑えられなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、県外被災者の自主的な会ができていないところ、あるいは県外被災者を支援するボランティアグループ等がないところに出向き交流会を早期に開催することで、県外被災者の自主的な組織づくりを支援することを、キャラバン隊メンバーで確認した。
滋賀	平成9年4月20日(日) 大津市社会教育会館 (県外被災者) 20人 (地元ボランティア) ・コープしが 5人 ・阪神大震災子供を助ける会 2人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 7人 ・生活復興県民ネット事務局員 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人に震災の話をしてもらってささやかされてもらえない ・義援金をたくさんもらっていると誤解されている。 ・神戸に戻りたいが、子どもの学校のこともあってしばらくは滋賀県で暮らすつもり。 ・阪神間に比べて交通が不便。時刻表をたえず見て動かないといけな。 ・行政に住宅相談の電話をかけても話し中のことが多く、なかなかつながらない。 ・支援制度が複雑で、いちいち元住んでいたところまで戻らないといけな。 ・民間賃貸住宅の家賃補助があることをいままで知らなかった。 ・復興住宅の一元募集では、仮設住宅優先で県外避難者にはあたりにくい。 ・「ひょうご便り」で様々な情報を得ているが、発行の回数を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会には、兵庫県社会福祉協議会の呼びかけで、「コープしが」のボランティアが参加し、今後、滋賀県に避難されている方の会のお世話をしてくださることになった。 ・また、京都府のボランティアの方からは、京都府に避難されている方のお世話をしているので滋賀県と京都府にそれぞれ避難されている方の会が交流を図れるようにしていきたいと申し出があった。 ・コープしがの呼びかけで7月20日に第2回目の交流会が開かれることになった。
愛知	平成9年4月27日(日) ウイユ愛知 (県外被災者) 32人 (地元ボランティア) ・ウイズユー あいち 1人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 5人 ・生活復興県民ネット事務局員 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・復興住宅の入居について、仮設住宅に住む人ばかりが優先されるのはおかしい。 ・本当は仮設に入りたかったが震災前から飼っているペットと一緒にではダメだと言われて仕方なく名古屋に来た。 ・愛知の人と仲良くなろうと生協などに入ったが、仲間に入れてもらえず孤独である。 ・テレビなどで、未だに学校や待機所などに避難している人を取り上げていたが、どうしてそういう人を取り上げるのか、見てみると腹がたつ。 ・愛知県に避難している人がどれだけいるのか教えてほしい。自分の近所に神戸から避難している人がいるのかどうか知りたい。 ・神戸弁を聞くことができ涙が出るほどうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のボランティアグループ「ウイズユー あいち」の支援により今後継続的に交流会を開催することになった。

ふるさとひょうごキャラバン隊派遣状況

No.2

8年度

県名	実施日等	参加者の主な意見	備考(成果等)
和歌山	平成9年5月11日(日) 和歌山県勤労者総合センター (県外被災者) 10人 (地元ボランティア) 1人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 4人 ・生活復興県民ネット事務局員 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・西宮市で文化住宅に住んでいて全壊し、仮設住宅を申し込んでいた矢先に、和歌山県での受け入れの新聞記事を見てこちらにやってきた。和歌山県の公営住宅は、畳も新しく、家庭用品や洗剤なども市が用意してくれ、ありがたかった。 ・兵庫区の夢野で被災。現在は、神戸に戻りたいという気持ちと、こちらで暮らしていこうという気持ちがかた半である。 ・和歌山県は思っていたより寒かった。また、引越しをしてから子どもがいじめられたりもした。親は西区西神中央の仮設住宅に住んでおり、是非神戸に帰りたいと思うが、仮設住宅では5人は暮らせないので、公営住宅が当たるまではこちらにいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本日参加された方のほかにも県宮川永団地には神戸出身の方が2、3組いるという情報があった。 ・話が進むうちに、参加者の中から「親睦会をつくらう」という声が出てきたため、連絡係2名を、参加者同士の話し合いで決めた。また、兵庫県社会福祉協議会の呼びかけで和歌山県社会福祉協議会を通じて交流会に参加された地元ボランティア「グループこえ」から、この会の支援をしたい旨の申し出があった。 6月11日第2回の交流会が開催され、親睦会の名称が「あじさい和歌山」に決定、今後毎月11日に月例会を行うことになった。
三重	平成9年5月18日(日) 三重県勤労者福祉会館 (県外被災者) 12人 (地元ボランティア) 2人 ・地元ボランティア 2人 ・三重県生活文化部NPO担当 1人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 5人 ・生活復興県民ネット事務局員 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・独り暮らしをして寂しいので元の家の辺りに戻りたいが年金で住める公営住宅が建たない。 ・こちらでは、役所をはじめ、皆さんに大変親切にいただいているが、神戸のことは忘れたことがない。 ・土地の事情がわからず、知り合いもないため、つい家に閉じこもりがちになってしまう。 ・震災後、好きで県外に避難したわけではないのに、仮設に入っている人が優遇されることに憤りを感じる。 ・これまで、三重県に移ってきて寂しい思いをしてきたので、今日このような会をしていただいて、本当にうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会の最後に、親睦会の結成について提案したところ、出席者全員が賛成し、世話人として2名の方が選ばれた。
東京	平成9年8月30日(土) ひょうご倶楽部・東京 (県外被災者) 33人 (地元ボランティア等) ・神戸YWCA支援会東京 3人 ・街づくり支援協会 1人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 6人 ・生活復興県民ネット事務局員 4人	<ul style="list-style-type: none"> ・被害者意識が抜けなくて周りに甘えてしまい、人間関係の失敗から何をやっても続かない。 ・何もしてくれない役所に最初は腹を立てたが、今は自分が頑張らないと、と思うようにしている。 ・神戸に帰りたいが、帰ったところで仕事がない。 ・関西弁が懐かしく思う。 ・神戸のあの店の豆腐がまた食べたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの交流会に比べて、参加された方は、お互いが積極的に話をされ、明るい雰囲気であった。 ・閉会になっても、なかなか席を離れず、名残惜しそうであった。 ・今後は、神戸YWCA支援会東京により、交流会等の支援をしていただくことになった。

ふるさとひょうごキャラバン隊派遣状況

No.3

8
年
度

県名	実施日等	参加者の主な意見	備考(成果等)
埼玉	平成9年8月31日(日) 浦和商工会議所会館 (県外被災者) 7人 (地元ボランティア等) ・神戸YWCA支援会東京 2人 ・埼玉コープ 1人 ・埼玉ライオンズクラブ 7人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 3人 ・生活復興県民ネット事務局 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫に戻りたくても住宅情報がなく困っている。 ・募集や災害給付など各種の情報、サービスが得にくい。 ・新しい土地での生活になじめず寂しい毎日を送っている。不安であり孤独を感じる。 ・土地の事情がわからず、家に閉じこもりがちになる。 ・神戸弁を聞くことができうれしい。 ・こちらにも自分と同じような被災者がいると思っていたので、今日、出会えてうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が少なかったため、じっくり話をする事ができたようだ。 ・感極まって涙を流す人もいたが、全員が今回のような交流会を期待されていた。 ・今後は、神戸YWCA支援会東京及び埼玉コープにより、交流会の支援をしていただくことになった。
千葉	平成9年8月31日(日) 千葉市文化センター (県外被災者) 22人 (地元ボランティア等) 神戸YWCA支援会東京 2人 ・千葉コープ 1人 ・千葉ライオンズクラブ 2人 ・千葉市役所 2人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 3人 ・生活復興県民ネット事務局員 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉に暮らす被災者は私達だけだと思っていたので、同じ体験を持つ多くの人に出会い、胸が熱くなった。相談できる知人がいないことが一番つらかった。 ・2年半経った今も千葉になじめず、関西にいつ帰ろうかと考えていたが、今は、前向きに生きなければと努力している。 ・何か情報が得られるのではと思って参加した。 ・子どもが自閉症になり、転勤願いを出してこちらにやってきた。 ・第4次の公営住宅一元募集にあたれば帰りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、神戸YWCA支援会東京及び千葉コープにより、交流会等の支援をしていただくことになった。
香川	平成9年9月6日(日) 香川県社会福祉総合センター (県外被災者) 13人 (地元ボランティア等) ・高松市女性センター 1人 ・がんばりまい倶楽部 2人 ・セカンドハンド1人 ・四国学院大学 1人 ・こころのケアセンター 2人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット事務局参与 3人 ・生活復興県民ネット事務局員 4人	<ul style="list-style-type: none"> ・いつかは神戸に帰りたいが、高松にも愛着ができた。 ・神戸の人と、こうして会える日を、今か今かと待っていた。 ・皆さんの話を聞いていると、とても懐かしい。芦屋に帰りたい気持ちはあるが、もう年なので周りの人には親切にされ感謝しているが、やはり神戸に帰りたい。 ・長い間住んでいた神戸の町に愛着があり、住民票をまだを移していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ震災時の苦労話をされ、中には全壊して6時間後に救出されたという人もいた。 ・第4次の住宅募集のことを質問される方が多かった。 ・高松市女性センター、四国学院大学、地元のボランティアグループ「がんばりまい倶楽部」「セカンドハンド」の方が、今後の交流会の支援をしていただくことになった。

ふるさとひょうごキャラバン隊派遣状況

No.4

県名	実施日等	参加者の主な意見	備考(成果等)
徳島	平成9年9月7日(日) 徳島市立文化センター (県外被災者) 10人 (地元ボランティア等) ・淡路のフェニックス 推進員 1人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット 事務局参与 2人 ・生活復興県民ネット 事務局員 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・悪天候にもかかわらず、10の方が参加され、大変盛況な交流会となった。 ・当初は寂しかったが、最近、こちらのいろいろな所に毎日出歩くようになり楽しい。 ・恒久住宅の募集を見ても、元の場所に帰るのは難しい ・県外避難者向けの住宅募集などに対する不満や質問が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、引き続きこうした交流会を続けてほしいという声が多かったため、参加者の中から世話人を決めた。
愛媛	平成9年9月7日(日) 愛媛県視聴覚福祉センター (県外被災者) 9人 (キャラバン隊) ・生活復興県民ネット 事務局参与 1人 ・生活復興県民ネット 事務局員 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・当初参加申し込みが2人しかなかったため、会の成立が心配されたが、当日は予定者のほか7人が参加された。 ・参加者からは、こうした交流会が開催されるのを心待ちにしていたという声が多かった。 ・子どもに障害があり、避難所では長く生活できず、県外に避難した。 ・人口透析をしているため、水のない被災地では生活できず、親戚を頼って愛媛にきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元ボランティアの参加がなかったが、今後もこうした交流会を継続したいという意向であるので、支援してもらえぬ地元ボランティアを生活復興県民ネットで探すこととなった。

8年度

7 情報提供事業(情報誌“ハートネット”の発行) [平成8年度～]

1 事業のあらまし

被災者の生活復興に向けて、生活復興県民ネット参加団体やボランティアグループが取り組んでいる多彩な支援活動や「フェニックス出合いの広場」に寄せられる生活復興を支援するプラン、同ネットの事業全般を紹介する情報媒体として、同ネット発足1ヶ月後の平成8年11月に、情報誌“ハートネット”を創刊。

以来、今日まで、仮設住宅～仮設から恒久住宅への移行期～恒久住宅での本格的な生活復興期など、被災者(地)の生活環境の変遷や復興のステージに応じて、その時々ホットな情報や旬の話題、被災地発の元気情報、地域活動に役立つお知らせや助成情報など、できるだけタイムリーに取り上げ、紙面も見やすくわかりやすくをモットーに、毎月1回、広く情報提供、発信(14年3月:53回)している。

2 発行部数、送付先等

- ・発行日 毎月1回(25日)
- ・発行部数 1万7千部
- ・送付先 3,300カ所(14年3月末)

(主な発送先)

NPO・ボランティア	1,000	地域活動ステーション	280
個人(復興住宅等)	800	市区町	100
民間企業	450	市区郡町社会福祉協議会	100

(発送先・印刷部数の推移)

発行年月	8.11	9.4	10.4	11.4	12.4	13.4
発送先	1,373	1,547	2,365	2,509	3,262	3,341
印刷部数	10,000	20,000	20,000	20,000	17,000	17,000

3 ハートネットの主な特集内容

【第3号】“愛のもちより運動”が、各地で展開されました(9年1月号)

生活復興県民ネットは、仮設住宅の被災者が元気を取り戻し新たな心で新年を迎えることを願い、“愛のもちより運動”を提唱していた。兵庫県米穀事業協同組合等から1トン強のもち米や、もち粉、兵庫のり。うす・きねなどの機材の提供を受け、被災地各地で「もちつき大会」を実施した。

事務局でも、王子南仮設住宅(神戸市中央区)で貝原知事(当時)や新野代表も参加のともちつき大会を開催し、その模様を紹介した。

【第6号】ふるさとひょうごキャラバン隊結成!(9年4月号)

平成8年12月に開催した「県外被災者の生活復興を考えるフォーラム」で出されたさまざまな課題に向

け、生活復興県民ネット参加団体による「ふるさとひょうごキャラバン隊」を結成した。各地の避難先で被災者が一同に会する「ふるさとひょうご交流会」を開催し、県外被災者の思いを被災地に届けるため、震災から今日に至るまでのさまざまな思いを短冊につづってもらった。

紙面では、おかやま阪神会と滋賀県での交流会を紹介。その他、愛知県、和歌山県、三重県にキャラバン隊を派遣することを周知した。

【第7号】あなたも“引っ越し手伝い運動”に参加しませんか！（9年5月号）

仮設住宅から復興住宅への移行に伴い、高齢者や障害者の引っ越し作業をお手伝いする「引っ越し手伝い運動」を提唱。市民組織「市民版引っ越しプロジェクトネットワーク」と連携し、ボランティアの登録を呼びかけたり、引っ越し手伝いの依頼者とのコーディネートを行った。

また、事務局員2名が実際に引っ越し手伝いに参加し、体験を紹介した。

【第14号】《座談会》—震災から4年目を迎え、ボランティアの新たなステップをめざして—（9年12月号）

震災4年目を迎えるにあたり、ボランティアグループの抱えている課題についてどのように取り組めばよいのか、また、生活復興県民ネットはどのような役割が期待されるのかなどについて、座談会方式で紹介した。

出席者：堀内正美（がんばろう!! 神戸代表）

黒田裕子（阪神高齢者・障害者支援ネットワーク副代表）

実吉 威（震災・活動記録室代表）（当時）

〈その他〉

【第9号】（9.7）被災地の子どもたちの心のケア

【第16号】（10.2）学生のみなさん！春休みを使ってボランティア活動を試してみませんか

【第17号】（10.3）外国人とともに生きるまちづくりをめざして

【第18号】（10.4）「生活復興NPO情報プラザ」がオープンしました

【第21号】（10.7）「男もカンタンにできるいどばた料理教室」開催中!!

【第24号】（10.10）芸術文化をとおして心の復興を

【第26号】（10.12）がんばっています!!まちづくり

【第32号】（11.6）「ひょうごコミネット（コミュニティ&コミュニケーション）」がスタート

【第35号】（11.9）地域活動ステーションが決定しました！

【第42号】（12.4）地域活動のための基礎知識を学ぶ“地域活動推進講座”開催団体募集！

【第43号】（12.5）訪問活動を通して“ふれあいの輪”をひろげませんか

【第50号】（13.1）生活復興県民ネットの歩みと今後の展望～新年を迎えて～

【第52号】（13.2）コミュニティ・フェスティバル開催！～神戸・阪神地域、淡路地域～

【第55号】（13.5）地域通貨実験支援事業

【第64号】（14.2）フェニックス地域活動フォーラム開催

(事業評価)

(1) 生活復興県民ネットの貴重な広報手段

当初、情報誌「ハートネット」は、「フェニックス出会うの広場」の情報ツールの位置づけに重きが置かれて発刊されたが、現在では、生活復興県民ネット事業全般の紹介や地域活動ステーションの周知、地域活動推進講座の開催などの助成情報を掲載している。

結果として、同ネットの名称の浸透や県民運動への理解につながっているほか、助成事業については、毎年、申請が予定を募集大幅に上回るなど、円滑で効果的な事業実施に向けて必要不可欠な広報手段となっている。

(2) 団体活動の持続性とネットワーク化の促進

上記のほか、地道に地域で活動しているグループ・団体取材し、紙面で紹介している。記事として掲載されることを通じて、普段、マスコミ等に注目されることもなく、活動を評価してもらえる機会が少なくこれら団体の活動のやりがいや持続性にもつながっており、広義にみれば、地域活動団体の育成、定着にも寄与している。

また、活動紹介を通じて、相互の情報交換や交流が生まれ、活動地域を越えて同分野で活動するグループ等とのネットワークの輪が広がっている事例もある。

(3) 読者の貴重な受・発信手段

震災をきっかけとして発足したボランティア団体・グループは急増しているが、その多くは、自ら情報を受・発信する手段を持たない活動基盤が脆弱な団体・グループが多い。

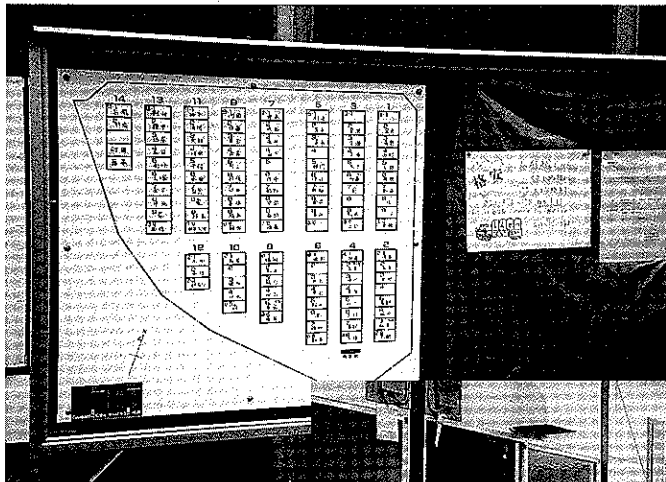
「ハートネット」は、こうした団体等が被災者支援活動を行う上での協力を呼びかける重要な広報手段にもなっているほか、被災地に特化した各種助成・支援制度の紹介や他の団体等の活動情報を網羅的・広域的・定期的に入手できる唯一の貴重な情報源となっている。

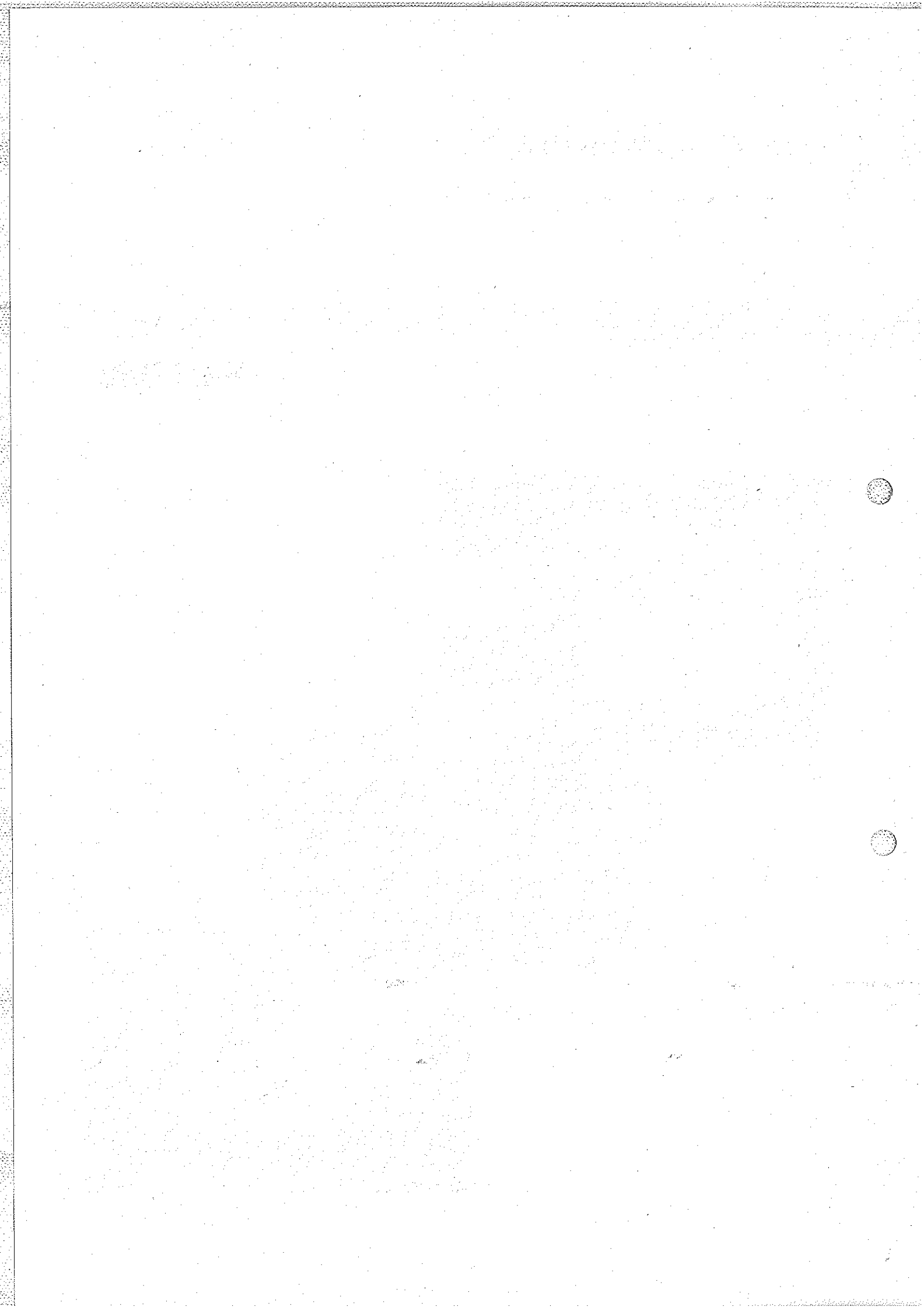
そのことが、「ハートネット」を希望する団体の増加や「ひょうごコミ²ネット」登録会員の増加に現れており、活動基盤の脆弱な団体等を育成、発展させる一助になっているほか、ボランティア団体・グループの活動の裾野を広げていくうえで、「ハートネット」が果たしている役割は大きい。



II 生活復興県民運動の取り組み

〔平成9年度〕





9年度

被災者を取り巻く現状

震災から2年余が経過。9年2月には、災害復興公営住宅の第3次一元募集が実施され、仮設住宅から恒久住宅への移転が進んだが、かつて下町の長屋などが軒を並べていた生活環境に慣れ親しんだ高齢者の多くが、中高層のコンクリートの建物での生活に戸惑いや不安を感じ、孤立したり、健康を損ねるといった新たな状況も生まれてきた。

一方、仮設住宅では空き家が増えることにより、粗大ゴミが放置され、害虫が発生するなど、衛生環境の悪化や治安、防火上の危険が増え、ふれあいセンターなどの活動も低下し、隣人同士による安否確認が難しくなり、仮設の統廃合が避けて通れない課題となってきた。

こうした時の経過とともに変化する課題に対し、住宅確保に向けた公営住宅の家賃低減化、民間賃貸住宅への家賃補助、持ち家を再建したい人への利子補給、生活の自立に向けては、生活再建支援金や中高年恒久住宅自立支援金の支給、こころのケア対策など、きめ細かな行政支援策が講じられた。

ようやく、仮住まいの生活から終の住みかでの生活へと住まい環境が落ち着きを見せはじめつつあったが、『被災者の生活再建の課題が複雑、個別化、多様化』の様相を呈してきた。

- ・ 仮設住宅入居戸数 (8.10) 39,747戸 → (9.4) 34,624戸
- ・ 災害復興公営住宅募集戸数 第3次(9.2~9.3) 8,313戸※第1~3次募集総計 25,746戸

課題

- ・ 被災者の元気回復、仲間づくり、生きがいづくり
- ・ 仮住まいから恒久住宅への円滑な移行
- ・ 新たな住まいを中心とした生活復興とコミュニティづくり
- ・ 県外居住避難者のフォローアップ
- ・ 支援グループ、団体等のネットワークの強化



新規事業

- ・ 引っ越し手伝い運動
- ・ 第4次災害復興公営住宅周辺案内マップの作成
- ・ 県外に住む被災者のための集い

継続事業

- ・ 地域スタッフの設置
- ・ 愛のもちより運動
- ・ フェニックス出会いの広場
- ・ フェニックス活動助成
(一般・団体連携活動助成)
- ・ 県外被災者の生活復興を考えるフォーラム
- ・ ふるさとひょうごキャラバン隊派遣
- ・ 広報誌“ハートネット”の発行

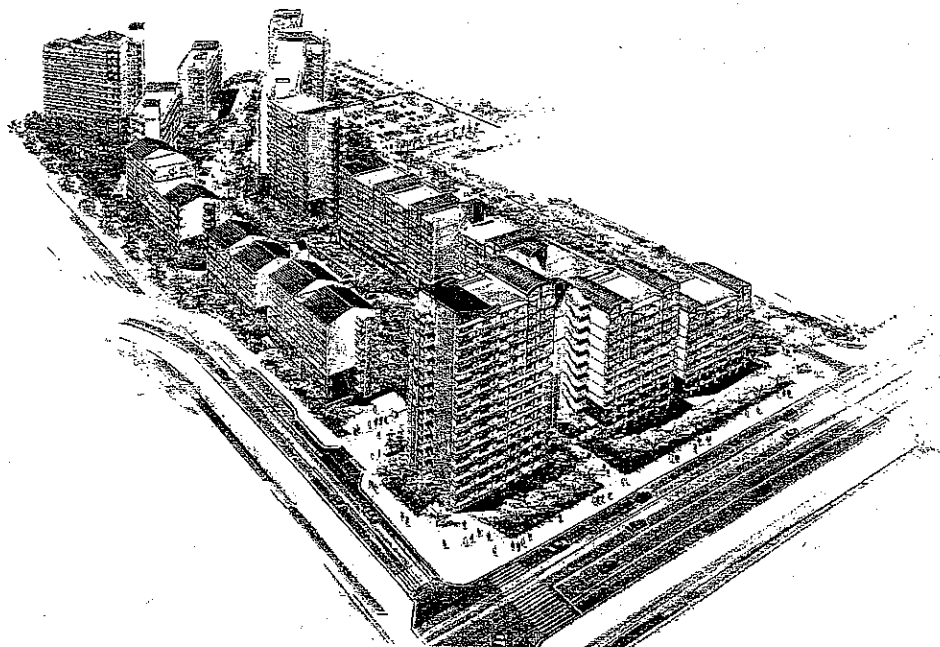
● 当時の主な出来事

(平成9年度)

- 9.4.2 兵庫県内中小企業の4割超が震災前の売り上げに回復
- 10 仮設住宅からの引っ越しを手伝うボランティアグループ結成
- 16 神戸ルミナリエ第1回ふるさとイベント大賞選考委員特別賞受賞
- 18 兵庫県、県外被災者アンケート結果発表
(約40%が「将来県内に戻るつもり」、約39%「戻りたいが戻れない」)
- 22 神戸市、閉鎖する仮設住宅の入居者に募集割れ市営住宅斡旋へ
- 25 被災高齢者や要介護世帯の恒久住宅移行後の生きがいある自立した生活再建ができるように支援する「生活再建支援金」(月額1万5千~2万5千)の申請受付開始
兵庫県、生活復興資金貸付金制度緩和(100万→300万円)
- 28 兵庫県南部地震災害義援金募集委員会が第3次義援金追加支給発表
- 5.12 神戸市の仮設住宅健康調査、アルコール依存深刻化
- 17 被災地外で最大の仮設住宅・東加古川団地で入居者がピーク時の4割減
(1000戸のうち 入居者597世帯)
- 19 神戸港の復興宣言
- 6.17 被災者支援の市民立法案継続審議決まる
- 18 NPO法案継続審議決まる
- 7.1 兵庫県、「生活支援マネジメントシステム担当」を設置
- 15 神戸市内の仮設入居戸数2万戸割る
- 16 仮設住宅の入居戸数3万戸割る
- 22 淡路夢舞台の起工式
- 8.1 兵庫県、生活再建支援金の支給開始(2万1千件以上)
- 6 神戸市、被災者支援策として市独自で市税の減免措置
- 8.20 明石市で仮設住宅の撤去が始まる
- 9.17 民間賃貸住宅の家賃補助申請(震災復興基金)が解体証明なしで可
兵庫県、被災者の不動産取得税減免を平成12年3月まで延長
- 23 大阪府内で県民が住む仮設住宅を初めて閉鎖(服部緑地仮設住宅)
県外避難者の復興住宅応募が半数以下(兵庫県調べ)
- 26 災害復興住宅の第4次一元募集始まる(1万7,165戸)
- 27 被災者の民間住宅家賃補助契約手続きを簡素化(代行機関の設置)
- 10.5 神戸で県外被災者の集い(生活復興県民ネット)
- 6 神戸市の生活復興相談員、巡回始める
- 26 神戸市長選・現職の笹山幸俊氏が3選
- 11.5 復興住宅第4次一元募集の平均倍率1.94倍
- 18 仮設住宅調査で退去見通しのない世帯、47%(立命館大学等4大学調査)
- 21 仮設住宅住民による生活実態調査(元の場所に帰りたい8割)
- 27 神戸市、第4次一元募集落選の仮設住民に募集割れ公営住宅を斡旋
- 12.1 県・市町支援委員会が被災市町別の被災者支援策をまとめた支援者ノートを発行
中高年恒久住宅自立支援制度の申請受付開始

- 10 山陽自動車道が全線開通
- 15 復興住宅第4次一元募集の最終集計で、仮設住宅入居の7千世帯落選
- 18 神戸市、公営住宅入居特例切れひかえ、仮設の対象者救済へ
- 26 (財)阪神・淡路大震災記念協会設立
- 10.1.15 神戸市の人口97% (147万4千人) まで回復 (水道契約戸数より試算)
- 17 **震災から3周年**
- 大震災の経験を教訓として「1.17宣言」を世界に発信
- 27 理化学研究所「地震防災フロンティアセンター」が開所
- 2.17 生活復興支援プログラムを策定
- 20 神戸市内の災害公営住宅再募集で1,043世帯当選 (未定約4,700世帯)
- 23 仮設住宅供与期限を9月末に延長
- 3.6 仮設住宅再利用で兵庫県が7カ国に1万7千の提供を決定
- 15 明石市立天文科学館が再開 (約3年ぶり)
- 17 北海道奥尻町の議会が復興宣言採択
- 19 特定非営利活動促進法案 (NPO法案) が衆院本会議で可決、成立
- 24 県教委が「学校防災マニュアル」を策定
- 27 県内の仮設住宅での「孤独死」計200人に
- 28 神戸東部新都心、西宮浜、南芦屋浜で一斉にまち開き

9年度



8 引っ越しボランティア支援事業【平成9～11年度】

1 事業のあらまし

震災から3年目を迎え、仮設住宅から恒久住宅への転居が本格化するなか、高齢者や障害者など、一人では引っ越しをすることが難しい方々の精神的、経済的な負担の軽減や転居後のサポートも含めて、県民の温かい助け合いによって引っ越しを手伝う「引っ越し手伝い運動」の展開を提唱。

ボランティアグループなどの市民組織である「市民版ひっこしプロジェクトネットワーク」と連携し、また、各地域の単位婦人会の協力も得て、被災者が恒久住宅等に引っ越しする際に、荷下ろしや荷ほどきの作業を手伝いながら、話し相手になったり、地域の情報を伝えるとともに、転居後の訪問活動を通じたケア活動などを展開した。

2 事業の実施方法

・引っ越しボランティア登録者の派遣

「市民版ひっこしプロジェクトネットワーク」の依頼を受け、生活復興県民ネットに登録している引っ越しボランティアの派遣を行う。

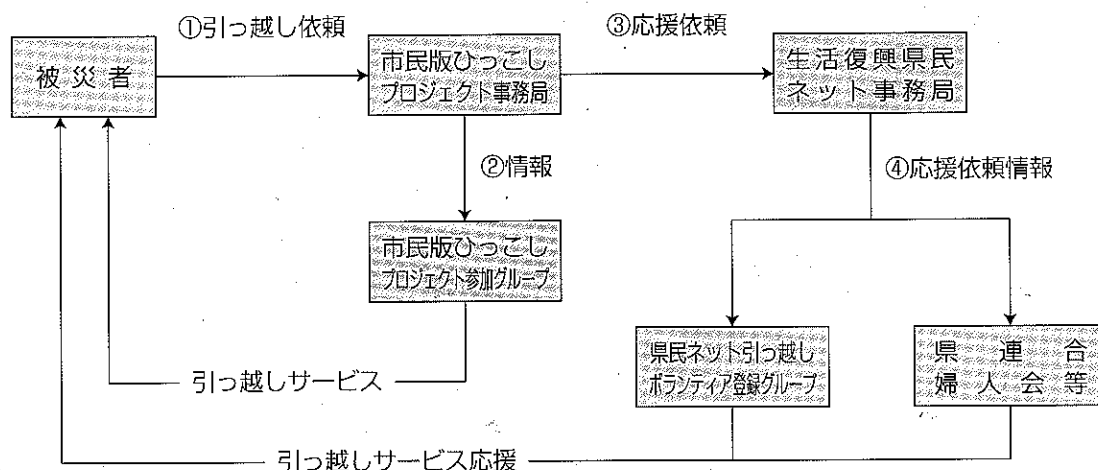
・地域における支援体制の充実

生活復興県民ネット地域スタッフによる引っ越しボランティア登録者の発掘や地域の様々な団体等による転居後のフォローを行う。

・県外に住む被災者に対する支援体制の充実

生活復興県民ネット参加団体の全国的なネットワークを活用し、県外に住む被災者の転居を支援する。

(運動の仕組み)



※市民版ひっこしプロジェクトネットワークとは

震災から3年目の平成9年4月26日に発足した。

「がんばろう!!神戸」「阪神淡路大震災仮設支援NGO連絡会」「ぐるーぷ“えん”」「神戸元気村」「プロジェクト1-2」など約70の市民団体やボランティアグループによるネットワークで、「ふれあいKOBE・愛の輪運動推進委員会」や民間企業約150社、労働組合なども参加した。

生活復興県民ネットも、このネットワークと連携協力し、互いに力をあわせ、それぞれが資材や労力を提供して、仮設住宅入居者の引っ越しをお手伝いした。

3 これまでの実績

項目 \ 年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	計
ボランティア登録数	105人	117人	59人	延べ281人
協力依頼件数	96件	249件	30件	375件
支援件数	69件	190件	26件	285件
支援人数	289人	724人	94人	1,107人

〈主な引っ越し事例〉

- ケース1 夫婦2名(60代)(神戸市須磨区仮設住宅→東灘区災害復興公営住宅)
- ケース2 1人暮らし男性(40代)(神戸市西区仮設住宅→西区災害復興公営住宅)
- ケース3 1人暮らし女性(20代)(大阪府守口市→淡路島知人宅)
- ケース4 夫婦2名(60代)(神戸市東灘区六甲アイランド仮設住宅→西区災害復興公営住宅)
- ケース5 1人暮らし女性(50代)(神戸市北区仮設住宅→北区災害復興公営住宅)
- ケース6 夫婦2名(40代)中・小学生4人家族(神戸市西区仮設住宅→西区災害復興公営住宅)
- ケース7 夫婦2名(50代)(姫路市仮設住宅→神戸市東灘区災害復興公営住宅)



活動の様相

〈引越しボランティアのエピソード〉

— その1 —

収集癖の人々の引越しに、最初2トントラック2台ほどでお手伝いしました。

しかし、家具や衣類の他にテレビが5台、電子レンジが6台、ワープロが4台、大工道具や釣り具などもどっさり。使えない物まであれやこれやとあり、わずか21㎡の仮設住宅にどのようにして、こんなに沢山の荷物が入っていたのか参加ボランティアの全員がびっくりし、家の外にもブルーシートで積み重ねておりました。

次から次へと運び出しても、ほんのわずかしかが物が減らない状況に、たまりかねたボランティアから、「要らない物はすべて処分しましょうよ」と提案。渋々処分を納得してもらったが、結果的に、2トントラック4台を使って、3DKの復興住宅に運搬することになりました。

どこに寝るんですかと云うような状態となっても本人さんは満足そう。私たちはみんな「参った参った」で、本当にしんどかった。

しかし、本人の「震災で一瞬に多くを失い、改めて身のまわりのものへの愛着や感謝の気持ちがわいて、捨てられなくなった」との言葉に教えられることもありました。

— その2 —

私たちが、ほぼ毎日のように仮設の引越しを実施していたある日のこと。

10人前後で、2人ぐらしの引越し手伝いに行きました。私たちは、いつものように作業を始め、家具や家電製品などを手際よく運び出していました。そこの奥さんも一緒に作業をしていました。しかし、そこのご主人はボーとしてほとんど何もしないで、みんなの動きを見ていました。

そのとき、ご主人がボランティアの人に対して「あなた方は大変お元気で羨ましいですね」とおっしゃっていました。それに対しボランティアの人いわく、「あなたより私の方が多分年上だと思います。あなたのお年はいくつですか」と聞き返しました。その人は68歳と答えていました。するとボランティアのその人は、笑いながら、「私は75歳ですよ」と言いました。

このボランティアの方も、長田で被災し、家を無くし、仮設住宅で私と会ってからボランティア活動に参加して下さっている方です。同じような境遇でも何もしないで生活している人に対して、ボランティアに参加し、元気に生き生きと活動しているその姿は確かに若々しく輝いていました。

〔事業評価〕

本事業は、単に、住居の移動費用の軽減を目的とした引越し手伝いだけにとどまらず、ボランティアグループなどの市民組織や生活復興県民ネット構成団体のネットワークを活用、とりわけ、地元の婦人会、自治会、民生委員・児童委員、保健師等の協力を得て、地域との顔つなぎや橋渡しなど、新たな住まいでの生活のケアやサポートに主眼を置いたことが大きな特徴である。

転居先での新しい生活への期待と知り合いがいない不安が入り混じった思いを抱く被災者にとって、早く地域に馴染むための一定の役割を果たしたと考えられる。

また、市民、各種団体、民間企業、労働組合、行政など、立場や考え方の相違する者が、互いのフィールドを超えて、連携・協力して引越し運動に関わったことは、画期的なことであり、参画と協働の先駆的モデルと言える。

9 第4次災害復興公営住宅周辺案内マップの作成【平成9年度】

1 事業のあらまし

第4次災害復興公営住宅等一元募集（平成9年9月：17,165戸）の始まりに先立ち、被災された方が恒久的な住まいを選ぶにあたり、判断材料となる資料として、ボランティアグループ「市民版ひっこしプロジェクト」、「元気アップ神戸」市民運動推進協議会及びボランティアグループ「震災・活動記録室」と生活復興県民ネットの四者が協力・分担して募集団地周辺の駅、学校、病院、銀行、スーパー、郵便局、商店、公園などの生活利便施設を写真入りで団地周辺の地図に図示して募集団地の概要が一目でみとれる“災害復興公営住宅周辺案内マップ”を作成、仮設住宅のふれあいセンターなどに配布した。

2 取り組み状況

〈作成対象団地〉

① 生活復興県民ネット

- ・明石市 大久保東第2団地（公団）、大久保東第3団地（公団）
- ・西宮市 西宮浜高層（県営）、西宮浜4丁目（市営）、西宮マリナパークシティ丘のある街（公団）
武庫川（県営・公団借上）、ルゼフィール武庫川（市営）、高須町1丁目（市営）
武庫川（公団）、浜甲子園（公団）
- ・芦屋市 芦屋浜高層住宅（公団）、南芦屋浜高層住宅（県営）
- ・伊丹市 伊丹小松原（県営）
- ・宝塚市 宝塚山本野里（県営）、宝塚安倉（県営）、安倉新居住宅（市営）
- ・川西市 川西けやき坂高層住宅（県営）

② 「元気アップ神戸」市民運動推進協議会

- ・神戸市 東垂水第2住宅（市営）、舞子山手住宅（市営）、北舞子第4住宅（市営）、ベルデ名谷（市営）、西神井吹台住宅（市営）、ベルデ玉津（市営）、鹿の子台南住宅（市営）、若草住宅（市営）

③ ボランティアグループ「震災・活動記録室」（現在は「市民活動センター・神戸」に改称） 第4次募集すべての災害復興公営住宅

〈配付先〉

- ・仮設住宅のふれあいセンター、自治会の代表者等
- ・生活支援アドバイザーなどの支援者
- ・県外に住む被災者のグループ等
- ・被災者を支援するボランティアグループ等
- ・被災10市10町（神戸市は各区別）、各県民局 など

〈発行部数〉

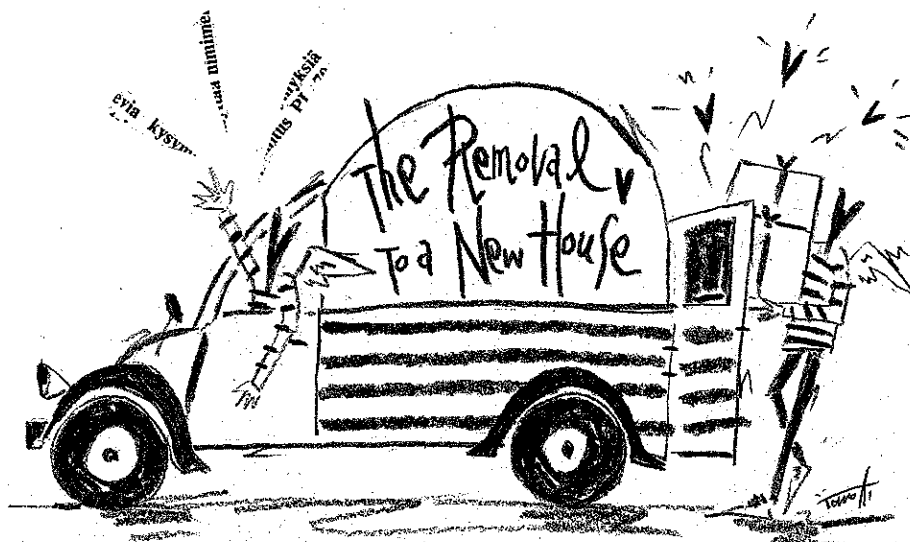
各団地毎に概ね1,000部

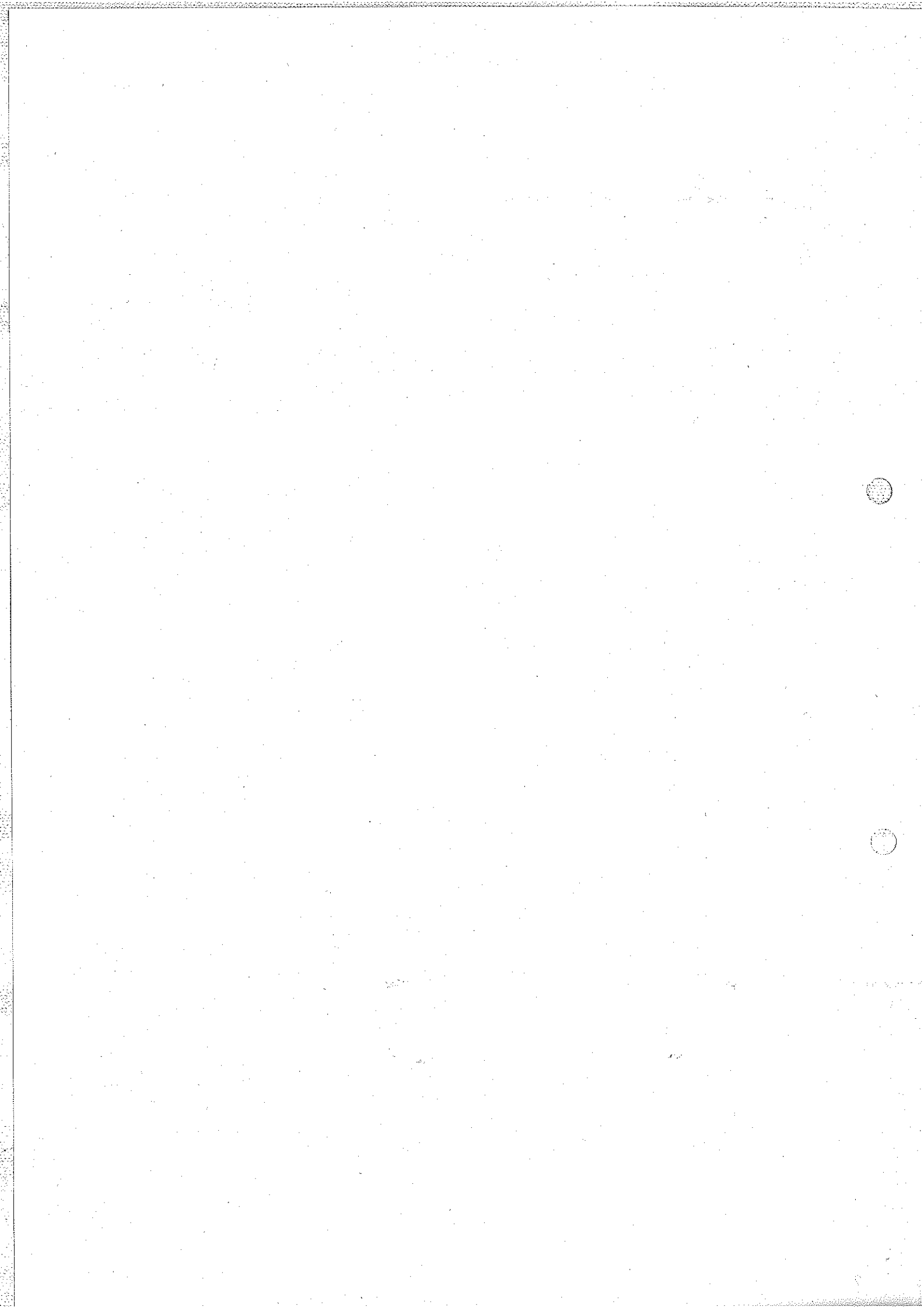
(事業評価)

1万7千を超える最大規模の住宅募集で、かつ事実上の最後の一元募集ということで、家賃の低廉な公営住宅への入居希望の被災者にとって、期待と不安、焦りが交錯するなか、高齢等のため、現地を訪れることが難しい人達から「見ただけで現地をイメージできる」「いくつもの住宅を自らの目で確かめられる」といった声が聞かれ、住宅選びにたいへん役立った。

また、受け入れ先となる地域の協力も得て、「地域の自慢」コーナーも掲載。入居後のコミュニティや早くまちにとけ込めるよう、転居者の視点で、細部にわたって創意工夫がなされ、新しい町への期待の高まりや不安解消にもつながった。

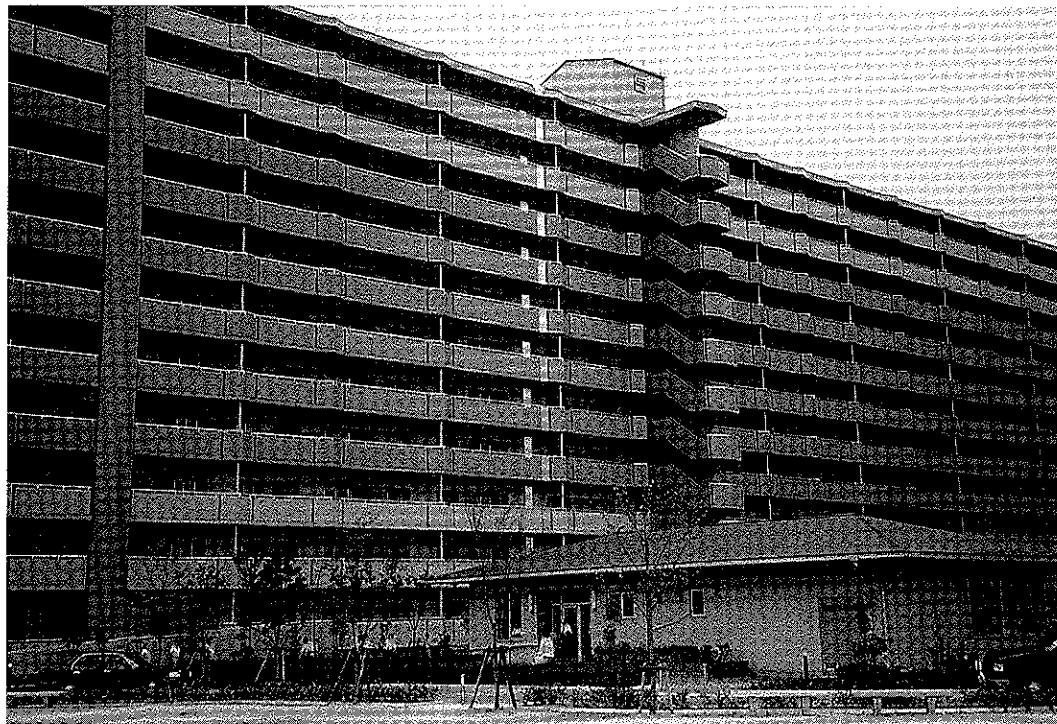
なお、本事業は、引越しボランティア支援事業ともども、ボランティアや市民組織の積極的な協力・連携がなければ決して実現できなかった事業例である。

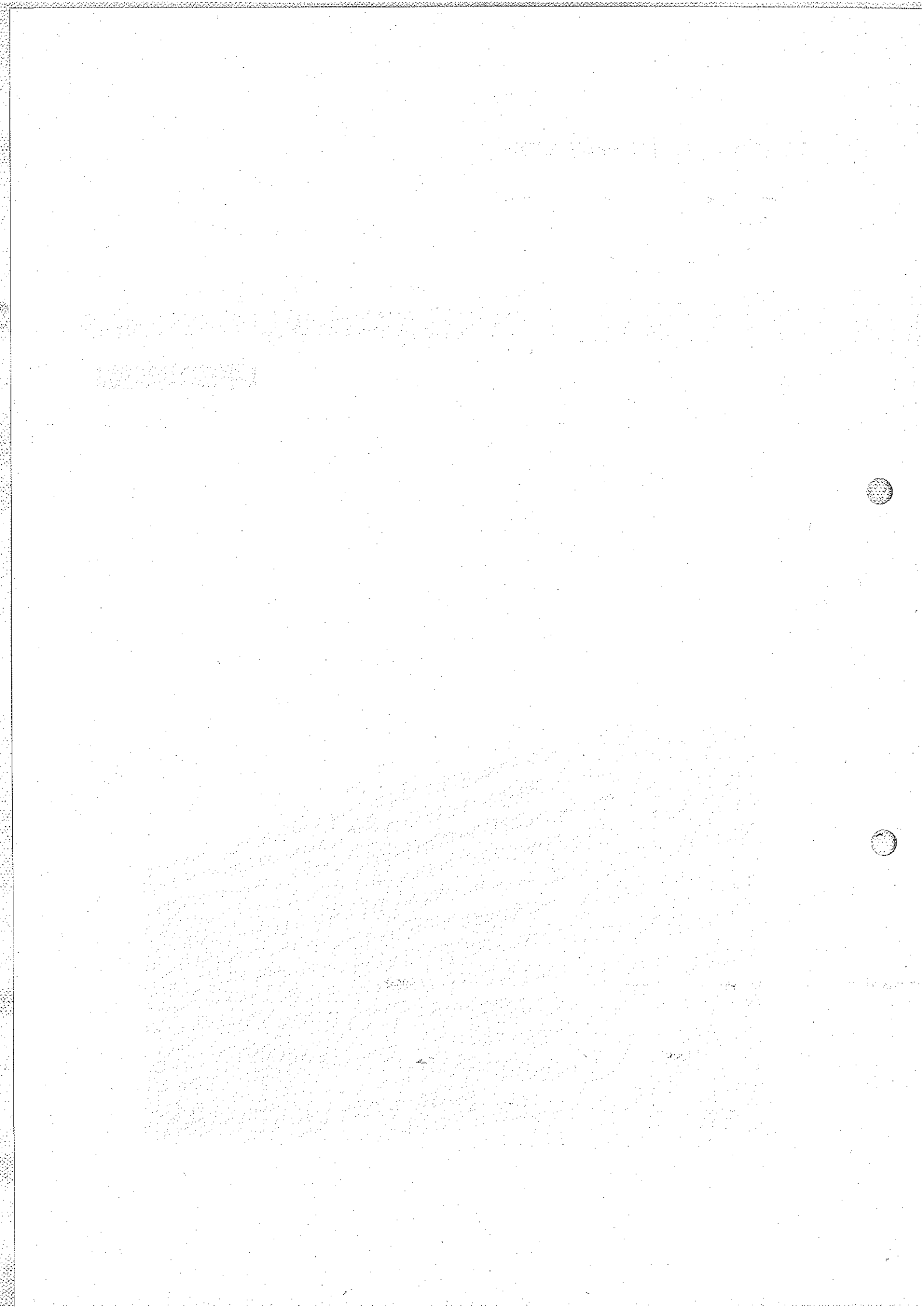




II 生活復興県民運動の取り組み

(平成10年度)





10年度

被災者を取り巻く現状

震災から3年余が経過。仮設住宅入居者の恒久住宅への早期入居に向けて、9年9月までに4回の一元募集が実施され、総募集戸数約4万3千戸に対して約3万2千戸（うち応急仮設住宅20,108戸）が当選した。

被災者の多くが待ち望んでいた住まい確保の目処が概ね立ったが、大規模復興住宅を受け入れる側の地域住民にも不安があり、周辺地域も含めた新・旧住民のコミュニティの融合という問題が発生してきた。

仮設住宅の入居率が神戸市では50%を切るなど、恒久住宅への移転が進む一方で、被災者の希望と住宅供給の「地域的ミスマッチ」や抽選もれにより仮設住宅に残らざるをえない被災者は、自分だけが取り残されていくという思いと先の見通しの立たない現状に焦りを覚え、アルコールへの依存や、生活環境としてのコミュニティ破壊が社会問題化してきた。そうしたなかで、仮設住宅への見回りや引っ越し支援、復興住宅におけるコミュニティ支援をはじめとするボランティア活動が顕著になってきた時期でもあった。

5月には、国において、阪神・淡路大震災の教訓として、被災者の切なる思いである「生活再建支援法」が成立。仮設住宅から恒久住宅への入居も急ピッチに進み、被災地（者）の復興が加速したが、『恒久住宅でのコミュニティの再構築や仮設住宅でのコミュニティの維持』という新たな課題が浮き彫りになってきた。

- ・ 仮設住宅入居戸数 (9.4) 34,624戸 → (10.4) 21,471戸
- ・ 災害復興公営住宅募集戸数 第4次(9.9~10) 17,165戸 第1~4次募集総計 計42,911戸
- ・ 市町社協ボランティア活動者数 (9.3) 124,640人 → (10.3) 126,170人

課題

- ・ 被災者の元気回復、仲間づくり、生きがいづくり
- ・ 住まい環境の移行に伴う地域一体となった受入れ
- ・ 共助による地域コミュニティづくり
- ・ 支援グループ、団体等のネットワークの強化・協働

新規事業

- ・ 「暮らしの便利読本」作成支援
- ・ 「男もカンタンにできるいどばた料理教室」開催支援
- ・ 自治会づくり支援
- ・ コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催相談
- ・ 生活復興NPO情報プラザ開設

継続事業

- ・ 地域スタッフの設置
- ・ 愛のもちより運動
- ・ フェニックス出合いの広場
- ・ 引っ越し手伝い運動
- ・ フェニックス活動助成
(一般・団体連携活動助成)
- ・ 広報誌「ハートネット」の発行

● 当時の主な出来事

(平成10年度)

- 10.4.1 伊丹市の仮設住宅完全解消（最大時5カ所 660世帯）
- 2 北淡町震災記念（野島断層）公園オープン
- 4.5 明石海峡大橋開通記念式典開催。開通に伴い、山陽自動車道三木JCT～神戸西IC間など関連道路4路線が開通。本州～淡路間のフェリーなど14航路廃止
- 6 神戸の仮設住宅で入居率50%切る（18,595戸）
- 13 神戸市市街地の6区で初めて、灘区の旧避難所が解消し、市内避難者が100人を割る（残り市内7カ所 97人）
- 15 兵庫県などは、被災者向け災害復興公営住宅6,953戸の募集を4/24から行うと発表
- 17 兵庫県、県外被災者が県内に戻る際、宿泊費を一部補助する「ふるさとひょうごカムバック応援事業」を開始
- 20 参議院災害対策特別委員会、自然災害被災者への公的支援法案を自民党提出の「被災者生活再建支援法案」をベースにした形で1本化
- 21 与野党6党の共同提案として被災者生活再建支援法案、参議院に提出（参議院可決は4/24）
- 5.6 兵庫県、中・高年齢自立支援金の第1回支給を開始。対象世帯数は18,924世帯、支給総額は22億2,000万円
- 13 5月1日現在の仮設住宅入居数を18,161世帯と発表、初めて2万世帯を切る
- 15 衆議院本会議で被災者生活再建支援法が可決、成立（公布は5/22、基金額600億円、支給額は1世帯あたり最高100万円）。阪神・淡路大震災の被災者に対しては、付帯決議による行政措置により対応
- 7.17 兵庫県、仮設住宅の入居期限を半年延長し、99年3月まで延長すると発表
- 21 被災者自立支援金の申請受け付け、被災10市10町で一斉に開始
- 8.26 芦屋市、市内の仮設住宅入居者数がゼロになったと発表
- 9.10 兵庫県、「ふるさとひょうごカムバックプラン」の第2弾として、県外転出被災者のうち県内に帰る意志のある者の登録を11月から行うと発表
- 21 兵庫県、9/15現在の仮設住宅入居戸数が9,571世帯と1万世帯を初めて割ったと発表
- 22 台風7号に伴う大雨のため、震災復旧工事中の新湊川が神戸市兵庫区内ではんらん、約15,000人に避難勧告が出され、政府は兵庫県内で震災以来初めて災害救助法の適用を決定
- 24 兵庫県、NPO活動を後押しする拠点整備などの独自支援策を盛り込んだ「県民ボランティア活動の促進等に関する条例」を制定
- 25 神戸空港建設の是非を問う住民投票条例制定を求め、「神戸空港・住民投票の会」（代表世話人・須田勇元神戸大学長）は、神戸市選挙管理委員会に352,755人の署名を提出（10/15に同選管が発表の確定署名数=307,797人）
- 10.7 兵庫県、仮設住宅入居中でも被災者自立支援金が特例として支給する場合、生活支援マネジメントシステムの県・市町生活支援委員会で不服申し立てを11月の自立支援金支給後に受け付けることを発表
- 25 兵庫県知事選挙実施。即日開票の結果、現職の貝原俊民氏が4選を果たす
- 11.4 兵庫県、水道契約戸数から独自に計算した試算人口によると、10/1現在の人口は5,538,872人と震災前を上回ったと発表

11. 5 被災者自立支援金、洲本市を皮切りに順次支給開始（～11/18まで）。今回の支給対象者は107,166世帯、所要額は約864億円
- 6 兵庫県教育委員会、震災が原因でPTSDに近い症状を示し、こころのケアが必要な県内の小中学生は7/1現在で4,006人（前年比17人増）であると発表
- 9 被災者復興支援会議（座長・小西康生神戸大学経済経営研究所教授）、「支援会議が果たした役割」をテーマに、フォーラム「支援会議の40ヶ月」を開催
- 26 恒久住宅への移転が確定している仮設住宅入居者に対し被災者自立支援金を最高30万円前貸しすることと、支給時期についても年4回から1ヵ月ごとに変更することを決定
12. 1 特定非営利活動促進法（NPO法）施行
- 2 兵庫県、県営災害復興住宅入居者のうち、高齢者の割合が34.4%と既存県営住宅の3倍以上であると発表
- 17 被災地最後の旧待機所（神戸市中央区）が解消した
- 25 神戸ルミナリエ閉幕。総来場者数は過去最高の約516万人（12/11～）
- 28 尼崎市、市内の仮設住宅が解消したのに伴い災害対策本部も解散したと発表
11. 1. 8 被災地内の地蔵や慰霊碑など55カ所を掲載した「震災モニュメントマップ」10万部を発行
- 9 震災遺児の支援施設としてあしなが育英会が建設を進めてきた「レインボーハウス」竣工式（神戸市東灘区）
- 14 兵庫県と被災市町は、仮設住宅を99年度中に全戸撤去する方針を固める
- 16 貝原俊兵兵庫県知事は震災4年を前に記者会見を行い、99年を節目の年として過去の復興対策を検証することを明らかにするとともに、「昨年の5割復興から足踏み状態にある」との現状認識を示す
- 17 **震災から満4年が経過**
阪神・淡路大震災4周年犠牲者追悼式開催
- 28 兵庫県、特定非営利活動促進法（NPO法）に基づくNPO法人に対し、法人県民税の均等割（年額2万円）を全額免除することを決定。施行は2/1～
2. 12 兵庫県と神戸市は、仮設住宅の使用期限の延長を厚生省に申請すると発表。最終期限は原則6月末
- 24 震災発生から1,500日経過
3. 4 県内のNPOメンバーらが集まり、兵庫県が神戸東部新都心に建設計画中の「ボランティア活動支援センター」（仮称）について意見を集める「市民活動の基盤を考える3・4兵庫フォーラム」開催
- 5 兵庫県、3月1日現在の仮設住宅入居世帯数が4,809世帯と5,000世帯を切ったと発表
- 16 阪神・淡路大震災復興基金は、「民間賃貸住宅家賃負担軽減事業」など11事業の受付期間を1年間延長
- 26 兵庫県、県生活復興資金貸付制度を1年間延長し、平成12年3月まで申請を受け付けると発表

10 生活復興NPO情報プラザの運営【平成10年度～】

1 事業のあらまし

平成10年4月20日、市民活動団体・ボランティアグループが交流を深め、情報交換を行う広場として、「生活復興NPO情報プラザ」が、阪神・淡路大震災復興支援館（愛称：フェニックスプラザ）2Fにオープンした。

オープン記念として、「NPO新時代～被災地からの提案～」をテーマに、震災以降、被災地でさまざまな活躍をされている方々をパネリストに迎え、これまでの活動で明らかになった課題や今後のNPOの役割などについて、熱心な討論が取り交わされた。

同プラザには、印刷コーナーをはじめ、ミーティング、情報、図書の各コーナーなどを備え、被災者支援活動をはじめ福祉、まちづくり、環境などのさまざまな分野で活動するボランティアグループ・団体が登録。また、150人が収容できる多目的室は、NPO・ボランティア団体だけでなく、復興に向けた各種イベント、フォーラムなどが開催され、広く一般の利用にも供された。

※生活復興NPO情報プラザの諸機能は、ひょうごボランタリープラザ（平成14年6月22日開設：神戸クリスタルタワー10F）へ移転、運営されることになった。

〈市民活動なんでも相談〉

平成10年6月から、市民活動の基盤強化・活性化に向けて、県内のボランティアやNPOが情報の共有や交換を図る緩やかなネットワーク「市民活動広場」（開設時：13団体で構成）と生活復興県民ネットが共催する「市民活動なんでも相談」を開設（毎週火曜日 15:00～19:00）した。

平成11年6月までの間、「市民活動広場」のメンバーが交代で、ボランティアグループ・NPOの運営、特に資金調達などに関して40件の相談を実施した。

〈運営委員会〉

平成10年11月には、利用登録団体と生活復興県民ネットの意見交流の場ができ、平成11年5月には運営委員会（構成メンバー：登録団体からの公募）が正式に発足した。

この運営委員会での協議を通じて、懸案であった生活復興NPO情報プラザの専任スタッフの配置（11年6月～）や多目的室の水・土曜日のボランティアNPO優先利用が実現（同年7月～）した。さらに、県民ボランティア活動の全県拠点として兵庫県が早期実現をめざしていた「県民ボランティア活動支援センター（※）」に関する意見交流会の開催や登録団体への利用に関するアンケート（活動拠点や活動状況など）を実施するなど、積極的に関わってきた。

できるだけ多くのグループ・団体等から生の意見や声を聞き、利用者の視点に立った利用しやすい広場をめざして、生活復興県民ネットと協働して、施設機能の充実や利用促進に努めてきた。

※ 平成14年6月にオープンした「ひょうごボランタリープラザ」の仮称。

2 生活復興NPO情報プラザの利用状況

区 分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	計
登録団体件数(累計)	175団体	262団体	317団体	355団体	—
印刷コーナー	666回	1,010回	1,095回	1,184回	3,955回
ミーティングコーナー	269回	232回	328回	348回	1,177回
グループ連絡ボックス(累計)	95団体	118団体	119団体	110団体	※13年4月に再登録
多目的室(水・土)	—	50回	55回	75回	180回
図 書	蔵書数	572冊	720冊	858冊	1,016冊
	貸し出し登録者(累計)	67人	143人	210人	251人
	貸し出し件数	97件	140件	107件	74件

3 施設案内

(1) 利用日・利用時間

年末・年始(12月29日～1月3日)を除き利用可
10時～19時

(2) 主な諸機能

〈印刷コーナー〉

- ・印刷機、裁断機、紙折機、ワープロの利用(予約制・無料)

〈グループ連絡ボックス〉

- ・他のグループとの情報交換、メンバー同士の連絡用ボックス

〈情報コーナー〉

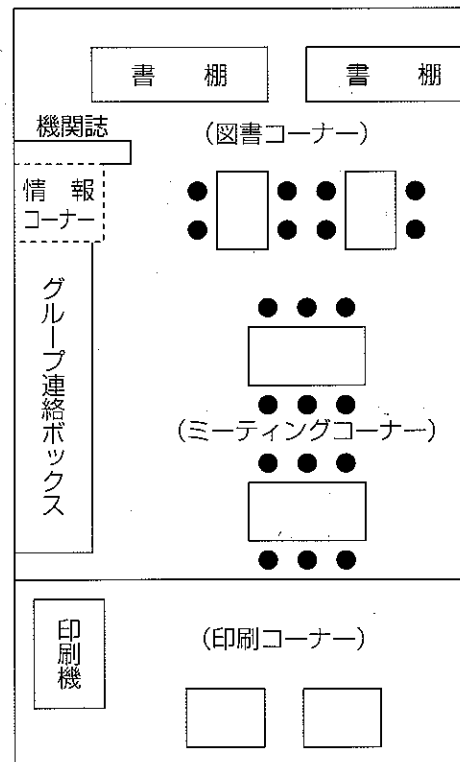
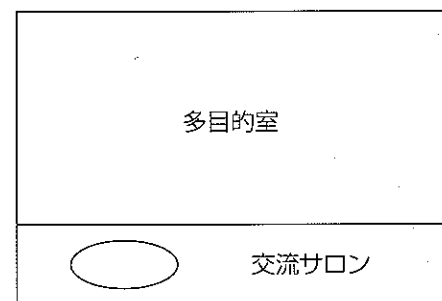
- ・団体、グループ発行の機関誌(60団体)の閲覧
- ・イベントのチラシの掲示、パンフレット等の展示
- ・パソコンによる団体活動情報検索、団体リストや宛名シールの印刷

〈ミーティングコーナー・多目的室〉

- ・情報交換や打ち合わせ用(6～18人:予約制・無料)
- ・各種フォーラム等の開催用(150人収容・予約制・無料)

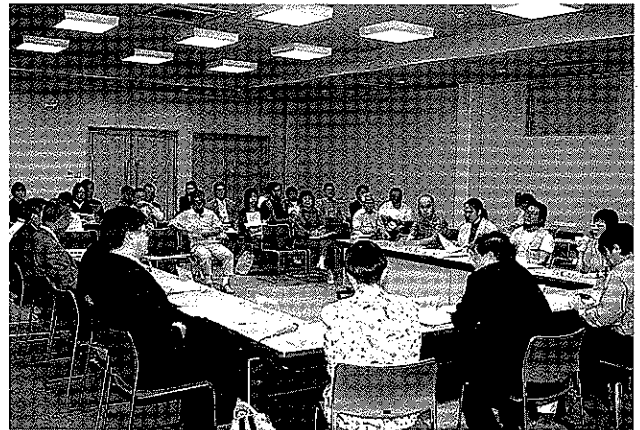
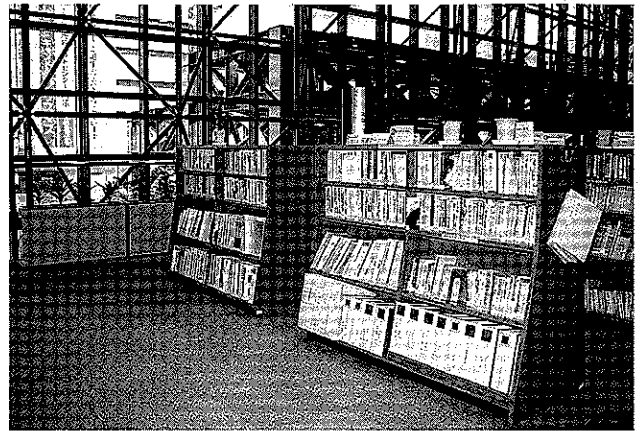
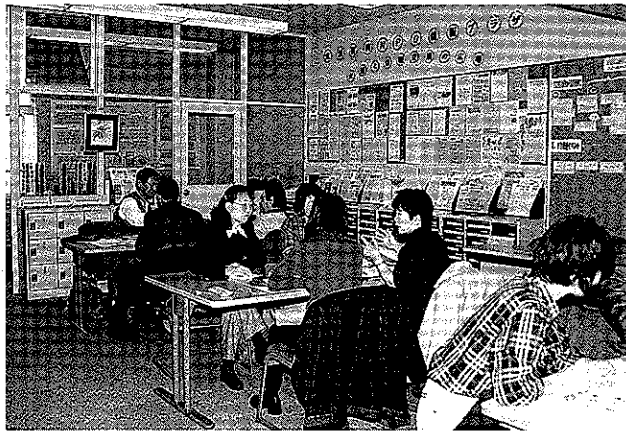
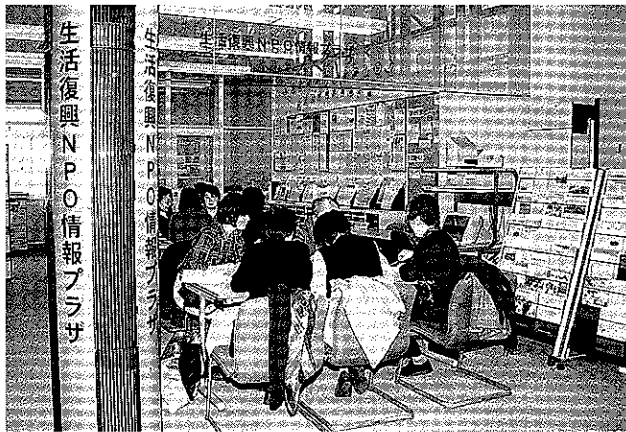
〈図書コーナー〉

- ・NPO・NGOやボランティア関係図書、コミュニティビジネス、地域通貨に関する入門書や専門書の閲覧(2週間までの貸出可)
- ・新聞ファイル(震災やNPO・NGOやボランティア関連記事)の閲覧



生活復興県民ネット事務局

10
年
度



(事業評価)

三宮駅前という立地条件、年中無休、無料で利用できることから、たいへん有効に活用された。

とりわけ、印刷コーナーでは各グループ等の情報誌やチラシなどが1日6千枚近く刷られ、情報コーナーは各団体の活動(情報誌の閲覧やパソコン検索)やイベント情報が得られるスポットとして利用されるなど、活動場所の確保や資金繰りが苦しい市民団体やボランティアグループ等にとって、気軽に立ち寄れ、利用できる「居心地」の良い広場であった。

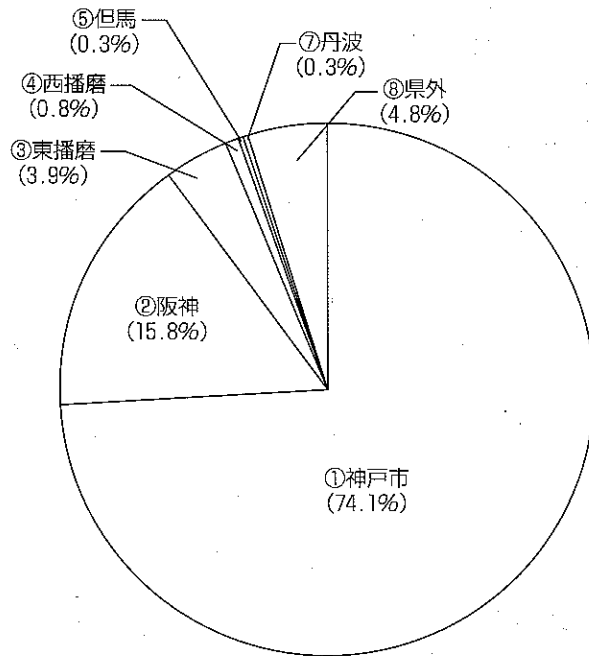
フェニックスプラザの廃止に伴い、14年度から、ひょうごボランタリープラザにその機能が移転されたが、震災以降、被災地に急速に広がりを見せてきた市民活動の定着と発展に一定の役割を果たすとともに、運営に関して、利用登録団体とともに協議、調整しながら利用促進を図る手法を採ったことから、「参画と協働」のモデルの先駆けになった。

生活復興NPO情報プラザ

登録団体 355団体

(1) 地域区分

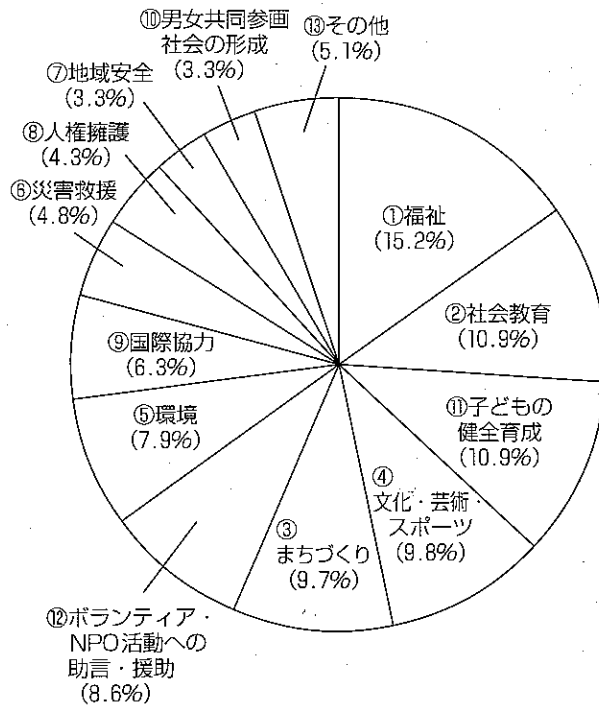
地 域	団体数	全体比
①神戸市	263	74.1
②阪神	56	15.8
③東播磨	14	3.9
④西播磨	3	0.8
⑤但馬	1	0.3
⑥淡路	0	0.0
⑦丹波	1	0.3
⑧県外	17	4.8
計	355	100.0



登録団体地域区分

(2) 活動内容区分 (のべ登録団体 671団体)

活 動 内 容	団体数	全体比
①福祉	102	15.2
②社会教育	73	10.9
③まちづくり	65	9.7
④文化・芸術・スポーツ	66	9.8
⑤環境	53	7.9
⑥災害救援	32	4.8
⑦地域安全	22	3.3
⑧人権擁護	29	4.3
⑨国際協力	42	6.3
⑩男女共同参画社会の形成	22	3.3
⑪子どもの健全育成	73	10.9
⑫ボランティア・NPO活動への助言・援助	58	8.6
⑬その他	34	5.1
計	671	100.0



活動内容区分

10
年
度

11「あったか“ひょうご”のまちかど運動」の展開【平成10～11年度】

震災から3年が経過し、災害復興公営住宅の計画戸数の8割の募集が終わり、仮設住宅から恒久住宅への移行が本格化するなか、恒久住宅に転居した被災者が安心して生活再建を進められるよう、次の5つの支援事業を中心に、それぞれの地域で被災者を温かく迎え入れ、互いに励まし合って地域コミュニティをつくっていく「あったか“ひょうご”のまちかど運動」を広く提唱・展開した。

●コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催相談事業（10～11年度）

災害復興公営住宅等におけるコミュニティづくりに向けて、自治会と支援団体等の交流の場づくりや住民自治組織づくりを側面から支援した。

① コミュニティづくり交流会の開催

- ・10年度 5回
- ・11年度 7回

② コミュニティづくりワークショップの開催相談

- ・10年度 2回
- ・11年度 0回

●「男もカンタンにできるいどばた料理教室」開催支援事業（10～11年度）

恒久住宅の中老年の男性や一人暮らしの高齢者が、多くの人々とコミュニケーションを深め、仲間づくりを進めるきっかけとして、「男もカンタンにできるいどばた料理教室」の開催を広く呼びかけ、実施団体に経費（1団体15万円限度）助成した。

- ・10年度 45団体（192回開催、4,703人参加）
- ・11年度 45団体（191回開催、5,669人参加）

●自治会づくり支援事業（10年度）

自治会づくりの手順や自治会づくりの経験談などを掲載した「自治会をつくりたい時に読む本」を作成し、恒久住宅におけるコミュニティづくりを支援した。

- ・10年度 20,000部作成

●「暮らしの便利読本」作成支援事業（10年度）

不慣れな地域で多くの不安を抱える被災者が、一日も早くその地域のコミュニティに慣れ親しみ生活再建を進められるように、地域の団体、ボランティアグループが被災者の意見を取り入れながら「暮らしの便利読本」をつくる活動を奨励し、恒久住宅周辺の温かいコミュニティづくりを支援した。

- ・13地域で作成（冊子作成・配布に係る経費を、1団体あたり60万円を限度に助成。）

●引っ越しボランティア支援事業（9～11年度）※9年度は単独事業（再掲）

高齢者や障害者など、一人では引っ越しをすることが難しい被災者に対して、転居後のサポートも含めて、県民の温かい助け合いによって引っ越しを手伝う「引っ越し手伝い運動」の展開を提唱していくなかで、地域の支援体制の充実を図った。

- ・9年度 69件実施（289人参加）
- ・10年度 190件実施（724人参加）
- ・11年度 26件実施（94人参加）

12 コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催相談事業【平成10~11年度】

1 事業のあらまし

災害復興公営住宅等に転居してきた被災者の方々が、1日も早く安心して地域にとけ込んで自立していけるように、ともに励まし合って地域コミュニティづくりを進める「あったか“ひょうご”のまちかど運動」の一環として、平成10年11月から、災害復興公営住宅等やその周辺地域住民との情報や意見交流の場づくり、自治会づくりに向けてのノウハウを持った講師の派遣、ワークショップを開催する際の会場使用料や茶話会などの開催経費を負担するなど、安心して暮らせるコミュニティづくりへの取り組みを側面的に支援した。

《実施方法》

①コミュニティづくり交流会の開催

災害復興公営住宅や周辺の自治会、支援活動を行っているボランティアグループ等が一堂に会し、各団体の抱える課題解決の一助とするために、情報交換や意見交換を行う。

②コミュニティづくりワークショップの開催

自治会役員、自治会づくりの支援活動を行っているボランティアグループなどを講師として、ワークショップ開催方法やコミュニティプラザ運営事業経費等の活用方法やノウハウ等の提供を行う。

2 取り組み状況

①コミュニティづくり交流会の開催

平成10年度 5回 [県営伊川谷第2(3)、県営魚崎南(1)、神戸市営本山南第2(1)]

平成11年度 7回 [県営伊川谷第2(2)、神戸市営本山第1(1)、神戸市営本庄第2(1)、宝塚市営武庫川住宅(1)、阪神・淡路大震災復興支援館(1)、東灘区深江会館(1)] 計12回

〈主な成果〉

- ・住宅住民と婦人会の茶話会が開催された。
- ・周辺自治会との交流会が開催された。
- ・友愛訪問活動の拡充が図られた。
- ・住宅周辺の花いっぱい、緑化活動が展開された。
- ・自治会が結成された。

②コミュニティづくりワークショップの開催

平成10年度 2回 (宝塚市営安倉西)

〈主な成果〉

- ・大掃除の実施を機に、自治会が正式に発足した。

(大掃除実施 → 住民集会もちつき大会 → 自治会準備委員会 → 自治会正式発足)

〔事業評価〕

災害復興公営住宅では、自治会づくりに向けた取り組みが多く見られたが、入居した住民からは、「地域との交流が少ない」との声が上がる中、周辺地域の人々との交流を通して、互いに顔なじみの関係になることを主目的としてスタート。

開催実績が少なく、当初期待されたほどの効果は上げられなかったが、交流会においては、各住宅での課題(役員選出の難しさ、共益費・自治会費の徴収、周辺清掃等)が持ち込まれ、解決策を探るとともに、茶話会やイベントの企画・運営をともに考えることを通して、同じ地域に暮らす仲間としての相互理解を深める機会となり、新・旧住民のコミュニティづくりの気運を高めるのに役立つなど、一定の成果あった。

13 「男もカンタンにできるいどばた料理教室」開催支援事業【平成10～11年度】

1 事業のあらまし

仮設住宅での多くの孤独死が出たことを踏まえ、転居した恒久住宅でこうした不幸を繰り返さないように、中高年の男性や一人暮らしの高齢者が、多くの人々とコミュニケーションを深め、仲間づくりを進めるきっかけとして、「男もカンタンにできるいどばた料理教室」の開催を広く呼びかけた。

料理教室を開催するボランティアグループ（5人以上）に対して、1団体当たり15万円を限度に助成するとともに、被災男性を中心に料理教室への参加や料理指導ができる講師の募集も呼びかけた。

（財源は災害復興ボランティア活動助成を活用）

2 これまでの取り組み状況

区 分		平成10年度			平成11年度			計		
		団体数	回数	人数	団体数	回数	人数	団体数	回数	人数
神戸地域	神戸市	23	102	2,329	17	76	2,165	40	178	4,494
阪神地域	尼崎市	1	5	100	—	—	—	1	5	100
	西宮市	7	26	672	5	19	656	12	45	1,328
	伊丹市	1	3	60	—	—	—	1	3	60
	芦屋市	1	2	50	3	14	351	4	16	401
	宝塚市	2	12	265	8	29	827	10	41	1,092
	川西市	1	6	65	4	11	448	5	17	513
東播磨地域	明石市	4	16	583	2	7	352	6	23	935
	加古川市	1	2	88	—	—	—	1	2	88
	三木市	—	—	—	1	5	100	1	5	100
	稲美町	—	—	—	1	15	300	1	15	300
淡路地域	洲本市	3	14	391	3	12	395	6	26	786
県 外	京都府	1	4	100	1	3	75	2	7	175
計		45	192	4,703	45	191	5,669	90	383	10,372

(事業評価)

生活復興県民ネット地域スタッフや地域のボランティアグループ、自治会の協力のもと、恒久住宅転居後の新たなコミュニティづくりの一つのモデルとしてスタートした。

事業の浸透により、地域格差はあるものの、次年度は全体として2割以上の参加者が増えるなど、料理づくりを通じた食生活の改善や健康づくりへの関心の高さが伺えた。

また、料理教室への参加呼びかけを通じて、日頃地域の行事に参加しない独居高齢者や男性の孤立化を防ぐとともに、「いどばた料理教室」の名称にふさわしく、大勢で楽しく料理をつくる和やかな雰囲気の中で、地域の人々とのコミュニケーションを深めるよい機会となったと考えられる。



10
年
度

14 自治会づくり支援事業【平成10年度】

1 事業のあらまし

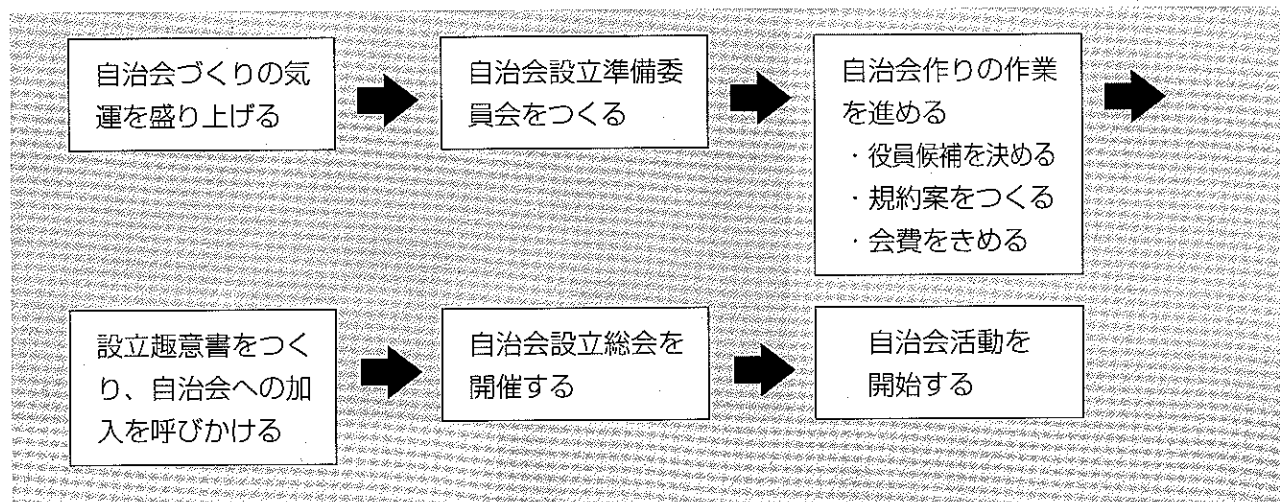
震災から3年が経過し、多くの被災者が仮設住宅から復興住宅に転居し、新しい生活の第一歩を踏み出そうとしているなか、入居予定の方からは「近所の人たちとコミュニケーションがとれるか不安」「仮設住宅の時のような交流はできないのでは・・・」など、転居先でのコミュニティづくりを心配する声が聞かれ、一方では、復興住宅移行後に、安心して暮らせるコミュニティづくりへの、さまざまな支援活動を展開しているボランティアグループなどからは、「自治会づくりの参考となるようなものをつくってはどうか」という意見もあった。

こうした状況を踏まえ、これから自治会をつくらうと思っている方々に役立ててもらえるように、自治会づくりの手順や自治会づくりの経験談などを掲載した「自治会をつくりたい時に読む本」（平成10年5月発行：兵庫県連合自治会監修）を作成、配付した。

2 取り組み状況

- ・作成部数 20,000部
- ・主な配付先 災害復興公営住宅、自治会連合会、社会福祉協議会、婦人会、老人クラブ、被災市町 等

〈自治会づくりの一般的手順〉



（事業評価）

転居先の復興住宅でのコミュニティづくりを側面的に支援することを目的とした事業で、自治会活動がコミュニティづくりへの第1歩になるとの認識のもと、上記冊子を作成した。

復興住宅での自治組織の立ち上げのノウハウを順序だてて説明するとともに、その運営方法などについても、仮設住宅などで自治組織の立ち上げに関わった人達の活動事例集を掲載した。この冊子は、復興住宅はもとより、復興住宅以外からも「参考にしたい」との問い合わせや反響があり、好評を得た。

発行から4年が経過した今も、県外からの引き合いも少なくなく、広く「自治会づくりのマニュアル本」として活用されている。

◆「自治会をつくりたい時に読む本」から抜粋


ノウハウ3

まず、準備委員会から！

自治会をつくりたいということになっても、規約づくり、会費をいくらするか、役員にはだれになってもらうか、活動内容や運営方法はどのようなか、考えなければならぬことは盛りだくさん。そのため、数人で準備委員会をつくり、自治会づくりに向けて作業をすると効果的です。

【準備委員会のつくり方は？】

- ◆ 準備委員会と住民との連絡をとるうえで、ある程度人数が必要ですが、準備委員会の作業を進める過程で、そのほか委員会を住民に知らせたり、回覧板を回したり、住民の意見を聞くということが出てきます。そのような作業を想定した人数が必要となります。
- ◆ 準備委員をやるという意志がなければいけません。そうでなければ、例えば、入居時に決まっている世帯主が兼任するとか、各階ごとに1人、各棟から数人の準備委員を推薦しあって決めるのも一つの方法です。ちなみに神戸市西神戸南住宅は、454世帯の入居者に対して37人の準備委員の方々に自治会づくりを進められました。



【準備委員会でする作業は？】

自治会発足までのスケジュールづくりや手順の検討

↓

自治会発足に対する住民の意見を聞く

↓

設立趣意書の作成・配付と自治会への加入申し込み受け付け

↓

会費の名簿づくり

↓

自治会発足後の運営方法や活動内容の集づくり

↓

規約づくり

↓

役員候補の選出と就任依頼

ノウハウ4

役員はだれに？

自治会をつくりたいとき、よく問題になるのは役員を選出、役員を引退受けようという積極的な人が数人いれば問題はありませんが、たいてい生活面での消極的な人もいます。役員を引受けたい人も、お断りする生活面、みんなが納得する役員を引受けたいようしたらよいでしょうか、役員にだけ負担がかからないよう、住民全体で支える仕組みや体制をとることも考えてみましょう。

【役員はどんな人になってもらえばよい？】

- ◆ 仮設住宅で自治会活動のノウハウを持っている人にお話をしてみよう。しかし、無理強いはいけません。
- ◆ 仮設住宅の入居者の中には、以前に仮設住宅で自治会の役員をされた方も多くいます。こうした方々は、自治会活動のノウハウを持っており、役員を引受けたいという方が多いのです。ただ、引受けたくないという方もおられるので、そういう場合は無理強いせず、側面的な協力などをお願いしましょう。
- ◆ 役員の中に、仮設家にいる人が入ってほしいと思います。しかし、一部の人数に負担がかかり過ぎないように。

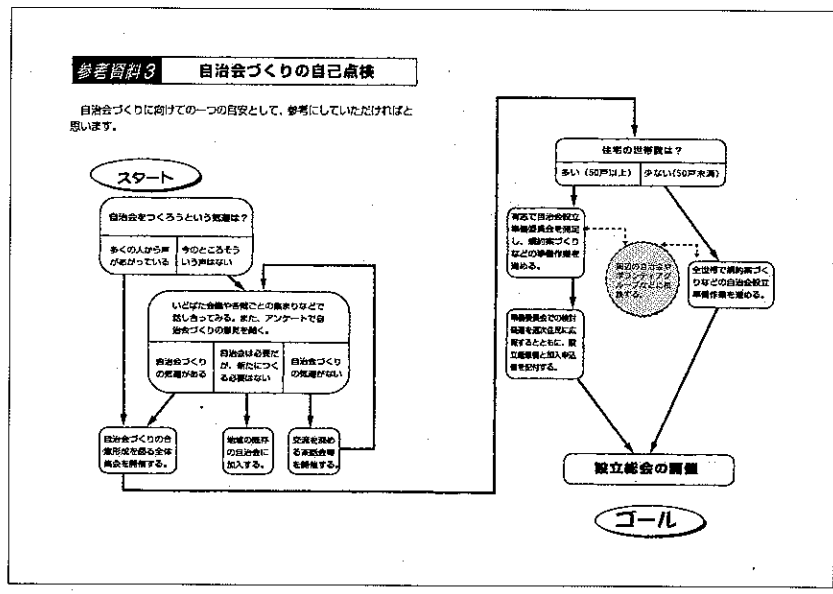
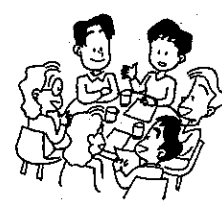
高齢者が多い団地では、急に病人が出るなど、いつ緊急事態が発生するかわかりません。夜間であれば、たいてい人が団地にいますが、緊急は仕事などで外出している人が多いので、自治会で対応しなければならぬこともあります。そのため、役員の中に緊急時にいる人が何人かいるのが好ましいです。しかし、仮設家にいる人だけに役員を押しつけるようなことは避けたいと思います。

【役員の内訳分担を維持する】

自治会活動を効果的に進めるために、たいていの場合、役員の中で、総務、調理学、福祉厚生、防災・防災、広報など、役割分担を決めます。

発足時の役員については、設立準備委員がそのまま就任する場合があります。準備委員会を組織に開き、その中でだれがどのような役割に選んでいるのかを十分話し合ってから、その人にふさわしい担当の役員に就任してもらった方がよいです。

(神戸市西神戸南住宅)



10年度

15 「暮らしの便利読本」作成支援事業【平成10年度】

1 事業のあらまし

平成9年度に第3～4次の災害復興（賃貸）住宅の一元募集が行われ、事実上の大規模復興公営住宅の募集が終了した。仮設住宅から恒久住宅への転居が進む中、転居したばかりの被災者は、慣れない環境に対する不安や知人のいない寂しさなどを抱えながら、新たな生活の第一歩を踏み出した。

こうした被災者が、一日も早くその地域のコミュニティに慣れ親しみ、新しい住まいが「第2のふるさと」となるよう、生活復興県民ネット地域スタッフが、地域の団体、ボランティアグループ等に協力を呼びかけ、災害復興公営住宅をはじめとする恒久住宅周辺地域の手作り情報冊子「暮らしの便利読本」を作成、配付した。

2 冊子の内容・作成状況

〈主な掲載内容〉

- ・地域の概要紹介（生活環境、街の歴史など）
- ・恒久住宅周辺案内マップ（公共施設、観光スポット、名所・旧跡など）
- ・生活関連情報（自治会活動などの地域情報、福祉等の行政情報、緊急時の連絡先など）
- ・交通案内（最寄りのバス、電車の時刻表など）
- ・知って得するまちかど情報（買い物に便利なマーケット、市場、商店街、人気店など）
- ・街のイベント紹介（市民まつり、地域のサークル活動など）

〈作成・配布部数〉

- ・神戸地域 中央区葺合地区周辺地域（1,100部）
中央区脇浜海岸通周辺地域（10,000部）
東灘区域（1,500部）
- ・阪神地域 尼崎市宮今福団地周辺地域（500部）
尼崎市営道意団地周辺地域（500部）
尼崎市潮江周辺地域（500部）
西宮市西宮浜マリナパークシティ周辺地域（3,500部）
西宮市高須町周辺地域（1,000部）
西宮市津門周辺地域（1,000部）
西宮市高畑町周辺地域（1,000部）
芦屋市陽光町周辺地域（1,000部）
宝塚市営安倉西住宅周辺地域（350部）
川西市県営下加茂住宅周辺地域（500部）
計 13地域 22,450部

※冊子作成・配布に係る経費を、1団体あたり60万円を限度に助成。

(事業評価)

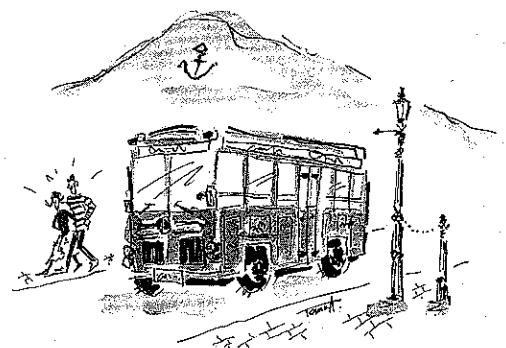
地域の概要や歴史、知って得するまちかどのきめ細かな情報まで、暮らしに役立つ生活関連情報を幅広く掲載した。入居してからまだ日が浅く、買い物や役所への届出ひとつをとっても、土地勘もなく右も左もわからない被災者にとって、転居先での新しい暮らしに一日も早く馴染んでいただくための案内役として、心強い味方となった。

また、生活復興県民ネットの地域スタッフが中心となって、地域の声を聞き、地元自治体とも協力して、創意工夫しながら作業を進めたことが、それぞれの冊子の独創性を生み出す結果となった。

しかし、地域固有の事情もあって、作成地域が神戸市中央区以東尼崎市までの阪神地域に偏るなど、地域事情もあって、結果的に広く被災エリア全域に普及しなかったなど、一部課題として残った。



10
年
度



II 生活復興県民運動の取り組み 〔平成11年度〕



1870

1871



11年度

被災者を取り巻く現状

震災から5年目を迎え、都市基盤の復興が進み、多くの被災者は災害復興公営住宅、民間住宅などに転居、あるいは自宅を再建し、期待と不安が交錯する中、新たな暮らしの一步を歩み始めた。

生活再建の大きな基盤である住宅の目途は立ったが、災害復興公営住宅では、65歳以上の入居者の占める割合が30%を超え、懸念されていた高齢化による様々な問題が現実のものとなり、県や神戸市では、介護が必要な人や家に閉じこもりがちな被災者を対象に、生活復興相談員や高齢世帯支援員をはじめとする多様な支援者を増員し、見守り体制を強化した。

一方、震災を機に高まった市民活動が大きなうねりを見せ、新しい市民社会の担い手としての役割が期待される中、11年9月に「県民ボランティア活動の促進に関する条例」が制定され、12月から特定非営利活動促進法（NPO法）が施行されるなど、市民活動やボランティア活動を支援する体制が整いつつあった。

また、住民主導による復興まちづくりやコミュニティ・ビジネスに参画するなど新しい挑戦も生まれ、被災者自身の自立に向けた意識に顕著な変化が見られるなど、『復興のステージは新たな局面』を迎えた。

- ・仮設住宅入居戸数 (10.4) 21,471戸 → (11.4) 3,861戸
- ・市町社協ボランティア活動者数 (10.3) 126,170人 → (11.3) 137,740人

課題

- ・被災者の元気回復、仲間づくり、生きがいづくり
- ・恒久住宅における地域コミュニティづくり
- ・地域活動の活性化に向けた担い手づくり
- ・地域活動情報ネットワークの形成
- ・支援グループ、団体等のネットワークの強化・協働



新規事業

- ・地域活動ステーションの設置
- ・ひょうごコミネットの運営
- ・地域活動推進講座の実施
- ・「男もカンタンにできるいどばた料理教室」開催支援
- ・自治会づくり支援
- ・コミュニティづくり交流会&ワークショップ開催相談

継続事業

- ・地域スタッフの設置
- ・フェニックス出合いの広場
- ・引っ越し手伝い運動
- ・フェニックス活動助成
- ・生活復興NPO情報プラザの運営
- ・広報誌「ハートネット」の発行

● 当時の主な出来事

(平成11年度)

- 11.4.5 98年5月に成立した被災者生活再建支援法に基づく被災者支援基金が正式発足。大規模自然災害の被災者に最高100万円を支給する被災者生活再建支援制度が開始
- 16 99年3月まで活動した「被災者復興支援会議」の活動を引き継ぎ、被災者と行政の間に立って政策などを提言する「被災者復興支援会議Ⅱ」が発足
被災地に9か所設置されていた仮設診療所のうち、最後の「ヤマウチ・クリニック」(神戸市中央区)が閉鎖
- 27 北淡町の野島断層保存館で、被災者が来館者に震災体験を語る「震災の語り部」が始まる
- 29 震災で全壊した神戸国際会館(神戸市中央区)の商業ゾーンが先行開業する。全面オープンは5/28
- 30 兵庫県、「震災対策国際総合検証会議」(座長:新野幸次郎神戸大学名誉教授)を設置し、第1回会議を開催
- 5.10 兵庫県が5/1現在の仮設住宅入居数は2,669戸であると発表。津名郡北淡町の仮設住宅で最後の入居者が転居し、淡路島内の仮設住宅入居者が解消
- 21 津名郡北淡町の仮設住宅が撤去され、淡路島内の仮設住宅が完全に姿を消す
- 28 被災地外に設置された仮設住宅の中では最大規模の「東加古川団地」から最後の被災者が引っ越す
- 31 被災地の復興活動に携わる市民団体などを支援してきた「阪神・淡路コミュニティ基金」(今田忠代表)が、3年間の活動に閉幕
助成件数は100件、助成金額は5億3,163万円
- 6.1 99年4月の兵庫県内の有効求人倍率が過去最低の0.32倍だったのを受け、兵庫県は連合兵庫、兵庫県経営者協会とともに「兵庫県雇用対策三者会議」を設置
- 3 神戸市中央区脇浜町の神戸東部新都心で、県立新美術館「芸術の館(仮称)」の起工式が行われる
- 9 大阪府内の兵庫県民向け仮設住宅から最後の入居者が退去し、兵庫県外の仮設住宅入居者が解消
- 7.12 被災地で活動するNPOと神戸青年会議所などは、市民や企業から寄付により兵庫県内で活動するNPOの活動に助成することを目的に「しみん基金・KOBE」(理事長:黒田裕子氏)を設立
- 8.3 兵庫県は8/1現在の仮設住宅入居戸数が459世帯、ピーク時の1%未満になったと発表
- 16 兵庫県雇用対策3者会議は、国の緊急雇用対策を受け35,000人の雇用を図るため、全国に先駆けて「雇用創出・安定プラン」を策定
- 17 トルコ北西部のイズミトを震源に午前3時2分(日本時間午前9時2分)、M7.4の地震が発生。主な被害は死者15,585人、全半壊約154,500戸など
- 9.3 兵庫県が発表した9/1現在の仮設住宅入居状況で、加古川市の入居世帯がなくなり、被災地外の仮設住宅入居者が完全に解消
- 9.16 神戸市垂水区の仮設住宅から最後の居住者が転居し、同市内9区の中では初めて仮設住宅入居者が解消
- 21 台湾中部の南投県で午前1時47分(日本時間午前2時47分)、M7.7の地震が発生。死者2,386人。
- 10.25 震災で全壊した神戸市立西市民病院(神戸市長田区)の本館が再建され、診療を開始
- 26 宝塚市・阪急売布神社駅前地区で再開発ビル「ピピアめふ」の完成式が行われ、兵庫県内の復興市街地再開発事業で初めて地区全体が完成
- 27 兵庫県、10/26現在の仮設住宅入居数は95戸と発表する(100戸を切る)

- 29 神戸空港起工式が開催される
- 11.9 神戸市長田区で、被災した商店約90店舗が設置した仮設商店街「復興げんき村・パラール」が、復興再開事業の進展に伴い営業を終了
- 12.10 神戸市は99年9月に実施した市民1万人アンケートの結果を発表し、回答者5,587人のうち「震災前より暮らし向きが低下した」が46.2%、「震災で仕事を失った」が14.7%だったことが明らかになる
- 20 神戸市長田区の西代仮設住宅から最後の居住者が転出し、神戸市内の仮設住宅居住者は完全に解消
- 12.1.1 明石市の高丘3丁目仮設住宅より最後の居住者が転居したことにより、震災による仮設住宅居住者が完全に解消
- 17 **震災から満5年が経過。**この日を中心に阪神・淡路大震災5周年記念事業として80事業が開催されたほか、自治体やボランティアなどが慰霊・追悼行事を各地で開催
- 2.23 政府の阪神・淡路復興対策本部は、阪神・淡路復興基本法による5年間の設置期限を迎え、解散
- 24 神戸市は99年の観光客数について、94年比3%増の2,593万人と発表
- 3.2 政府の阪神・淡路復興対策本部解散後の受け皿として、国土庁など16省庁で構成する「阪神・淡路復興関係省庁連絡会議」が設置
- 18 ジャパンフローラ2000開幕（～9/17）
- 29 西宮市高須町の仮設住宅の解体工事が終了し、被災地全体で約48,000戸建設された仮設住宅が設置から5年2か月で完全に姿を消す
- 31 震災発生から5年が経過した年度末をもって、様々な機関や制度が廃止・終了する
 (主なもの)
 - ・被災者の精神的な問題に取り組む専門機関として設置された「こころのケアセンター」（西宮市に移管される「西宮こころのケアセンター」を除く。相談受付は1月末で終了）
 - ・被災中小企業を支援する目的で設置した「仮設工場」のうち、神戸市長田区の「神戸インナー第4工業団地仮設工場」ほか1か所（残る4か所も2000年6月までに順次設置期限を迎える）
 - ・被災10市10町に、コミュニティづくりの拠点として設置された「フェニックスステーション」
 - ・神戸市震災復興本部総括局、生活再建本部

11
年
度



16 地域活動推進講座助成事業【平成11年度～】

1 事業のあらまし

阪神・淡路大震災から4年の歳月が経ち、仮設住宅から恒久住宅への本格的な移行期において、多くの被災者が、今までと異なる環境の中、新たな生活に向けてスタートすることとなった。これに伴って、互いに支えあうコミュニティづくりが被災地の大きな課題となっていた。

こうした課題に応える方策のひとつとして、11年度からコミュニティにおける地域活動の担い手づくりを目的とした「地域活動推進講座」を実施することとなった。

本事業は、地域活動に役立つ知識や技術を学ぶとともに仲間づくりをめざした講座を開催するグループ・団体に講座開催経費の一部を助成するもので、各地域のNPOやボランティアグループなど多くのグループ・団体が、健康づくり、生きがいづくり、まちづくり、環境など様々なテーマで講座に取り組んできた。

(1) 助成対象団体

つぎの要件を全て満たしているグループ、団体

- ・継続的に活動を行っている。
- ・過去にグループ・団体の構成員以外を対象とした講座・学習会等を開催したことがある。
- ・コミュニティづくりに取り組んでいること。
- ・営利を目的としていないこと。

(2) 対象となる講座

被災地内で開催される、3回以上の連続講座。

(3) 助成額

1講座あたりの開催回数に応じて、24万円を限度に助成する。

2 年度別開催講座数等

	申請講座数等	開催講座数	受講者数
平成11年度	130講座 (104団体)	119講座 (95団体)	1,915人
平成12年度	229講座 (189団体)	121講座 (114団体)	5,117人
平成13年度	231講座 (176団体)	138講座 (121団体)	6,157人

3 地域別開催状況

〈平成11年度〉

	神戸	阪神	東播磨	淡路	合計
講座数	59	48	7	5	119
(団体数)	(42)	(43)	(6)	(4)	(95)

〈平成12年度〉

	神戸	阪神	東播磨	淡路	合計
講座数	53	56	7	5	121
(団体数)	(49)	(53)	(7)	(5)	(114)

〈平成13年度〉

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	淡路	合計
講座数	69	36	23	6	1	3	138
(団体数)	(62)	(30)	(21)	(6)	(1)	(3)	(123)

※平成13年度の団体数合計(123)と、「年度別開催講座数等(72頁)」の団体数121が合致しないのは、同一団体が複数地域において講座を開催している例があるため。

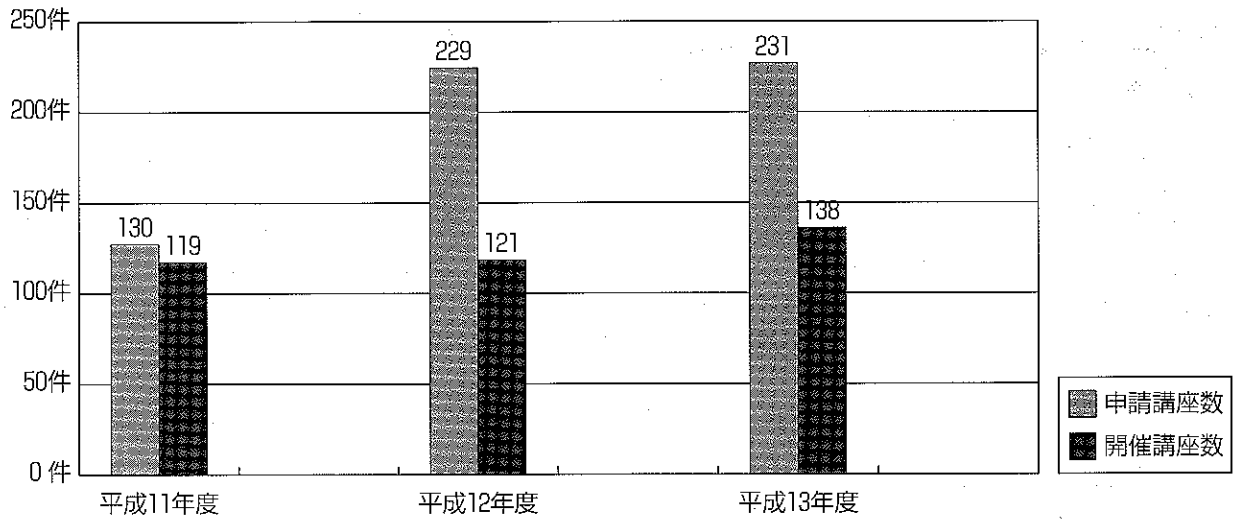
4 テーマ別開催状況

(単位：%)

項目	平成11年度	平成12年度	平成13年度
文化・芸術・スポーツ(イベント、遊びの伝承等)	24.4	28.9	31.2
子育て(虐待防止、児童教育等)	9.2	13.2	15.9
まちづくり(地域おこし、町並み保存等)	8.4	5.8	15.2
ボランティア・NPO活動	11.8	10.7	11.6
健康づくり	13.4	13.2	8.7
福祉(介護、給食、移送、友愛訪問等)	27.7	20.7	13.0
環境(清掃、緑化、リサイクル等)	5.0	7.4	4.3
合計	100.0	100.0	100.0

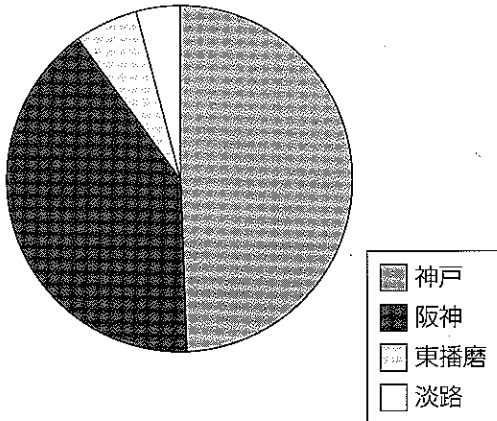
11年度

【年度別申請講座数・開催講座数】

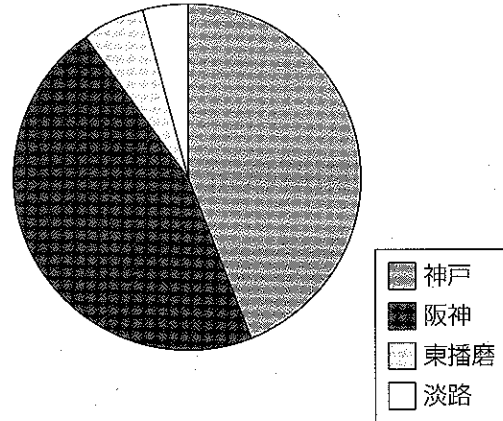


【年度別、地域別開催講座数】

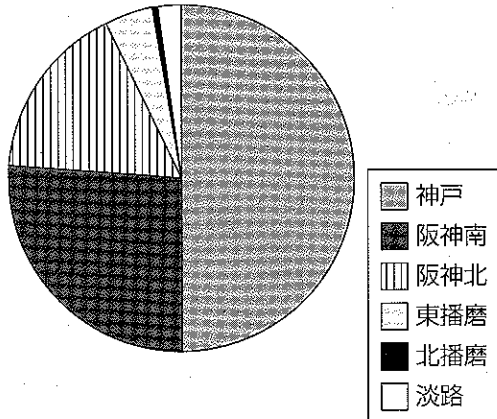
平成11年度地域別講座数



平成12年度地域別講座数

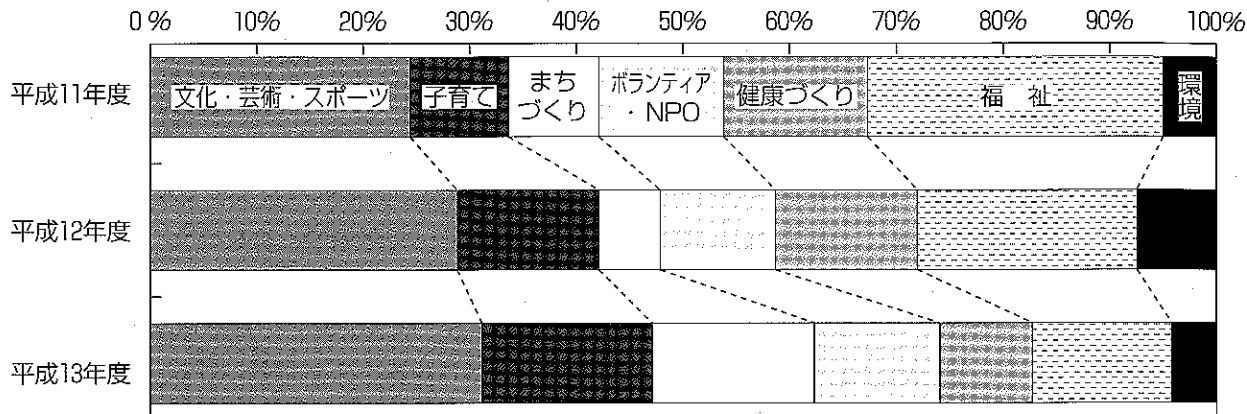


平成13年度地域別講座数



11年度

【年度別、テーマ別講座割合】



（事業評価）

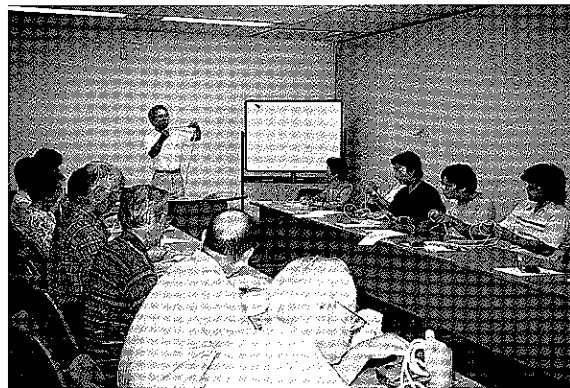
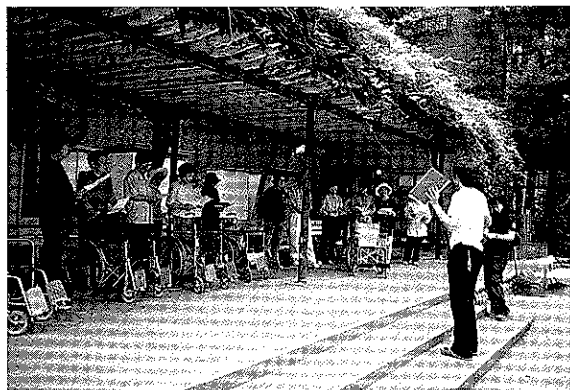
助成団体にとっては、講座の企画、立案、実施の過程を通し、自分たちの持っているスキルやノウハウを発揮、活用する機会となり、これまでも非常に多岐の分野にわたる講座が開催された。

講座の内容としては、「健康づくり」や「福祉」をテーマとした講座の全体における割合が年々減少してきているのに比べて、「文化・芸術・スポーツ」「子育て」や「まちづくり」をテーマとした講座が増加している。

時間の経過とともに、少しずつ、暮らしが落ち着き、生活密着型から、心の余裕やゆとりが生み出すテーマへとシフトしているのが、大きな特徴である。

一方、受講者の数は、平成13年度には延べ1万人を越え、受講生の中には受講を機に、講座で得たノウハウやスキルを活かし自ら地域活動グループを立ち上げる者も少なくなく、草の根において地域活動グループの輪を広げる一助になった。

11
年
度



17 地域活動ステーションの運営【11年度～】

(地域活動情報ネットワーク事業)

1 事業のあらまし

仮設住宅から恒久住宅への本格的な移行に伴い、直面する課題が直接的な被災者支援から地域のコミュニティづくりにシフトし、住民が自ら地域活動に取り組んでいく環境づくりを行うことが求められるなか、被災地域において、住民が身近なところで集い交流できる、公民館、地域福祉センター等の公的施設、NPO・ボランティア事務所などを、住民に親しまれる“地域の駅”になぞらえて「地域活動ステーション」として位置付け、地域情報の交換や住民交流ができるコミュニケーションづくりの拠点として整備することとした。

地域活動ステーションでは、ファックスやインターネット等の通信機器を活用して双方向に受発信できる情報ネットワークシステム「ひょうごコミ²ネット（コミュニティ&コミュニケーション）」に寄せられた「イベント情報」「お知らせ情報」「募集情報」をはじめとする地域活動に関する情報や様々な行政情報を、施設内の掲示板に掲示したり、ホームページに掲載することを通じて、広く住民に情報提供し、地域活動への積極的な参加を呼びかけている。

なお、地域活動ステーションに対しては、運営費の定額補助を行うほか、希望に応じて通信機材（ファックスまたはパソコン）や事務機材（掲示板、カタログスタンド、レターケース）を無償で貸与し、その円滑な運営への支援を行っている。

2 取り組み内容

(1) 地域活動情報の収集・発信

各地域で実施されるイベントなどに関する情報を、「ひょうごコミ²ネット」等により収集するほか、地域活動ステーションが実施するイベント開催などの地域活動に関する各種情報の発信を行っている。

また、地域活動団体・グループや活動情報サポーター等の希望に応じて、地域活動ステーションの情報機器を活用して、ひょうごコミ²ネットへの情報投稿などの情報発信の支援を行っている。

(2) 情報の提供

地域活動ステーションに設置された掲示板、レターケース、カタログスタンド等を活用して、ひょうごコミ²ネットに寄せられた情報、行政情報等の掲示や、その他地域活動に関する情報を提供している。

また、来訪者からの相談に応じて、ひょうごコミ²ネットの各種情報を検索の上、情報提供を行っている。

3 地域活動ステーション設置数と内訳

(1) 地域別

(平成14年3月31日現在)

	神戸地域	阪神地域	東播磨地域	淡路地域	合計
設置数	153	81	27	29	290

(2) 施設種類別

(平成14年3月31日現在)

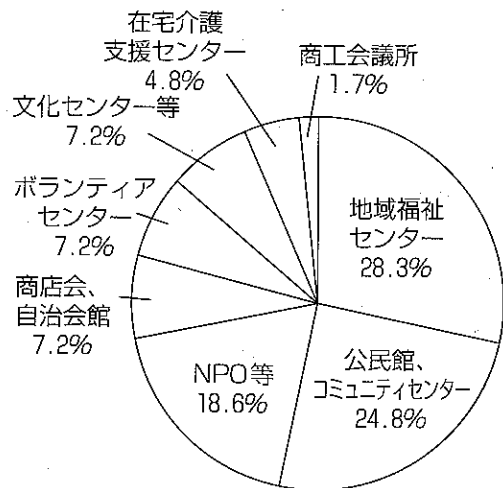
施設の種類の	主 な 施 設 名	設置数
NPO等	コミュニティ・サポートセンター神戸、市民活動センター・神戸、和太鼓「美鼓音」 など	54
自治会館等	北畑会館、小林会館 など	21
商工会議所	伊丹商工会議所、三木商工会議所 など	5
在宅介護支援センター等	大久保北在宅福祉センター ほか	14
ボランティアセンター等	灘区ボランティアセンター、住吉コープ福祉・ボランティアセンター など	21
地域福祉センター	学園東地域福祉センター、神の谷地域福祉センター など	82
公民館 コミュニティセンター等	西宮市立中央公民館、洲本中央公民館 など	72
文化センター 女性センター 子育てセンター等	宝塚市女性センター、津名町立しづかホール など	21
合 計		290

(3) 設置数の推移

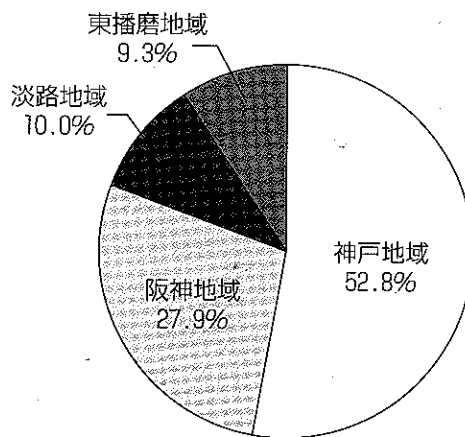
	H11.7	H12.6	H12.10	H13.3	H13.6	H14.3
地域活動ステーション数	221	256	287	284	290	290

11
年
度

施設種類別設置状況



地域別設置状況



4 シンボルマークについて

住民が身近なところで、地域の情報交換や交流ができる「地域活動ステーション」を広くPRし、地域のコミュニティの拠点として利用していただくため、親しみやすいシンボルマークを募集した。

全国から66点の応募があり、審査（委員長：絵本作家 永田 萌）の結果、浅野知子さん（神戸市東灘区在住）の作品を優秀賞として決定した。当シンボルマークは、290ヶ所の地域活動ステーションの玄関先や施設内の壁面等に掲示されている。

（永田 萌さんからのメッセージ）

地域活動ステーションが、新しい時代の「井戸端」や「横町のご隠居さん家」になるように！

阪神・淡路大震災の残した多くの教訓の中で、コミュニティづくりの大切さは大きなテーマだと思います。

高齢化社会をむかえて、孤立しがちな独居生活を送る人も増えてきていますし、核家族の生活スタイルの中で、他者とのコミュニケーションの不得手な若者も多くなって来でしょう。

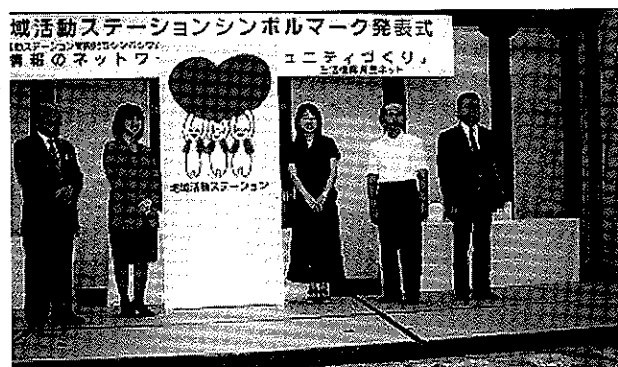
人と人がむかい合って作る従来のコミュニティをさらに進めたネットワーク化によって、距離を置く場所間での瞬時のコミュニケーションをインターネットなどの手段で可能にすることが必要不可欠になってくると予想されます。

地域活動ステーションの開設は、まさに時代の求めに応えるものです。

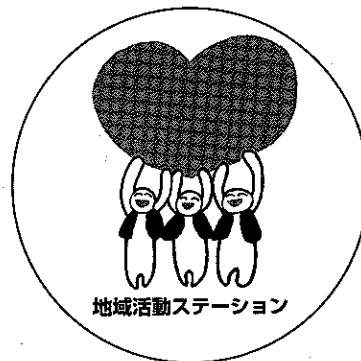
地域の住民が気軽に立ち寄り、遠くの情報も近くの情報も、たやすく得ることのできるシステム作りが望まれます。

シンボルマークが示す、互いに支え合う姿が一般的でさり気ない光景として、兵庫全域にあらわれ、そして根づいていくことを心から願います。

地域活動ステーションシンボルマーク発表式



地域活動ステーション シンボルマーク



（震災後、多くの人に支えられてきたことをイメージして、大きなハートを互いに支え合う姿を描写）

5 地域活動ステーションから寄せられた主な声

- ・地域のイベント等のPRに活用できて助かった。
- ・地域からのさまざまな情報を入手でき、自分たちの活動の参考になる。
- ・貸与を受けた掲示板、情報ラックなどは、情報ファックスやチラシ等の掲示に有効活用している。
- ・情報交換ができる場であることをとてもうれしく思う。
- ・各地の情報を知ることは、自分たちの活動の励みにもなる。
- ・掲示されていたイベントに参加し、良かったとの意見がある。

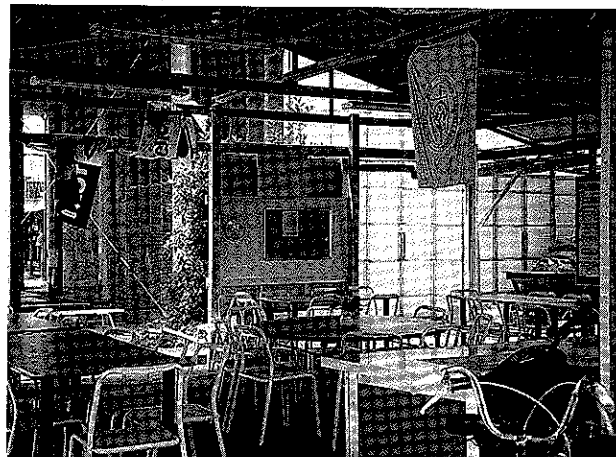
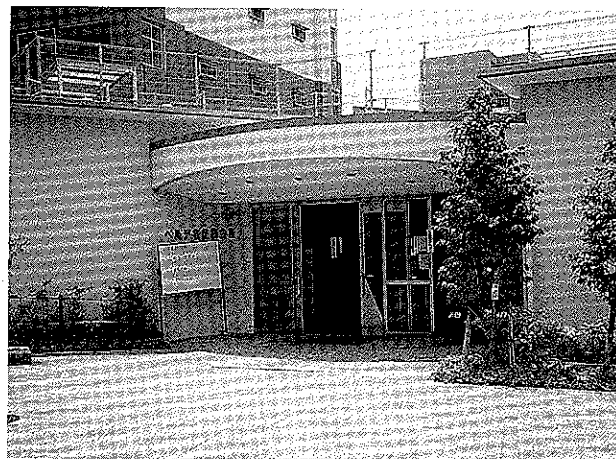
(事業評価)

地域活動ステーションはさまざまな施設に設置されているため、その活動形態も多様ではあるが、「(設置者にとっては) 各地域からの様々な情報を入手でき、自分たちの活動の参考になる」とか「掲示されたイベントに参加することができて良かった」といった利用者の声に代表されるように、ステーション運営者と利用者双方から、概ね好意的な評価を得ている。

しかし、地域活動の主な担い手である高齢者や主婦などが、情報機器の取り扱いに不慣れであること、ひょろごコミネットにより掲載、配信される各種情報の対象地域や掲載内容が、利用者ニーズに必ずしも合致していないこと、地域住民にとって地域活動ステーションの認知が不十分であること、イベント等に参加する動機として、地域の身近な人どうしによる誘い合いがまだまだ主流であることなどの要因により、うまく活用されていない面もある。

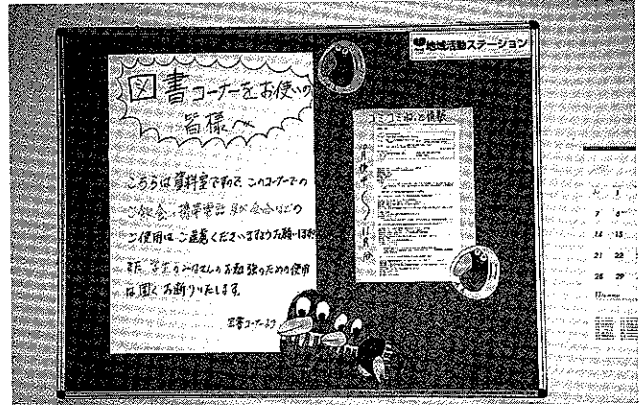
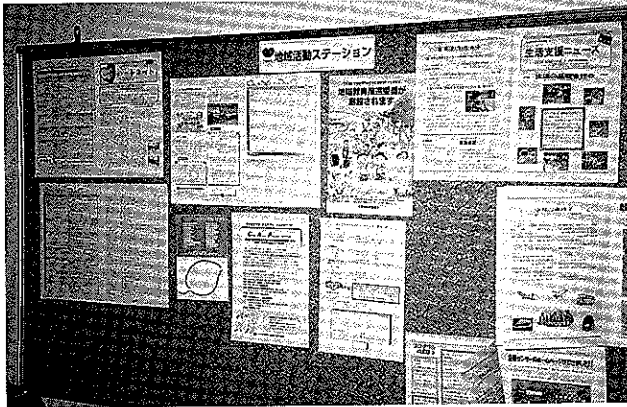
今後、パソコン普及率の一層の拡大などを通して、地域の情報化が推進され、地域の住民誰もがこうした通信機器を自在に扱えるようになれば、地域活動に関する各種情報を一元的な収集、提供、発信機能を持つ地域活動ステーションは地域活動情報ネットワークシステムとして、地域活動の活性化を促し、地域コミュニティの形成を図る上で、めざましい効果を発揮する可能性があると思われる。

地域活動ステーションの一例

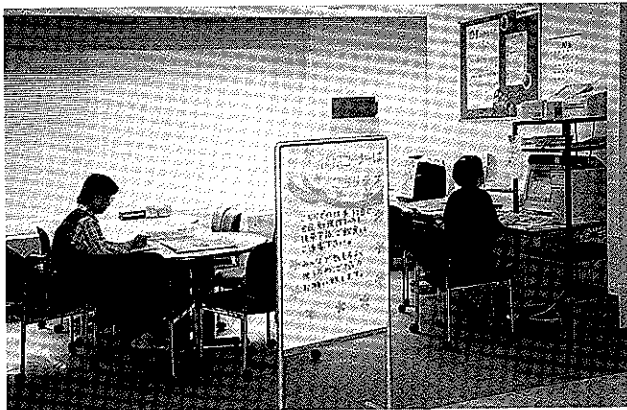


11
年
度

ひょうごコミネットからの情報を掲示板にて情報提供



パソコンによる情報収集



パンフレット等の情報提供



11
年度

地域活動の様子



18 ひょうごコミ²ネット (コミュニティ&コミュニケーション) の運営 [11年度~] (地域活動情報ネットワーク事業)

1 事業のあらまし

震災から4年が経過した平成11年は、仮設から恒久住宅への本格的な移行期であった。

多くの被災者にとって、これまでとは違った生活環境を迎えることとなったが、1日も早く地域に慣れ親しめるよう、仲間づくりを促進するための交流機会や、その参加を促進するための地域活動に関する各種情報の提供が求められていた。

そこで、住民が集い交流できる身近な、公民館、地域福祉センター、NPO・ボランティア事務所などを、地域活動の情報交換ができる地域の活動拠点(地域活動ステーション)として位置づけ、パソコンやファックス、掲示板等は無償貸与してハード面の整備を進めた。また、イベント情報などの地域活動に役立つ情報提供するため、インターネットのホームページやファックスを利用した、地域活動ステーションへの配信や、地域活動団体・ボランティアグループ、個人などの間で、双方向に情報を受発信する情報ネットワークシステムとして「ひょうごコミ²ネット(コミュニティ&コミュニケーション)」を整備するなど、情報ネットワークを支えるハード・ソフト両面の充実を通じて、住民が主体的に地域活動に参加できるような環境づくりに努めた。

2 取り組み内容

(1) ホームページの開設

(ひょうごコミ²ネットホームページアドレス)

<http://com2.net-hyogo.chuo.kobe.jp>

(収集・発信する主な情報内容)

①地域活動団体・グループ情報(市民活動団体情報)

- ・被災10市10町で主に活躍する地域活動団体、グループの活動概要の紹介
- ・50音別、分野別、地域別に団体検索が可能

②イベント情報

フォーラム、セミナー、文化・スポーツ関係のイベント、生活復興県民ネットが実施する地域活動推進講座、ふれあい喫茶の開催などの各種イベント情報

③お知らせ情報

スタッフの派遣、物品・資金などの提供の他、電話相談などの各種相談、新しい施設のオープン案内などの情報

④募集情報

運営スタッフやボランティアの募集、サークルメンバーの募集、各種助成金情報など

⑤出会いの広場情報(～平成13年度)

被災者の生活復興を支援するプランを実現するため、人材、アイデア、ノウハウ、資金などを持ち寄ってマッチングを進めるための場

⑥その他

- ・地域活動ステーション一覧
- ・まちかど掲示板(電子掲示板による会員間の情報交換)

- ・施設情報（貸会議室、貸事務所、公的施設情報 等）
- ・助成団体情報（公的、民間、海外助成団体 等）

(2) 地域活動情報の収集

① 会員構成

- ア パソコン会員あるいはファックス会員
- イ 地域活動ステーション、地域活動団体・ボランティアグループ、個人

② 情報収集の方法

- ア 会員からの情報投稿
 - ・コミ²会員がインターネットのホームページに直接アクセスして入力（パソコン会員）
 - ・情報登録カードを生活復興県民ネット事務局へファックスし、事務局がひょうごコミ²ネットへ代行入力（ファックス会員）
- イ 兵庫県広報課、市町などによる記者発表資料
- ウ 会員以外の地域活動団体・グループによる情報投稿

(3) 情報発信

① ファックス送信

ファックス一斉送信サービスを利用して、毎週定期的にファックス会員や地域活動ステーションに情報を送信する。

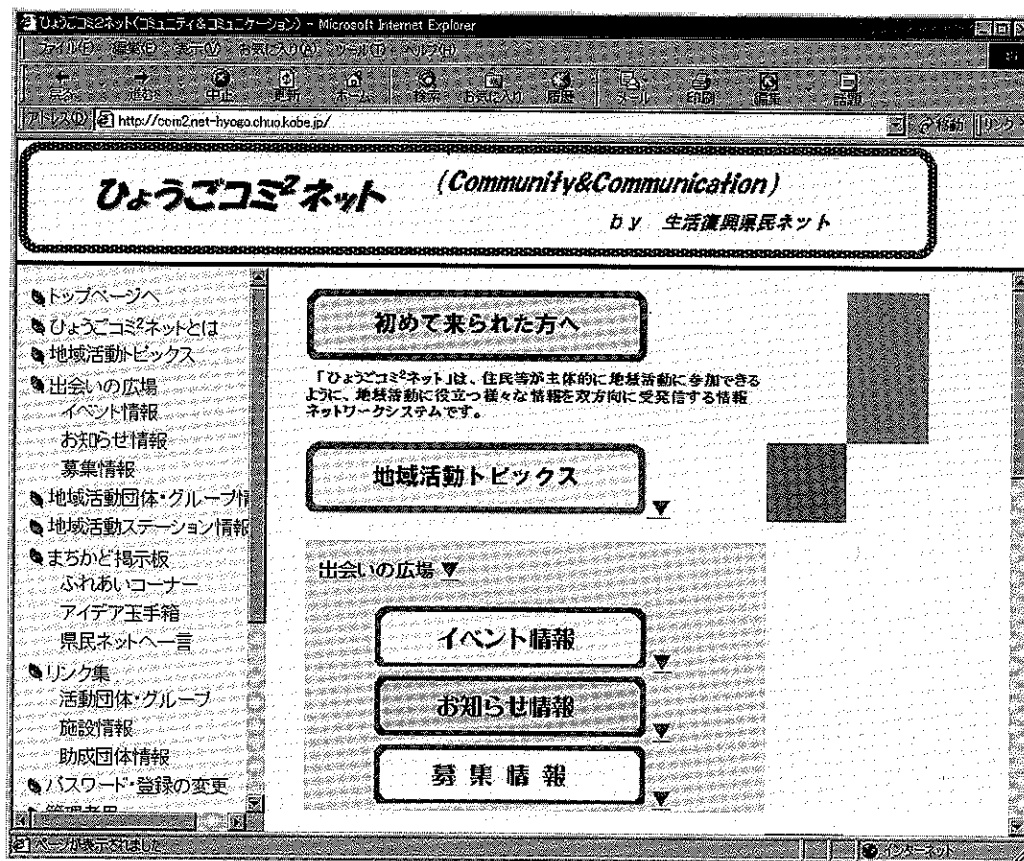
② ホームページの公開

インターネットの「ひょうごコミ²ネット」のホームページにアクセスすれば、コミ²会員以外的一般の方も、情報検索を行うことができる。

3 会員数・アクセス件数等の推移（平成14年3月末現在）

	11年度	12年度	13年度	計
会 員 数	544	458	475	—
F A X	430	314	294	—
パ ソ コ ン	114	144	181	—
地域活動ステーション	221	284	290	—
団 体 会 員	281	133	146	—
個 人 会 員	42	41	39	—
アクセス件数	1,223	5,806	7,198	14,227
件 数 / 日	4.7	15.9	19.7	14.4
投稿情報数	918	1,521	1,447	3,886
イ ベ ン ト 情 報	486	715	1,026	2,227
お 知 ら せ 情 報	82	81	57	220
募 集 情 報	215	518	191	924
計	783	1,314	1,274	3,371

ひょうごコミネット ホームページ画像



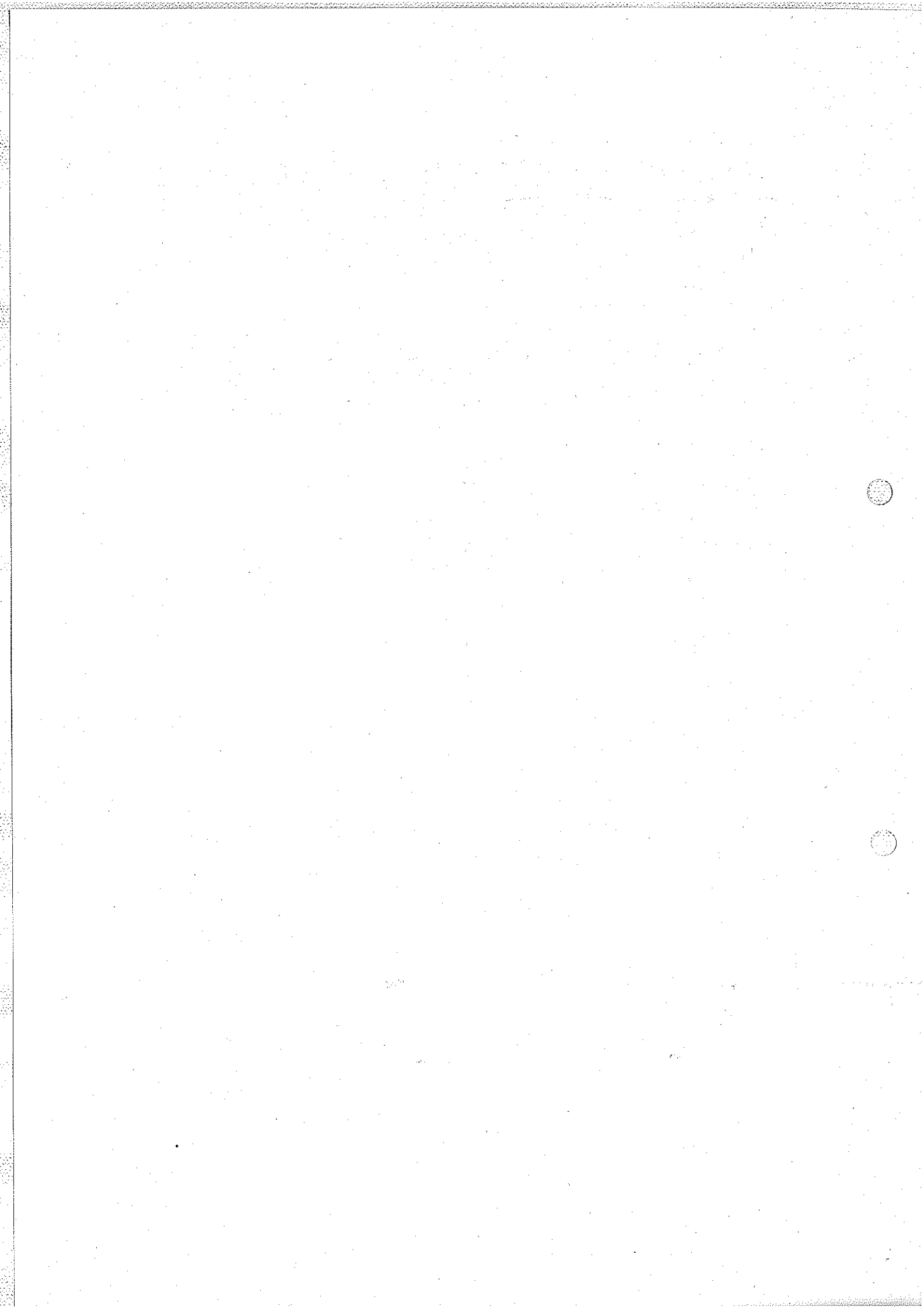
(事業評価)

ひょうごコミネットの会員数は、450～500団体（人）とほぼ横這い状態であるが、情報の受発信に利用する通信機器は、インターネット利用者の増加を背景に、パソコンの利用率が高まってきている。しかしながら、情報機器の操作に不慣れな方もまだまだ多く、ファックスで情報送信を希望するニーズも強い。

情報投稿を行っている会員は、まだまだ限定されていると思われるものの、イベント情報、お知らせ情報、募集情報をはじめとする地域活動に関する様々な情報を、活動団体自らが主体的に情報発信できるコミネットシステムの特性は、広域的な情報発信基盤を持たない活動団体にとって、簡便で安価な広報媒体であり、身近な情報発信ツールとして利用価値は高い。

このように、ひょうごコミネットは、活動団体の情報発信の支援や被災者等への情報提供を効果的に行うシステムとして、被災地におけるコミュニティ形成の促進、地域活動の活性化に一定の役割を果たしているものと思われる。

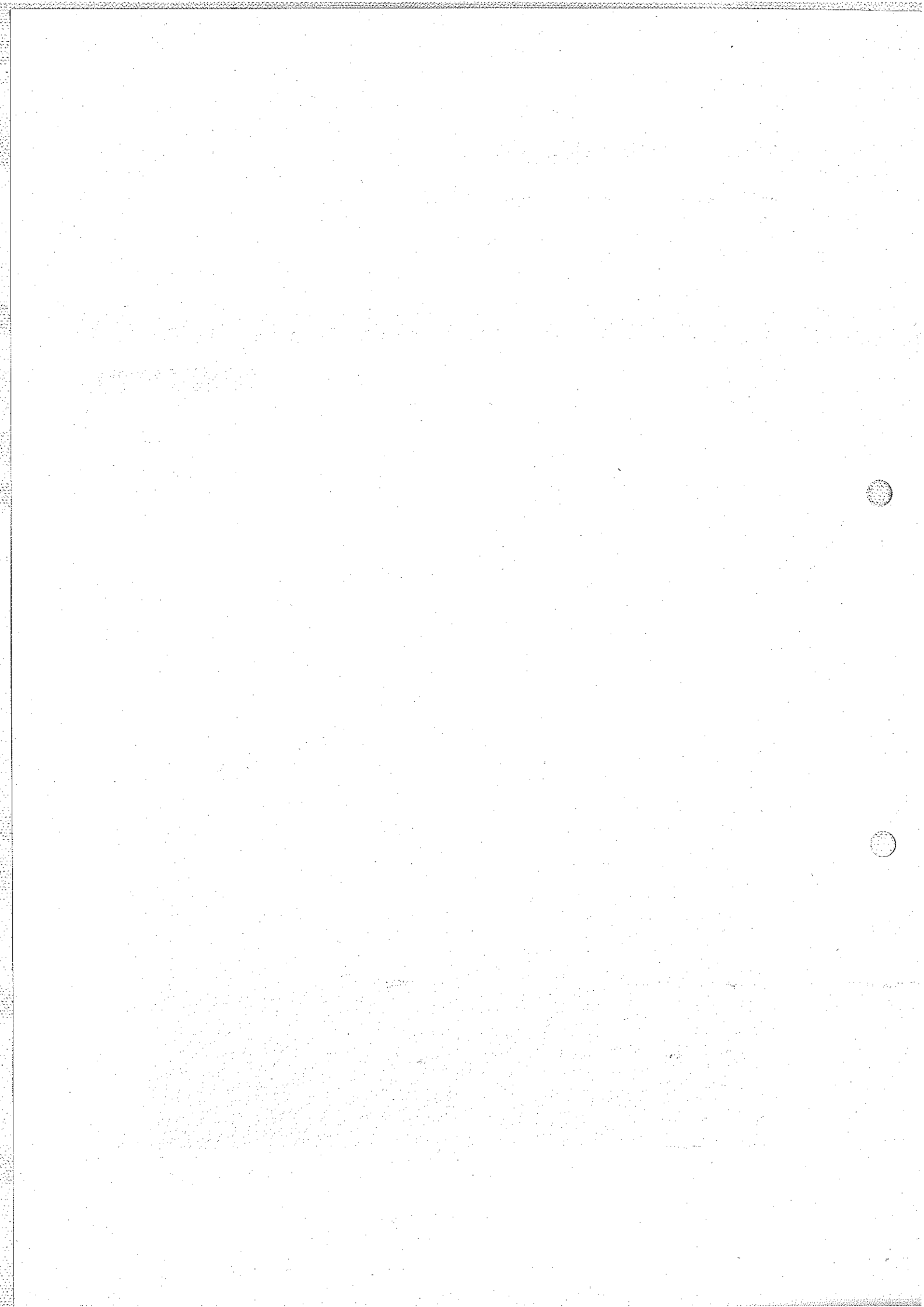
11年度



II 生活復興県民運動の取り組み

(平成12年度)





12年度

被災者を取り巻く現状

震災から6年目を迎え、都市基盤は整備され、12年1月には、ピーク時4万8千戸あった仮設住宅が全面解消され、全ての仮設住宅入居者の恒久住宅への移行が完了した。2月には、復興施策を進めてきた国の「阪神・淡路復興本部」が解散、3月末には神戸市も「生活再建本部」を廃止した。

創造的復興をめざす兵庫の姿をアピールする淡路花博「ジャパンフローラ2000」が開幕し、6月から、被災地の観光振興を図る「See HANSHIN AWAJIキャンペーン」がスタートした。

しかし、被災地の経済は、復興需要が一段落した後に、全国的な景気低迷の影響を受け、中小企業、自営業者などをはじめとして、依然厳しい状況にあり、有効求人倍率などの雇用指標も低調な状態が続き、産業の本格的復興と安定した雇用の確保が大きな課題となり、兵庫県、神戸市をはじめとする被災自治体で、復興10カ年の後期5カ年に重点に取り組む「推進プログラム」が発表された。

こうした被災地経済の低迷が、被災者の自助努力にもかかわらず、生活復興にも影を落とす中、一方では、災害復興公営住宅周辺地域におけるコミュニティづくりやコミュニティ・ビジネスなど新しい働く場づくりへの主体的挑戦などに見られるように、市民同士の互いの支え合いによって、地域課題を解決し、地域社会の「公共的領域」を担っていこうとする機運が高まるなど、市民、企業・労働組合、行政が、ともに手を携えたパートナーシップのもと、『自助、共助、公助が相まった恒久住宅での本格的な生活復興』の時期を迎えた。

・仮設住宅入居戸数	(11.4)	3,861戸	→	(12.1.4)	0戸	
・市町社協ボランティア活動者数	(11.3)	137,740人	→	(12.3)	138,109人	
・有効求人倍率(※[]内は県全体)	(11.3)	0.31倍	[0.34]	→	(12.3)	0.39倍 [0.41]

課題

- ・被災者の元気回復、仲間づくり、生きがいづくり
- ・恒久住宅の周辺地域も含めたコミュニティづくり
- ・地域活動の活性化に向けた担い手づくり
- ・地域活動のコーディネート
- ・支援グループ、団体等のネットワークの強化・協働

新規事業

- ・地域活動コーディネーターの設置
- ・地域活動ハンドブックの作成
- ・コミュニティ・フェスティバルの開催
- ・活動情報サポーター

継続事業

- ・フェニックス出会いの広場
- ・地域活動ステーションの設置
- ・ひょうごコミ²ネットの運営
- ・地域活動推進講座の実施
- ・生活復興NPO情報プラザ開設
- ・広報誌“ハートネット”の発行

12年度

● 当時の主な出来事

(平成12年度)

- 12.4.5 自民党、公明党、保守党の連立による森内閣が発足
- 8 被災者労働ユニオンが「仕事と暮らし」について、復興住宅「HAT神戸」(神戸市中央区)の住民を対象に行ったアンケート調査。回答者の約6割が無職
- 20 北海道、有珠山噴火災害で、虻田町に「被災者生活再建支援法」を適用
 (財)阪神・淡路産業復興推進機構が、震災からの復興を国内外へPRするとともに、被災地の観光復興を図る「See HANSHIN AWAJIキャンペーン」を6月からスタートさせることを発表
- 22 神戸市兵庫区本町公園の「旧避難所」が撤去され、すべての避難所が解消
- 24 (財)阪神・淡路大震災復興基金、「被災者自立支援金」についての申請期限(4月28日)以降も受け付けると発表
- 25 兵庫県、「阪神・淡路大震災復興計画後期5ヵ年推進プログラム策定委員会」(委員長:新野幸次郎神戸大学名誉教授)を設置。第1回全体会議を開催
- 5.2 神戸市、市民と専門家を交えたワークショップなどを重ねながら昨年度に実施した震災復興の総括・検証の報告書を発行
- 9 震災から復興の感謝の思いを伝える「神戸21世紀・復興記念事業」(2001年1月17日～)のシンボルと愛称「KOBE2001 ひと・まち・みらい」が決定
- 11 神戸市立西市民病院(長田区)が整備を終え、5年4ヵ月ぶりに全診療科で診察を再開
- 15 神戸市中央区の人口が111,563人となり、阪神大震災直前の人口を始めて上回る(5/1現在の推定人口:北区・西区を除く7区で初めて)
- 17 神戸市建設の復興支援工場(兵庫区)全4棟が完成し、竣工式が行われる
- 26 「生活復興資金貸付」の最終実績がまとまる
 (1996年12月～2000年3月末:貸付件数は2万7,582件。総額516億1,400万円)
- 6.23 兵庫県、阪神・淡路復興計画(後期5ヵ年)の策定のため、県民の意見を聞く「阪神地域・公開フォーラム」を開催
- 30 県内初の都市型駐在所となる兵庫署キャナルタウン駐在所(神戸市兵庫区)の開所式が行われる(12/4 南芦屋浜駐在所 12/8 HAT神戸灘の浜駐在所)
- 7.8 震災から2千日目 三宅島・雄山が噴火
- 19 ケミカルシューズ産業の復興シンボル「シューズプラザ」と、商業活性化の中核施設「アジアギャラリー神戸」(神戸市長田区)の竣工式が行われる
- 8.5 神戸市の調査により、市営の復興住宅での独居死が昨年4月からの1年4ヶ月の間に43人に上ることが明らかになる
- 8 建設省、災害公営住宅の家賃低減措置について、順次期限切れとなる2001年7月以降も5年間継続(実質10年間)する方針を明らかにする
- 10 2001年7月に開通する神戸市営地下鉄海岸線のレールを敷く軌道工事が全線で完了し、「全線レール締結式」が行われる
- 22 震災を教訓に造られた、全国の自治体初の災害対策専門庁舎「県災害対策センター」の完成式が行われ、業務を開始
- 24 兵庫県、災害復興公営住宅の家賃減免の延長で、政令月収が8万円を超える世帯に対しても、今後5年間は負担緩和の軽減措置を実施することを発表

- 9.1 県外の防災訓練として過去最大の規模の県防災訓練が、阪神地区や県庁、但馬空港で開催され、21万5,200人が参加
- 17 淡路花博「ジャパンフローラ2000」の閉会式が行われる
- 28 阪神・淡路大震災復興支援館「フニックスプラザ」の開館（1996年7月20日）以来の入場者が200万人を突破
- 10.1 住宅に関する相談や情報提供など、すまい相談の総合拠点を目指す「神戸市すまいの安心支援センター」がサンバル4階にオープン
- 10 兵庫県、震災の教訓を内外に発信する阪神・淡路大震災メモリアルセンター（仮称）の概要を明らかにする
（2002年1月7日付で「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」に決定）
- 12 兵庫県、コミュニティ・ビジネスなど地域に役立つ働き方を提案する「生きがいしごとサポートセンター」を県中央労働センター（神戸市中央区）に開設、愛称は「ワラビー」
- 11.2 神戸市、震災復興計画（1995-2004）の後期5年の重点目標を定めた「復興計画推進プログラム」をまとめる
- 9 菅原市場にスーパー形式の共同店舗「味彩（あじさい）館SUGAHARA」が完成。店舗正面の入口わきに震災モニュメント「寅さん記念碑」が建つ
- 17 長崎県の雲仙・普賢岳の噴火から10年を迎える。「雲仙・普賢岳噴火10年復興記念式典」が島原市で開かれ、「再生宣言」をうたいあげる
- 22 兵庫県、阪神・淡路大震災から10カ年で取り組む復興計画で、今後の指針となる「後期5カ年推進プログラム」を発表
- 12.15 神戸市の人口が1,493,595人。震災後の前回調査との比較で約7万人増加。震災直前の1995年1月1日現在の推計人口の98%まで回復（国勢調査速報値）
- 18 兵庫県の人口が5,500,742人。震災後の前回調査との比較で約15万人の増加。震災直前の1995年1月1日の推計人口と比べても0.4%上回る（国調速報値）
- 13.1.17 紀宮様をお迎えし、兵庫県の「1.17ひょうごメモリアルウォーク震災6周年追悼のつどい」が開催される
神戸21世紀・復興記念事業が開幕。「希望の灯り」がスタート
- 2.5 世界各国の防災専門家が自然災害への対策や復興のあり方について話し合う「世界防災会議」が開催される（県立淡路夢舞台国際会議場：津名郡東浦町）
- 11 震災で全焼した鷹取商店街（神戸市長田区）が再建され、記念式典が行われる
- 15 財阪神・淡路大震災復興基金が、民間賃貸住宅に住む震災の被災者向け家賃補助について、2002年度以降、支給対象世帯を政令月収20万以下にし、月1万円の補助を4年間延長する内容を発表
- 20 兵庫県が設置する「県長期ビジョン審議会」（会長：小室豊允姫路獨協大学長）が、21世紀の兵庫の指針となる「県長期ビジョン・全県ビジョン」を答申
- 22 「神戸市すまい審議会」（会長：安田丑作神戸大学工学部教授）が、神戸市が目指すべき目標、施策などをまとめ市に答申
- 27 神戸市、市営災害復興住宅で4月以降の入居者についても家賃軽減措置を適用することを明らかにする
- 3.18 被災者復興支援会議Ⅱ（座長：室崎益輝神戸大学安全研究センター教授）が、最終提言フォーラムをフェニックスプラザ（神戸市中央区）で開催
- 31 財阪神・淡路大震災復興基金、民間住宅家賃負担軽減措置など29事業の延長を決定

19 地域活動に関する相談、情報提供、マッチング【平成12年度～】

1 事業のあらまし

被災地において、誰もが安心して暮らせるコミュニティづくりに向けて、人と人、人と地域がつながりを深める地域活動が、それぞれの創意により多彩な形で広く展開されるなか、地域住民やグループ・団体の地域活動への参画と協働を促進するため、地域活動の経験を有する人材として「地域活動コーディネーター」を事務局内に3名配置した。

地域活動を始めたい人や活動に行き詰ったときの相談、地域活動を進める上で利用できる助成制度等に関する情報提供、グループ・団体の紹介や交流のきっかけづくり、フリーマーケットの出店調整、マッチング等を行っている。

2 活動内容

「地域活動コーディネーター」は、ひょうごコミネットや地域活動ステーションを通じて集積した地域活動情報や、団体等とのフェイスツーフェイスな関係を活用して、住民や団体に対してコーディネートを行うとともに、積極的に地域活動への参加を呼びかけ、住民や団体の連携を促進するなど活動をしかける役割を担う。

・人数 3名

・配置場所 生活復興県民ネット事務局

・業務内容 コーディネート

地域活動の促進	地域活動に関する各種の相談
	各種の助成制度等の情報提供
地域活動の促進	「フェニックス出会いの広場」に寄せられるプランのマッチング
	団体・グループの交流機会の提供
	フリーマーケットの出店調整
	高齢者語りべ・昔の遊び伝承活動の促進等

地域活動の促進

12
年
度

3 これまでの活動実績

区分	相談者数	相談件数			調整件数	マッチング件数	主な相談、情報提供等の内容
		解決件数	不調件数				
12年度	96	99	96	1	917	176	・グループ活動への助成制度の紹介 ・高齢者福祉事業への助成制度の紹介 ・フリーマーケットの出店グループの紹介 ・自治会運営に関する情報提供
13年度	110	112	104	3	832	154	・独居高齢者の安否確認を実施しているグループの紹介 ・震災の語り部グループの紹介 ・グループ活動への支援、助成制度及びボランティアの紹介 ・昔の遊び（紙しばい）の資料提供
計	206	211	200	4	1,749	330	

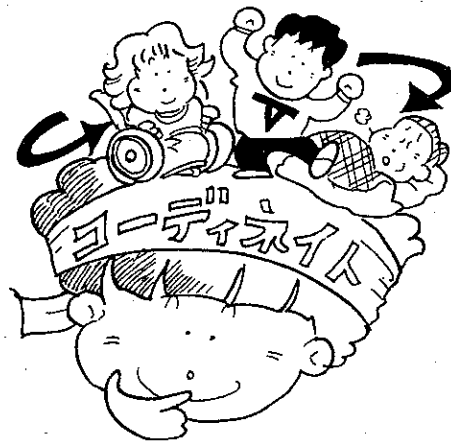
(注) マッチング件数が相談件数より多いのは、1件につき複数のマッチングが成立したため

(事業評価)

地域活動の身近な相談・情報提供、コーディネートを通じて、地域活動へのきっかけを創り、団体間のネットワーク化を図るためにスタートした制度であるが、事業開始からの期間が短く、適切な成果指標が見あたらないことから、客観的評価は難しい。

しかし、これまで、事案の大小、時間の長短はあるものの、200件の解決事例があり、様々な出会いをアシストしてきたことは、地域活動の底辺の拡大の一助になっている。

参画と協働を基調とした市民社会、地域づくりに向けては、こうした、いつでも気軽に相談できるシステムやアドバイスできる人材が必要である。



20 活動情報サポーターによる情報提供【平成12年度～】

(まちかど活動情報ネットワーク事業)

1 事業のあらまし

被災地では、仮設住宅が解消され、概ね恒久住宅への移行が完了した平成12年2月以降、災害復興公営住宅等を中心に、ひとり暮らしの高齢者や新しい環境に馴染めずに引きこもりがちな人など、日常生活に不安や不便を感じている方が少なくない。

このため、こうした方々への声かけ運動や友愛訪問、あるいは地域の行事やイベントへの参加呼びかけ等を行う無償ボランティアとして「活動情報サポーター」を広く募集した。

神戸、阪神間を中心に、地域の仲間づくりや生きがいづくりをお手伝いする活動を展開している。

2 活動内容

(1) 「活動情報サポーター」の活動内容

生活復興県民ネットの呼びかけに応じて登録した「活動情報サポーター」が、同ネット事務局の地域活動コーディネーターや地域活動ステーションと連携をとりながら、次の活動を行う。

- ア 災害復興公営住宅等の一人暮らし高齢者等への訪問活動
- イ 身近な地域情報の提供を通じて、地域へのイベントや行事への参加呼びかけ
- ウ 身近な地域での趣味の集まりや行事、あるいはグループ活動などの地域活動情報の収集と提供
- エ 震災復興に関する支援制度や補助事業等の情報提供

(2) 「活動情報サポーター」への支援

- ア 「活動情報サポーター」登録証の交付
- イ 被災地で活動する団体・グループ、支援者同士の交流・ネットワークの場の提供
- ウ 身近な地域情報を地域別に編集した「地域イベントレター」の配布
- エ 活動中の事故に備え、安心して活動できるよう「ボランティア・市民活動災害共済」への加入

3 登録者等の状況

区 分	12年度	13年度	合 計
登 録 者 数	1,798人	1,866人	延べ 3,664人
研 修 ・ 交 流 会	3回	1回	4回
交 流 ・ ネットワーク会議	11回	8回	19回

(事業評価)

声かけや訪問活動を通じて、閉じこもりがちな高齢者の地域への誘い出し、仲間づくりが制度の大きな目的であるが、結果として、高齢者の見守り活動に一定の役割を果たしている。

地域住民への事業制度の理解、浸透がまだ十分でなく、登録者数が伸び悩んでいるが、地域活動に関わりたい或いは地域社会や人に役立つ活動をしたいが、そのきっかけがつかめない人は少なくなく、広報の工夫等により、この活動が広がる可能性はあると考えられる。

将来の超高齢社会を見据えたとき、この高齢者の見守りを基調とした自主的な活動システムは、住民自身が地域コミュニティの公共的領域の役割を担うものとして期待でき、被災地だけでなく、全県域に拡大するのが望ましい。

〈活動の様相〉(ハートネット第47号から抜粋)**地域に溶け込み、人々との交流を
サルビア**

長田区でさまざまなふれあい活動を行っている「サルビア」。代表の溝端さんは「地元の間が、地元に関わるのは当たり前です」と、今まで活動してきたことを話しながら、日ごろ活動している場所を案内してくれました。

復興住宅住民でもあるサポーターの1人は、「兵庫区で被災し、長田区の復興住宅に入居後1年余り閉じこもりがちでしたが、活動の誘いを受けてからは、現在では3か所でボランティア活動に従事しています」といきいきした表情でお話されていました。

**楽しみながら、活動を
給食ボランティアグループ「たかとり」**

昼食を共にし、仲間づくりにつなげていこうと、月1回の給食サービスを行っている給食ボランティアグループ「たかとり」。取材当日、復興住宅の集会所に、お弁当を楽しみにしていたお年寄りが集い、和やかに給食会が始まりました。参加できない住民の方には、安否確認を兼ねて玄関先まで届けるようにしています。なかには、まだ会に参加しづらくお弁当だけ取りに来るお年寄りもいますが、代表の山瀬さんは「いつか、参加してくれることを願っているが、今は元気な姿を見せてもらうことが大事」と、無理せず楽しみながら活動することが心がけているとのことでした。

**細やかな配慮を忘れずに
おもちゃ箱**

県営、市営が隣接している芦屋浜住宅では、「おもちゃ箱」がふれあい喫茶、交流マーケットなどを

運営しています。

震災によってさまざまな境遇におかれた人々が参加することを念頭に、ふれあい喫茶では心のケアをするなど、細やかな配慮がなされています。サポーター自身も、強い義務感にとらわれず、無理なく活動できるよう心がけています。

代表の高橋さんは、「家に閉じこもりがちにならないよう、散歩に誘うなど少しでも声をかけるようにしています」と、これからも気長に活動していく思いを語ってくれました。

**地域のコミュニティづくりに貢献を
あさひF.S.**

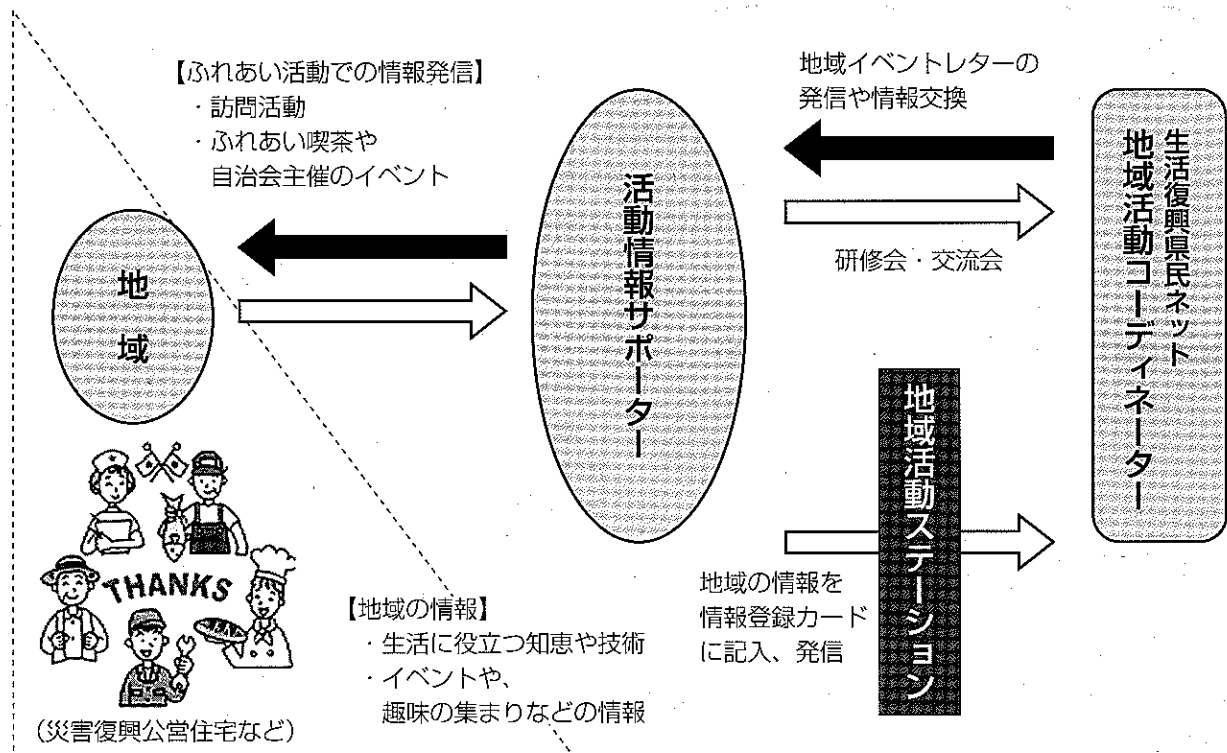
地域活動ステーションでもある旭町会館(宝塚市)では、「あさひF.S.」がお年寄り対象の集いなど、たくさんの催しを行っています。同グループは、地域の復興住宅にも足を運びふれあい喫茶の運営にも携わっています。

代表の松本さんは、「旭町会館でもふれあい喫茶を運営し、折り紙などの講習を通じて声をかけていきたい」と、これからの活動に意欲を燃やしていました。

**住民間の交流を大切に活動した
ベルデ名谷友愛訪問グループ**

「1,000を超える世帯が入居している住宅で連絡調整をしながらの活動は大変」と言いながらも歴史街道探訪などさまざまな活動を展開してきた葛城さんと小林さん。たくさんの方が入居していて大変な分、活動の幅が広がり楽しいとのこと。たくさんの方の笑顔を想像しながら「ベルデ名谷友愛訪問グループ」の活動の夢は広がっています。

活動のながれ



(活動のようす)

12年度



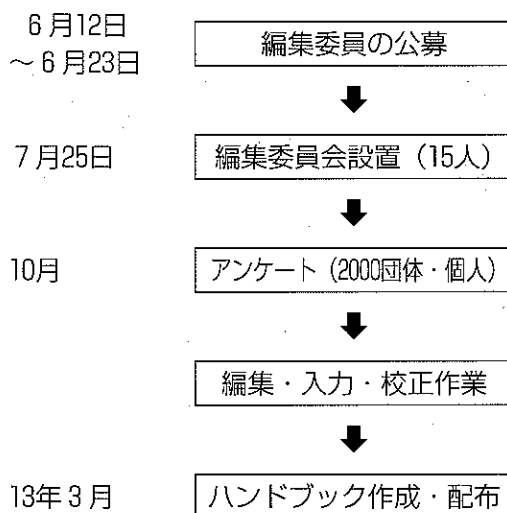
21 地域活動ハンドブックの作成【平成12年度】

1 事業のあらまし

震災以降、市民のボランティア活動が盛んになったが、活動を広げる上で役立つ人・モノ・資金などの情報を網羅的に集めたガイドブックが少なかった。

このため、7月に、公募による編集委員会を立ち上げ、編集作業を開始。9月は、約2000の個人・団体を対象に、どんな情報が必要かのアンケートを実施。「助成制度の有無を知りたい」「活動場所が見つからずに困っている」などの声をもとに、活動を行う際の身近な公共施設や相談窓口、県や各市町、社会福祉協議会などの各種助成制度（地域活動のためのアラカルト）を紹介した「生活復興のための地域活動ハンドブック2001」を作成（A4版 2千部）し、ボランティアグループ等に広く配布した。

2 作成までの流れ・内容



〈主な掲載内容〉

- ・地域活動をはじめたいときの心得（地域活動のいろいろ、ボランティア保険等の紹介）
- ・困ったときのQ&A
- ・身近な施設、相談窓口
- ・助成情報、各種講座案内

（事業評価）

できるだけ多くのニーズや意見を集め、活動に役立つ冊子を作るべく、公募による編集委員会を立ち上げたが、思いのほか応募が多く（15人）、編集過程では、誰もが良いものを作りたいという思いから、さまざまな視点、切り口からの意見が飛び交うなど、全体の体裁を成すまでの産みの苦しみがあつたことは否めない。

しかし、こうした経験を経て出来上がった成果物は、初めて活動に取り組む人や活動へ踏み出せない人の“初めの一步”として、また、活動に行き詰まりを感じた時や無理せず活動を継続する場合の“道しるべ”として広く活用されている。

22 コミュニティ・フェスティバルの開催【平成12年度】

1 事業のあらまし

被災地の復興が着実に進むなか、仮設住宅が解消され（平成12年1月）、災害復興公営住宅への移行も完了するなど、それぞれの地域で新しい暮らしが始まった。

こうした状況のもと、みんなで助け合い支え合う地域コミュニティづくりを応援するため、6月に、コミュニティ・フェスティバルの開催を呼びかけ、地域活動に取り組む住民やグループ・団体、NPOに広く参画を募るとともに、7月下旬には、神戸・播磨、阪神、淡路の3地域で実行委員会（準備会）の活動がスタートした。

それぞれの実行委員会では、地域の特性を生かした独自のテーマ・企画のもとで、準備作業が進められ、11月の阪神地域を皮切りに、神戸・播磨、淡路地域で、地域のコミュニティ拠点でもある学校や商店街などを利用した「コミュニティ・フェスティバル」が多数の住民が参加して開催された。

2 各地域での取り組み

〔神戸・播磨地域〕 平成13年3月18日（日）（神戸市生涯学習センター）

〔阪神地域〕 平成12年11月26日（日）（西宮市立平木中学校）

〔淡路地域〕 平成13年3月25日（日）（コモード56とその周辺）

神戸・播磨地域：“みんなおいで！フェスタ”

テーマ「次世代に引き継ぐ」

阪神・淡路大震災の経験により浮き彫りとなった様々な問題への取り組みが、被災地域において多様な形で行われている。

また、震災の教訓を通して学んだ「ふれあい」「助け合い」の輪は被災地にとどまらず21世紀を迎える社会へと広がりを見せている。

こうした状況の中で、私たちは次世代に何を引き継ぐべきか、何を引き継ぎたくないのかをともに考え、引き継ぐテーマを発信できる交流の場として、併せて、「大人と子どものバトルトーク」をはじめ、楽しく世代間の相互交流ができる催しとして“みんなおいで！フェスタ”を開催する。

●平成13年3月18日（神戸市生涯学習支援センター）

●参加者 700名

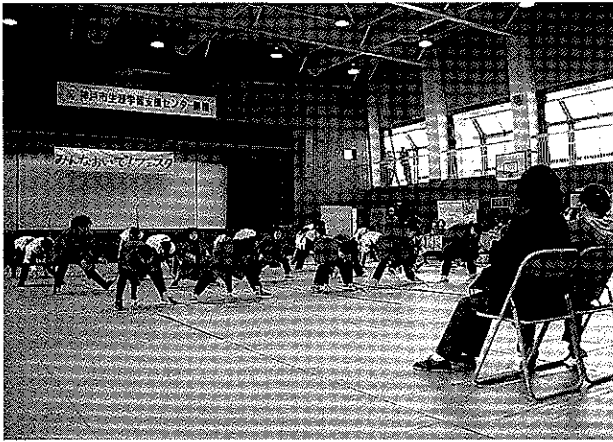
●主な内容

メインシンポジウム／大道芸人集まれ／ボランティアグループ等の活動発表・販売／

絵画・写真・作文などの展示／忍者ごっこ／多国籍食堂 etc

・主催者 みんなおいで！フェスタ実行委員会（12年12月1日発足）

・メンバー 23人（事務局参与4人、事務局員含む）



みんなおいで！ フェスタ

★ ★ ★ ★ ★

3月18日(日)
10:00~16:00 (入場無料)

ところ ■ 神戸市生涯学習支援センター(6F大会場)

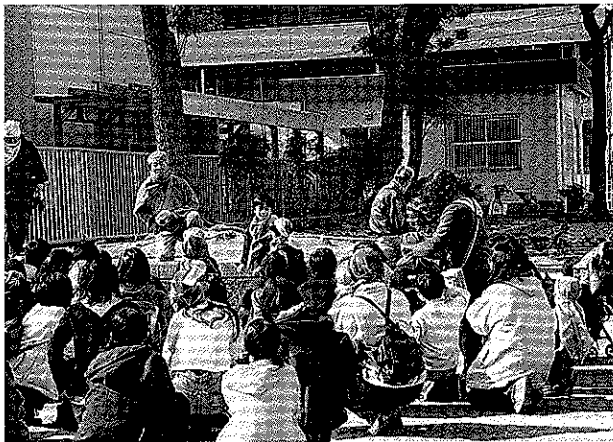
(旧西宮小学校) 神戸市中央区新通4-1-6

(お問い合わせ) 078-233-2252 / FAX 078-233-2111

(共同広場イベント)

- 神戸市子ども書道大会(絵画コンクール)
と き 2月1日(火)~2月28日(水)
と ころ 神戸市総合市民センター
- すまっ子カーニバル
と き 2月18日(日) 13:30~15:00
と ころ 東須磨小学校(体育館)
- お母の会
と き 3月4日(日) 11:00~15:00
と ころ 須磨区立倉台児童館(旗の広場)
- いぶきつつべんプレーパーク
と き 3月17日(土) 14:00~(雨天中止)
と ころ 西神前并夜香東公園 山のてっぺん
- 1子ども雇用体験(園芸) 14:00~16:00
と き 3月18日(日) 14:00~15:00(雨天中止)
と ころ 須磨区立倉台児童館(旗の広場)

12年度



阪神地域：阪神地域コミュニティ・フェスティバル

テーマ「一緒につくろう！わたしたちのまち～世代間交流を通じて～」

21世紀を迎えようとしている今、少子・高齢化、青少年の健全育成など、地域の抱える様々な問題は、ますます多様化、深刻化している。

私たちは、あの未曾有の大震災を経験し、互いに支え合い助け合うことの大切さ、人と人とがつながることのすばらしさを心に深く刻むとともに、こうした経験を生かし、より良い地域コミュニティをつくろうと、グループ・団体、地域住民による様々な先進的な取り組みが行われている。

誰もが安全で、安心して暮らせる魅力ある地域コミュニティづくりは、地域に暮らす私たちの願いであり、課題でもある。そこで、阪神地域に暮らす住民が集い、各地のコミュニティ活性化の事発表や活動紹介を通じて、互いに交流し、学び合う場として“阪神地域コミュニティ・フェスティバル”を開催する。

- 平成12年11月26日（西宮市立平木中学校）
- 参加者 250名
- 主な内容

先進事例発表（エコマナー、コミュニティビジネス、環境・まちづくり、在宅福祉）
 舞台発表／パネル展示／模型ヘリ飛行実演／木工教室／昔のあそび／ペットボトルロケット／
 交流マーケット／喫茶コーナー

- ・主催者 阪神地域コミュニティ・フェスティバル実行委員会（12年7月24日発足）
 事務局：生活復興県民ネット
- ・メンバー 10人（事務局参与2人、事務局員1人が参加）

阪神地域コミュニティ・フェスティバル2000 出展グループ募集中!

一緒につくろう！わたしたちのまち
～世代間交流を通じて～

日時：平成12年11月26日(日)
10:00～15:00
会場：西宮市立平木中学校

出展希望グループは
募めてね!

21世紀を迎えようとしている今、少子・高齢化、青少年の健全育成など、地域の抱える様々な問題は、ますます多様化、深刻化している。
 私たちは、あの未曾有の大震災を経験し、互いに支え合い助け合うことの大切さ、人と人とがつながることのすばらしさを心に深く刻み込んだ。
 今、被災地では、こうした経験を生かし、より良い地域コミュニティをつくろうと、グループ、団体、地域住民により、様々な先進的な取り組みが行われています。
 誰もが安全で、安心して暮らせる魅力ある地域コミュニティづくりは、地域に暮らす私たちの願いであるとともに、私たち自身の課題でもあります。
 そこで、私たち阪神地域に暮らす住民が集い、各地のコミュニティ活性化の事例発表や活動紹介などを通じて、互いに交流し、学び合う場として、“阪神地域コミュニティ・フェスティバル”を開催します。
 みんなで一緒に楽しみながら、地域コミュニティの活性化を促していこうではありませんか。

【阪神地域コミュニティ・フェスティバル実行委員会】委員長：山形麻子（西宮コロロンクラブ）
 委員：池田啓一（都市生活地域復興センター）、橋本実智（兵庫県ボランティア協会）、西條恒英（生活復興県民ネット事務局）、西野麻子（西宮コロロンクラブ）、藤井穂穂、高橋暁子（おもしろやま）、西田由穂子（兵庫県消費者団体連絡協議会）、野山浩一、堤田英一（被災者連絡協議会一生を生きよれ会）、米沢浩二（被災者連絡協議会一生を生きよれ会）

阪神地域 コミュニティ・フェスティバル2000

一緒につくろう！わたしたちのまち
～世代間交流を通じて～

とき：11月26日(日) 10時～15時
ところ：西宮市立平木中学校

考えよう! (10:15～15:00)

- 先進事例発表(10:15～12:00)
 エコマナー・山本 隆子氏(特)宝塚NPOセンター)
 コミュニティ・海野健 孝氏(特)コアラわっど)
 復興(幸)氏/福崎 真二氏(福名川クラブ)
 在宅福祉:清水志幸子氏(被災者連絡協議会グループコスモ)
- 先進事例:分科会(13:00～15:00)

音楽やマジックの演奏は必ずですが、ボランティアグループなどのバベル演奏や手作り品のマーケットもあります。

楽しもう! (10:00～15:00)

- 舞台発表(13:00～15:00)
 マロン(演奏:山形麻子氏、木村美奈氏)
 マジック/男子漢マジンガーサウティ
 沖崎良雄演劇(イージー)
 ポップス:阪口善志氏、横井正樹氏
- パネル展示
- 模型ヘリ飛行実演 など
- 販売コーナー
- 交流マーケット
- 喫茶コーナー(200円)

大工さんが教えてくれる木工や、松ぼっくりやどんぐりで作るおもしろなどもりだくさん!
 ペットボトルロケットに参加する人は建設費用のペットボトル(1.5リットル)を持って来てね!

参加費無料ですが(但し、一部実費が必要)。

主催:阪神地域コミュニティ・フェスティバル実行委員会
 後援:西宮市、西宮市教育委員会、尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、播磨川町、兵庫県
 連絡先:阪神地域コミュニティ・フェスティバル実行委員会
 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-7 生活復興県民ネット事務局内
 TEL(078)363-7825 FAX(078)363-7827

12年度



12
年
度



淡路地域：あわじっ子フェスティバル

テーマ「私は淡路人～淡路が大好きな人集まれ！～」

大震災から6年。ようやく明るさを取り戻した人々。時あたかも21世紀の始まり。新しい時代の地域づくり、新しい感覚のコミュニティが求められている。そこで、淡路に住む人たちが、次代の地域のあり方を考えるきっかけとして、ちびっ子からお年寄りまで集う「淡路人」主役のおまつりとして“あわじっ子フェスティバル”を開催する。

- 平成13年3月25日（洲本市本町5・6丁目商店街とその周辺）
- 参加者 2,000名
- 主な内容

淡路のここが好き／宝さがし・スタンプラリー／郷土料理を食べよう／交流マーケット／昔の遊び／寄せ植え教室／たぬきばやし

- ・主催者 あわじっ子フェスティバル実行委員会（12年12月15日発足）
- ・メンバー 7人（事務局参与2人、事務局員1人が参加）

あわじっ子フェスティバル

～淡路が大好きな人集まれ！～

と き：平成13年3月25日（日） 10：30～15：00

と ころ：コモード56（洲本市本町5・6丁目商店街）とその周辺

大震災から6年。ようやく明るさを取り戻した人々。時あたかも21世紀の始まりです。新しい時代の地域づくり、新しい感覚のコミュニティが求められています。そこで、淡路に住む人たちが、次代の地域のあり方を考えるきっかけとして、「あわじっ子フェスティバル」を開催します。「淡路人」が主役のおまつりです。ちびっ子からお年寄りまで、ぜひご参加ください。

「淡路のここが好き」

「淡路の好きなところ・もの」についてみなさんが絵や写真に表現したものを会場に展示し、それを見ながら、みなさんと話し合い、交流しましょう。

裏面で作品発表案内しています！

宝探し・スタンプラリー

お宝を求めて自然を駆け回りませんか？

郷土料理を食べよう

淡路の郷土料理や自慢の食材を使った料理の模擬店が、みなさんをお待ちしています！

交流マーケット

掘り出し物がいっぱい！！

昔の遊び

昔の遊びを楽しもう！

寄せ植え教室

寄せ植えのワンポイントアドバイス。初心者の方でも、スキルアップしたい方もぜひお越しください！

たぬきばやし

「和太鼓美鼓音 Part II」による「たぬきばやし」です！

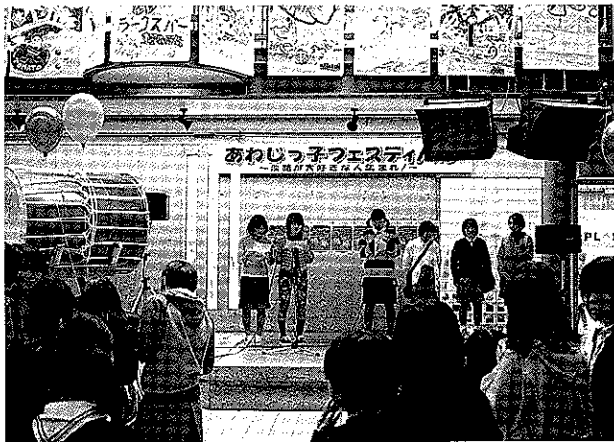
主催：あわじっ子フェスティバル実行委員会

上田千鶴子・木田繁子（洲本市連合婦人会）、植本寛、振るみ子（和太鼓美鼓音）

西條恒美（生活復興県民ネット）、津山隆司・庄田豊次（本町5・6丁目商店街）、服保高、久田佳史・吉田翠子（兵庫県連合婦人会）

（事務局）〒650-0021 神戸市中央区三宮町1丁目7-7-2F「あわじ」2階・生活復興県民ネット事務局内

12年度



(事業評価)

生活復興NPO情報プラザの運営を通じて、NPO、ボランティアグループ、地域団体との連携の機運の高まりを背景に、各地域のグループ、団体、自治会等で構成する実行委員会方式を採用したが、生活復興県民ネットとして初の試みであったことから、同ネット事務局側にも多少の戸惑いがあった。

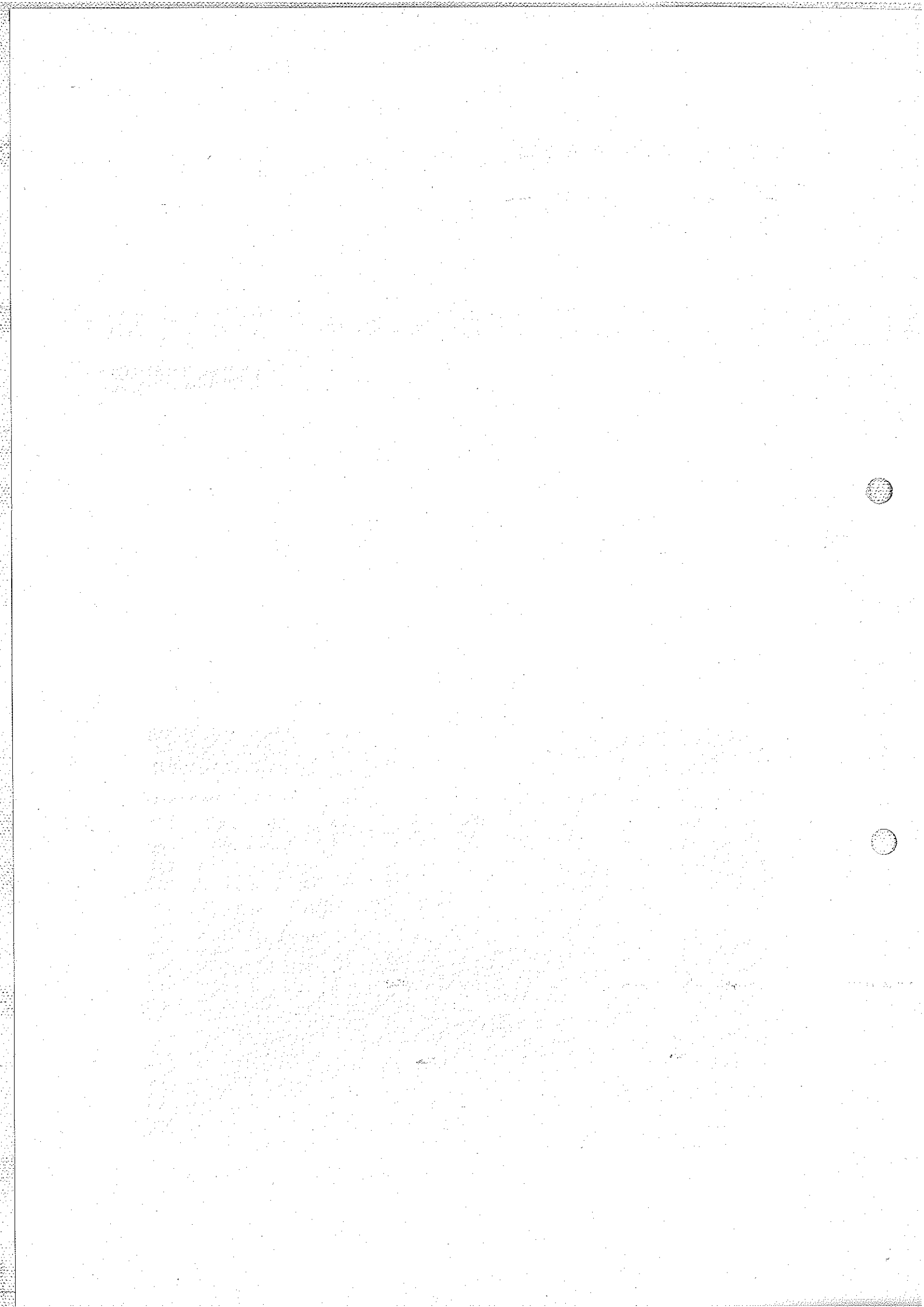
しかし、組織の成り立ちや構成、活動分野の異なる自治会などの地域組織とテーマ系と言われるNPOやボランティアグループが、お互いの立場の違いを越え、地域コミュニティの活性化に向けて協働するプロセスを通じて、各団体間のネットワークづくりや地域活動参画へのひとつのきっかけになったことは、大きな意義があった。

一方で、多様な主体が、共通の目標に向けて、連携を図りながら、ともに取り組むことの困難さや苦勞を痛感した事例でもあったが、「参画と協働」を基調とした市民活動の定着に向けて、今後につながる貴重な経験であった。

II 生活復興県民運動の取り組み

〔平成13年度〕





13年度

被災者を取り巻く現状

21世紀の始まりとなった、震災から7年目を迎え、震災で全焼した鷹取商店街（神戸市長田区）が再建、5月には大規模災害復興公営住宅群である「HAT神戸」（神戸市中央区）が全面完成、6月には神戸市の人口が150万人に回復して、震災前の状態にほぼ戻るとともに、7月には神戸市営地下鉄海岸線が開業するなど、神戸市を中心に、都市再生に向けて力強い動きが見られた。

一方、被災地の有効求人倍率など雇用面の指標は回復局面にあったものの、経済指標は、景気後退や個人消費の低迷により、約7割の事業所で売り上げ高が震災前の水準を下回り、とりわけ、まちのにぎわいづくりの核となる商店街・市場の店舗再開率は6割にとどまり、再開したところの9割近くが震災前の売り上げを下回るなど、依然として厳しい状況にあった。

また、災害復興公営住宅においては、入居者の加齢により、高齢化率が約40%となり、引き続き、心のケア、健康管理も含めたきめ細かな見守り体制の強化による生活支援が必要とされた。

こうした被災高齢者の見守りやまちのにぎわいづくりの創出など、地域課題の解決や地域社会の活性化に向けて、これまでの行政主導から、市民、ボランティア・NPO、企業、行政などの『**多様なセクターの横断的連携**』による取り組みが、顕在化しつつある時期であった。

- ・市町社協ボランティア活動者数 (12.3) 138,109人 → (13.3) 149,496人
- ・有効求人倍率（※ []内は県全体） (12.3) 0.39倍 [0.41] → (13.3) 0.44倍 [0.47]

- 課題**
- ・被災者の元気回復、仲間づくり、生きがいづくり
 - ・恒久住宅の周辺地域も含めたコミュニティづくり
 - ・地域活動の活性化に向けた担い手づくり
 - ・地域活動のコーディネート
 - ・地域団体とNPOの連携、協働



- 新規事業**
- ・地域活動情報バンクの開設
 - ・地域通貨の実験的取り組み支援
 - ・フェニックス地域活動フォーラムの開催

- 継続事業**
- ・フェニックス出会いの広場
 - ・地域活動ステーションの設置
 - ・ひょうごコミネットの運営
 - ・地域活動推進講座の実施
 - ・生活復興NPO情報プラザ開設
 - ・地域活動コーディネーターの設置
 - ・活動情報サポーター
 - ・広報誌“ハートネット”の発行

● 当時の主な出来事

(平成13年度)

- 13. 4. 2 復興支援の感謝を全国に伝える「希望の灯り」が神戸に戻る
- 25 被災者自立支援金訴訟で神戸地裁が基金に支援金の支払いを命じる（5月9日控訴）
- 5. 1 神戸市営住宅入居者募集で被災者単独優先枠なくなる
- 15 被災者復興支援会議Ⅲ（座長：室崎益輝神戸大学都市安全研究センター教授）が発足
- 20 HAT神戸で全面完成祝いイベント
- 22 貝原俊民知事が辞意表明
- 6. 12 神戸市人口150万人に回復。震災後初めて震災前の98.7%
- 24 ペルー南部でM7.9の地震が発生
- 25 国土交通省、来年度から耐震改修の補助制度創設の方針（10年間で130万戸を予定）
- 7. 7 神戸市市営地下鉄海岸線開業
（「新長田」から「三宮・花時計前」駅までの約8キロ）
- 9 ケミカルシューズ産業の建て直しの期待を担う「シューズプラザ」（神戸市長田区）の来館者が10万人突破
- 20 全壊の異人館を初めて復元（神戸・北野町のフロインドリーブ邸）
- 29 「県政継承」掲げた前副知事井戸敏三氏（55）が当選
- 8. 4 神戸の春日野小学校で県内外の避難者（約50人）の同窓会が開催される
- 5 神戸と全国の小中学生、高校生が参加のもと、震災体験を通じ「地域の助け合い」などを訴える「21世紀神戸子どもフォーラム」が開かれる
- 20 兵庫県、経済・雇用戦略会議（座長：加藤恵正神戸商科大学商経学部教授）を設置（9月に緊急提言）
- 9. 16 復興などをテーマに「タウンミーティングイン兵庫」（兵庫県公館）を開催（塩川財務相外390人参加）
中央防災会議（会長：小泉首相）が、公共施設の耐震化など抜本的な防災体制整備を目指す地震対策専門調査会の初会合を開く
- 11. 9 阪神・淡路大震災メモリアルセンター（仮称）2期起工式（神戸市中央区東部新都心）
- 19 笹山幸俊神戸市長が退任
- 20 **震災から2500日**。地域再生進まぬエリアも
矢田立郎神戸市長が初登庁
- 12. 12 神戸ルミナリエ開幕。今年のテーマは「光の願い」（～12月25日）
- 14. 1. 4 PTSD（心的外傷後ストレス障害）研究の学会が3月発足へ
- 8 神戸市、「危機管理監」新設へ（危機管理対策室も設ける方針）
- 10 県外被災者448世帯が「戻りたい」（兵庫県の登録制度をもとにした調査）
- 11 「災害援護資金」返済は約5割（昨年11月までの兵庫県などのまとめ）
- 15 神戸市営の復興住宅の高齢化率43.2%
- 17 **震災から7年**。各地で追悼式が開かれる
・2回目となる「1.17ひょうごメモリアルウォーク」開催
（西ルート新設、東ルート拡充 5100人参加）
・兵庫県、平成14年度に「県民ボランティア活動支援基金」（仮称）を公表
- 23 職種で生活復興感に隔差。商工自営業者らは「マイナス」（兵庫県の調査で判明）

- 31 神戸市の完全失業率6.4%で、全国平均を1.7ポイント上回る（区別では長田区が最高）
- 2.5 被災住宅再建への公費負担案に兵庫県知事が、共済方式をベースにした方式を提唱
- 14 震災で全焼の「丸は市場」（神戸市長田区）が再開発ビル内のスーパーとして再建（「食の棚フック」）として来月14日にオープン）
- 20 阪神・淡路大震災復興支援館（愛称：フェニックス・プラザ）が3月末閉館を公表
- 26 兵庫県、家賃補助と利子補助を被災者以外に拡充
- 3.8 21世紀・復興記念事業推進協が解散
- 10 NPO法人「1.17希望の灯（あか）り」の設立総会が開かれる
- 14 長田区で震災復興再開発ビル（アスタくにづか1番館南棟）オープン
- 20 兵庫県教育委員会、新年度から復興担当教員を大幅削減（35小中で0配置）
- 21 神戸市西区の防災福祉コミュニティ組織率100%に（市内3番目）
- 30 生活復興県民ネット、発足から2千日目

23 フェニックス地域活動フォーラムの開催【平成13年度】

1 事業のあらまし

阪神・淡路大震災の教訓として、私たちはコミュニティの大切さを学んだ。各地で市民自らが地域の課題に取り組む“参画と協働によるコミュニティづくり”に向けた活動が芽生えている。

こうした流れを受け、地域活動に関わる住民、団体・NPO、企業・労働組合、行政などが協働して、地域、分野、セクターを越えて交流、情報交換を図る場として、総合フォーラム（阪神・淡路大震災7周年記念・ボランティア国際年記念事業）を開催した。

このフォーラムでは、これまでの被災地の地域活動の先進的事例や実践結果の発表、パネル討議などを通じて、安全・安心で温かいコミュニティが息づく新たな地域社会のあり方を、被災地から全国へ発信した。

同時に、このフォーラムの開催をきっかけに、さまざまなボランティア・市民活動団体等の新たな連携の形として、出会いとアピール、語り合いの場である“ボランタリーひろば”が生み出された。

また、阪神・淡路大震災をきっかけに創設された「防災とボランティアの週間（1月15日～21日）」を中心に、多様なグループ・団体の連携・共催による、多様なイベントが展開された。

〈基本コンセプト〉

- (1) 多様な主体による協働作業
- (2) 多様な参画手法による自己実現
- (3) 21世紀のコミュニティのあり方を考える

2 取り組み内容

- (1) 開催時期 平成14年1月19日（土）
- (2) 開催場所 神戸市勤労会館（神戸市中央区）
- (3) 参加対象 地域活動に関わるグループ・団体、個人
地縁組織（自治会、婦人会、老人クラブ、こども会等）関係者／ボランティア団体／NPO／企業・労働組合／行政関係者等
- (4) 実施主体 フェニックス地域活動フォーラム実行委員会
構成：生活復興県民ネット幹事団体／NPO・ボランティア団体（コープこうべ／兵庫県社会福祉協議会／日本労働組合総連合会兵庫県連合会 ほか）
- (5) 連 携 賀川豊彦特別展実行委員会／生活協同組合コープこうべ／日本生活協同組合連合会／ひょうごボランタリー・スクエア21実行委員会

《フェニックス地域活動フォーラム：シンポジウム》

- ・日 時 平成14年1月19日（土）13：30～16：30（7周年記念事業・総合フォーラム）
- ・開催場所 神戸市勤労会館 7F大ホール（神戸市中央区）
- ・テ ー マ 「新しいコミュニティ形成に向けての市民自治と協働」
～地縁と知縁が創るコミュニティのかたち～
- ・参加者 350名

- ・コーディネーター 松原 一郎 (関西大学社会学部教授)
- ・パネリスト 学識経験者 今田 忠 (市民社会研究所長、元阪神・淡路コミュニティ基金代表)
- NPO・ボランティア 黒田 裕子 (株式会社みん基金・こうべ理事長、阪神高齢者・障害者支援ネットワーク副代表)
- 地縁団体 中島 克元 (松本地区まちづくり協議会長、神戸まちづくり協議会連絡会事務局長)
- 企業 奥井 秀樹 (㈱日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会前会長、奥井電機㈱社長)
- 瀬尾 隆史 (安田火災海上保険(株)地球環境部長、安田火災環境財団専務理事)

〈パネルディスカッション要旨〉

●今田 忠●

社会の担い手である企業・市民・行政が一体となって取り組まないとこれからの活動はうまくいかない。土地のつながりである「地縁」と、知識のつながりである「知縁」の2つが大事になる。

●黒田裕子●

被災者が人間らしい生活をするには何をしたらいいかを原点に活動してきた。そして今、市民基金を立ち上げている。今までの活動を通じて、行動のネットワークと知識のネットワークが大切だと実感した。

●中島克元●

松本地区のまちづくりは、お互いの立場を尊重しあい、ひとつずつ話し合うことで物事を決めていった。震災の教訓をもとに「せせらぎ」をつくった。この「せせらぎ」の管理を通じてコミュニティが形成されそうである。

●松原一郎(まとめ)●

ボランティア・市民活動は継続性という意味で安定感が弱いが、皆が目標を共有することによって凝集性というか結びつきが新しく生まれてくる。また、資金の問題あるいはネットワークの拡大等たくさん問題があるが、根幹は、「面白い」「関わっていること」によって新しいつながりとか、新しい自分の生活体験ができるということ。企業も、同じような市民社会の成熟の方向性を見ていることも確認できた。

●奥井秀樹●

「玄関を出たら他人事、行政任せ」ではいけない。本当の意味の市民社会を作るため、青年会議所としていろいろ活動をしてきた。本当の意味での「市民」を増やすことが大事だ。

●瀬尾隆史●

保険会社として、市民のための環境講座を開催したり、人と自然にやさしい企業となるためNPO活動に援助。企業としての社会貢献活動は、世の中にディスクローズし、市民や社会に判断、評価されるべきものと思う。

●会場の声●

- ・コミュニティの活性化には、多くの人の参加が必要。どうすれば、参加してくれるのか。
- ・企業とNPOの協力がまだまだ見えない。どうしたらよいか。
- ・NPO自身の特徴とか評価が必要な時代になってくるのではないか。



オープニング和太鼓



パネルディスカッション

13
年
度

《ボランティアひろば》

「ボランティアな活動をすすめる団体・県民・企業・行政などが連携し、ネットワークをより広げて、より多くの人たちが力を合わせて、市民社会をつくりあげていく」ことを目的とした参画と協働の取り組み

●学びあいの広場（1月16～20日）

- 1月18日 ボランティア国際年記念「ボランティア活動交流会」
- 19日 阪神・淡路大震災7周年記念「フェニックス地域活動フォーラム」
- 20日 ひょうごボランティア・スクエア21「ボランティア・市民活動元気アップアワード」
- 1月16～20日 特別展「ボランティアの先駆者 賀川豊彦と関東大震災」

●交流のひろば（1月18～20日）

- ・写真展示コーナー（神戸新聞社・復興写真展／被災地NGO協働センター・各地の災害展）
- ・ボランティアの木、相談コーナー
- ・ボランティア、市民活動団体活動発表ブース（26団体）
- ・パフォーマンスコーナー（救急対応実演、手話コーラス、ファッションショーほか7演目）

●語り合いのひろば（1月18～20日）

「気づきと課題発見のためのワークショップ」「地域通貨意見交換会」ほか10の集い・セミナー

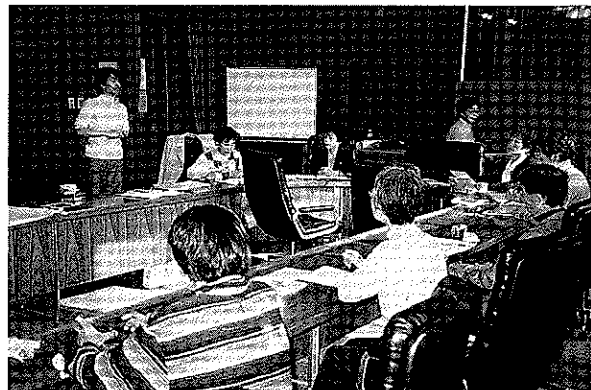
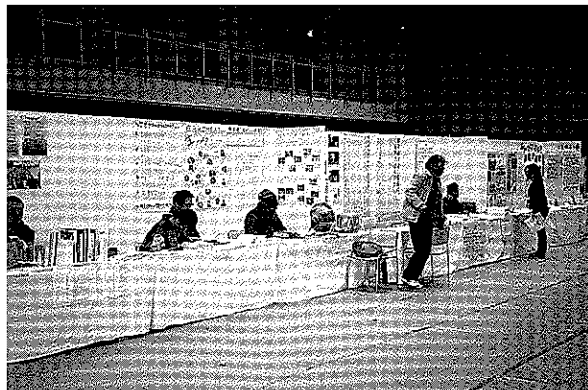
●憩いのひろば（1月18～20日）

- ・飲食コーナー（もちつき、中華風炊き出し、たこやき、うどん、豚汁ほか4品目）
- ・交流マーケット（手工芸品、野菜、子供服、帽子、袋物等：19団体）

●発見のひろば（1月18～20日）

- ・ボランティアミニウォーク
- ①葦合下町コース（参加者：21名）
（JR三ノ宮～旧西国街道～被災住宅～しみん基金・こうべ～賀川記念館～コミスタ神戸～南本町ふれあい住宅～下町市場～勤労会館）
- ②芦屋・甲南山手コース（参加者：16名）
（JR芦屋～芦屋・森南復興区画整理地区～震災モニュメント～被災マンション～元避難所～精道小学校震災資料室～JR甲南山手）
- ・ボランティア・市民活動応援スタンプラリー

“ボランティアひろば”での講演会、パネルディスカッション、ワークショップ、活動発表などに参加し、ボランティア・市民活動を知ってもらうとともに、寄付を募り、市民活動に対する「寄付の文化」を育てる。（寄付先：しみん基金・こうべ、ボランティア・市民活動元気アップアワード）

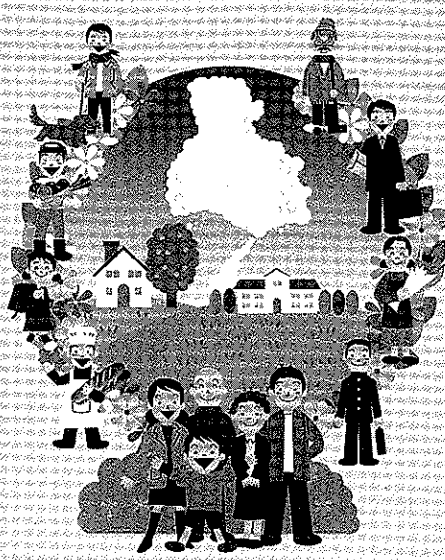


フォーラム

阪神・淡路大震災7周年記念事業
ボランティア国際年記念事業

HYOGO発!! ボランティアひろば

PASSPORT



2002年1月18日(金)~20日(日)
神戸市勤労会館



(事業評価)

昨年度の「コミュニティフェスティバル」の開催や「地域活動ハンドブック」の編集作業と同様に、実行（編集）委員会方式を踏襲した。多様な主体が、互いに連携・協力しながらプロセスを共有し、一つのものを創り上げていくことの困難さ、苦労を再度経験したが、このハードルを乗り越え、協働作業を進める過程で、互いの立場の違いを認め、理解を深められたことに、今後の展望や意義が見い出せた。

今回は、新しい試みとして、兵庫県社会福祉協議会やコープこうべなどと協働して“ボランティアひろば”を企画・運営した。1月17日を中心に、ボランティア、地域活動をテーマとし、同一時期に開催されるイベント相互の連携を図ることにより、広報や会場設営等の経費の削減、人材の調達、確保面でスケールメリットが生まれ、併せて、共同PRの相乗効果により、結果として、8,400名に参加いただいた。

こうした新たな動きとその継続が、将来、市民の主体的な取り組みやボランティアネットワークの広がりにつながっていくものと期待される。

24 地域活動情報バンクの開設【平成13年度】

1 事業のあらまし

平成12年度に、約2000のボランティアグループ・団体、NPO、個人の協力を得てアンケートを実施し、より多くのニーズに応える形で作成した「地域活動ハンドブック」の有効活用を図るとともに、地域活動の底辺の拡大と団体間の自発的な連携の促進につなげていくことを目的として、“ひょうごコミネット”のホームページを活用して、「地域活動情報バンク」を開設した。

とりわけ、地域活動実践者が必要とし、活動に役立つ公的施設の利用できる会議室等の施設情報や各種の助成金情報、各団体の活動状況などの情報を中心に掲載した。

地域住民の身近な公民館や地域福祉センター、ボランティアセンターなど、地域の活動情報拠点である地域活動ステーションをはじめとして、パソコンがあれば誰もがインターネット上で自由に閲覧できる形で広く公開し、随時情報更新を行うなどタイムリーな情報提供に努めている。

2 取り組み内容

(1) 主な情報内容

① 身近な施設や相談窓口

地域活動で利用できる身近な施設や相談窓口の連絡先 ほか

② 地域活動支援のためのアラカルト

活動資金が不足しているとき、みんなで学習する機会をつくりたいとき等に役立つ情報 ほか

③ グループ・団体の概要

名称、代表者名、連絡先、活動分野、活動エリア、会員数 ほか

(2) 情報の追加・更新等

① グループ・団体等の情報については、ひょうごコミネットや生活復興NPO情報プラザ等から随時収集する。

② 情報は、各グループ・団体が直接ホームページ上で随時更新を行うほか、生活復興県民ネット事務局が依頼を受けて更新する。

(事業評価)

紙媒体による冊子は、誰にも読みやすく、取っつきやすいメリットがあるものの、作成から発送までのタイムラグにより、情報が陳腐化すると同時に、広く周知するためには、多大な印刷費や郵送料を要するなど、費用対効果の問題がある。

ホームページに掲載することにより、最新情報を提供するためのきめ細かな日々の更新作業が必要となり、事務量は増大したが、利用者サイドには、活動に役立つ情報が即座に入手できる等、メリットが大きく、本格稼働の7月以降、“ひょうごコミネット”へのアクセス件数の増加にもみられるとおり、地域活動を実践する者の一助となった。

しかし、一方では、パソコンを有しない、或いは操作が不慣れ者も少なくなく、こうした者に対する情報提供は、一部課題として残っている。

25 地域通貨実験支援事業【平成13年度】

1 事業のあらまし

地域通貨の取組みが全国的な広がりを見せている。その数は150とも言われているが、県内においても被災地をはじめ多くの地域において、失われたコミュニティの再生、地域住民の助け合い、地域経済の活性化などを目的とした様々な取組みが報告されている。

こうした流れを受けて、平成13年度、コミュニティづくりにおいて地域通貨の果たす役割や可能性の検証を目的として「地域通貨実験支援事業」を実施した。被災地において、地域通貨の流通実験に取り組もうとするグループ・団体に対する助成制度をはじめとして、地域通貨への理解を深めていただく場として公開フォーラムの開催、生活復興NPO情報プラザに「地域通貨関連書籍コーナー」を設置するなど、様々な支援を行ってきた。

また、本事業で得られた事業成果については、他の地域のコミュニティの参考にしてもらうため、報告書としてとりまとめ、行政機関、新聞社、図書館などに広く配布した。

2 取り組み内容

(1) 公開フォーラム等の開催

参加者とともに地域通貨の意義や可能性を考え、併せて、地域通貨実験支援事業について周知する公開フォーラムを開催した（4回）。

- ・ 6月9日：中央労働センター 69名参加 「地域通貨—その意義と可能性を探る」ほか
- ・ 9月16日：フェニックスプラザ 37名参加 「取り組み事例紹介“かもん”“らく”」ほか
- ・ 10月19日：神戸市勤労会館 17名参加 「取り組み事例紹介“未杜”」ほか
- ・ 1月20日：神戸市勤労会館 46名参加 「サステイナブル・コミュニティと地域通貨」

(2) 地域通貨を実験的に導入する団体への運営費助成（地域通貨実験運営費助成）

地域通貨を実験的に導入し、コミュニティづくりを図ろうとするグループ・団体に経費を一部助成

（助成金額） 24万円以内

（助成件数） 5件

（助成対象） 新たに実験的に地域通貨の導入に取り組もうとする活動で、次の条件を満たすもの

- ・ 活動地域 被災地10市10町内であること
- ・ 参加者 概ね20人以上が参加すること
- ・ 実験期間 3か月以上の実験期間があること

(3) 公開報告会の開催

地域通貨実験運営費助成グループ・団体が取組んだ地域通貨の流通実験結果を発表するとともに、地域通貨の意義や可能性を参加者とともに考える公開報告会を開催した。

（フェニックス地域活動フォーラム：「ボランティア広場」の分科会の位置付け）

- ・ 3月21日（木）：神戸市勤労会館 40名参加 「助成グループ・団体の実績報告」ほか

(4) 情報提供・相談等の実施

生活復興NPO情報プラザに「地域通貨情報（書籍・資料）提供コーナー」を設置し、関係図書・資料の貸し出しを行うなど、地域通貨に関する情報提供や相談を行った。

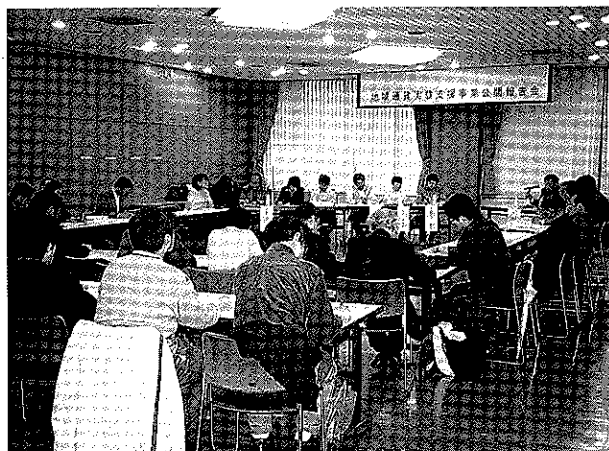
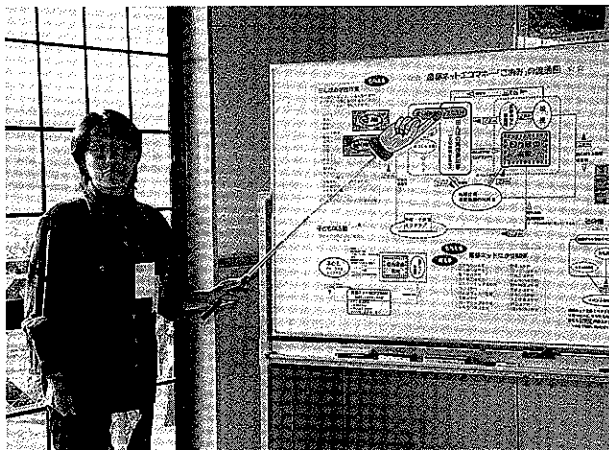
(5) 地域通貨実験支援事業ワーキングチームの設置

ワーキングチーム（座長：小西康生神戸大学経済経営研究所教授）を設置し、地域通貨実験支援事業の推進方策や進行管理、及び地域通貨実験運営費助成グループ・団体の実験結果等について検討・評価を行い、その成果を、他地域のコミュニティの参考とするため、報告書にまとめた。

(事業評価)

助成制度の対象を、既に地域通貨に取り組んでいる団体ではなく、これから新たに地域通貨に取り組もうとする団体に限定することにより、参加者の募集、規約や通貨等の作成など地域通貨グループの立ち上げから、通貨の流通、課題の検討、実験に対する評価に至る全ての過程において、生活復興県民ネットが関わり、それらのプロセスを共有することにより、ともに地域通貨の果たす役割や可能性について、一定の検証を行うことができた。

助成を受けて地域通貨の実験に取り組んだ5つの団体については、今回の流通実験を通じて得られた課題を整理して、今後は次の段階に進もうと考えており、コミュニティ活性化のツールとして地域通貨が持つ機能に一定の評価を下すなど、当初の期待した効果が得られた。



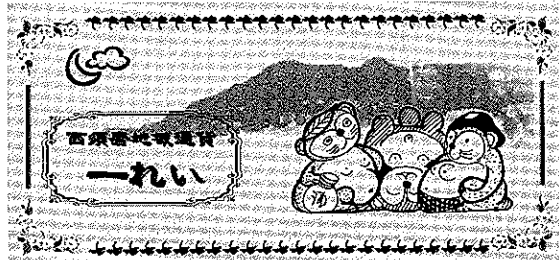
【参考】助成グループ・団体一覧表

団体名	西須磨まちづくり懇談会	お米の勉強会	プラザ5	在宅福祉支援グループ・コスモス	農・都共生ネットこうべ
代表者	岡本 碩也	村山 日南子	上田 諭信	清水 志津子	高畑 正
所在地	神戸市須磨区北町1-78 月見山自治会館内	西宮市花園町11-2	神戸市長田区御蔵通 5-92-2-101	尼崎市金楽寺町2-5-32	神戸市中央区北本町通 1-1-23神戸企業(株)内
設立年月日	平成7年10月1日	昭和61年10月8日	平成11年9月1日	平成12年2月1日	平成11年5月22日
団体人数	42人	350人	40人	210人	103人
団体の活動目的	須磨区西南部被災地の震災復興プラン・まちづくり基本構想を、長期的視野にたって、住民主体で創りあげる。そのために必要な調査・研究を行う。また「環境保全・創造」及び「在宅福祉の充実」への取組みに対する支援・協力を行う。	消費者・生産者・お米屋・マスコミ関係者が集まり、日本の農業を安定的・継続的な農業に変革するために自ら勉強し、活動し、国や自治体にさまざまな提案を行っています。	阪神・淡路大震災で全壊・全焼の被害を受けた神戸市長田区御蔵・菅原地区で「閉じこもり」や「孤独死」などが起きないように、被災高齢者や障害者、単身者等を主な対象として交流やふれあい、支え合い事業を行う。	高齢者に対して、ホームヘルプサービスや配食サービスなど在宅福祉に関する事業やグループハウスの運営などの事業を行い、もって高齢者と共生する地域コミュニティの創造により福祉の増進に寄与することを目的とする。	平成10年8月に開催した「第9回全国トンボ市民サミット神戸大会実行委員会」を中心に結成し、都市と農の交流を図り、人と自然の共生するまちづくりを推進する。
地域通貨導入目的	ボランティアな活動の再評価。地域の人達の新しい出会いをつくる。地域通貨によって地域の眠っている力を生かす。	都市住民(阪神地域)と農山村との交流や支え合いをエコマネーを活用し定着させたい。	地域通貨を活用し、団体が行う事業やサービスが交換できる環境をつくる。また事業以外にも、地域住民のサービス循環の仕組みづくりをすすめる。	福祉活動の継続性を図る。地域コミュニティや商店街とも連携し、金楽寺小学校区でボランティア活動の活性化につなげるために地域通貨に取組む。	都市と農の交流の活性化をめざし、現在会員間での流通にとどまっている地域通貨を、地域住民やイベント参加者、関係団体まで対象範囲を拡大する。
通貨名	れい	石(こく)	ミクラン	楽(らく)	こおみ(木見)
流通地域	神戸市西須磨地域	阪神地域及び豊岡市	神戸市長田区御蔵地区	尼崎市金楽寺小学校区	神戸市西区木見地区
形態	紙券タイプ	通帳タイプ	紙券タイプ	紙券タイプ	紙券タイプ
流通期間	H13.11.10~ H14.2.10	H13.10.21~ H14.2.28	H13.11.1~ H14.2.28	H13.12.16~ H14.2.24	H13.11.25~ H14.2.23
参加人数	26名	22名	47名	120名	150名

13
年
度

助成グループ・団体発行の地域通貨

(西須磨まちづくり懇談会)



(お米の勉強会)

コウノトリ応援団お楽しみ帳



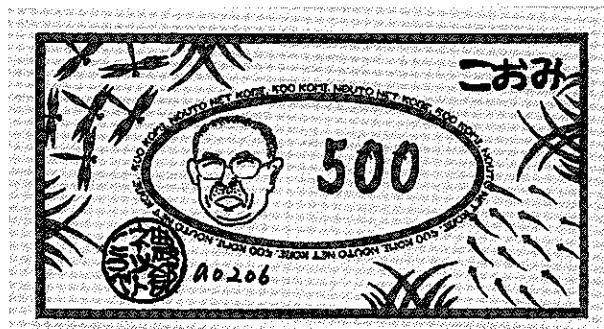
(プラザ5)



(在宅福祉支援グループ・コスモス)

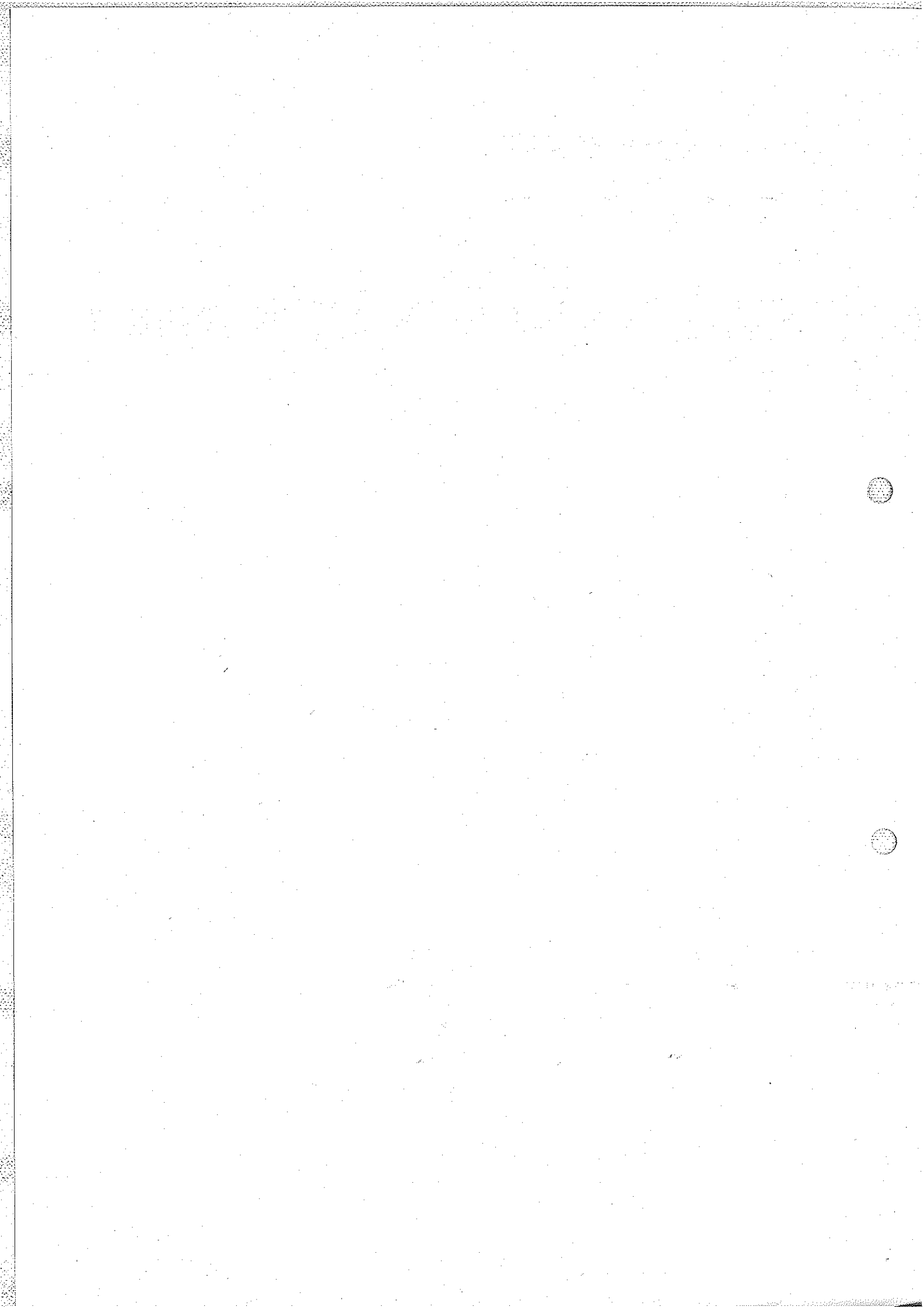


(農・都共生ネットこうべ)



生活復興県民ネットの歩み－2001日の記録－

Ⅲ 資料編 1



◆ 生活復興県民ネット規約 ◆

(名 称)

第1条 この会は、生活復興県民ネットと称する。

(事 務 所)

第2条 生活復興県民ネットは、事務所を神戸市中央区三宮町1丁目7番（阪神・淡路大震災復興支援館内）に置く。

（平成14年4月1日から、神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号（神戸クリスタルタワー内）に置く。）

(目 的)

第3条 県民、各種団体、ボランティアグループ、企業等が被災者の生活復興に向けて展開してきた様々な活動の連携を図り、より充実、発展させていくため、幅広いエネルギーの結集を図ったネットワークとしての生活復興県民ネットを形成し、生活復興県民運動をより広範に展開していくことを目的とする。

(活動内容)

第4条 生活復興県民ネットは、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 団体等の自主的な活動の連携支援に関すること。
- (2) 団体等の活動展開のための条件整備に関すること。
- (3) 県や市町と連携した事業の実施に関すること。
- (4) その他この生活復興県民ネットの目的達成のための必要な活動に関すること。

(構 成)

第5条 生活復興県民ネットは、「生活復興県民運動」に賛同する団体及び個人等をもって構成する。

(幹 事)

第6条 幹事は前条で規定する構成員のうち、県域の団体、地域の包括的な団体及び学識者とする。

(幹 事 会)

第7条 幹事会は年1回以上開催し、代表がこれを招集する。ただし、代表が必要と認めた場合は、随時これを招集することができる。

2 幹事会は、次の事項を決定する。

- (1) 生活復興県民ネットの規約の改正に関すること。
- (2) 役員を選任に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 事業計画の決定及び事業報告の承認に関すること。
- (5) その他生活復興県民ネットの運営に関する重要事項に関すること。

(役 員)

第8条 生活復興県民ネットに次の役員を置く。

- (1) 代 表 1名
- (2) 副 代 表 若干名
- (3) 常任幹事 20名以内
- (4) 監 事 2名
- (5) 顧 問 若干名

- 2 役員は、幹事会で選任する。
- 3 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 補欠で選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第9条 代表は、会務を統括し、生活復興県民ネットを代表する。

- 2 副代表は、代表を補佐し、代表に事故があるときは、あらかじめ代表が指定した者が、その職務を代行する。
- 3 常任幹事は、生活復興県民ネットの運営に必要な事項を掌理する。
- 4 監事は、会務の状況及び会計を監査する。
- 5 顧問は、代表に意見を述べ、又は助言することができる。

(代表の専決)

第10条 幹事会の議決を要する事項のうち、第7条第2項第3号、第4号及び第5号の事項につき、緊急を要するときは、代表は役員会の承認を経て専決処分することができる。ただし、次の幹事会に報告して承認を受けなければならない。

(役員会)

第11条 役員会は、代表がこれを招集する。

- 2 役員会は、代表、副代表、常任幹事をもって組織する。
- 3 役員会は、次の事項を審議する。
 - (1) 「生活復興県民運動」の基本方策に関すること。
 - (2) 幹事会に提出する議案に関すること。
 - (3) 前条に規定する専決処分に関すること。
 - (4) その他幹事会の議決を要しない会務に関すること。

(企画委員会)

第12条 生活復興県民ネットの事業を円滑かつ効果的に推進するため、企画委員会を置くことができる。

(事務局)

第13条 生活復興県民ネットに事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長その他の職員を置き、代表が委嘱する。
- 3 事務局の運営に関する事項については、別に定める。

(経費)

第14条 生活復興県民ネットの経費は、補助金、寄附金その他の収入等をもってあてる。

(会計年度)

第15条 生活復興県民ネットの会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(その他)

第16条 この規約に定めるもののほか、生活復興県民ネットの運営に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は、平成8年10月8日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

◆ フェニックス活動助成団体リスト ◆

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
(平成8年度)				
1	「元気アップ神戸」東灘区推進協議会	中野 秀夫	神戸市東灘区	被災者の心のケアとして、被災者を元気づける講演会の開催
2	コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子	神戸市東灘区	車イス使用者、高齢者用衣服発表会と演奏会を通じた交流
3	住吉公園フェニックス	山本喜代子	神戸市東灘区	住吉公園仮設住宅と周辺病院間を車で送迎
4	ガッツ神戸っ子	加東みどり	神戸市灘区	被災児童を対象にしたキックベースボール大会や人形劇などの実施
5	「元気アップ神戸」灘区推進協議会	筒井 修	神戸市灘区	被災により子育てに悩む親を対象に子育て教室などの機会の提供
6	アジアアフリカ環境協力センター	瓜谷 幸孝	神戸市中央区	新古本と本棚を集め、仮設住宅ふれあいセンターなどへ寄贈
7	春日野公園管理会	市岡 周子	神戸市中央区	仮設住宅住民と周辺住民のふれあい給食会を開催
8	「元気アップ神戸」市民運動推進協議会	高村 勲	神戸市中央区	市外の被災市民へ手紙を送る「元気アップレター」活動
9	「元気アップ神戸」中央区推進協議会	見通 孝	神戸市中央区	仮設住宅でのコミュニティ再生の支援としてお茶会などの開催
10	神戸市婦人団体協議会	友光喜代子	神戸市中央区	恒久住宅へ転居の際の引越しボランティア
11	「元気アップ神戸」兵庫区推進協議会	中山 久憲	神戸市兵庫区	市民生活の復興を祈念してコンサートを開催
12	カイン神戸	宗利 勝之	神戸市長田区	震災によるアルコール依存症を考えるフォーラムを開催
13	「元気アップ神戸」長田区推進協議会	谷口 時寛	神戸市長田区	被災した区民に心のやすらぎを取り戻してもらう文化行事の開催
14	曹洞宗国際ボランティア会(SVA)神戸事務所	市川 斉	神戸市長田区	被災高齢者を対象に識字教室、食事会などを通じた仲間づくり
15	Vo・信愛	菅野 喜一	神戸市長田区	餅つきを通じて、子どもたちの持つ力を生かした世代間交流を図る
16	ロード(路)	森山千代江	神戸市長田区	仮設住宅での炊き出しイベントと石鹸、編み物の学習会
17	我がまち我がふるさと御蔵5・6丁目の会	竹内千恵子	神戸市長田区	食事、落語・人形劇などをあわせた勉強会を月2回実施
18	「元気アップ神戸」須磨区推進協議会	田中 俊輔	神戸市須磨区	新春復興凧あげ大会の開催
19	「元気アップ神戸」垂水区推進協議会	福田 光義	神戸市垂水区	仮設住宅入居者を元気づけるための文化祭を開催

資料編 I

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
20	たんぼぼ	佐々木久美子	神戸市垂水区	仮設住宅の方々を対象に手作り教室を通じた仲間づくり活動
21	移送グループほたる	木村納歩里	神戸市北区	仮設住宅から復興住宅への引越し手伝い
22	がんばろう!!神戸	堀内 正美	神戸市北区	ふれあいマーケット(ガレージセール)を開催し、地域コミュニティを進める
23	キッチン	則藤 譲子	神戸市北区	仮設住宅で、簡単料理やきちんと栄養がとれる料理教室を開催
24	「元気アップ神戸」 北区推進協議会	竹田 孝喜	神戸市北区	地域住民と仮設住宅入居者が共に集う「ふれあい文化祭」の開催
25	パソコン教室・グループ mado	浅川 俊雄	神戸市北区	被災高齢者・障害者のためのパソコン教室の開催
26	「元気アップ神戸」 西区推進協議会	柿本 悟	神戸市西区	全区民を対象にした元気づけの催しの開催
27	神戸市青少年問題協議 会出合支部	足立 芳郎	神戸市西区	子供たちの描いたひまわりの絵を飾る「夢のひまわり展」の開催
28	姫路「こころのケア」 ネットワーク	岸岡 孝昭	姫路市	恒久住宅への移行を促進するため、恒久住宅周辺の街づくり見学
29	姫飾地区生活改善実行 グループ連絡協議会	安永 ゆり	姫路市	季節野菜、手作り加工品を持って仮設住宅を訪問し、交流会開催
30	NPO・シンフォニー	山崎 勲	尼崎市	避難所、仮設住宅、地域でのコミュニティづくり事例検討会
31	明石映画サークル協議会	岡本健一郎	明石市	岡山山陽団地の被災者の方々との映画鑑賞を通じた交流会の開催
32	手作りの会	中西エイ子	西宮市	「ポプリ&アロマセラピー教室」を通じた友達づくり。作品を高齢者にプレゼント
33	西宮北口地域団体連絡 協議会	岡田 八郎	西宮市	仮設入居老人対象の給食会と地域復興の学習会
34	西宮・地域たすけあい ネットワーク	牧野 史子	西宮市	仮設住宅の高齢者が主体となる「昼食レストラン」の開催
35	ひまわりグループ	佐藤 淑子	西宮市	仮設住宅集会所で染物教室を開き、成果物をバザー等に出品
36	みんなでつくるコン サート	平野 寛子	西宮市	被災した障害者・高齢者などが集まって音楽会を開催
37	安井地区子供会連合会	長本 政子	西宮市	被災児童を励ます復興デコレーションケーキづくり
38	手話サークルあわじ	波毛みわ子	洲本市	被災した聴覚障害者を対象に健康づくり講座を開催し交流する
39	グループがばん	勝浦 洋子	芦屋市	被災した子育て中の保護者同士で各種学習会を開催

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
40	市立芦屋高校仮設住宅自治会	永岡 英子	芦屋市	餅つきなどを通じた市立芦屋高校生と仮設住宅住民との交流会
41	21世紀'あしや生涯学習	村尾 美恵	芦屋市	「震災－自分史を書こう」講座の開設及び文集の発行
42	ボランティア団体 「ユー・アイ・アソシエーション」	赤松 弘揮	伊丹市	震災死亡者の追悼と再生への誓いを込めた花と灯のモニュメント
43	学童保育ちやいんど	中安 正子	加古川市	仮設住宅の小・中学生を対象に、スキーキャンプを通して学習指導
44	人と人とを結ぶ福祉の会ハロー宝塚	大橋キミ子	宝塚市	仮設住宅でのふとん乾燥ボランティア
45	ボードまちなみデザイン	福家 清美	宝塚市	復興する宝塚の景観を絵はがきにして、全国に発信する
46	兵庫県連合婦人会三田市連合婦人会	北畑八重子	三田市	リサイクル商品、野菜などを配布しながら、希望者を募り、手芸会を開催
47	ソクラテスプロジェクトグリーンコール横浜	遠藤三保子	神奈川県	フリーダイヤル電話相談及び面接相談事業の開催
48	震災ボランティアネットワーク「いとでんわ」	小林誠治郎	静岡県	静岡県内の避難者の存在と実態を把握し、避難者間の連携を図る
49	大阪・田辺救援活動グループ	大久保 敏	大阪府	ふれ愛喫茶のつどい～みんな歌う会～を毎月2回開催
50	市外・県外避難者ネットワークりんりん	清島 輝夫	大阪府	県外避難者の名簿作成。名簿登録用フリーダイヤル設置
51	十八条二丁目仮設住宅自治会	南木 良一	大阪府	仮設住宅内で老若男女問わず参加できるクリスマス会を開催
52	てるてるの会	下野まり子	大阪府	被災者が集まって、てるてる坊主、マフラーを手作りして配布
53	阪神大震災ボランティアグループ	阪口 春彦	大阪府	被災者同志で門松などを作って仮設住宅に設置
54	街づくり支援協会	小森 星児	大阪府	県外被災者を集めた茶話会を開催。話し合いによる自立促進
55	りんくう助け合いネットワーク	濱田 晶子	大阪府	恒久住宅への入居申請を促進するための恒久住宅の見学ツアー
56	震災で奈良に移った人の会ふきのとう	米川 広子	奈良県	県外被災者の情報収集、及び会報による情報提供
57	おかやま阪神会	住田 幸一	岡山県	県外被災者を一軒一軒訪ねながら名簿を作成し、情報誌を発行
58	広島のじぎくの会	山田 一彦	広島県	県外被災者による震災記録文集の作成
59	りんりん福岡	向田 俊博	福岡県	茶話会の開催など県外被災者のネットワークづくり

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
(平成9年度)				
1	住吉公園フェニックス	山本喜代子	神戸市東灘区	仮設住宅居住者に対する病院への送迎活動
2	元気アップ神戸 「ちょっと気配り灘のまち」 区民運動推進協議会外2団体	橋本 義信	神戸市灘区	灘区内における恒久住宅移行の際のウェルカムイベントとふれあい秋祭りの実施
3	仲良会	篠田 基男	神戸市東灘区	仮設住宅で生きがいのある生活を送るための洋裁教室の開催
4	灘中央地区ボランティア 外2団体	常磐 政雄	神戸市灘区	稲の栽培を通じた仮設住宅への友愛訪問活動と恒久住宅移行のための引っ越し手伝い支援
5	東灘復興事業委員会	高嶋 平介	神戸市東灘区	被災者をはじめ市民への救急・防災意識の啓蒙を行う
6	春日野公園五徳会外6 団体	市岡 周子	神戸市中央区	復興パレード等のイベントを通して、地域コミュニティの促進を図る
7	神戸元気村	山田 和尚	神戸市灘区	仮設住宅にお米を届ける運動の展開
8	「元気アップ神戸」市民運 動推進協議会外3団体	高村 勳	神戸市中央区	恒久住宅移行の際のウェルカム事業（歓迎会、友愛訪問、健康相談等）の展開
9	灘区連合婦人会	伊藤あや子	神戸市灘区	恒久住宅への引っ越し手伝いと恒久住宅での交流会の実施
10	市民版ひっこしプロジェクト ネットワーク外96団体	堀内 正美	神戸市北区	恒久住宅移行のための引っ越し手伝い活動
11	のーすぽーる	中村 清実	神戸市灘区	被災者をはじめ、観客が参加できる「創る音楽会」の開催
12	阪神・淡路大震災「仮設」 支援NGO連絡会外38団体	梁 勝則	神戸市長田区	恒久住宅移行のための引っ越し手伝い活動
13	アジアアフリカ環境協 力センター	瓜谷 幸孝	神戸市中央区	中国・北京の中学生と仮設住宅居住者との交流会
14	須磨スマイル外1団体	加治 浩	神戸市須磨区	恒久住宅移行後の障害者への心のケアと友愛訪問
15	「元気アップ神戸」市 民運動推進協議会	高村 勳	神戸市中央区	神戸市外に避難している被災者への「元気アップレター」の送付
16	垂水生活文化協会外2 団体	堀口東四郎	神戸市垂水区	区内の仮設住宅、恒久住宅入居者を対象とした区内各種施設見学会の開催と、お買い物情報マップの作成・配布
17	神戸・市民交流会	中島 正義	神戸市中央区	被災者同士が生活再建について話し合うための交流会の開催
18	ささゆり農園外2団体	野口 守	神戸市西区	被災者が、休耕地を利用して一緒に耕作することにより、仲間づくりをしながら自立を促進する
19	神戸中央・助け合い ネットワーク	三枝 勲	神戸市中央区	仮設住宅から恒久住宅への引っ越し手伝い

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
20	西区連合婦人会外2団体	春日 友子	神戸市西区	西区ふれあい文化フェスティバルの開催を通して、被災者を含めた区民のふれあいと心が通うまちづくりを目指す
21	神戸YWCA救援センター	寺内 真子	神戸市中央区	被災者を対象にした交流会、学習会、レクリエーション等の実施
22	NPOシンフォニー外2団体	山崎 勲	尼崎市	恒久住宅移行のための引っ越し手伝い活動
23	(幼)神戸青年会議所	三條 慶弥	神戸市中央区	被災児童の交流を図るドッジボール大会の開催
24	関西学院ヒューマンサービスセンター外1団体	東中 綱利	西宮市	西宮市内の仮設住宅のコミュニティなどに関する調査を実施し、今後の学術研究の資料として役立てる
25	第六回全国在宅ケア研究交流集会実行委員会	上田 耕蔵	神戸市中央区	震災後、被災地で新しく芽生えた在宅ケアのあり方を全国に発信するための研究交流集会の開催
26	三木市老人会連合会外2団体	井上 清	三木市	震災犠牲者鎮魂と音楽会を併せた夕べの開催を通して、地域のコミュニティづくりを進める
27	阪神生活再建の会	大林 靖雄	神戸市中央区	仮設住宅の高齢者・障害者を対象にした歯科衛生指導の実施
28	川西市障害者共働作業所あかね外2団体	小川 悟	川西市	お食事会や学習会を通して、被災高齢者・障害者などと地域住民の交流の輪を広げていく
29	「元気アップ神戸」兵庫区推進協議会	谷口 正博	神戸市兵庫区	復興住宅入居者を対象とした区内の歴史散策の実施
30	ボランティアグループ花ごころ外1団体	河井 孝文	三原町	仮設住宅の高齢者を対象に、一緒に恒久住宅移行後について考え、恒久住宅移行までの各種支援(愛の宅急便作戦等)を行う
31	プロジェクト1-2	有光 るみ	神戸市兵庫区	恒久住宅のコミュニティプラザでのふれあい喫茶の開催
32	With Youあいち外1団体	西田又紀二	愛知県	愛知県に避難した県外被災者が兵庫県に帰ってくるための支援活動
33	ボランティアグループシティアイト	山根 修一	神戸市兵庫区	ふれあいセンターでの食事会と手芸教室の開催
34	阪神大震災子どもを助ける会外1団体	袖岡 秀一	京都府	県外避難者が兵庫県に帰るための支援及び恒久住宅への引っ越し支援
35	ボランティアグループ・たまねぎ	箕浦 隆	神戸市兵庫区	仮設住宅の高齢者・障害者を支援するための茶話会、誕生会などの開催
36	西宮地区仮設住宅自治会外3団体	益田 優	大阪府	大阪府内の仮設住宅入居者を対象に、恒久住宅移行等に関する学習会や元気づくりのイベントを開催する
37	夢野こどもホーム	田中 秀穂	神戸市兵庫区	被災児童の元気づけと地域活性化を図る夏祭りの開催
38	「元気アップ神戸」北区推進協議会	柏木 保夫	神戸市北区	被災者の元気づけと交流を図る文化祭の開催
39	学半舎自然教室	秦 敬	神戸市北区	キャンプを通じた被災児童と被災地外の児童との交流

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
40	がんばろう!!神戸	堀内 正美	神戸市北区	ふれあいマーケットの開催による地域コミュニティの促進
41	パソコン教室 "mado"	浅川 俊雄	神戸市北区	震災による離職者や障害者を対象としたパソコン教室の開催
42	更婦ながた	檀上 早苗	神戸市長田区	音楽や手芸による、仮設住宅の高齢者の心のケア
43	長田たなばたまつり実行委員会	丘 あつし	神戸市長田区	被災者の元気づけと交流を図る七夕祭りの開催
44	みくら5-6-7わが街の会	竹内千恵子	神戸市長田区	地域住民による生活再建勉強会、ワークショップ、情報交換等の各種事業
45	神戸西・助け合いネットワーク	在里 俊一	神戸市須磨区	仮設住宅居住者の元気回復を図る日帰り入浴バスツアーを実施
46	社団福祉法人神戸市須磨区社会福祉協議会	中島 一誠	神戸市須磨区	神戸市外に避難している被災者のつどいを開催
47	ファミリー神戸	内田 喜恵	神戸市須磨区	仮設住宅の高齢者を対象にしたふれあい喫茶、モーニングサービスの実施
48	おさるぶんこ	余根田嘉代子	神戸市垂水区	被災児童の心を豊かにするための、本の貸し出しとおはなし会
49	「元気アップ神戸」垂水区推進協議会	福田 光義	神戸市垂水区	垂水のふれあいの集いを開催し、被災者の元気づけと地域コミュニティの促進を図る
50	視覚サービスブックトラック	桜山三佐代	神戸市垂水区	被災視覚障害者向けの拡大文字本の作成・寄贈
51	垂水区ボランティア連絡協議会	丸川 瑛児	神戸市垂水区	地域ぐるみのメールネット(手紙の交流)によるコミュニティづくり
52	ココロクラブハートロン	内田 洋子	神戸市西区	県外避難者へのふるりのたよりの発行、恒久住宅移行へのお手伝い
53	西区連合婦人会	春日 友子	神戸市西区	盆踊り大会を実施し、被災者を含めた住民交流を行う
54	Remember被災地	岡本 美紀	神戸市西区	全国の学生ボランティアに呼びかけ、仮設住宅での支援活動を合同で実施
55	コープこうべボランティア青空グループ	山根須美子	姫路市	仮設住宅の高齢者を対象にした茶話会の開催
56	玉手仮設ボランティアネットワーク	松本 滋	姫路市	夏まつりの開催や友愛訪問等による仮設住宅居住者を支援する活動
57	姫路こころのケアネットワーク	岸岡 孝昭	姫路市	県営住宅に移り住んだ被災者とそこに以前から住んでいる住民との交流会の開催
58	成徳スマイルバドミントンクラブ	西岡 宏恭	尼崎市	恒久住宅への引っ越しボランティアと移行後のコミュニティづくりへの支援
59	明石ヨットクラブ	岩根 晟	明石市	仮設住宅の子どもたちを対象にしたヨット乗船体験

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
60	子午線サークル	藤本 哲也	明石市	無料震災何でも相談や市民法律講座の開催
61	市民ボランティアクラブ	戸口 京子	西宮市	被災地の様々な問題を市民一人ひとりが考える学習会の開催
62	スプリングえだがわ	西田 悦子	西宮市	仮設住宅でのふれあいティールーム、音楽会、バザー等の開催
63	であいのネットワーク たまねぎの会	渡辺 圭子	西宮市	手芸の講習会から展示・即売までを行う工房を開設し、被災者の生きがいづくりを進める
64	西宮市北口地域団体連絡協議会	岡田 八郎	西宮市	市民の手形プレートを採取し、新しい街角や再開発ビルに設置する
65	西宮・地域たすけあいネットワーク	牧野 史子	西宮市	仮設住宅の高齢者の実施する「一日レストラン」の運営支援
66	ハートフル	原田 秀子	西宮市	被災児童のデイキャンプを通しての新しい地域コミュニティづくり
67	被災地でMeetともだち100人できるかな	中西 頼子	西宮市	夏休みに全国のボランティアを受け入れ、仮設住宅での支援活動を展開
68	淡路女性団体連絡会	平上 豊治	洲本市	被災者の日常生活に関する工夫やアイデアの研究発表会の開催
69	あしやY.O.倶楽部 コーラスグループ	小川 和雄	芦屋市	ふれあいセンターなどで被災者を元気づけるためのコーラス活動
70	グループがばん	勝浦 洋子	芦屋市	植栽を通じて被災者の暮らしに潤いを持ってもらう
71	生活再建自立の会・牧場の朝	小室健太郎	芦屋市	休耕地や養鶏場を借りて、仮設住宅の高齢者に野菜作りや卵の集荷に参加してもらう
72	中央公園仮設住宅生き生き暮らしそう会	小林 守	芦屋市	仮設住宅建設により枯れた樹木の代わりに梅の木を植樹する
73	グループホーム研究会	中江 幸一	宝塚市	安心できる老後を目指したグループホーム設立研究事業
74	高砂ネットワーク協議会	西村 利也	高砂市	復興住宅の住民同士が協力しての夏祭りの開催
75	兵庫県健康生きがいづくり協議会	中村 安治	高砂市	ポートレート大会により仮設住宅の高齢者と地域児童の交流を図る
76	南花屋敷連合自治会	野田 泰司	猪名川町	カラオケ大会やグランドゴルフ大会などの被災者激励イベント開催
77	神崎郡連合婦人会	大島さか糸	福崎町	仮設住宅居住者を神崎町に招待し交流を深める事業等を展開
78	南光ふれあい基金	淵上 文徳	南光町	野外で実施するふれあいコンサートへの被災児童招待
79	市島シニアクラブ	堀 秀政	市島町	被災地の親子を招いての魚つかみとり大会の開催

資料編 1

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	フ ラ ン 内 容
80	フェニックス・ささやま	中山 和人	篠山町	篠山に移転してきた被災者の名簿作りと周辺住民との交流
81	東浦町生活支援ボランティア推進協議会	古南 正勝	東浦町	仮設住宅、恒久住宅に居住する高齢者を対象にした講演会、健康相談、情報提供等の実施
82	KOOR 実行委員会	永末 和子	神奈川県	全国各地の学生ボランティアが主催し、被災高齢者を広島へ招待する
83	ソクラテスプロジェクト	遠藤三保子	神奈川県	関東地方に避難した被災者を対象としたフリーダイヤル電話相談及び面接相談事業
84	震災ボランティアネットワークいとでんわ	佐藤 正幸	静岡県	静岡県に避難した県外居住者への支援活動
85	生活協同組合コープしが	細谷 卓爾	滋賀県	滋賀県に避難した県外居住者への支援活動
86	ロビンフッド	池田 英郎	京都府	被災児童の心のケアのきっかけとなる「わんぱくキャンプ」の開催
87	大阪・田辺救援活動グループ	大久保 敏	大阪府	県外仮設住宅でのふれ愛喫茶及び県外避難者交流会の開催
88	グループ「117」	緩詰 修二	大阪府	被災マンション再建のための研究会の開催
89	コリアボランティア協会	康 秀峰	大阪府	恒久住宅移行後の支援を行うための被災地支援センターの開設運営等
90	震災で奈良に移った人の会ふきのとう	米川 広子	奈良県	奈良県に避難した県外居住者自身でグループを作り、情報提供、交流会等を実施
91	被災者グループあじさい・わかやま	川島 景司	和歌山県	和歌山県内の被災者の月例会の開催と会報の発行
92	おかやま阪神会	境 寅士	岡山県	岡山県内の被災者同士の定期的な交流会の開催
93	広島のじぎくの会	山田 一彦	広島県	広島県内の被災者同士の親睦と情報交換を図る定例会の開催
94	結～ふくおか～	吉川 貴子	福岡県	福岡県に避難した県外居住者への支援活動
95	りんりん福岡	向田 俊博	福岡県	福岡県内の被災者同士の交流会と被災高齢者対象の友愛訪問実施
96	東灘・地域助け合いネットワーク	芝崎 信子	神戸市東灘区	恒久住宅で入居者交流会などを開催し、交流の場づくりを行う
97	あ☆ひるの会	瀬川 雅之	神戸市灘区	恒久住宅で、茶話会、趣味のサークルを開催し、被災者のコミュニティを促進する
98	生き生きクラブ六甲	森脇 敦子	神戸市灘区	恒久住宅で、昼食会、手づくり講座、健康相談教室を開催し被災者のコミュニティを促進する
99	ボランティアグループ六甲	丸谷 肇子	神戸市灘区	恒久住宅で高齢者、障害者を対象にしたふれあい喫茶などを開催し、コミュニティづくりを促進する

フェニックス活動助成団体リスト

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
100	おもいやりネットワーク	石田ヨシ子	神戸市中央区	せっけん加工や小石のはし置きづくりなどを通じた被災者の元気づけ及び恒久住宅へ移行した被災者への情報提供等の支援活動を行う
101	兵庫県キャンプ協会	今井 鎮雄	神戸市中央区	仮設住宅の高齢者をキャンプに招待し、農村の青年との交流を図る
102	フェニックスこども作品展実行委員会	伊勢田史郎	神戸市中央区	国内外から子どもの絵画と詩を募集し、作品を開催することにより、被災者の元気づけと心の復興を図る
103	神戸市学童保育連絡会	夏川久美雄	神戸市兵庫区	学童保育所の子どもたちを励ます各種イベントの開催
104	駒どりの家	福井 初美	神戸市長田区	元気の出る“地域福祉づくり”の集いの開催
105	震災・活動記録室	実吉 威	神戸市長田区	恒久住宅に関する電話相談、チラシ・マップの作成配布、勉強会の開催などの支援活動を展開する
106	阪神高齢者障害者支援ネットワーク	中辻 直行	神戸市長田区	仮設住宅で年末年始のイベント、配食サービスを実施する
107	真野地区復興まちづくり事務所	岸野 賢治	神戸市長田区	震災関連の地区情報誌を作成し、地区外に避難した住民等に配布する
108	ゆいまーる神戸	石井 明美	神戸市須磨区	年末年始に手づくり料理を仮設住宅の一人暮らしの高齢者に届ける
109	狩場台婦人会	安藤眞佐子	神戸市西区	複数の仮設住宅自治会に呼びかけ、合同グランドゴルフ大会を開催する
110	みやボラ	香川 幸一	神戸市西区	子どもたちによる手づくりうどんを仮設住宅、恒久住宅居住者に配り、コミュニティづくりを促進する
111	姫路市白浜婦人会	平田 英代	姫路市	仮設住宅で、高齢者に対する友愛訪問、茶話会、昼食会などを実施
112	NPO シンフォニー	山崎 勲	尼崎市	仮設住宅居住者等が講師となり、地域住民を対象にした震災生活体験研修会を開催する
113	ガーデンクラブ北口	橘 美也子	西宮市	周辺地域に草花を植える活動の展開と街づくり学習会の開催
114	三水会	西尾 徳子	西宮市	仮設住宅居住者を含めた地域住民の交流を図るため、交流会や月例の催しなどを開催し、住民が集う場を提供する
115	「白いリボン運動」実行委員会	東中 綱利	西宮市	1月17日に白いリボンをつける運動を展開し、防災意識の啓発を行う
116	ていんさぐ花の会	工藤 正登	西宮市	岡山県に住む被災者との交流会の開催
117	みんなでつくるコンサート	平野 寛子	西宮市	被災障害者等による、互いに励まし合うためのコンサートの開催
118	安井地区子ども会連合会	長本 政子	西宮市	被災児童を対象にしたデコレーションケーキづくり教室の開催
119	淡路聴力障害者協会	斉藤 勇	洲本市	映画上映や相談会の開催などを内容とする被災聴覚障害者の集いを開催する

資料編1

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
120	新三都物語交流祭り '98実行委員会	阿部 貴久	洲本市	淡路の青少年活動の発表イベントを開催し、復興の気運を盛り上げる
121	ひょうご・淡路ネイ チャーゲームの会	海老 一吉	洲本市	自然の中で遊ぶネイチャーゲームを通じて被災児童を元気づける
122	絵てがみインターネット	宮西 信治	芦屋市	仮設住宅居住者と県外の高校生を絵手紙による文通で結ぶ
123	棚板一枚からSOS大 工・左官・庭師の会	廣岡三智子	芦屋市	大工・左官・庭師による被災者への技術指導、講習会の開催
124	ボランティア団体阪神 東支部ユニー・アイ・ア ソシエーション	赤松 弘揮	伊丹市	甲子園で被災児童と平安高校生のキャッチボールを行い、子どもの元気回復を図る
125	関学学習指導会	森山 隆一	宝塚市	被災児童を元気づけるため、スキーツアーを計画して招待する
126	(社)宝塚青年会議所	伊藤 順一	宝塚市	被災者の元気づけのためのコンサートやフリーマーケットの開催
127	神戸YWCA 救援セン ター支援会・東京	大久保生子	東京都	関東に居住する被災者のネットワークづくりへの各種支援活動
128	阪神大震災子どもを助 ける会	袖岡 秀一	京都府	恒久住宅でのコミュニティづくりのためのイベント開催や自治会づくりの支援
129	四国被災者ネットワーク 【hand in hand】	西岡 英子	香川県	四国に居住する被災者のネットワークづくりへの各種支援活動
130	ひまわり会	小林 忠明	香川県	県外に避難した被災者同士で、親ぼくを通じた仲間づくりを促進する
〔平成10年度〕				
1	あしなが震災支援 ウォーク実行委員会	徳永 知美	神戸市東灘区	赤穂から大阪までを歩いて、震災遺児、ガン遺児への支援を呼びかける
2	元気アップ神戸 「ちょっと気配り灘のまち」 区民運動推進協議会共3団体	堂内 孝夫	神戸市灘区	災害復興公営住宅ウエルカムイベント及び灘ふれあい秋祭りの開催
3	東灘・地域助け合い ネットワーク	武田 純子	神戸市東灘区	恒久住宅におけるコミュニティづくりを図るため、交流会を開催する
4	葦合市場商店街連絡協 議会共3団体	大寺 英徳	神戸市中央区	復興住宅に転居された被災者を温かく迎え入れるためのイベントの開催
5	火曜グループ	中村 京子	神戸市東灘区	震災体験をもとにした、防災ビデオと冊子の作成
6	春風会共3団体	竹内 俊夫	神戸市長田区	地域コミュニティづくりに向けたイベント等への支援活動等の実施
7	住吉公園フェニックス	山本喜代子	神戸市東灘区	恒久住宅や仮設住宅に住む高齢者・障害者を対象にした、病院への送迎サービスの実施
8	地域の歴史を散策しよ う実行委員会共3団体	東 充	神戸市長田区	史跡の散策を通じた地域のふれあいづくり

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
9	JFPA/ハートブレイク	石川 英二	神戸市東灘区	思春期の子どものごころとからだの相談のための、スタッフ研修会の開催と啓発活動の実施
10	神戸アジアタウン推進協議会共3団体	神田 裕	神戸市長田区	地域コミュニティの促進を図る地域住民参加型ラジオ番組の放送
11	関学学習指導会	森山 隆一	神戸市東灘区	被災児童のごころのケアを図るサマーキャンプの開催
12	ボランティアグループ さくらんぼ共3団体	今田 寛子	神戸市須磨区	復興住宅の自治組織立ち上げ支援や交流会の実施などの、地域コミュニティづくり支援
13	東灘復興記念事業委員会	藤田 浩三	神戸市東灘区	地域住民の元気回復と防災意識の向上を図る救急フェアの開催
14	グループ寺子屋共3団体	吉川 義男	神戸市垂水区	被災高齢者や障害者を対象にした手芸教室、染め物教室等の開催
15	神戸大学灘地域活動センター	相澤亮太郎	神戸市灘区	仮設住宅で訪問活動をしていた被災者を対象に、復興住宅でも継続して戸別訪問や交流会を開催し、コミュニティの形成を支援する
16	垂水生活文化協会共3団体	堀口東四郎	神戸市垂水区	垂水区内に転居してきた被災者を対象にした、行政施設や社会福祉施設などの見学会やウエルカムイベントの開催
17	寿ボランティアグループ	姫野 操子	神戸市灘区	地域の独居老人を対象にした料理教室の開催
18	社会福祉法人神戸西区社会福祉協議会共3団体	武川 恒二	神戸市西区	仮設住宅、復興住宅の入居者を含めた西区民全員の福祉のまちづくりの気運を高める福祉フェアの開催
19	生き生きクラブ六甲	森脇 敦子	神戸市灘区	復興住宅に入居された高齢者、障害者を対象にした給食サービス、健康相談の実施
20	西区連合婦人会共3団体	秋定喜代子	神戸市西区	西区に転居された被災者を対象にしたウエルカムイベントの開催
21	「新在家南町3丁目の軌跡」(仮題)の編集委員会	加藤 正博	神戸市灘区	新在家南町A・B地区で行った共同建替に関する記録集の出版
22	新生会作業所共8団体	小川美知子	西宮市	障害者小規模作業所の自主製品の展示及び品評会の開催等
23	被災地クラブ	鶴田 守人	神戸市灘区	被災マンション住民同士の交流会開催や情報収集活動、学習活動の実施
24	(財)神戸YMCA西宮ランチ共3団体	馬場 一郎	西宮市	震災のストレス等による子育ての悩みや児童虐待に関する相談活動の実施
25	琵琶町企画実行委員会	中川 清司	神戸市灘区	地域コミュニティづくりのきっかけとなる夏祭りの開催
26	仮設住宅写真調査実行委員会共2団体	六鹿いづみ	西宮市	西宮市内の仮設住宅の変遷を写真で記録し、今後の学術資料として役立てる
27	神戸市立渚中学校	佐藤 公彦	神戸市中央区	復興住宅に入居した高齢者と、近くに新設された中学校との交流活動
28	ボランティア団体阪神東支部「ユー・アイ・アソシエーション」共3団体	赤松 弘揮	伊丹市	復興住宅での在宅歯科指導、相談事業の実施

資料編 I

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	フ ラ ン ジ 内 容
29	神戸・市民交流会	中島 正義	神戸市中央区	市民交流会と震災シンポジウムを開催し、被災者の交流促進と自立支援を図る
30	花ごころ共3団体	河井 孝文	三原郡三原町	仮設住宅と復興住宅に住む被災者を対象にしたもちつき大会などのイベントの開催
31	「元気アップ神戸」市民運動推進協議会	高村 勳	神戸市中央区	手作りプランターの作製と花づくりを通して、恒久住宅周辺のコミュニティづくりを進める
32	(株)横浜ボランティア協会共3団体	山本 郁夫	東京都	関東に住む被災者を対象にした支援コンサートの開催
33	神戸復興塾	小森 星児	神戸市中央区	アメリカのNPO団体視察と情報交換の報告会及び報告書の作成
34	With Youあいち共2団体	西田又紀二	愛知県	愛知県に避難、転居された方々への支援活動の実施
35	兵庫県青年洋上大学同窓会阪神大震災復興支援特別委員会ファミリーキャンプ実行委員会	新庄 和文	神戸市中央区	被災地域の家族を対象にしたキャンプの開催
36	プロジェクト1-2	有光 るみ	神戸市兵庫区	被災地域の住民に対して、手芸教室、識字教室等の様々な学習の場を提供し、地域コミュニティづくりを図る
37	「元気アップ」兵庫区推進協議会	櫻井 良和	神戸市兵庫区	復興住宅に入居された方に、兵庫運河の親子遊覧を通して地域に慣れ親しんでもらう
38	グループ・たまねぎ	箕浦 隆	神戸市兵庫区	仮設住宅への定期訪問と、障害者団体への支援活動
39	学半舎自然教室	秦 敬	神戸市北区	キャンプを通じた被災児童と被災地外の児童の心の交流
40	「元気アップ神戸」北区推進協議会	谷口 良雄	神戸市北区	被災者の元気づけと交流を図る文化祭の開催
41	鷹取東復興まちづくり協議会	小林伊三郎	神戸市長田区	被災者生活実態調査の報告や音楽会などのイベントを通して、地域コミュニティづくりを進める復興フェスティバルの開催
42	みくら5・6・7わが街の会	竹内千恵子	神戸市長田区	自治会立ち上げの気運づくりとなる、クリーン作戦や各種イベント等の自治活動の実施
43	すたあと長田	金田真須美	神戸市長田区	仮設住宅と周辺地域の住環境整備と清掃活動の実施
44	アジア女性自立プロジェクト	いなだ多恵子	神戸市長田区	被災外国人向けワープロ・パソコン教室の開催
45	長田たなばたまつり実行委員会	丘 あつし	神戸市長田区	復興住宅の子どもたちを対象にたなばたまつりを開催し、地域の交流を図る
46	駒ヶ林まちづくり協議会	中本 正	神戸市長田区	子どもみこしなどの伝統芸能を通してコミュニティを育むふれあい祭りの開催
47	被災地障害者センター	福永 年久	神戸市長田区	被災地の障害者を対象にした定期交流会の開催と、ハイキング等のレクリエーションの実施
48	地域支援サークル	築谷 綾子	神戸市長田区	復興住宅や仮設住宅での交流を図るための、映画上映会や音楽鑑賞会の開催

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
49	茶話会ボランティアひまわり	久保 和子	神戸市須磨区	仮設住宅から公営住宅の空き室に転居してきた被災者と、従来からの住民の交流を図る、ふれあい茶話会の実施
50	たんぽぽクラブ	吉田 節子	神戸市須磨区	震災で不安を抱える母親同士の仲間づくりと子育てを考える交流活動の実施
51	神戸西・助け合いネットワーク	在里 俊一	神戸市須磨区	恒久住宅への転居が進む中、自治会活動の低下した仮設住宅の住民を対象にしたマイクロバスツアーの実施
52	グループ寺子屋	吉川 義男	神戸市垂水区	仮設住宅、復興住宅へ生活物資等を配送することで、被災者と地域住民の交流を図る
53	櫛谷川愛護協会	二星 豊彦	神戸市西区	復興住宅や仮設住宅の住民と地元住民の交流を図る川祭りの開催
54	民法と戸籍を考える私たちの連絡会	ながきのりこ	神戸市西区	被災シングルマザーを対象にしたフリーダイヤル電話相談の実施
55	姫路仮設住宅ボランティアネットワーク	松本 滋	姫路市	仮設住宅での夏祭りの開催と月例モーニングサービスの実施
56	金楽寺コレクティブハウジング応援団	細岡 雄二	尼崎市	コレクティブハウジングで趣味のサークルや食事会等を実施し、住民のふれあいを図る
57	NPOシンフォニー	山崎 勲	尼崎市	復興住宅の自治会を対象にした会計事務についてのワークショップの開催
58	金楽寺社会福祉連絡協議会	田之上鉄男	尼崎市	復興住宅の被災者が親睦を深めるための夏祭りの開催
59	障害者自立センター移送支援部	尾西 秀敏	明石市	被災障害者を海岸に招待してバリアフリービーチを体験してもらう
60	西宮リンゴ並木後援会	南野 三郎	西宮市	阪神・淡路大震災の犠牲者の追悼と、西宮市内の緑化を進めるためのリンゴの植樹の実施
61	都市生活地域復興センター	前川智佳子	西宮市	ケア付き仮設住宅に関する報告書の出版
62	日本災害救援ボランティアネットワーク	田中 稔昭	西宮市	防災教育と地域住民の交流を図るオリジナル防災マップの作成
63	西宮・地域たすけあいネットワーク	牧野 史子	西宮市	復興住宅の集会所で、住民主体で企画・運営する趣味のサークルを開催し、住民同士の交流を図る
64	浜脇校区子ども会連絡協議会	米山 清美	西宮市	被災地域の中学生を対象にしたジュニアリーダー養成講座の開催
65	グループふれーる	北野入貢子	西宮市	地域の銭湯を利用した交流会の開催
66	プロジェクト結ぶ	石井布紀子	西宮市	復興住宅に転居してきた住民同士の交流を図る秋祭りの開催
67	ガーデニングクラブ北口	橘 美也子	西宮市	地域の空き地を利用した野菜の栽培と、その野菜を使った食事会の実施
68	安井地区子ども会連合会	長本 政子	西宮市	被災児童を対象にしたデコレーションケーキ作り教室の開催

資料編 I

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
69	グループがばん	勝浦 洋子	芦屋市	震災で傷ついたところのケアを図る住民参加の植栽活動の実施
70	市民自立の会さくら	白坂ふみ子	芦屋市	ちぎり絵、ドライフラワーづくり等を通しての、復興住宅での仲間づくり
71	生活協同組合都市生活「さくらんぼ」	城 利子	伊丹市	復興住宅のコミュニティプラザでふれあい喫茶を開き、住民同士や地域住民とのコミュニティづくりを促進する
72	「障害者」とともにバリアフリーを考える伊丹市民の会	坂元 和美	伊丹市	オーストラリアで開催される障害者、高齢者の移動に関する会議への参加
73	宝塚情報ボランティアネットワーク	高原 宏子	宝塚市	インターネットのホームページ上に、市内の避難所マップを作成する
74	宝塚リハビリ友の会	吉田 和雄	宝塚市	被災重度障害者の交流会と、介護福祉用品展示場の見学と学習会の開催
75	兵庫県健康生きがいづくり協議会	中村 安治	高砂市	仮設住宅や恒久住宅の高齢者の元気回復を図る、体操やゲームなどの実施
76	高齢福祉をすすめる市民ネットワーク川西	滝 純子	川西市	復興住宅の高齢者を対象にした学習会と交流バスツアーの開催
77	町づくり委員会ふれあい推進グループ	伊藤 勇次	津名郡一宮町	もちつき大会やグランドゴルフの開催を通して、被災地の心の絆を取り戻す
78	ソクラテスプロジェクト	遠藤三保子	神奈川県	関東地区に住む被災者を対象にしたフリーダイヤル電話相談及び面接相談事業
79	震災県外避難者京都集いの会	宮道武之助	京都府	京都府に住む被災者の茶話会、交流会の開催
80	ロピンフッド	井上 裕希	京都府	被災児童のこころのケアを図るキャンプの実施
81	阪神大震災子どもを助ける会	袖岡 秀一	京都府	被災児童の友達づくり、元気回復、こころのケアを図る、キャンプ等の開催
82	視覚障害者支援の会クローバー	松尾 佳子	大阪府	外出介助、代筆・代読等の視覚障害被災者への支援活動
83	被災者連絡協議会	米沢 浩二	大阪府	大阪府下の仮設住宅から恒久住宅へ転居された方を対象にした交流会の開催
84	おかやま阪神会	山本 全一	岡山県	岡山県内の被災者への情報提供と定例会等の開催
85	広島のじぎくの会	山田 一彦	広島県	広島県に住む被災者の交流を図る定例会等の開催
86	ひまわり会	小林 忠明	香川県	香川県内の被災者の仲間づくりを図る親睦会の実施
87	結〜ふくおか〜	山本亜紀子	福岡県	福岡県内に住む被災者同士の交流を深める茶話会やチャリティーコンサートの実施
88	りんりん福岡	向田 俊博	福岡県	福岡県内に住む被災者を対象にした情報提供や茶話会等の実施

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
89	POWER FOLK	岡本 光彰	神戸市東灘区	障害者共同作業所での音楽療法の実施
90	大地の恵	青江真佐子	神戸市灘区	園芸療法、農園づくりによる被災高齢者・障害者の生きがいづくり
91	六甲道駅北復興まつり実行委員会	小松 芳暢	神戸市灘区	六甲道駅北地域の元気アップを図る復興まつりの開催
92	神戸ネイチャーゲーム	三好 敏之	神戸市灘区	六甲山の自然の中で親子の絆を深めるネイチャーゲームの開催
93	ふれあい広場実行委員会	伊藤あや子	神戸市灘区	被災地の実態の世界各国へのアピールと地域住民の元気回復を図る、ボーリングワールドカップウェルカム運動の実施
94	キッズクラブ	沖口智恵子	神戸市灘区	被災児童が自分たちで育てた米の収穫祭の開催
95	神戸いのちの電話	山口 徹	神戸市中央区	神戸いのちの電話の24時間化に向けた全国的な調査・研究の実施
96	神戸市学童保育連絡会	池田 正子	神戸市中央区	被災地域の学童保育所クラブの子どもたちとその保護者を対象にした祭りの開催
97	ユニバールボランティア	寺脇 雅夫	神戸市中央区	復興住宅における住民同士のふれあいとボランティアグループ間の協働関係づくりを図る交流会の開催
98	大倉山高層住宅自治会	田尻 文子	神戸市中央区	復興住宅の住民を対象にしたガーデンパーティーとふれあいコンサートの開催
99	兵庫県介護福祉士会	藤原 広巳	神戸市中央区	被災高齢者を抱える家族を対象にした電話による介護相談の実施
100	ボランティアチーム [ノーサイド]	山取 恒夫	神戸市中央区	仮設住宅や恒久住宅でのもちつき大会の実施と、ボランティアアワーカーを育成するキャンプの実施
101	じゅうしんまつり実行委員会	中新井兵吾	神戸市兵庫区	障害者とその家族を対象に、バンド演奏等による元気づけを図るイベントの開催
102	有野台ボランティア	田辺 正則	神戸市北区	入居者が減少している仮設住宅間の交流を図る合同食事会の開催
103	寅さんを迎える会	中村 専一	神戸市長田区	「寅地蔵」完成までの記録集の作成
104	神戸定住外国人支援センター	神田 裕	神戸市長田区	アメリカ・カナダにおけるNPOによる、先進的な外国人支援活動の調査と研究報告書の作成
105	細田・神楽まちづくり協議会	野村 勝	神戸市長田区	地域の新しい住民を歓迎する祭りの開催
106	ゆいま〜る神戸	石井 明美	神戸市須磨区	仮設住宅や復興住宅の高齢者等を対象にクリスマス料理やおせち料理を届ける活動の実施
107	小東山ふれ愛給食サービスクラブ	大澤 靖志	神戸市垂水区	復興住宅や仮設住宅の住民と地域住民の交流を図る、もちつき大会と食事会の実施
108	グループ新多聞	奥 京子	神戸市垂水区	復興住宅の自治会づくりのきっかけとなる茶話会やもちつき大会の実施

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
109	リメンバー神戸プロジェクト神戸の壁保存実行委員会	三原 泰治	神戸市垂水区	「神戸の壁」保存活動記録集の作成
110	金楽寺在宅福祉支援グループコスモス	清水志津子	尼崎市	地域の公園等を利用した高齢者対象のデイサービスの実施
111	ボランティア情報サービスネットワーク	東中 綱利	西宮市	インターネット上での情報発信の代行によるボランティアグループの支援
112	木馬の会	岩波 真理	西宮市	被災した高齢の女性を対象にした手芸の講習会と、作品の展示・販売の実施
113	孫便り親頼り	宮西キヨ子	西宮市	復興住宅の住民と愛知県の高校生の絵手紙での交流
114	21世紀 あしや生涯学習	村尾 美恵	芦屋市	マリンバコンサートと21世紀の教育を考えるフォーラムの開催
115	あしやYO 倶楽部演劇グループ	小川 和雄	芦屋市	被災高齢者の震災体験をもとにした演劇の上演
116	なかよし読書クラブ	川中 美子	芦屋市	高齢者や子どもを対象にした出前コンサートの実施
117	ボランティアけやき	山本 令子	川西市	復興住宅の入居者を対象に、茶話会や学習講座を開催する
118	ココロン三木	井土 裕子	三木市	ミュージカル紙芝居や大道芸による、被災高齢者の入居する施設の訪問活動
119	高砂ネットワーク会議	西村 利也	高砂市	空き家募集の県営住宅に入居した被災者の交流を図る市内史跡巡りの実施
120	ひょうご淡路ネイチャーゲームの会	海老 一吉	洲本市	被災地域における子どもと高齢者の交流を図るネイチャーゲームの開催
121	神戸YWCA 救援センター支援会・東京	大久保生子	東京都	関東地域に住む被災者を対象にした支援活動の実施
122	コリアボランティア協会	康 秀峰	大阪府	全国の子どもたちと被災高齢者の文通を収めた文集の配布
123	大阪・田辺救援活動グループ	大久保 敏	大阪府	大阪に住む被災者を対象にした支援活動の実施
〔平成11年度〕				
1	さわやかコール	林 律子	神戸市東灘区	恒久住宅の高齢者に対する電話訪問・友愛訪問・講習会による心のケアを図る
2	神戸大学学生震災救援隊 共3団体	若槻 珠美	神戸市灘区	高齢者同居者住宅調査・研究及び調査結果の出版・広報を行う
3	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子	神戸市東灘区	被災者（アルコール依存症・障害者・失業者）に対してカウンセリング・食事・体操等により健康増進を図る
4	多文化共生センター・神戸 共3団体	吉富志津代	神戸市中央区	定住外国人の子どもたちの語学教室、保健教室、音楽教室等を開催し、子どもたちの元気回復を図る

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
5	東灘・地域助け合いネットワーク	武田 純子	神戸市東灘区	講座・バザー・情報交換等を通じて地域の高齢者の生きがいづくりを図る
6	神戸復興塾 共3団体	小森 星児	神戸市中央区	災害公営住宅入居者が抱える問題点を整理し、行政や自治会に提言し、子どもたちの元気回復を図る
7	ミュージックアトリエ「エコー」	安元 邦夫	神戸市東灘区	歌唱・合奏健康教室を通じてコミュニティづくりと高齢者の心身のケアを図る
8	葺合市場商店街連絡協議会 共3団体	大寺 英徳	神戸市中央区	住民主役の参加型イベントの開催により地域のコミュニティづくりに貢献する
9	パソコンネット「オクトパス」	米谷 仁志	神戸市東灘区	市民活動団体の情報処理支援及び高齢者・障害者を対象としたパソコン教室を開催する
10	ミューズ音響芸術学院地域活動部 共3団体	内田 豊	神戸市中央区	JR長田駅前広場において地域住民とともに企画したライブステージを運営する
11	あんしんし隊	石部 武	神戸市東灘区	六甲アイランドにおける車椅子で外出するための車いすマップを作成する
12	神戸アジアタウン推進協議会 共4団体	神田 裕	神戸市長田区	市場の空店舗をコミュニティ・スペースとし、ふれあい喫茶・ギャラリー等を運営する
13	アタフタ・クッキング	太美 京	神戸市東灘区	定期的な食事会を通じて独居高齢者の元気回復を図る
14	震災しみん情報室 共3団体	実吉 威	神戸市長田区	ボランティア名鑑の作成・インターネットによる情報提供・各種セミナーの開催を含む情報センターの運営を行う
15	神戸大学灘地域活動センター	相澤亮太郎	神戸市灘区	高齢者宅への訪問活動や茶話会を通じて支援ニーズを把握し、支援ネットワークの形成を図る
16	まち・コミュニケーション 共2団体	小野幸一郎	神戸市長田区	これからの「地域」と「福祉」をテーマにした講演会や意見交流会を開催する
17	寿ボランティアグループ	姫野 操子	神戸市灘区	痴呆症高齢者・障害者を抱える家族に対する支援と食事会を通じた交流を図る
18	ウォークラリー運営委員会 共3団体	二宮 英雄	神戸市長田区	新旧住民が参加した被災地内をコースとしたウォークラリーを開催し、コミュニティづくりを促進する
19	むつみの会	森 九州男	神戸市灘区	勉強会・交流会等を通じた元気回復と地域のコミュニティづくりを行う
20	茶話会ボランティアひまわり 共4団体	久保 和子	神戸市須磨区	茶話会・囲碁・料理・園芸等を通じた人の絆づくりとミニコミ誌による情報発信を行う
21	被災者クラブ	鶴田 守人	神戸市灘区	恒久住宅における復興対策の相談に応じていくとともに、懇親会による仲間づくりを行う
22	神戸西・助け合いネットワーク 共3団体	在里 俊一	神戸市須磨区	復興住宅の高齢者を対象にした各種の文化教室を開催し、健康づくり・コミュニティづくりを行う
23	キッズクラブ	沖口智恵子	神戸市灘区	水田を借りての稲作作業や自然散策・収穫祭を通じて子どもたちの元気回復を図る
24	神戸垂水おやこ劇場 共3団体	浦 千里	神戸市垂水区	人形劇・演劇会の開催を通じて被災地の子どもたちと大人の心を解放する

資料編 I

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
25	コレクティブハウジング事業推進応援団	石東 直子	神戸市灘区	淡路島へのバス旅行及び昼食交流会により親睦を図る
26	障害者自立センター共3団体	尾西 秀敏	神戸市西区	被災した障害者を対象とした大蔵海岸への海水浴イベントを通じて生きがい創造を図る
27	神戸市立渚中学校	佐藤 公彦	神戸市中央区	広報誌の発行、茶話会等を通じて復興住宅の高齢者と生徒との交流を図り、地域づくりに積極的に参加する
28	「元気アップ神戸」西区推進協議会 共3団体	穴田 勝進	神戸市西区	健康相談・バザー・アトラクションを含むコミュニティまつりにより、復興住宅入居者同士の交流を図る
29	兵庫県保険医協会尼崎支部	畠中 正昭	神戸市中央区	復興住宅で医療相談・健康体操・健康チェック等の健康教室を開催し、高齢者・障害者の健康増進を図る
30	外出支援センターかものはし 共4団体	牧野 史子	西宮市	高齢者・障害者が行動するための移送サービスボランティア活動を行う
31	神戸・市民交流会	中島 正義	神戸市中央区	市民交流会での議論をふまえた自治会づくりの支援と、各種イベントを通じた被災者のコミュニティづくりを行う
32	社団法人横浜ボランティア協会 共3団体	山本 郁夫	東京都	神戸と横浜を結んで被災者支援コンサート（オーケストラ）を開催する
33	多文化子どもボランティア「地球っ子」	大倉 和子	神戸市中央区	子どもたちとともに紙芝居を作成し、復興住宅や老人ホームで実演する
34	With Youあいち共2団体	西田又紀二	愛知県	県外被災者に対する生活相談・情報提供及び茶話会の開催等による支援活動を行う
35	ふるさと第4仮設同好会	大西 正人	神戸市中央区	イベントを通して仮設仲間の交流を深めるとともに独居住人の友愛訪問を行う
36	兵庫県介護福祉会	藤原 広巳	神戸市中央区	被災地の高齢者を対象とした電話による介護相談を実施する
37	被災地NGO協働センター	村井 雅清	神戸市中央区	被災者自らが行う広報誌の発行を通じて生きがい創造及び自立支援を行う
38	「元気アップ神戸」市民運動推進協議会	高村 勲	神戸市中央区	手作りのプランター（植木鉢）の制作を通して交流の輪を広げる
39	神戸市学童保育連絡会	池田 正子	神戸市中央区	学童を対象としたフェスティバルの開催により学童の元気回復、子育て情報の交換を図る
40	市民しごとづくり研究会	伯井 章治	神戸市兵庫区	コミュニティビジネスの研究を行い報告書の作成とシンポジウムの開催を行う
41	プロジェクト1-2	有光 るみ	神戸市兵庫区	芋掘り・ハイキング等の屋外での活動を通じて高齢者の健康づくりと地域交流を図る
42	手芸グループ チャコ	後藤 理能	神戸市北区	ステッチフラワーづくりを通じて被災者と地域の交流を図り、生きがいを創造する
43	エフエムわいわい友の会	全 美玉	神戸市長田区	ミニFM局における身体障害者と健常者をテーマとした番組を制作し、共生のまちづくりを目指す
44	神戸定住外国人支援センター	神田 裕	神戸市長田区	被災地における幼児教育の学習会の開催及び定住外国人に対する幼児教育の研究を行う

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
45	ひまわり会	佐藤 康人	神戸市長田区	非識字高齢者に対する読み書き学級の開催及び通信紙、文集の発行、講演会の開催等により総合的なコミュニティ形成活動を行う
46	鷹取東復興まちづくり協議会	小林伊三郎	神戸市長田区	講演会及び盆踊り等のイベントを通じて地域との交流を深める
47	みくら5・6・7わが街の会	竹内千恵子	神戸市長田区	地域の清掃活動や夏祭り等のイベントと通じてコミュニティづくりを図る
48	駒ヶ林婦人会	友光喜代子	神戸市長田区	ふれあい喫茶、講演会によって被災者の元気回復と交流を促進する
49	たんぼぼクラブ	吉田 節子	神戸市須磨区	幼児期の創造的な遊びによる子育て活動と母親の仲間づくりを行う
50	横尾4丁目自治会	八浦 正子	神戸市須磨区	地域の清掃活動、手芸、茶話会等を通じて交流を深める
51	神戸リカバリーサービスセンターさぼるて	宗利 勝之	神戸市須磨区	献立づくり等のリハビリテーションを通じてアルコール依存症者に生活技術を獲得させる
52	500人委員会板宿会	倉島 陽子	神戸市須磨区	公園等の放置された花壇に植栽を施すことにより心豊かな地域環境づくりを行う
53	神戸西・助け合いネットワーク	在里 俊一	神戸市須磨区	郵便局庁舎の一室を借りて茶話会・歌唱会等が開ける交流の場を提供する
54	リメンバー神戸プロジェクト神戸の壁保存実行委員会	三原 泰治	神戸市垂水区	「神戸の壁」保存活動記録集(第2集 完結編)の編集・作成を行う
55	視覚サービスブックトラック	梶山三佐代	神戸市垂水区	弱視の子どもたちのために拡大版の図書(絵本を含む)を作成し、弱視者対象施設に寄贈する
56	狩場台ふれあいまちづくり協議会	宮本 英夫	神戸市西区	狩場台の仮設住宅出身者を中心とした夏祭りの開催により元気回復を図る
57	西神中央自治連合会	吉田 徑一	神戸市西区	ボーリング大会・ソフトボール大会及び懇親会を通じて元気回復を図る
58	特定非営利活動法人シンフォニー	山崎 勲	尼崎市	情報交流誌を媒介とした被災者のネットワークづくりを行う
59	ボランティアグループ「園」	松井 泰子	尼崎市	お茶会・食事会・バス旅行を通じてコレクティブ住宅の交流を深める
60	ボランティアグループどんぐり	有田 義広	尼崎市	買出しのための移送サービス、日曜大工請負等の日常生活の支援と茶話会による交流活動を行う
61	ボランティア・きんもくせい	西川 浩民	明石市	ふれあい喫茶・気功体操等によって高齢者や障害者の元気回復とコミュニティづくりを促進する
62	関学学習指導会	森山 隆一	西宮市	被災児童を対象としたキャンプにより子どもたちの心のケアを図る
63	木馬の会	岩波 真理	西宮市	女性高齢者を対象とした手作りサークルを通じた生きがいづくりを目指す
64	グループふれーる	北野入真子	西宮市	各種レクリエーションと銭湯を組み合わせた活動によって出会いと交流の場を提供する

資料編 I

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
65	県営南芦屋浜高層住宅 陽光なかよし農園倶楽部	小林 守	芦屋市	野菜・ハーブの栽培を通じた元気回復と収穫物を利用した行事（月見・芋掘り等）を開催する
66	ボランティアグループ 「アイ」	福岡 進	芦屋市	電話でのリーディングサービスのための朗読講習会の開催及び外出介助ボランティアとの交流会を開催する
67	あしやYO 倶楽部演劇 グループ	小川 和雄	芦屋市	ふれあいの集い（演劇・コーラス等）を隣接の西宮市の被災者と合同で行い元気回復を図る
68	ボランティアグループ 「とまと」	富田 泰子	芦屋市	芦屋市における震災の記録冊子の出版と写真展の開催を行う
69	伊丹市地域活動栄養士会	福田 寛子	伊丹市	料理教室、健康講座、食生活巡回訪問により、被災者の健康アップとコミュニティづくりを図る
70	宝塚情報ボランティア ネットワーク	高原 宏子	宝塚市	宝塚市内避難所マップの追加・修正作業を行い、関係施設に配布する
71	木よう会	宮本真希子	宝塚市	被災者訪問、連絡チラシの発行、お茶会を通じて交流を深める
72	宝塚子どもフェスティ バル実行委員会	角田 宜子	宝塚市	紙芝居の普及講座を開催するとともに、紙芝居、駄菓子屋等をメインとしたイベントを開催する
73	津名ミニココロクラブ 未来予想図2100実行委員会	中倉 義博	津名郡津名町	震災体験、教訓等をタイムカプセルに収納して後世に伝える
74	鼓グループ	今津さだ子	津名郡淡路町	高齢者、独居者のための勉強会の開催及びレクリエーションイベントによる元気回復を図る
75	富島東町内会	宗和 信康	津名郡北淡町	地域の清掃活動、公園整備、夏祭りを通して活気と絆づくりを行う
76	町づくり委員会ふれあ い推進グループ	伊藤 勇次	津名郡一宮町	自分たちで栽培したケナフ（植物）を利用した料理教室やグランドゴルフを通じた仲間づくりを行う
77	震災から学ぶボランティア ネットの会 あじさい千葉	内野登久子	千葉県	茶話会その他のイベント等を通じて県外に住む被災者の交流の輪を広げる
78	関東在住県外被災者によ る兵庫県民会	納谷 吉樹	東京都	日帰り旅行や昼食会等を通じて関東在住被災者の懇親と交流を深める
79	神戸YWCA救援セン ター支援会・東京	大久保生子	東京都	情報誌の発行、交流会の開催、個別訪問等による県外に住む被災者の元気回復を図りネットワークづくりを行う
80	ソクラテスプロジェクト	遠藤三保子	神奈川県	県外に住む被災者を対象とした電話相談及び面接相談を行う
81	県外被災者滋賀の会	林 康文	滋賀県	交流会を通じて滋賀県内に住む被災者の交流と情報の共有化を図る
82	震災県外避難者京都集 いの会	宮道武之助	京都府	県外に住む被災者の住宅相談、交流会、茶話会等を通じた仲間づくりと生きがい創造を行う
83	コリアボランティア協会	庚 秀峰	大阪府	全国から送られてくる手紙を抜粋して文通文集を作成し、被災地の小中学生を通じて地域に配布するとともに被災地高齢者との文通を呼びかける
84	視覚障害者支援の会ク ローバー	大良てるみ	大阪府	視覚障害者に対する外出介助、代筆、交流会等を通じた自立支援を行う

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
85	被災者連絡協議会	米沢 浩二	大阪府	大阪府下の仮設住宅出身者を対象とした茶話会、バザー等を通じて仲間づくりを行う
86	桃山学院大学ボランティアグループ	深井 嘉臣	大阪府	団地新聞の発行、美化運動、散歩の付き添い及び自治会活動のサポート等により復興住宅のコミュニティづくりを促進する
87	UNN関西学生報道連盟震災取材班	斎藤 国弥	大阪府	震災で亡くなった大学生の手記の編集により震災の記憶の風化を防ぐ
88	おかやま阪神会	山本 全一	岡山県	茶話会、ハイキング等を通じた被災者同士のコミュニケーションづくりと地域との交流を図る
89	広島のじぎくの会	山田 一彦	広島県	親睦行事を通して県外に住む被災者の連帯感を深める
90	結～ふくおか～	手塚 信一	福岡県	講演会、情報誌の発行、バザー等を通じて県外に住む被災者の元気回復を図る
91	りんりん福岡	向田 俊博	福岡県	茶話会、アウトドア活動、文化活動等を通じて福岡に住む被災者の交流を深める
92	いきいきネット宅急便	高田 とし	神戸市東灘区	老人ホーム、養護施設への友愛訪問及び復興住宅でのほのぼの喫茶の開催
93	兵庫県健康生きがいづくり協議会	中村 安治	神戸市東灘区	地域組織等と連携した高齢者への訪問やカウンセリング活動及び訪問カウンセラーの情報交換連絡会の開催
94	六甲道駅北復興まつり実行委員会	小松 芳暢	神戸市灘区	区画整理区域内の被災者を対象としたまちづくりの情報交換やコミュニケーションをテーマとしたイベントの開催
95	県営大倉山高層住宅自治会	梶 明	神戸市中央区	復興住宅における高齢者の自立・助け合いをテーマとしたふれあい祭りの開催
96	五徳会	市岡 周子	神戸市中央区	復興住宅の住人と地域の人たちとの交流のためのイベントの開催
97	新長田南ストリートミュージック月間実行委員会	大久保勝則	神戸市中央区	新長田駅南地区「復興大バザール」における音楽イベントステージの企画、開催
98	多文化共生センター・神戸	吉富志津代	神戸市中央区	被災した外国人の子どもたちに対する母国語ができる家庭教師の派遣事業
99	グループ・たまねぎ	箕浦 隆	神戸市兵庫区	復興住宅の集会所を利用した茶話会の開催
100	神戸絵手紙友の会	矢野 愛子	神戸市北区	復興住宅における月例の絵手紙講習会及びしあわせの村における展示会の開催
101	震災モニュメント交流ウォーク事業	岸本 昌市	神戸市北区	被災者の交流のための震災モニュメントウォークの実施と記録資料の無料配布
102	市民版ひっこしプロジェクト事務局	堀内 正美	神戸市北区	仮設住宅、一次入居住宅、県外居住者の復興住宅へのひっこし支援
103	ひまわり交流会	中島 正義	神戸市北区	復興住宅、一般住宅に住まう被災者とボランティアとの討論会形式の交流会の開催
104	真野ふれあい住宅地域交流会	李 道善	神戸市長田区	復興住宅居住者と地域住民とのふれあい交流事業の開催

整理番号	グループ・団体名	代表者名	開催場所	プラン内容
105	ゴミを考える市民連絡会	上田 諭信	神戸市長田区	高齢者を中心とした生ゴミの堆肥化、花壇づくり、公園・街路への植栽による緑化をはかるまちづくり
106	長楽ふれあいサロン	前田千代子	神戸市長田区	被災高齢者、児童を対象とした交流事業の実施（モーニング喫茶、グランドゴルフ大会等）
107	アジア女性自立プロジェクト	いなだ多恵子	神戸市長田区	被災女性のためのアクセサリーの修理、加工講習会及びバザーの開催
108	すたあと長田	金田真須美	神戸市長田区	幅広い交流と世代格差解消のための各種教室（陶芸、手芸、料理等）の開催
109	神戸アジアタウン推進協議会	神田 裕	神戸市長田区	外国人のための生活相談窓口の開設及びニュースレター等による生活情報の提供
110	いきいきネットワーク29班おもいやりグループ	平野知加子	神戸市垂水区	保育所訪問、高齢者の花づくりの手伝い、高齢者友愛訪問（生活補助）の実施
111	西神ニュータウン糶台ふれあいのまちづくり協議会	林 平八郎	神戸市西区	仮設住宅から転居してきた高齢者と地域の高齢者の敬老会、月見会、餅つき大会の開催
112	阪神高齢者障害者支援ネットワーク	中辻 直行	神戸市西区	手芸、体操、ペン習字の集いと食事交流会の開催
113	小地域助け合いネットワークづくり研究会	三輪 嘉男	尼崎市	高齢者、障害者等の要支援者の把握及び福祉マップ、防災安全マップづくりによる地域助け合いネットワークの形成
114	ファミリー神戸	内田 喜恵	明石市	高齢者、障害者に対する入浴サービス、移送サービス、外出介助の実施
115	共にゆっくり歩もう会	安田 敏郎	明石市	被災障害者の共同作業所の作品を販売するアンテナショップの運営
116	西宮リンゴ並木後援会	南野 三郎	西宮市	公園等へのリンゴの植樹及びリンゴを通じたイベントの開催
117	高畑町高層住宅自治会	小野田康宏	西宮市	復興住宅における高齢者を対象とした交流会の開催
118	国際人形劇フェスティバル実行委員会	中嶋 宏子	西宮市	人形劇を媒介とした心のケアのための講座の開催
119	仮設調査プロジェクト	山本 有紀	西宮市	西宮市内の仮設住宅の写真による調査研究と資料展示会の開催
120	行動する環境グループ「葦の風」	山田美智子	芦屋市	震災に関する交流・反省・提案をテーマとした交流会議、フォーラム、講座の開催
121	ボランティアグループ「ハイ・はい」	河崎 輝子	川西市	復興住宅における高齢者のための喫茶サロンの運営
122	陶芸サークルひまわり	堂前千津子	津名郡	東浦町陶芸講座の開催と作品を利用した茶話会の実施

◆ フェニックス活動助成団体活動状況アンケート集計結果要約 ◆

(活動の継続)

活動を継続しているかについては、「継続している」が87.5%と全体の9割弱を占め、多くの団体が現在も活動を継続している。

また、活動をやめた団体の理由については、「初期の目的を達成した等継続して活動する必要性がなくなった」が62.5%、次いで、「資金繰りが苦しくなった」が37.5%、「事務所が確保できなくなった」が25.0%などの順となっている。

(活動分野)

現在、どの分野で活動をしているかについては、「まちづくり」と回答する団体が52.7%、次いで、「保健・医療・福祉」が47.3%、「文化・芸術・スポーツ」が25.5%、「社会教育」及び「子どもの健全育成」が23.6%、「ボランティア・NPO活動への助言・援助」が21.8%などとなっている。

以前の活動分野と現在とを比べると「変化がない」とする団体が8割弱(78.2%)を占め、多くの団体が助成時と同様の活動を継続している。

活動分野の増減については、減った分野として「保健・医療・福祉」、増えた分野として「社会教育」「環境」「災害援助」をあげている。

(活動内容)

現在の活動内容としては、「交流活動(各種交流会、バザー、ふれあい喫茶、異世代交流など)」が5割強(55.6%)となっており、次いで、「学習機会の提供(地域活動推進講座、パソコン教室、健康、栄養指導)」46.3%、「啓発活動(研究会の開催、自主勉強会)」33.3%、「キャンペーン活動(フォーラム、講演会、セミナー等の開催など)」などの順となっている。

なお、活動に関して184の回答があり、1団体あたり3~4の複数活動を行っていることがうかがえる。

以前の活動内容と現在とを比べると「変化がない」と回答した団体が約7割弱(69.1%)を占め、多くの団体が助成時の活動を継続している。

また、「活動内容に変化があった」とする団体のうち、「活動内容を拡大した」と回答した団体が約8割強(81.3%)にのぼる。一方で、「活動内容を縮小した」とする団体は約3割強(31.3%)あった。

(活動エリア)

活動エリアについては、「神戸エリア」50.9%、「阪神間エリア」40.0%、「淡路」エリア7.3%、「東播磨エリア」1.8%の順となっており、神戸エリア、阪神間エリアを活動の中心としている団体が多い。

「活動エリアに変化がない」とする団体が約9割弱を占め、多くの団体が助成時と同じエリアにおいて活動している。

また、「活動エリアを変更した」団体の理由としては、「県外被災者への支援の解消」などをあげている。

(スタッフ構成)

団体のスタッフ(構成人数)については、「10人~19人」とする団体29.1%、「2人~5人」とする団体

21.8%、「6人～9人」とする団体14.5%の順となっている。スタッフ数が30人未満の団体が全体の約7割強を占めている。

「男性が多い」と回答した団体が21.2%、「女性が多い」と回答した団体が78.8%と、約8割弱の団体で男性スタッフより女性スタッフのほうが多い。

年齢層については、「50代」、次いで「60代」、「40代」の順になっており、40代以上が全体の9割強を占めており、中高年齢者が活動の中心となっている。

スタッフ数については、「変化がない」と回答した団体が48.2%、「変化がある」と回答した団体が51.7%となっている。

スタッフ数に変化があると回答した団体のうち、「減った」と回答した団体が48.3%、「増えた」と回答した団体が51.7%となっている。

また、スタッフが減った理由としては、「人件費の問題」「高齢化」「家庭環境の変化」などをあげている。一方、増えた理由としては、「事業の拡大」「活動に賛同を得た」などとしている。

（事務所）

事務所の設置場所については、「自宅」が全体の約4割弱（38.9%）を占めており、次いで、「民間施設」25.9%、「公的施設」16.7%の順となっている。

事務所については、「専用」が37.5%、「共用」が62.5%となっており、「共用」が全体の6割強を占めている。

事務所経費については、「有償」が37.5%、「無償」が62.5%となっており、「無償」が全体の6割強を占めている。

事務所の場所については、「以前と同じである」とした団体が62.0%、「移転した」とした団体が38.0%になっている。

また、事務所移転の理由については、「経済的に維持が困難となったため」「事務機能を集約させるため」などとしている。

（来年度以降の活動継続）

来年度以降も「活動を継続する」と回答した団体が、98.2%とほとんどの団体が来年度以降も活動を継続する予定である。

高齢者・障害者等を対象とした活動に対する助成制度は多いが、一方で元気な高齢者自らの活動に対する助成制度などの支援策にも目を向けて欲しいといった声もある。

行政から望む支援については、「助成金などの資金援助」が100.0%と全ての団体が望んでいる。次いで、「活動場所の提供」42.9%、「マンパワーの支援」28.6%、「各種の情報提供」28.6%などの順となっている。

◆ フェニックス活動助成団体活動状況アンケート集計結果 ◆

- ◆ 調査月 平成14年9月
- ◆ 調査対象 255団体
- ◆ あて先不明 28団体
- ◆ 回答数 64団体

〈質問1〉 現在、活動を継続されていますか。 【有効回答数=64】

項 目	回 答 数	割 合 (%)
① いる	56	87.5%
② いない	8	12.5%

「② いない」の理由 (複数回答可) 【有効回答数=8】

項 目	回 答 数	割 合 (%)
ア 初期の目的を達成した等継続して活動する必要がなくなった。	5	62.5%
イ メインスタッフがやめたり、協力者が減った。	1	12.5%
ウ 資金繰りが苦しくなった。	3	37.5%
エ 事務所が確保できなくなった。	2	25.0%
オ その他 (できるだけ具体的に)	3	37.5%

「オ その他」の具体的記述

連合婦人会としてでなく、各単位婦人会ごとに活動を続けているため。
復興まちづくり事務所を閉鎖し、その後をまちづくり推進会が受け事務所を継続している。
仮設住宅が撤去されたので、お別れ会を最後に活動を中止した。

活動を継続しているかについては、「継続している」が全体の9割弱(87.5%)を占め、多くの団体が現在も活動を継続している。

また、活動をやめた団体の理由については、「初期の目的を達成した等継続して活動する必要がなくなった」が62.5%、次いで、「資金繰りが苦しくなった」が37.5%、「事務所が確保できなくなった」が25.0%などの順となっている。

〈質問2〉現在、どの分野で活動をされていますか。(複数回答可)

【有効回答数=55】

項 目	回 答 数	割 合 (%)
① 保健・医療・福祉	26	47.3%
② 社会教育	13	23.6%
③ まちづくり	29	52.7%
④ 文化・芸術・スポーツ	14	25.5%
⑤ 環境	7	12.7%
⑥ 災害救援	6	10.9%
⑦ 地域安全	3	5.5%
⑧ 人権擁護	5	9.1%
⑨ 国際協力	4	7.3%
⑩ 男女参画共同社会の形成	5	9.1%
⑪ 子どもの健全育成	13	23.6%
⑫ ボランティア・NPO活動への助言・援助	12	21.8%

現在、どの分野で活動をしているかについては、「まちづくり」と回答する団体が52.7%、次いで、「保健・医療・福祉」が47.3%、「文化・芸術・スポーツ」が25.5%、「社会教育」及び「子どもの健全育成」が23.6%、「ボランティア・NPO活動への助言・援助」が21.8%などの順となっている。

〈質問3〉以前の活動分野(平成11年度以前)と、現在(質問2の分野)で変化がありますか。

【有効回答数=55】

項 目	回 答 数	割 合 (%)
① ない	43	78.2%
② ある	12	21.8%

「② ある」の場合の理由

【有効回答数=9】

項 目	回 答 数	割 合 (%)	その分野
ア 活動分野が減った	3	33.3%	①
イ 活動分野が増えた	5	55.6%	②、⑤、⑥
ウ 活動分野が変わった	1	11.1%	③

「ア 活動分野が減った理由」の具体的記述

私達は仮設住宅を出た人及び老人を中心に活動していたが、亡くなった人が多く、活動を縮小した。

資金繰りが苦しくなった。

分野での変更はほとんどないが、活動のバランスは随分変化している。(力の入れ方は丁度逆になっている)

財政面とニーズの問題で、実施回数が減少。

「イ 活動分野が増えた理由」の具体的記述

ボランティアの技能をもっと活かし、高齢者支援の活動を充実した。

フェニックスの情報から、多くの情報が得られ、それを参考にしながら活動分野が広がった。

「ウ 活動分野が変わった理由」の具体的記述

まちおこしの一環で「スローフード・サロン」の運営に取り組むことになった。

仮設住宅支援から、ディサービス活動にシフトした。

活動分野については、「変化がない」とする団体が、約8割弱(78.2%)を占め、多くの団体が助成時と同様の活動を継続している。

活動分野の増減については、減った分野として「保健・医療・福祉」、増えた分野として「社会教育」「環境」「災害援助」といった分野をあげている。

〈質問4〉現在行っておられる地域活動の内容を教えてください。(複数回答可)

【有効回答数=54】

項 目	回 答 数	割合(%)
① キャンペーン活動 (フォーラム、講演会、セミナー等の開催など)	17	31.5%
② 文化・スポーツ活動 (コンサート、展覧・展示会、絵手紙、運動会、キャンプなど)	14	25.9%
③ 学習機会の提供 (地域活動推進講座、パソコン教室、健康、栄養指導など)	25	46.3%
④ 交流活動 (各種交流会、バザー、ふれあい喫茶、異世代交流など)	30	55.6%
⑤ 訪問活動 (友愛訪問、安否確認など)	14	25.9%
⑥ 情報の提供 (情報誌(ミニコミ誌等)の作成、活動記録の作成)	15	27.8%
⑦ 生活支援 (家事援助、食事サービス、外出介助、子育て支援、こころのケアなど)	14	25.9%
⑧ 資金援助 (基金活動、募金活動、寄付金調整)	1	1.9%
⑨ フィールド活動 (地域緑化、花いっぱい運動、まちの再発見、景観保全など)	10	18.5%

⑩ 啓発活動 (研究会の開催、自主勉強会など)	18	33.3%
⑪ コーディネート (ボランティア団体間の連絡調整、情報交換、中間支援など)	10	18.5%
⑫ その他	16	29.6%

(184)

「⑫ その他」の具体的記述

商店街活性化手伝い協力、企画等
海外支援(仕事づくり協力)
駒ヶ林地域のふれあいまつり(年1回)、駒ヶ林地域の希望の灯りの点灯(1月17日)
市場空き店舗の地域活動
河川の清掃活動及び川まつりの実施
視覚障害者の外出手引き、手引き講習会など
環境問題、自然観察会
リサイクル活動、ディサービス
神戸の壁のあった地(長田区若松町3丁目)で1.17追悼の集い継続への支援
神戸の壁保存活動の記録のまとめ
電話相談事業
災害復興住宅での健康教室、健康体操
復興住宅での自治会作り
被災高齢者の読み書き教室
移送サービス(車イス対応)
音楽療法を基本にした地域高齢者の心身のケア活動

現在の活動分野としては、「交流活動(各種交流会、バザー、ふれあい喫茶、異世代交流など)」が5割強(55.6%)となっており、次いで、「学習機会の提供(地域活動推進講座、パソコン教室、健康、栄養指導)」46.3%、「啓発活動(研究会の開催、自主勉強会)」33.3%、「キャンペーン活動(フォーラム、講演会、セミナー等の開催など)」などの順となっている。

なお、活動に関して184の回答があり、1団体あたり3~4の複数活動を行っていることがうかがえる。

〈質問5〉以前の活動（平成11年度以前）と、現在（質問4の活動内容）で変化がありますか。

【有効回答数=55】

項目	回答数	割合(%)
① ない	38	69.1%
② ある	17	30.9%

「② ある」回答の場合の選択（複数回答可）

【有効回答数=16】

項目	回答数	割合(%)	その分野
ア 活動内容を拡大した	13	81.3%	②…2 ⑦…1 ③…3 ⑨…2 ④…3 ⑩…1 ⑤…2 ⑪…1 ⑥…2 ⑫…3
イ 活動内容を縮小した	5	31.3%	①…1 ④…1 ⑤…2 ⑥…1 ⑦…1

※有効回答数16に対して、回答数の計が18となっている理由は、ある分野で活動を拡大し、ある分野では活動を縮小した団体が複数あるためである。

「その理由」の具体的記述

《拡大理由》

地域安全、公園に貯水槽があり、防災、消火等への心構えも学習に入れる
会員を通して団体の使命をより果たす為。会員サービス、レベルアップの場の提供
今残っている自然を守って行かなければならない
より地域に貢献するため
移送サービスの開始
ボランティアの数が少なくなった為

《縮小理由》

人間関係が仮設のように開けっ放しでない。どうしても鉄筋コンクリートの中に閉じこもり人との接し方も少ない。お互い人情が無くなっている
活動資金不足による

資料編 I

資金繰りが苦しくなった

神戸の壁保存活動はすべて永久保存、神戸の壁のあった地などで1.17震災記念行事のみ推進実施している

《拡大・縮小理由》

経験的活動が定着し要望により内容の拡大

要望が減少した活動の縮小

以前の地域活動と現在の地域活動については、「変化がない」と回答した団体が約7割弱（69.1%）を占め、多くの団体が助成時の活動を継続している。

また、「活動内容に変化があった」とする団体のうち、「活動内容を拡大した」と回答した団体が約8割強（81.3%）にのぼる。一方で、「活動内容を縮小した」とする団体も約3割強（31.3%）あった。

〈質問6〉現在、どのエリアで活動されていますか（複数回答可）

【有効回答数=55】

項目	回答数	割合(%)
①神戸エリア	28	50.9%
②阪神間エリア	22	40.0%
③東播エリア	1	1.8%
④淡路エリア	4	7.3%
⑤その他（具体的に）	13	23.6%

「⑤ その他」の具体記述

活動場所は神戸ですが、電話はそれ以外のところからも受ける。	西播磨エリア、北播磨エリア
主として郡家地区を中心に一宮町の方	丹波、但馬
兵庫県内全域	大阪・京都・阪神間
滋賀県下	災害援助などは全国ネットワーク
依頼者のニーズによる（場所は問わない）	

活動エリアについては、「神戸エリア」50.9%、「阪神間エリア」40.0%、「淡路」エリア7.3%、「東播磨エリア」1.8%の順となっており、神戸エリア、阪神間エリアを活動の中心としている団体が多い。

〈質問7〉以前の活動エリア（平成11年度以前）と、現在で変化がありますか。

【有効回答数=54】

項目	回答数	割合(%)
① ない	48	88.9%
② ある	6	11.1%

「② ある」場合の以前の活動エリアと変更理由の具体的記述

《活動エリア》

校区以外の人も参加
各区にまたがっている
西宮地区のまちづくりに着手

《変更理由》

お互いに信頼関係が薄れてきている。親しみもなくなってきている
口コミで友人をエリア外から誘ってくるため遠方の人参加
県外被災者への支援の解消に伴い、対外ボランティアとの交流を縮小
県の住宅供給公社の新しい発想のまちづくりに賛同したため
三木市は北播磨エリアへと変更されたため

「活動エリアに変化がない」とする団体が約9割弱を占め、多くの団体が助成時と同じエリアにおいて活動している。

また、「活動エリアを変更した」団体の理由としては、「県外被災者への支援の解消」などをあげている。

〈質問8〉

(1) 現在の、スタッフ（構成人数）は何人ですか。 【有効回答数=55】

項目	回答数	割合(%)
① 1人	0	0.0%
② 2～5人	12	21.8%
③ 6～9人	8	14.5%
④ 10～19人	16	29.1%
⑤ 20～29人	5	9.1%
⑥ 30人以上	6	10.9%
⑦ 50人以上	8	14.5%

団体のスタッフ（構成人数）については、「10人～19人」とする団体29.1%、「2人～5人」とする団体21.8%、「6人～9人」とする団体14.5%の順となっている。スタッフ数が30人未満の団体が全体の約7割強を占めている。

(2) 男性と女性のどちらが多いですか。

【有効回答数=52】

項目	回答数	割合(%)
① 男性	11	21.2%
② 女性	41	78.8%

(3) どの年齢層が一番多いですか。

【有効回答数=52】

項目	回答数	割合(%)
① 20代	2	3.8%
② 30代	2	3.8%
③ 40代	8	15.4%
④ 50代	22	42.3%
⑤ 60代	17	32.7%
⑥ 70歳以上	1	1.9%

年齢層については、「50代」、次いで「60代」、「40代」の順となっており、40代以上が全体の9割強を占めており、中高年齢者が活動の中心となっている。

〈質問9〉以前（平成11年度以前）と比べ、スタッフの数に変化がありますか。

【有効回答数=56】

項目	回答数	割合(%)
① ない	27	48.2%
② ある	29	51.8%

「② ある」と回答した場合の選択

【有効回答数=29】

項目	回答数	割合(%)
ア 減った	14	48.3%
イ 増えた	15	51.7%

スタッフが減った、または増えた理由の具体的記述

《減った理由》

住民移動（再開発による）があり町内の人でなくなったので参加しにくい。
人件費が払えない。
考えていた内容と違っていた。何年も続くと他の事がしたくなる。 家庭環境の変化（介護など）
介護保険で、ヘルパー事業所に登録されて仕事を変えた人等ボランティアをやめる人が多くなった。少しでもお金をもらえる仕事を選択。
高齢化
実行委員会を多数回開催できない。
活動に飽きてきた。

《増えた理由》

発足以来増減を繰り返し今に至っている。やめる理由としては、スタッフは2,3年が限界で生活環境の変化や興味の移行などでやめていく。
登録ヘルパーや職員の増
事業の拡大
地域で活動していることに賛同を得られた。
2年毎に相談員の養成をしていますが、辞める人もあるので少しだけ増えた。
イベント時にお手伝いに来て、スタッフになったため。
仕事が増えたため。
常時参加する人は減ったが、イベント等の参加スタッフは大幅に増えた。
パソコン教室の活動日数が固定化した。
各会場近くの方にも、協力を依頼するようにしているため。
活動の輪が広がり、入会員が増えた。新聞等で活動情報を知り、会員自主の参加が増えた。

スタッフ数については、「変化がない」と回答した団体が48.2%、「変化がある」と回答した団体が51.7%となっている。

スタッフ数に変化があると回答した団体のうち、「減った」と回答した団体が48.3%、「増えた」と回答した団体が51.7%となっている。

また、スタッフが減った理由としては、「人件費の問題」「高齢化」「家庭環境の変化」などをあげている。一方、増えた理由としては、「事業の拡大」「活動に賛同を得た」などとしている。

資料編 I

〈質問10〉

(1) 現在の事務所（事務の中心となる場所）の設置場所はどこですか。

【有効回答数=54】

項目	回答数	割合(%)
① 自宅	21	38.9%
② 民間施設	14	25.9%
③ 公的施設（具体的施設名）	9	16.7%
④ その他（具体的施設名）	10	18.5%

《公的施設の具体的記述》

神戸市総合福祉センター／神戸市立渚中学校／兵庫県福祉センター／ふれあい会館／郡家会館／狩場台
ふれあいのまちづくり協議会／御影市場内／サポートステーション永沢／市内福祉会館

《その他の施設の具体的記述》

構成団体の事務所／プレハブ／カトリック教会内／事務局が区役所内にある／賃貸／自前／民間賃貸ア
パート／事務所を借りている／神戸市の土地を借りて事務所は自前／他の持ち家

事務所の設置場所については、「自宅」が全体の約4割弱（38.9%）を占めており、次いで、「民間施設」25.9%、「公的施設」16.7%の順となっている。

(2) 専用の事務所ですか、それとも共用ですか。

【有効回答数=48】

項目	回答数	割合(%)
① 専用	18	37.5%
② 共用	30	62.5%

(3) 事務所の利用は有償ですか、それとも無償ですか。【有効回答数=48】

項目	回答数	割合(%)
① 有償	18	37.5%
② 無償	30	62.5%

(4) 以前と現在で事務所が違いますか。

【有効回答数=50】

項目	回答数	割合(%)
① 同じである	31	62.0%
② 移転した	19	38.0%

(5) 「②移転した」とお答えの場合、それはどのような理由でしょうか。

《具体的記述》

利便性
代表者の自宅から、ネット内のグループの施設へ移転したため。
事業の拡大のため。
芦屋市内から神戸東灘区へ転居。便利なので（駅から5分）。
事務所が狭くなった。
広い場所に移るため。
理解あるオーナーが無償で貸与して下さっていた活動拠点（100㎡）でしたが、不況により倒産。オーナーが交替し、立ち退きのやむなきに至り、2000年9月に移転。
公園内にあった仮設住宅が撤去されたため、移転した。
震災で移転した場所が手狭であったので、より広いところへ移転した。
2カ所あったのを1カ所に統合した。
事務機能を集約させるため。
寅さんの時は会長宅、現在は私の家で。
事務所が立ち退きになりました。
神戸市の施設が閉じたため。
仮設がなくなり、無償で利用できる所がなくなった。
担当者が変わったから。
代表者変更のため。
経済的に維持が困難だったため。

〈質問11〉 来年度（平成15年4月～）以降も活動を継続しますか。

【有効回答数=55】

項 目	回 答 数	割合(%)
① する	54	98.2%
② しない	1	1.8%

「② しない」回答の理由の具体的記述

子ども部屋と文庫が共有です。文庫をはじめたとき、子どもは3歳でしたがもう10年たち、そろそろ子ども部屋との共有は難しくなってきました。継続するかどうか、3月までに結論を出したいと考えています。

来年度以降も「活動を継続する」と回答した団体が、98.2%とほとんどの団体が来年度以降も活動を継続する予定である。

〈質問12〉 フェニックス活動助成は、どのように役立ちましたか。できるだけ具体的にお答えください。

《具体的記述》

バックボーンのない1人1人の寄り集まりで出来たグループには資金繰りは大変でした。助成いただいたお金が基礎を固め、より大きな活動へと広げる事が出来ました。
震災から2年が経過し、生活環境・人間関係の変化で閉じこもりがちになった被災者同士、そして被災者とボランティアとの絆を深める機会を創出した。また、音楽を鑑賞してもらう事により沈みきった被災者の心理を元気づける機会を創出した。
元気付けに役立った。南光町の子ども歌舞伎を呼べたので、1つの行事として皆の心に残りました。
仮設住宅での人間関係が良くなり、とくにお年寄りの生きていく力になりました。
明石海峡大橋開通直前イベントで、神戸、徳島はじめ、近畿圏内より参加者があり、淡路島の震災復興のPRと、若者の交流の場をもつことができました。青年団体が集まったの実行委員会だったので、運営費等に活用させていただき、大変助かりました。
助成金の使途について、大きな活動の制約がなかったので、研修などにも出席することができた。
活動の中心的財源として役立った。(拡大文字本制作材料費として)
友愛訪問、支援を行うための材料費、交通費等に使用させていただいた。
被災高齢者を対象に開催した丹波自然塾にて、里山の自然にふれながら宿泊プログラムをもった。他世代との交流懇談の場をなごやかに持つことができました。
仮設住宅において洋裁教室を開いた。
運営費としてすいぶん助かりました。
仮設住宅の方々との交流と会員のふれあいや話し合いの場となりました。
連協が支援しているNPOコスモスの活動が広がり充実した。
介護保険制度の浸透や地域の助け合いに役立った。
地域の自治会、婦人会、老人会に加え、小・中学生が参加しコミュニティ作りに役立った。みこしなど地域に古くからある伝統芸能を伝えることができた。

震災後に助成をいただいた祭りを実行する事ができ、区民を元気づける事が出来たこと。
ボランティア活動の継続と拡大
川まつりの資金の一部として使用した。
神戸、阪神地区でのネットワークづくりに役立った。
芦屋市内のシルバーエイジの方々に交流の機会を与えたと思います（毎月の講座集会、コンサート、能鑑賞会）。活動を機に独立した集会が生まれ、現在も続いている（例：やり直しの英語、おもしろ自然科学史講座、哲学講座など）。
地域高齢者の娯楽と意識啓発や、神戸市灘区と西宮市との交流に大変役立った。
1年間講師をお願いして、朗読の勉強会をすることが出来、メンバーの技術向上に役立った。また、交流会を開き、視覚障害者への理解を今まで以上に深めたり、互いに交流することが出来た。
震災の節目に写真展のイベントを開催しておりますが、助成金がいただけた年度は、写真も拡大展示でき、イベントも多く取り入れられるので参加者も多く、又、皆さんにも喜んでいただけたと思っております。
常勤職員を置くためにも助成は大変役立ちました。
事業経費の一部にあてることができた。
運営継続において急場をしのごことが出来ましたが、今後は予断を許さない状況です。
交流会開催のための会場費
被災者生活援助として「おしごとづくり」と生きがいづくりとして活動する事が出来て、現在趣味づくりで高齢者、地域の若い方との交流が持てるようになり、とても役に立った。
謝金援助のお陰で専門の先生をお呼びして講演会を地元で開催出来た。花壇の整備、手入れをし地元の人達に大変喜ばれているとともに町が美しくなった。今は、同じ様な活動する団体が増えた。
阪神・淡路大震災の被災者で特に仮設住宅の方々の生活再建とコミュニティづくり、健康づくり等の支援活動に大変役立ちました。
助成のおかげで資金の寄付活動をしなくてすんだ。地域にかたよることなく公平な活動ができた。また、多数の被災者（仮設住宅、復興住宅など）に対して、前に進む勇気と希望を持ってもらえた事が嬉しく、助成に心から感謝しています。
震災の証人「神戸の壁」保存活動を展開。その結果、震災のモニュメントとして4カ所に保存され、この活動を記録した記録集制作に当たっての費用の一部を助成していただき発行した。この貴重な記録集は関係機関、図書など100カ所に所蔵。
フェニックス活動助成のおかげで活動が飛躍的に伸びた。その助成でまず近隣のセンターを訪問・調査して、それまで活動は休日にしていなかったので、365日無休の可能性を検討し、平成13年1月1日より実施した。震災後のさまざまな悩みに耳を傾けつつ、最近では年間3万人を越す自殺者の防止のための全国的活動にも参加しています。
実施させていただいた“お茶会”は地域の方々にも喜んでいただき、助成は大変有り難いものでした。家賃補助制度により事務所維持の補助が出来た。地域活動推進講座助成により、多様なセミナーが開催できた。
健康教室の開催だけではなく、居住者の交流を深めるための文化行事（コンサートなど）を開催することができた。
人と人との交流、絆を大切にすることによって役立った。

支援者が増えた。
記録集が無料で発行でき、私の持ち出しがその分減ったので助かった。
フェニックス活動助成を受けて、活動資金として有効に利用させていただきました。
被災高齢者、障害者との交流が出来、住民同士の仲間づくり、生きがづくり等に役立ちました。
元気UPフェアの活動はおおいに役立った。現在は6回目を迎え、「ときめき祭」と名称も変更し地域行事の1つになっている。
多数の情報が得られるようになった。その情報が一般に開示出来るようになり地域住民が有効に活用している。
ボランティア活動のための講演、講習会、交通費など有効に活用した。
財源の大きな支えとなり、活動に潤いが与えられ、やる気を高められた。
現在のオクトパスの基盤に大変役立ちました。
助成金は30万円。施設費は別として、運営費のうち、講師謝金（8万円）、会場費（8万円）、交通費（12万円）、印刷費（7万円）等、計35万円は、その後も各年度の活動経費の基準となった。また、教材費（15万円）は、日頃購入の難しい書籍、CD等の充実を図ることが出来、その後は減額しながらも毎年購入して活動資源を蓄積する目安となっている。
プロジェクト1-2が実施する地域交流の場を創造する活動の中で各種手芸講習会の実施準備経費として主に利用させていただき、今現在、月10日前後の講習会が開かれておりプロジェクト1-2の主な活動の1つとなっています。
行事の参加費を無料にするなどして、1人でも多くの地域住民の参加を促すのに役立った。
イベントなので講師や音響の謝礼が必要。一部ではあるが大変有意義です。
グループの立ち上げ（グループ員募集）時の講座開催費用、避難所MAP作成（HP上）費用にと助成がなければ継続した活動はできなかった。 多くの金額を講師の先生にお払いして、講師先生の方で色々の準備をしていただいた。従って受講する際にわかりやすく「メリハリ」がある。孤独をきめこんでいるような人も、参加してくれるようになった。
役立ちました。活動を通して色々勉強させてもらいました。また、すばらしい思い出を作ることができました。
細くても長く活動するには、助成金あってこそ。継続するためには何よりも役立つものです。
イベントや講座等の開催が資金面で苦勞せずに出来たので、その後の活動の幅を広げる上で役立った。助成を受けて、実現できたイベント、講座等の経験が、その後の活動へとつながっており、助成がなくても、実現させるノウハウも身に付いてきたように思う。
活動する上で、必要経費は絶対条件です。しかし、財源不足の折り、大きな事業する時や、講師謝金等は、会員からの参加料だけではとても運営できません。フェニックス活動助成金で、1年間のスケジュールが安心して立てられ、講師との連絡も早くからつき、講座の運営がスムーズにいきました。

〈質問13〉財阪神・淡路大震災復興基金による各種助成制度は平成16年度をもって終了予定ですが、フェニックス活動助成制度を含め、平成17年度以降も助成が必要だと思われる分野や制度等があればお答えください。

〈具体的記述〉

被災者とは復興住宅に転居できる者又その資格のある者のみを示して言うのですか。住まいを何とか修理し、自力で頑張っている者は被災者とみなさない助成の方針には納得いきません。
地域の活性化のために、地域住民が主体的に行うイベントなどへの助成
「教育講演会」「まちのにぎわいづくり」のために助成金や震災記念助成等
今の制度はお年寄りがあまり利用できません。お年寄りでも元気な人は沢山います。人のお世話になるのではなく自分で何かをしたい人に、もう少し目を向けて下さると良いと思います。
青年等、自然体験学習に対する助成
私共の活動の場合、制作したものをバザー等で売ることもできませんし、制作費について利用者が負担していただくことも不可能です。(だからこそ私たちが必要とされています) だから私たちの活動全てにおいて助成は必要です。
復興住宅など、まだまだ友愛訪問など続けて活動しているグループへの助成が必要と思える。
何か私達にはあまり直接関係ないような気がする。
大きいグループは助成が受けやすいが、小さいグループに目を向け助成が受けられる制度を作ってほしい。
福祉、環境に取り組む地域の小さな団体が自立できるような支援が必要と思います。
NPO・ボランティア等への立ち上げ支援
活動助成金制度
まちづくりの分野に対する助成制度
障害者の自立生活に向けたマンパワーや社会福祉活動支援
講座講師への報酬(今のところ講師ボランティアによる)のほか、コンサート(年1回程度)の会場費、出演料など助成金を受けることにより、カルチャーセンターに比べ、低料金で参加でき、地域交流に貢献出来る。
高齢者のみの演劇グループは希少と思われるので、特に何等かの支援があれば有り難い。
介護保険以後、利用者側から見ると福祉の後退と思われることがいろいろあると聞いている。こういう時こそ障害者支援のボランティアグループを育てて欲しい。(ボランティア頼みの福祉の是非は別の議論として)
コミュニティの活性化のためには、応分の助成や支援は今後も必要と思います。
まちづくりのソフト面に対する助成
毎日の活動をずっと継続しているグループへの助成をしてほしいと思います。
独居高齢者、障害者の生活支援・ケア活動には、持ち出しが多く資金面での援助を仰がざるを得ない。また、カンパ面での税制優遇は当然の事ながら、制度的にも援助措置をお願いしたい。
一応落ち着いて毎日が送れるようになった今、自立もしなければいけないので助成は有り難いが、一部でなく全被災者が恩恵を受けられる制度を求めます。
今までと同じフェニックス活動助成制度、地域文化活動助成制度、地域ボランティア団体活動助成制度
事務所の維持運営費の助成、事務所の家賃及び借地代に対する助成、専門スタッフの育成費

資料編 1

復興住宅の一人暮らし、高齢者や高齢者世帯（ほとんどどちらかが病弱）子ども達（特に親が働いている中学生が気になる）を支援するための助成。
震災の教訓を伝えるための活動は永久的に継続するのが兵庫県民の責務である。これらを支援する組織、助成金等 震災を伝える展示品などの制作費とそれを保存などの費用を助成して欲しい。
私たちも、またどのボランティア団体でも、運営費に四苦八苦されていると思いますので、是非運営費助成目的のものがあればいいと考えます。
行政とNPOの協働もうたわれていることから、今後も市民活動への支援は必要だと思う。特に家賃補助は継続して欲しい。
友愛訪問時の交通費やお茶代
在日外国人の支援活動を支える助成制度が必要だと思います。
事務所の経営費等の助成はぜひしてほしい。
今後も活動を続けたいと思っています。学習者が数人になっても続けたいですので、助成制度は17年度以降も必要と思います。
移動、移送サービスの生活支援、リフレッシュ支援 地域（復興住宅内）の中での仲間づくり、趣味講座等の生きがいづくりをする事により予防につながる。
独居老人に対するケアをしている団体に継続助成をお願いしたい。被災した、しないに関係なく、これからも増えていくので。
子育て支援と環境活動
ボランティア活動にとって資金集めは大変頭の痛いところです。事務所借り上げ助成
地域高齢者のための福祉活動助成。従来は、団体、グループに対する活動助成であった。音楽療法をベースにした活動は最近盛んになっており、必ずしもグループではなく、個人活動を助成してもらえると有り難い。
地域のNPOの組織がまだまだ弱いので、立ち上げ、自立化の支援、情報提供などを行う中間組織への助成制度が必要では。
青少年に関する事業の助成がほとんどない。又、音響や楽器の借り上げ、運搬に多額の費用がかかるので助成して欲しい。
地域活動推進講座の継続、情報提供、ハートネット
いつまでも甘えてばかりいられないから基本的には自分たちで会費を出し合って運営していきたいところである。自己資金では、活動がより一層低調になるだろう。
わが淡路では大震災のための活動は不要になりました。「人づくり」活動のための助成があれば。
自由に使えるスペースと物品の保管スペースの必要から、現在、民間住宅を借り、事務所になっているが、資金の関係が難しい。活動場所の確保等の助成。 ボランティア活動に興味を持つ人は、大変多いが、きっかけや、入り口がつかめず、ためらっている人も多い。また、ボランティアの資質の向上へ向けた取り組み。
復興基金による助成金で会の運営が成り立っているグループがたくさんあると思います。不況の折り、なかなかスポンサーも見つかりにくく、グループの存続の為に、ぜひ助成の継続をお願い致します。

高齢者・障害者等を対象とした活動に対する助成制度は多いが、一方で元気な高齢者自らの活動に対する助成制度などの支援策にも目を向けて欲しいといった声もある。

《質問14》 今後の地域活動を行っていくに際して、行政からどのような支援があればよいと思いますか。(複数回答可) 【有効回答数=56】

項目	回答数	割合(%)
① 助成金などの資金援助	56	100.0%
② マンパワーの支援	16	28.6%
③ 活動場所の提供	24	42.9%
④ 各種情報の提供	16	28.6%
⑤ 機材の貸与	11	19.6%
⑥ その他(具体的に)	15	26.8%

《各種情報提供の具体的記述》

制度、政策立案の参画と協働に向けての情報提供
フェニックス広報ニュースや掲示板への市内の活動紹介
協働してでき業務を公募する。
事業に対して詳しい制度の情報が欲しい。
現状のFAX通信で充分である。
独居老人に対して行っているケアや行事、ボランティアなどの情報(バラバラなのでどこかが一括して把握し、サービスするようにすればいき渡るのは?)
人材、物資、委託事業
先進地の活動事例など
お互いの交流を深める、又、内容を深めるためのものが欲しいです。

《機材の貸与の具体的記述》

パソコン(5件)
コピー機・印刷機(5件)
FAX(1件)
OHP(1件)
プロジェクター(1件)
音響装置(1件)
映写機、フィルム(1件)

《その他の具体的記述》

平和な町づくりに向けた住民自ら治安・交流活動にも行政の支援をお願いします。
広報に協力してもらいたい。
震災で一番弱っている人達にもっと支援活動（助成金など資金援助）が必要。
集会に参加する人は、高齢者が多いので、地域の中での活動場所が必要になってきます（歩いて10分以内に活動場所がほしい）。
4年間のフェニックス活動助成の効果は大きかったと思います。今でも芦屋市内で「あの時はお世話になりました、楽しかった」と勇気をもらったことを感謝して下さる方に出会います。私たちスタッフも有益な人生の時間をいただいたことを心から感謝しています。
当グループの最大の悩みは事務所の維持費。各種助成金なども1回限りのイベントとか機器購入に関するものがほとんど。日々の活動に消えていく運営費の援助又は活動場所の提供を切実に求めている。
活動の打ち合わせ、準備等が出来る事務所（室）があれば大変助かるのですが。
震災を伝承するため支援と助成金制度を続けて欲しい。 震災記念行事への助成金制度の確立（市民、町民、個人レベルのものも含む）。
活動を続けている間、安定した資金助成があれば、相談員の負担が少しでも軽減されると思います。また活動の本来の目的である「24時間眠らない電話」を目指していますが、その場合「場所」も深夜から朝まで活動可能なところが必要となってきます。また、広報支援として県や市の広報紙やホームページ、メールニュースなど気軽に使えるよう情報を頂きたい。
お年寄りの楽しめるゲーム機
移動サービスは車両に経費がかかり、運営は大変である。高齢化社会の中でとじこもりが原因となり痴呆症や社会参加の減少により足腰の悪い人が多く需要は多くなり、市民団体の移送は必要になる。（ドア・ツードア）
福祉車両の駐車場・移送サービス中のステッカー
よく話をして協力していただいている。活動（行事、イベント）をしているときには、見に来てくれて、アドバイスしてくれている。こういう関係は大切にしたいと思う。
劇場やホール等の会場使用料が高いので、誰でもいつでも使用できる小ホール等の市民劇場の提供をお願いしたい。

行政から望む支援については、「助成金などの資金援助」が100.0%と全ての団体が望んでいる。次いで、「活動場所の提供」42.9%、「マンパワーの支援」と「各種の情報提供」がいずれも28.6%となっている。

◆ 生活復興NPO情報プラザ登録団体（公開：249団体）一覧 ◆

(H14.3.31)

No.	団体名	代表者名	郵便番号	住所	電話番号
1	フェニックス・サポート月ヶ丘	高口 和子	651-2217	神戸市西区月ヶ丘4-1-3-116	078-995-1998
2	音咲の会	道原 栄美	661-0012	尼崎市南塚口町1-2-8-501	06-6426-3035
3	特定非営利活動法人 福祉ネット星が丘	三木 熊雄	655-0032	神戸市垂水区星が丘3-2-23 星が丘ホーム	078-708-3233
4	すたあと長田	金田真須美	653-0003	神戸市長田区五番町7丁目5-5	078-521-7170
5	ウィメンズネット・こうべ	正井 礼子	654-0055	神戸市須磨区須磨浦通5-5-3 2F	078-731-0324
6	神戸東おやこ劇場	藤井ゆかり	658-0084	神戸市東灘区甲南町3-5-15-203甲南ヤングマンション	078-441-0836
7	ゆいまーる神戸	石井 明美	654-0103	神戸市須磨区白川台3丁目64-2原田ビル4階	078-792-5728
8	特定非営利活動法人シンフォニー	山崎 勲	660-0826	尼崎市北城内88-4-2-106	06-6483-2328
9	特定非営利活動法人 かものはし	岡本 順子	662-0947	西宮市宮前町7-21-101	0798-26-2855
10	ボランティアグループ「ナスカ」	松浦 光博	674-0084	明石市魚住町西岡1887	078-944-2018
11	ひまわりの夢企画	荒井 勲	654-0055	神戸市須磨区須磨浦通4-4-6-401	078-739-3487
12	神戸西・助け合いネットワーク(南部事務所)	在里 俊一	654-0036	神戸市須磨区南町1-3-15 NTT須磨別館4F	078-737-0596
13	被災地NGO協働センター	村井 雅清	652-0801	神戸市兵庫区中道通2-1-10	078-574-0701
14	阪神高齢者障害者支援ネットワーク	中辻 直行	651-2275	神戸市西区榎野台3-5-19	078-991-3922
15	特定非営利活動法人 コミュニティサポートセンター神戸	中村 順子	658-0053	神戸市東灘区住吉宮町2丁目19-21	078-841-0310
16	街づくり支援協会	中西 光子	550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀1丁目24-12 タット江戸堀ビル10階 (株)インテクト内	06-6443-3808
17	週末ボランティア	東條 健司	654-0142	神戸市須磨区友が丘7-154	078-753-2718
18	特定非営利活動法人 東灘地域助け合いネットワーク	安井 久子	658-0046	神戸市東灘区御影本町6-15-17 御影旨水館	078-843-4029
19	仲良会	篠田 基男	650-0046	神戸市中央区港島中町3丁目1 52棟916号	078-302-1760
20	特定非営利活動法人 市民活動センター神戸	中田 豊一	651-0022	神戸市中央区元町通6-7-9 秋毎ビル3F	078-285-3511
21	アジアアフリカ環境協力センター(アセック)	瓜谷 幸孝	650-0023	神戸市中央区栄町通3-1-7 栄町ビル2階	078-392-3986
22	特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク	田中 稔昭	663-8114	西宮市上甲子園5丁目1-1	0798-36-9900
23	J・C・Mボランティアチーム「ノーサイド」	山取 恒夫	651-0093	神戸市中央区二宮町3丁目5-5	078-231-2133
24	在宅福祉サービス団体わくわく神戸	神代 尚芳	650-0015	神戸市中央区多聞通1丁目1-4-3F	078-382-0385
25	かみひこうき	矢萩 千治	569-0072	大阪府高槻市京口町5-5成本文化	0726-71-3052
26	岩屋公園救援ボランティア	尾崎 亮一	657-0855	神戸市灘区摩耶海岸通2-3-3-308	
27	学園都市ボランティア	蒔田 茂雄	654-0154	神戸市須磨区中落合1-2-252-411	090- 1599-7941
28	視覚障害者支援の会クローバー	大良てるみ	550-0001	大阪府大阪市西区土佐堀1-4-1 前田ビル4階	06-6447-6886
29	Vo(ボランティア)信愛	菅野 喜一	653-0042	神戸市長田区二葉町7-2-6	078-643-4324
30	阪神大震災子どもを助ける会	袖岡 秀一	613-0905	京都府京都市伏見区淀下津254	075-632-3211
31	心のおしゃれ	須貝 智子	650-0013	神戸市中央区花隈町5-21-228	078-351-5035
32	神戸・市民交流会	中島 正義	651-0071	神戸市中央区筒井町3丁目7-11	078-231-1666

No.	団体名	代表者名	郵便番号	住所	電話番号
33	コリアボランティア協会	康 秀峰	544-0033	大阪市生野区勝山北3-8-31	06-6717-7301
34	西宮くぐつ座	山形 隆子	662-0834	西宮市南昭和町6-31ウィライブ101	0798-65-9085
35	お米の勉強会	村山日南子	663-8187	西宮市花園町11-2	0798-48-0365
36	芦屋市民街づくり連絡会	藤原 千秋	659-0072	芦屋市川西町10-16	0798-22-2214
37		池町富美代	651-2311	神戸市西区神出町東1159-10	078-965-0129
38	NGO神戸外国人救援ネット	飛田 雄一	650-0004	神戸市中央区中山手通1-28-7 カトリック社会活動神戸センター内	078-241-6445
39	兵庫県被災者連絡会	河村宗治郎	652-0834	神戸市兵庫区本町1-2 本町公園避難所内	078-651-0259
40	被災市民の会「そして神戸」	上野 泰昭	651-0052	神戸市中央区中島通4丁目1-20	078-392-5017
41	小さな友の会	阪井 健二	596-0073	岸和田市岸城町11-30	0724-22-0686
42	ふれあい母と子の会	北川 和子	657-0067	神戸市灘区篠原本町3-2-3	078-861-6031
43	阪神・淡路震災復興支援10年委員会	安藤 忠雄	650-0011	神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8F	078-321-2131
44	特定非営利活動法人 被災地障害者センター	福永 年久	653-0811	神戸市長田区大塚町6丁目1-1池内ビル1F	078-642-0142
45	特定非営利活動法人 神戸ライフ・ケア協会	今井 鎮雄	658-0054	神戸市東灘区御影中町2丁目3-23-107	078-854-1346
46	多文化共生センター・ひょうご	野間 恵	658-0022	神戸市東灘区深江南町4-12-20-201	078-453-7440
47	神戸大学総合ボランティアセンター	魚川 大輔	657-8501	神戸市灘区鶴甲1丁目2番地1号 神戸大学学務部学務課気付 学生会館409号室	078-802-0643
48	まち・コミュニケーション	宮定 章	653-0014	神戸市長田区御蔵通5-92-2 みくら5-101	078-578-1100
49	被災障害者支援 ゆめ・風基金	牧口 一二	533-0033	大阪府大阪市東淀川区東中島1-21-2 -1107	06-6324-7702
50	あたふたクッキング	佐野 末夫	658-0013	神戸市東灘区御影本町6丁目15-10	078-822-1732
51	神戸生命倫理研究会	額田 勲	651-2133	神戸市西区枝吉1-16 みどり病院内	078-928-1700
52	人生80年時代を模索する会	二見 治子	662-0943	西宮市建石町6-28	0798-35-7715
53	被災地クラブ	鶴田 守人	657-0021	神戸市灘区桜ヶ丘町15-65 グランドパレス高羽2号棟1020	078-841-9595
54	民法と戸籍を考える女たちの連絡会	ながきのりこ	651-2113	神戸市西区伊川谷町有瀬1567-13-7-406	078-975-4143
55	神戸復興塾	小森 星児	650-0076	神戸市中央区吾妻通4丁目1番6号 コミスタ神戸北棟3F	078-230-8511
56	特定非営利活動法人 ブレンヒューマニティー	能島 裕介	662-0832	西宮市甲風園1丁目3-12 カミヤビル3階	0798-63-4441
57	特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター	神田 裕	653-0052	神戸市長田区海運町3-3-8	078-731-8300
58	財団法人 神戸学生青年センター	辻 建	657-0064	神戸市灘区山田町3丁目1-1	078-851-2760
59	大阪YWCA 榎大阪キリスト教女子青年会	榎居 伸子	530-0026	大阪市北区神山町11番12号	06-6361-0838
60	神戸を楽しくする会	竹内 一矩	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通3丁目2番14-303号	078-272-0117
61	絵手紙インターネット	宮西紀代子	663-8241	西宮市津門大塚町4-15-303	0798-34-3505
62	東方文化芸術団	田 偉	650-0003	神戸市中央区山本通2丁目12-3-301	078-242-5132
63	高齢福祉市民ネット・川西	滝 純子	666-0157	川西市緑が丘1-14-7 ひだまり内	0727-94-4599
64	神戸ごみ問題連絡協議会	香嶋 正忠	654-0103	神戸市須磨区白川台1-31-9	078-792-3688
65	全国要約筆記問題研究会近畿ブロック	平井 康子	673-0855	明石市中朝霧丘10-8	078-912-1848

No.	団体名	代表者名	郵便番号	住所	電話番号
66	エビスボランティアクラブ	吉保 初子	650-8691	神戸市中央郵便局区内私書箱1019	
67	ユニバールボランティア	美野喜美穂	650-0021	神戸市中央区熊内町5丁目8-19	078-221-5901
68	吟道青少年健全育成協議会	藤原 摂楠	674-0051	明石市大久保町大窪1502-4	078-935-1515
69	太子町心肺蘇生法を広める会	森田 哲夫	671-1511	揖保郡太子町太田1756	0792-76-2560
70	吟道摂楠流総本部社会活動部	森田 哲夫	671-1511	揖保郡太子町太田1756	0792-76-2560
71	加西市青年連絡会えんどれす	松尾 弥生	675-2421	加西市北条町横尾1000番	0790-42-8772
72	兵庫県手話サークル連絡会	萩原 数一	650-0025	神戸市中央区相生町2-2-8新神戸ビル東館4F43 (神)兵庫県聴覚障害者協会内	078-371-5613
73	兵庫県要約筆記サークル連絡協議会	田中加代子	669-1545	三田市狭間が丘3-20-11	0795-64-2018
74		松村 芳子	651-2102	神戸市西区学園東町7丁目13-5	078-795-0059
75	ふれあい祭りプロジェクト	河上 優香	650-0011	神戸市中央区下山手通9丁目4-8毎日市場内	078-367-8834
76	レスパイト倶楽部 舞夢	宮代由紀夫	651-2113	神戸市西区伊川谷町有瀬1150-2-305	078-975-2494
77	神戸嫩土会	平山 彰子	651-1121	神戸市北区星和台3丁目5-9	078-592-7278
78	WAVE117編集委員会	渡邊 仁	650-0046	神戸市中央区港島中町3-1-2 東急ポートアベニュー (神)渡辺エリトリアル内	078-303-0424
79	震災・まちのアーカイブ	季村 範江	655-0007	神戸市垂水区多聞台3-11-5	078-781-8891
80	ふるさと創生塾「ザ・まつり」	門田 則秋	651-0078	神戸市中央区八雲通5丁目2-3	078-231-6517
81	共働作業所トゥモロー編集室	吉良 和人	653-0841	神戸市長田区松野通2丁目2-2	078-621-1772
82	グループ寺子屋	吉川 義男	652-0816	神戸市兵庫区永沢町2-1-20 401号(藤原様方)	
83	神戸一一七協議会	坂本 文治	654-0154	神戸市須磨区中落合1丁目251-1102	078-791-1466
84	兵庫県震災復興研究センター	菊本 義治 西川 榮一	650-0027	神戸市中央区中町通3-1-16 サンビル201	078-371-4593
85	兵庫県在日外国人教育研究協議会	安保 則夫	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 ひょうご国際プラザ活動支援室	078-230-3090
86	神戸文化友の会	田辺 真人	652-0816	神戸市兵庫区永沢町4-4-14 神文書院内	078-578-1601
87	神戸歴史クラブ	田辺 真人	654-0021	神戸市須磨区平田町1丁目1-16 ハゲ代信行様方	078-241-3515
88	いっしん神戸	藤原 和男	658-0015	神戸市東灘区本山南町5-4-25-102	078-413-5382
89	インター・コミュニティ・ネットワーク	作山 喜秋	533-0022	大阪府大阪市東淀川区菅原6-11-9 地域情報化カンパニーSAKU塾内	06-6379-7066
90	特定非営利活動法人 地球ボランティア協会(GVS)	稲畑 汀子	659-0093	芦屋市船戸町3-25-502	0797-34-0078
91	D&Dヒューマンネットワーククラブ	山口 雅子	659-0083	芦屋市西山町21-2	0797-31-8379
92	甲子園通信	山田三重子	663-8165	西宮市甲子園浦風町16-7	0798-45-1612
93		楠普 久美	653-0041	神戸市長田区久保町3丁目2-5	078-611-8014
94	神戸東部白地まちづくり支援ネットワーク		651-0085	神戸市中央区八幡通4-1-18F&Cビル4F (株)ジーユー計画研究所	078-251-3593
95	神戸催眠協会	杉 伸二	650-0046	神戸市中央区港島中町3-2-1 63-102	078-302-6205
96	兵庫県原爆被害者団体協議会	園 辰之助	654-0018	神戸市須磨区東須磨火ノ谷1-80	078-732-8028
97	ボランティアひまわり	光岡 丈一	654-0151	神戸市須磨区北落合3-38-217-303	078-797-0828
98		吉田有公子	654-0131	神戸市須磨区横尾4丁目1-14-305	078-742-0994

資料編 1

No.	団体名	代表者名	郵便番号	住 所	電話番号
99	兵庫女性会議	森木 和美	657-0064	神戸市灘区山田町3-1-1神戸学生青年センター内	06-6428-1955
100	阪神淡路大震災被災者生活再建協議会	中村 司	651-0086	神戸市中央区磯上通5-1-13 磯上公園アパート909	090-1950-4878
101	兵庫手話通訳問題研究会	村井 義忠	650-0025	神戸市中央区相生町2丁目2-8 新神戸ビル東館4階43号	078-371-5613
102	神戸マイクロ・クレジット研究会	寺川 政司	560-0003	大阪府豊中市東豊中町4-12-9	06-6846-3925
103	特定非営利活動法人 神戸リカバリーサービスセンターさぼるて	山本 訓世	654-0034	神戸市須磨区戸政町2-2-25-101	078-736-0807
104	全教神戸市教職員組合	竹中 登	650-0011	神戸市中央区下山手通4-13-9 中尾ビル3階	078-391-7508
105	神戸字幕研究会「へのへのもへ字」	中興信多加	652-0047	神戸市兵庫区下沢通1丁目5-11-605(湊川パークサイド)	078-576-8410
106	関西下宿屋バンク	前田ふさ江	674-0061	明石市大久保町森田129-8	078-936-9233
107	市民オンブズマン兵庫	森池 豊武	650-0025	神戸市中央区相生町2-2-14 新神戸ビル西館502号	078-361-3618
108	住宅復興市民委員会	岸本 幸臣	652-0834	神戸市兵庫区本町1-1-18	078-651-0259
109	特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジェルズ神戸支部設立準備会	澤田 義浩	665-0812	宝塚市口谷東3丁目44-4	0797-89-6446
110	空港のない神戸のまちをつくる会	松倉ミユキ	651-1615	神戸市北区淡河町萩原12-1	078-959-0581
111	兵庫県人権擁護行動委員会	木戸口久雄	650-0025	神戸市中央区相生町5丁目10-21 フレール神戸相生 1棟911号	090-6972-8874
112	関西帰国生親の会「かけはし」	松本 順子	658-0016	神戸市東灘区本山中町3-4-8-101 片岡晶子様方	078-453-7404
113	筒井ボランティア そよ風	桑田 宗城	651-0071	神戸市中央区筒井町1丁目1番3-308	078-251-2019
114	関西学生報道連盟	渡部 圭介	532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島3-21-9 駅前ビル502	06-6307-1315
115	かちかち山	湯浅 秀子	651-1302	神戸市北区藤原台中町6丁目20-4	078-982-9335
116	Grace Human Life Society	山本 麻古	659-0000	芦屋市陽光町5-5-1203	0797-32-9988
117	真野ふれあい住宅	李 道善	653-0024	神戸市長田区浜添通3-1-5 真野ふれあい住宅307	078-651-6535
118	つどいホワイトボード	谷口 衣江	651-1123	神戸市北区ひよどり台2-11-7	078-743-2920
119	スマイル神戸スマイル基金	松本 登	650-0021	神戸市中央区三宮町1丁目9-1 センタープラザB1ジャックダニエル内	078-332-5666
120	グローバル・スクール・プロジェクト	幸田有美子	803-0274	福岡県北九州市小倉南区長尾4-32-20-604	093-452-1107
121	多文化子供ボランティア「地球っ子」	大倉 和子	650-0004	神戸市中央区中山手通2-24-4-202	078-242-8455
122	兵庫県栄養士養成施設ボランティアネットワーク(V-Net)	中西 裕恵	654-0152	神戸市須磨区東落合2-17-1-915	090-4281-4845
123	神戸S.G.G.クラブ	玉利 虹	651-1212	神戸市北区筑紫が丘5-2-11	078-583-5003
124	神戸・明るいシニアライフ協議会	野口、國恵	650-0012	神戸市中央区北長狭通5-4-19 メゾンエクレール202エース内	078-362-2378
125	出合いの広場 サラ・シャンティ	清水 正博	657-0051	神戸市灘区八幡町3-6-19 クレアル六甲5B	078-802-5120
126	パソコンネット オクトパス	米谷 仁志	658-0084	神戸市東灘区甲南町3-7-13 甲南NPOワークセンター2F	078-436-7761
127	あそび探検隊	佐藤貴美子	654-0131	神戸市須磨区横尾9丁目3-40	078-741-5041
128	ピュア セレクト神戸	牛王田秀二	652-0047	神戸市兵庫区下沢通8-2-5 メゾン下沢202	078-512-5338
129	神戸アイルライト協会	森 一成	651-0056	神戸市中央区熊内町4-11-5	078-252-1912
130	ユーカリの会	前田 雄三	658-0003	神戸市東灘区本山北町4-4-7	078-411-8419
131	大きな森の小さな家コーポレーション	柏原 謙二	651-0071	神戸市中央区筒井町3丁目18-10 一軒家カフェ内	078-251-1896

No.	団体名	代表者名	郵便番号	住所	電話番号
132	夙川の環境を良くする会	二見 治子	662-0943	西宮市建石町6-28	0798-35-7715
133		伊澤のり子	657-0823	神戸市灘区天城通7丁目1-18	078-861-6559
134	市民社会研究所	今田 忠	550-0021	大阪市西区川口3-4-26-507	06-6586-3055
135	特定非営利活動法人 パラレルサポート	寺澤 美香	653-0845	神戸市長田区戸崎通2丁目7-1 1F	078-642-2494
136	託老所はるかぜ	林 豊子	663-8002	西宮市一里山町2-2 有料老人ホーム 甲東苑内	0798-52-2636
137	グランドパレス高羽再建準備組合	平賀 久生	650-0012	神戸市中央区中山手通2-10-18 佐々木ビル 遊空間工房内	078-261-0339
138	食カレッジあかし	石上 幸子	673-0862	明石市松ヶ丘4-3-7-103	078-911-7358
139	緑花コミュニティ四季	富永 邦夫	652-0032	神戸市兵庫区荒田町1-15-7	078-511-1500
140	シニアしごと創造塾・研究会	日垣 宗也	650-0046	神戸市中央区港島中町3-1-2 ビレジ1-431 日高誠二様方	078-302-2098
141	ツール・ド・コミュニケーション	日比野純一	653-0052	神戸市長田区海運町3-3-8 たかとり救援基地内	078-739-5650
142	神戸ヒヨコ登山会	梶 明	650-0011	神戸市中央区下山手通7丁目18-1-214	078-361-5635
143	ブラーナ(動物自然保護団体)	岡居 璃観	650-0046	神戸市中央区港島中町2-1-3 神戸港島中町郵便局留	078-302-5255
144	給食ボランティアグループたかとり	山瀬久仁子	654-0131	神戸市須磨区横尾7丁目1-1-87-204	078-741-2405
145	神戸垂水おやこ劇場	犬伏 美幸	655-0023	神戸市垂水区清水通5-21	078-706-1810
146	神戸西助け合いネットワーク	在里 俊一	654-0155	神戸市須磨区西落合2-1-6	078-795-3786
147	歴史資料ネットワーク	奥村 弘	657-0013	神戸市灘区六甲台1-1 神戸大学 文学部内	078-803-5565
148	はたっこ太鼓	仲 美佐栄	651-1354	神戸市北区八多町上小名田1243	078-951-0555
149	特定非営利活動法人ライフライブ	磯貝 武	658-0051	神戸市東灘区住吉本町1-23-5-305	078-845-9366
150	特定非営利活動法人 ひょうごWAC	中辻 直行	652-0803	神戸市兵庫区大開通7丁目6-2 朝日プラザ兵庫大開通805号	078-574-1730
151	さくら会	合田 利彦	651-2243	神戸市西区井吹台西町1-7-3-602	090-3862-8580
152	ミナト神戸を守る会	東條 健司	654-0142	神戸市須磨区友が丘7-154	078-795-6499
153	語り部グループ117	長谷川忠一	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通3-1-17-807	078-242-8805
154	被災者生活復興調査の会	上原 孝仁	652-0032	神戸市兵庫区荒田町4-29-22-1201	078-803-2072
155	兵庫リベラル福祉オンブズマン	山崎 信行	650-0093	神戸市中央区二宮町1-14-20-402	078-251-1602
156	財団法人PHD協会	今井 鎮雄	650-0022	神戸市中央区元町通5-4-3 元町アーバンライフ203	078-351-4892
157	特定非営利活動法人 西すず安心センター	秦 敬	651-1131	神戸市北区北五葉1-13-1レアルビル3F	078-595-1500
158	阪神・淡路大震災被災者ネットワーク	安田 秋成	650-0032	神戸市中央区橋通3丁目3-6 第2大橋ビル2F	078-371-5789
159	ミニディ・ステーション「たるみ・ともの家」	森 裕美	655-0894	神戸市垂水区川原1丁目1-15	078-751-5457
160	神戸大学 自由劇場	向原 孝樹	657-0013	神戸市灘区鶴甲1丁目2番地1号 神戸大学学務部学務課気付 学生会館409号室	075-541-8381
161	おたまじゃくしとカエルのかい	森本はるみ	655-0046	神戸市垂水区舞子台2-9-30-1121	078-784-3548
162	特定非営利活動法人 兵庫県有機農業研究会	小前 芳彦	650-0004	神戸市中央区中山手通7-28-33 県立産業会館内	078-367-8567
163	手さぐり勉強会	野田美智子	655-0864	神戸市垂水区塩屋台1-11-15	078-752-7553
164	地域活動推進クラブ「サルビア」	溝端美奈子	653-0021	神戸市長田区梅ヶ香町1-8-9	078-651-1560

資料編 I

No	団体名	代表者名	郵便番号	住所	電話番号
165	特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所	小森 星児	650-0076	神戸市中央区吾妻通4丁目1番6号	078-230-8511
166	神戸市心肺蘇生法を広める会	金子 康男	655-0013	神戸市垂水区福田2丁目2-33	078-709-2877
167	神戸・カリグラフィー・フォーラム	清水 裕子	659-0073	芦屋市平田北町4-18-203	0797-34-3096
168	西南女学院十九回同期会	早川 敦子	652-0032	神戸市兵庫区荒田町2丁目3-1	078-511-0065
169	特定非営利活動法人兵庫ボランティアひまわり	藤岡 隆夫	650-0011	神戸市中央区下山手通4-18-2 兵庫県職員会館4F兵庫県職員退職者会内	078-242-5491
170	関西学院大学新聞総部	大里 友香	651-1212	神戸市北区筑紫ヶ丘3-12-2	078-583-8851
171	神戸市手話サークル連絡会		650-0016	神戸市中央区橘通3丁目4-1 神戸市立総合福祉センター2F 神戸ろうあ協会 気付	078-593-4447
172	特定非営利活動法人 Knots(ノッツ)	高橋佳与子	663-8113	西宮市甲子園口2-8-16	0798-67-0151
173	神戸H・W	辰巳 孝雄	650-0017	神戸市中央区楠町1-13-5-505 小山様方	090- 1246-8104
174	こころのケアステーション	尾野田かよ	657-0038	神戸市灘区深田町2-2-19(進成塾のとなり)	078-842-1550
175	わらしべレディー	石原 佳子	658-0063	神戸市東灘区住吉山手8-20-11	078-841-5373
176	ミックス・マスターズ	松本 邦夫	679-0205	加東郡滝野町北野28-7	0795-48-5395
177	まごの手	三里 礼子	662-0073	西宮市松風町7-24	0798-71-5114
178	阪神・淡路大震災被災者生活再建支援法 早期見直しと拡充を求める会	桑原 愛子	662-0824	西宮市門戸東町7-3	0798-54-8465
179	サン・コーポラス住宅(FS)	小林 正平	650-0046	神戸市中央区港島中町2丁目5-1-1309	078-302-7437
180	ナチュラルセラピー研究会	足達 健	651-1503	神戸市北区道場町生野558-10	078-985-3986
181	SCI明石	森山 正憲	674-0051	明石市大久保町大窪1793	078-936-5788
182	アジアこども国際交流クラブ	谷口なおみ	650-0005	神戸市中央区再度筋町3-8	078-351-4414
183	神戸骨髓献血の和を広げる会	伴 智代	654-0131	神戸市須磨区横尾7-1-1-84-303	078-742-3546
184	劇団 ぼんづ	撰 飛鳥	655-0007	神戸市垂水区多聞台4丁目12-3-35	078-781-4850
185	フォーラム・ココ	田中 道子	662-0962	西宮市松下町4-32	0798-26-3965
186	特定非営利活動法人 めふのお家	中江 幸一	665-0852	宝塚市売布3丁目9-17	0797-85-7766
187	フォトグループ ひまわり	大仁 節子	658-0011	神戸市東灘区森南町1-5-1-1015	078-451-0792
188	(社)大学婦人協会 神戸支部	樋口 幸子	657-0067	神戸市灘区篠原本町3-5-10	078-881-2762
189	かめかめサークル(口腔ケア研究会)	上野 貴子	650-0046	神戸市中央区港島中町3-1-47-1110	078-306-6088
190	関西学院大学英語劇サークルSOLE	加藤 高康	565-0851	大阪府吹田市千里山西5-20-6	090- 3703-9006
191	ひょうご南・ネットワーキング	藤原 幸子	655-0039	神戸市垂水区霞ヶ丘2丁目2-23	078-709-3421
192	あかしにもプレーパークがほしいねん	松本 容子	674-0065	明石市大久保町西島610-9-608	078-947-2696
193	七糸会	松山美智子	657-0011	神戸市灘区鶴甲4丁目6 23-502	078-842-4184
194	マウス・フレンズ21	中村米三郎	666-0112	川西市大和西1-11-11	0727-94-0783
195	すま・はまの会	高田 淑子	654-0055	神戸市須磨区須磨浦通5丁目5-26 ラスブランガ・スマ1F	078-736-2549
196	神戸檜の会	雑喉 護	651-1243	神戸市北区山田町下谷上芝床34-3	078-581-8422
197	特定非営利活動法人 ネットワークさぼーと兵庫	大谷 克己	674-0066	明石市大久保町山手台1丁目120-5	078-934-6973

No.	団体名	代表者名	郵便番号	住所	電話番号
198		合田 知加	650-0046	神戸市中央区港島中町2丁目4の1 72棟214号	078-302-0887
199	あまがさき市民まちづくり研究会 まちづくり塾	武田 浩	661-0953	尼崎市東園田町8丁目99-1	06-6492-7533
200	特定非営利活動法人 ブラマ・クマリス神戸	ラージニ・ ダウラトラム	657-0805	神戸市灘区青谷町4丁目1-3 青谷プラザ301	078-882-5019
201	日本赤十字社 兵庫県支部		650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-22	078-341-8791
202	子育てサポートクラブ「うーりいぼっぴ」	竹内 優江	654-0081	神戸市須磨区高倉台4-2 3-706	078-731-7999
203	スクールのオンラインジャパン	榊原 淳	660-0083	尼崎市道意町7-1-3 尼崎リサーチインキュベーションセンター5F	06-6415-2561
204	NTT労組ふれ愛センタ	安富 隆義	650-0025	神戸市中央区相生町1-3-2	078-351-9381
205	スパイス	枝光 宣子	654-0014	神戸市須磨区若木町3-3-2	078-733-5579
206	ひょうごセルフヘルプ支援センター	中田智恵海	658-0022	神戸市東灘区深江南町1-8-22-203	078-452-3082
207	神戸パソコンクラブ	杉浦 正己	651-2275	神戸市西区榎野台3-8-8	078-992-3195
208	特定非営利活動法人 PETS FOR LIFE, JAPAN	MARTIN JOHN TERENCE	669-1199	西宮塩瀬郵便局私書箱6号	0797-85-3370
209	神戸アマテウス合唱団	山本 郁夫	673-0864	明石市大蔵谷字東山西山3781-26.8-413 山本正信様方	078-917-3713
210	五毛御燈会	小倉 啓助	657-0817	神戸市灘区上野通2-1-13	078-881-2669
211	びゅあはあーと	芦谷美弥子	657-0025	神戸市灘区高德町1-7-101	078-821-5795
212	神戸定住外国人支援センター	金 宣吉	653-0038	神戸市長田区若松町2-13-1 PIAZZAビル2F	078-612-2402
213	ピア・サポート部	合田 知加	650-0046	神戸市中央区港島中町2丁目4-1 72棟214号	078-302-0887
214	特定非営利活動法人 デジタルサーカス	三宅 大地	657-0814	神戸市灘区五毛通4-1-15	078-802-2934
215	スターライナー	内本 聡	560-0003	豊中市東豊中町5-2-133-3	06-6846-4331
216	ろう児のためのフリースクール兵庫「かもめ」	東本 尊徳	650-0013	神戸市中央区花隈町16-12-104	
217	神戸ルネサンス倶楽部	山本 正信	657-0831	神戸市灘区水道筋1丁目7 山本郁夫様方	078-871-9630
218	ふれあい電子工房	間中 俊夫	658-0065	神戸市東灘区御影山手3-1-9-100	078-851-4831
219	柏尾谷自然学校	奥部 尚美	651-1231	神戸市北区青葉台9番5号	078-582-5448
220	ヴィオリラン パール	今野 厚子	655-0006	神戸市垂水区本多間5-1-160-101	078-783-6671
221	シニア竹炭を愛する会	松森 博巳	669-1122	西宮市青葉台1-8-26	0797-84-3426
222	西灘プレーパークの会	利 加代子	657-0844	神戸市灘区都通3-1-13	078-871-5679
223	喫茶赤とんぼ作業所	河上 優香	650-0011	神戸市中央区下山手通9丁目4-8毎日市場内	078-367-8834
224	スクール・ビジット	山下 愛	652-0803	神戸市兵庫区大開通1-1-1 神鉄ビル10階	078-575-3653
225	空飛ぶ車椅子	村上 智昭	651-0076	神戸市中央区吾妻通4-1-6	078-265-1066
226	大阪南ユネスコ協会青年部 ユーズ	伊藤 加代	541-0048	大阪府大阪市中央区瓦町4-3-2	06-6221-2935
227	兵庫県吹奏楽団ふるさと	横山さやか	662-6884	西宮市能登町4-3	0798-51-2842
228	友愛訪問グループ ききょう	光岡 福美	650-0154	神戸市須磨区北落合3-38-217-303	078-797-0828
229	西宮心理臨床センター	横山さやか	662-6838	西宮市能登町4-3	0798-51-2842
230	AKO	田中 真理	650-0026	神戸市中央区古湊通1-1-2-202	0798-64-5829

資料編 I

No.	団体名	代表者名	郵便番号	住所	電話番号
231	ライフ&キャリアサポートセンター	山内 哲朗	651-2113	神戸市西区伊川谷町有瀬473-12-604	
232	特定非営利活動法人 ほっとあんしんサポート	新谷 昌弘	650-0022	神戸市垂水区五色山3-2-10-102号	
233	重池ふれあいのまちづくり協議会	近藤 訓民	653-0801	神戸市長田区房王寺町1-10-8	078-691-3162
234	鶴六甲山と市民のネットワーク	堂馬 英二	657-0028	神戸市灘区森後町2-1-3-2F	078-856-4756
235	ITC日本リージョンカウンスルNO.2	加藤 啓子	665-0016	宝塚市宝松苑3-23	0797-72-8102
236	特定非営利活動法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会	大頭 信義	653-0812	神戸市長田区長田町5-2-15 コート宮北101	078-642-0424
237	劇団レトルト内閣	河内 信弥	580-0044	大阪府松原市田井城4-25-8	0723-34-2040
238	内モンゴルの子供を支援する会	朝 克図	651-6071	神戸市中央区筒井町1-1-1-303	078-261-0334
239	特定非営利活動法人 リーフ	北村 淑子	659-0826	芦屋市西蔵町8-3-510	0797-32-8258
240	兵庫県学習障害(LD)児・者親の会「たつの子」	北 まり子	655-0039	神戸市垂水区霞ヶ丘7-7-7 三浦玲子様方	078-708-8452
241	高倉台コールエコー	小栗美津子	654-0081	神戸市須磨区高倉台8-26-2	078-733-8445
242	ITC☆WEST	山口 勝	657-0011	神戸市灘区鶴甲2-11-3-401	078-854-0815
243	再建マンション紛争研究会	大内美也子	651-0096	神戸市中央区雲井通2-1-6-1408	078-222-3214
244	ハンディキャップサポートクラブ	鈴木 京子	658-0045	神戸市東灘区御影石町4-15-23	078-811-6372
245	自立生活センター神戸Beすけっと	澤田 隆司	653-0805	神戸市長田区片山町2-17-9	078-641-6618
246	光ネット・ココロジーサロン	重枝 隆	661-0033	尼崎市南武庫之荘4-5-12	06-6433-5017
247	ISGM.Japan	山岸 秀司	657-0012	神戸市灘区一王山町16-4-501	078-841-1357
248	KOBE観光ガイドボランティア	森山 芳子	650-0021	神戸市中央区加納町6-5-1 (市民企画推進局市民活動支援課)	078-321-3921
249	環境を考える会「ゆりのき」	富田 翼	670-0804	姫路市保城216-1-211	

◆ 地域活動推進講座助成団体一覧 ◆

【平成11年度】

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
1	「遊ばせ隊」	大河 琴恵	遊ばせ隊地域活動推進員講座	神戸市東灘区
2	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子	園芸で結ぶコミュニティづくり	神戸市東灘区
3	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子	地域とコミュニティ事業	神戸市東灘区
4	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子	近隣たすけあいで行うショートデイサービス／ 学び～実地～企画まで	神戸市東灘区
5	東灘・地域助け合いネットワーク	安井 久子	「地域活動推進員講座」-茶話やか講座	神戸市東灘区
6	兵庫県健康生きがいづくり協議会	中村 安治	シニアのための生きがいづくり・仲間づくり	神戸市東灘区
7	緑花コミュニティ四季	富永 邦夫	花と緑の街づくりを進めるためのけちですばらなユニーク園芸	神戸市東灘区
8	レープハフトホール&ガーデン	山口 和子	緑化リーダー育成講座orデビュー講座	神戸市東灘区
9	明石気功研究会	赤崎 辰男	らくらく気功で健康づくり	神戸市灘区
10	女女・西宮&女と市政をつなぐ尼崎みずグループ	小西 三洋	夫・恋人からの暴力 あなたにできるサポートは?	神戸市灘区
11	女女・西宮&女と市政をつなぐ尼崎みずグループ	小西 三洋	女性のための電話相談員養成講座	神戸市灘区
12	寿ボランティアグループ	姫野 操子	地域福祉を考える会	神戸市灘区
13	社会福祉法人神戸市灘区社会福祉協議会	井上 則俊	鶴甲ふれあいたすけあい講座	神戸市灘区
14	社会福祉法人神戸市灘区社会福祉協議会	井上 則俊	西郷ふれあいたすけあい講座	神戸市灘区
15	社会福祉法人神戸市灘区社会福祉協議会	井上 則俊	五毛・篠原地域ふれあいたすけあい講座	神戸市灘区
16	社会福祉法人神戸市灘区社会福祉協議会	井上 則俊	岩屋ふれあいたすけあい講座	神戸市灘区
17	つくし・サロン	上野 真弓	第11回つくし・サロン～私たちの街を撮ろう～	神戸市灘区
18	KOBEふれあいの会	川口 重義	在宅介護実践基本講習会	神戸市中央区
19	アート・エイド・神戸実行委員会	伊勢田史郎	地域文化力向上セミナー	神戸市中央区
20	いい顔・笑顔人形劇の会	丸岡美津子	人形劇講座	神戸市中央区
21	神戸・さらの会	津田 時子	新しい発見をしてみませんかパートⅡ	神戸市中央区
22	神戸YMCA	山口 徹	神戸YMCAコミュニティボランティアスクール	神戸市中央区
23	こうべ子ども文庫連絡会	余根田嘉代子	子どもの本を楽しみ、考える	神戸市中央区
24	神戸復興塾	小森 星児	市民主体のまちづくりを担うリーダー養成講座	神戸市中央区
25	神戸復興塾	小森 星児	実践で学ぶNPO講座	神戸市中央区
26	社会福祉法人神戸市中央区社会福祉協議会	村井 和子	こんにちはボランティア	神戸市中央区
27	女性支援ネットワーク	縣 晶子	家庭の中にある暴力を理解する講座	神戸市中央区
28	特定非営利活動法人被災地障害者センター	福永 年久	ヒューマンセミナー	神戸市中央区
29	兵庫女性会議	森木 和美	これからのまちづくり-男女共同参画社会をめざして-	神戸市中央区
30	ひょうご女性コミュニティ会議ボランティアグループ	内田 洋子	「老トピア」への切符は自分の手で	神戸市中央区
31	兵庫余暇会	折橋 孝志	生きがい探し講座	神戸市中央区

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
32	福祉交流懇話会	宮前亨一郎	響きあうものを求めて	神戸市中央区
33	ふれあい祭りプロジェクト	河上 優香	地域住民とボランティアと介護保険	神戸市中央区
34	夢野北学童保育所	大石 博史	子供たちが元気にがんばるための講座	神戸市兵庫区
35	フォーラム・ココ鈴蘭台	赤崎 昌子	地域で助け合って暮らしていくために	神戸市北区
36	ママ応援団	岸本喜代子	こころ豊かな子育てを	神戸市北区
37	ミックススペースV	堀内 正美	「ともに生きる」	神戸市北区
38	ゆうゆう鹿の子	佐藤由美子	ふるさとづくり	神戸市北区
39	神戸アジアタウン推進協議会	神田 裕	多文化共生のまちづくりを考える	神戸市長田区
40	神戸定住外国人支援センター	神田 裕	定住外国人への日本語学習を支援するための地域活動推進員講座	神戸市長田区
41	神戸定住外国人支援センター	神田 裕	地域国際化ボランティアのための地域活動推進員講座	神戸市長田区
42	社会福祉法人神戸市長田区社会福祉協議会	友光喜代子	みんなで考えよう 介護保険の幕開けとボランティア	神戸市長田区
43	社会福祉法人神戸市長田区社会福祉協議会	友光喜代子	夕涼みボランティア講座	神戸市長田区
44	ウィメンズネットこうべ	正井 礼子	地域情報誌をつくろう!	神戸市須磨区
45	ウィメンズネットこうべ	正井 礼子	この町で安心して暮らしたい	神戸市須磨区
46	ウィメンズネットこうべ	正井 礼子	子育てママのほっとタイム	神戸市須磨区
47	ウィメンズネットこうべ	正井 礼子	暮らしを見直す	神戸市須磨区
48	神戸リカバリーセンターさぼるて	宗利 勝之	となりのさぼるてボランティア講座	神戸市須磨区
49	狩口なかよし子ども会	大谷 直子	アジアと遊ぼう	神戸市垂水区
50	社会福祉法人神戸市垂水区社会福祉協議会	大野金三郎	安心・助け合い・仲間づくり教室	神戸市垂水区
51	社会福祉法人神戸市垂水区社会福祉協議会	大野金三郎	安心・助け合い・仲間づくり教室	神戸市垂水区
52	社会福祉法人神戸市垂水区社会福祉協議会	大野金三郎	安心・助け合い・仲間づくり教室	神戸市垂水区
53	社会福祉法人神戸市垂水区社会福祉協議会	大野金三郎	安心・助け合い・仲間づくり教室	神戸市垂水区
54	学園東町ふれあいのまちづくり協議会福祉部	植村 勝紀	ふれあい講座－広げようふれあいの輪	神戸市西区
55	神戸須磨北おやこ劇場	前田 恵子	震災復興途上の神戸の町から、子育てと家庭をみつめる	神戸市西区
56	社会福祉法人神戸市西区社会福祉協議会	穴田 勝進	いきいきサロンボランティア研修会	神戸市西区
57	社会福祉法人神戸市西区社会福祉協議会	穴田 勝進	実践ワンポイント講座	神戸市西区
58	社会福祉法人神戸市西区社会福祉協議会	穴田 勝進	ボランティア体験講座	神戸市西区
59	民法と戸籍を考える女たちの連絡会	ながきのりこ	みこれんファイワイ講座	神戸市西区
60	尼崎市女性団体協議会	川本ミハル	女性のための自己表現セミナー	尼崎市
61	尼崎市女性団体協議会	川本ミハル	フェミニストカウンセリング講座入門編	尼崎市
62	尼崎消費者協会	松田登巳子	いきいきライフ	尼崎市
63	親と子のリラックスタイムしゃららん	松本恵理子	どこでもできるミュージックセラピー第2弾／毎日の暮らしに生かすミュージック・ケア・マインド	尼崎市
64	女たちのまちづくり研究会	内田 信子	女性の視点でまちづくりしよう	尼崎市

No	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
65	女たちのまちづくり研究会	内田 信子	女性と市政をつなぐ連続講座	尼崎市
66	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会	福田 芳治	地域・在宅ヘルプ講座	尼崎市
67	近松応援団	加藤 道子	近松地域活動推進員講座	尼崎市
68	外出支援センターかものはし	牧野 史子	外出支援グループ養成講座	西宮市
69	コープこうべ塩瀬コープ委員会	荻野美紗子	心豊かな地域づくりに向けて	西宮市
70	社会福祉法人西宮市社会福祉協議会東山台分区分	赤石 貞子	パソコンでつなぐ地域活動 「初心者対象、中高年のためのパソコン教室」	西宮市
71	生活協同組合都市生活	前川智佳子	体に楽な介護基本演習	西宮市
72	名塩婦人会	田中 克子	心豊かな暮らしに向けて -楽しい仲間づくり、住みよい地域づくり-講座	西宮市
73	西宮移送サービス	筒井 良一	地域と移送サービスの関わり	西宮市
74	西宮コープ福祉・ボランティアセンター	佐々木俊彦	西宮市内福祉施設に学ぶ	西宮市
75	西宮ココロン・クラブ	山形 隆子	地域で「高齢者の生きがい生きが、仲間づくり、健康づくり」をしよう!	西宮市
76	西宮地域たすけあいネットワーク	牧野 史子	地域陶芸教室スタッフ養成講座	西宮市
77	西宮地域たすけあいネットワーク	牧野 史子	介助と介護保険の啓蒙	西宮市
78	木馬の会	岩波 真理	手づくりで生きがい・しごと・なかまづくり体験講座	西宮市
79	わんぱく会	青木 裕子	親子体操であそぼう	西宮市
80	21世紀あしや生涯学習	村尾 美恵	あしや学・暮らしの探検講座	芦屋市
81	ACいれぶん	川下 好明	輝いてコーラス“キララ”	芦屋市
82	NPO DAO JAPAN	廣岡三智子	街がギャラリー、あなたが動くアートになる	芦屋市
83	あしやYO倶楽部・手工芸グループ	福岡貴光子	ファッションイメージ学 「美しく老いる～これからの生き方と彩くぼり」	芦屋市
84	芦屋浜カルチャーサークル	市川 禮子	大震災と人生を詠む	芦屋市
85	ふれあい短歌会	友田 雅子	短歌に心のケアを求めて	芦屋市
86	池尻小学校区社会福祉協議会ふれあい福祉部	杉本 光子	家庭における「寝たきり老人障害者の介護の方法」	伊丹市
87	伊丹NPOセンター	赤松 弘揮	地域社会事業の在り方	伊丹市
88	桜台地区民生児童委員協議会	曾根 清一	寝たきりならない・させない健康管理	伊丹市
89	社会福祉法人伊丹市社会福祉協議会	正賀 スミ	ふれあい福祉サロンリーダー講座	伊丹市
90	ぐりんべっぴー	小野田正美	地域で子育てを楽しもう!	宝塚市
91	クローバーコミュニティ	多胡 葉子	高齢者ケア	宝塚市
92	社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会	谷口 勇	小地域福祉活動リーダー養成講座	宝塚市
93	宝塚NPOセンター	小笠原 暁	地域リーダー養成講座	宝塚市
94	たからづか女のねっと	橘 統子	「地域社会(市民)がつくる21世紀」-平和の文化を私たちから-	宝塚市
95	宝塚市光が丘福祉活動推進委員会	藤川 誠子	地域活動のネットワーク作り	宝塚市
96	仁川団地自治会	西 良子	「あなたもわたしもより楽しく」	宝塚市
97	めふコープ委員会	酒井富美子	心豊かな暮らしの為の地域活動推進員講座	宝塚市

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
98	山本コープ委員会	武藤 明子	地域に根ざした仲間づくり	宝塚市
99	ワークショップ研究会	阿部 薫	地域活動のコツ	宝塚市
100	川西コープ委員会	吉田賀津子	21世紀のくらしを考える学習会	川西市
101	川西コミュニティケア研究会	高木 玲子	介護保険制度の幕開け「みんなで考えよう」	川西市
102	川西コミュニティケア研究会	高木 玲子	お父さんの料理教室	川西市
103	川西レクリエーション協会	曾根 千衣	障害者スポーツの理解と普及～誰もが街に住み続ける為に～	川西市
104	高齢福祉をすすめる市民ネットワーク川西	滝 純子	介護サービスの現状学習講座	川西市
105	ココロン川西	上馬 勇	私たちの暮らし再点検講座	川西市
106	ココロン川西	上馬 勇	地域で育てよう、子どものこころ	川西市
107	社会福祉法人三田市社会福祉協議会	池田 敏男	いきいき生活講座	三田市
108	明石気功研究会	赤崎 辰男	らくらく気功で健康づくり	明石市
109	安心して老いるために91-Xの会	森田 洋子	この町で自分らしく生きるために[PART 2]住み方は生き方	明石市
110	安心して老いるために91-Xの会	森田 洋子	この町で自分らしく生きるために[PART 3]地域で生きる	明石市
111	食カレッジ・あかし	石上 幸子	食生活を通じて仲間づくり	明石市
112	イーブンネットかこがわ	八木多喜子	女も男も住みよい町に	加古川市
113	地域が学校ネットワークセンター	児島 一裕	グローバルネットワーキング	高砂市
114	多文化共生センター・神戸	吉富志津代	外国人コミュニティとの医療相談会を実施するために	姫路市
115	一粒の会	黒岩 恵	新世紀への課題「生き方～幸せな人生、社会を」1回目	洲本市
116	一粒の会	黒岩 恵	新世紀への課題「生き方～幸せな人生、社会を」2回目	洲本市
117	五色カンガルーグループ	広田 好美	郷土の環境改善をめざして	五色町
118	社会福祉法人緑町社会福祉協議会	西村 真	ふれあい講座	緑町
119	津名郡連合社会福祉協議会	織田 昌裕	在宅看護、ボランティア活動、生涯学習、生きがい、行政施策	津名郡

【平成12年度】

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
1	遊ばせ隊	大河 琴恵	お母さんの子育て自分さがし講座	神戸市東灘区
2	いきいきネット宅急便	高田 とし	輝いてボランティアしませんか!	神戸市東灘区
3	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子	介護の受け方上手さん育て	神戸市東灘区
4	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子	市民活動と会計～1からレッスンNPO法会計まで!	神戸市東灘区
5	東灘・地域助け合いネットワーク	安井 久子	ボランティア活動のすすめ、地域にぬくもりを	神戸市東灘区
6	兵庫県健康生きがいづくり協議会	中村 安治	さわやか体操とふれあいコミュニケーション	神戸市東灘区
7	サポートステーション灘・つどいの家	森 文男	生活環境	神戸市灘区
8	つくし・サロン	上野 万弓	地球環境は身近な生活の問題～自分らしい楽しい生活のために～	神戸市灘区

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
9	ボランティアグループ六甲(ほほえみ灘班)	丸谷 肇子	地域で子育て支援	神戸市灘区
10	KOBEふれあいの会	川口 重義	在宅介護実践実技講習会	神戸市中央区
11	W・Sひょうご	あがた晶子	夫・恋人からの暴力をなくすために	神戸市中央区
12	いい顔・笑顔人形劇の会	丸岡美津子	人形劇講座	神戸市中央区
13	こうべ子ども文庫連絡会	岩本 麻子	「子育てに読書の楽しみを」連続講座	神戸市中央区
14	神戸中央おやこ劇場	平澤 寿枝	パンダクラブ(親子で遊ぶ会)	神戸市中央区
15	神戸復興塾	小森 星児	広げよう地域の輪・グループ活動を楽しむための人間関係ツボ講座	神戸市中央区
16	神戸復興塾	小森 星児	地域で支える“のびのび”子育て実践講座	神戸市中央区
17	多文化共生センター・ひょうご	野間 恵	ひょうたん島問題に学ぶ多文化共生	神戸市中央区
18	特定非営利活動法人COM 総合福祉研究所	土屋 博子	〈介護のコツを知ろう〉シリーズ	神戸市中央区
19	特定非営利活動法人被災地障害者センター	福永 年久	ヒューマン・セミナー	神戸市中央区
20	ニューシルバー脇の浜	立石富治子	高齢者のための手芸教室	神戸市中央区
21	ヒューマン・サービス・ネットワーク	藤田美佐子	軽やかに生きる-よりよい人間関係を築くために自分を見つめる-	神戸市中央区
22	兵庫余暇会	折橋 孝志	兵庫余暇会の「地域活動推進講座」	神戸市中央区
23	双葉会	後藤 文江	生きがいと仲間づくり	神戸市中央区
24	ふれあい祭りプロジェクト	河上 優香	介助のやり方	神戸市中央区
25	ボランティアグループひまわり	藤田 英子	身近な介護	神戸市中央区
26	めだかグループ	森野 君江	生きがいづくりと心の復興を	神戸市中央区
27	ラベンダー	熊谷きよの	心の栄養、そして体も健康に	神戸市中央区
28	HATAハーブ倶楽部	常澤 聡美	農園ふれあい講座	神戸市北区
29	神戸絵手紙友の会(あじさい)	矢野 愛子	絵手紙ボランティア基礎講座	神戸市北区
30	福祉交流懇話会	宮前亨一郎	生き様を極めた底から立ち上がる-高齢者の生の充実と絆を考える	神戸市北区
31	ママ応援団	岸本喜代子	こころ豊かな子育てをPART II	神戸市北区
32	ゆうゆう鹿の子	佐藤由美子	ふるさとづくり	神戸市北区
33	和太鼓“ドンドコ”	神足 京子	和太鼓DE仲間作り	神戸市北区
34	アジア女性自立プロジェクト	稲田多恵子	在日外国人と共生のまちづくり	神戸市長田区
35	駒ヶ林婦人会	北村美代子	園芸を通しての仲間づくり	神戸市長田区
36	ゴミを考える市民連絡会	上田 諭信	家庭生ゴミのリサイクルとまちづくり	神戸市長田区
37	みくら健康なまちをつくる会	吉田 信昭	地域の健康づくり講座	神戸市長田区
38	500人委員会板宿会	倉島 陽子	花とみどりの町づくり、わづくり	神戸市須磨区
39	板宿料理教室実行委員会	桑村源太郎	交通安全。家庭教育の大切さ。料理教室。防災知識の高揚。	神戸市須磨区
40	絵本に親しむ会	北村 義雄	絵本と子育て	神戸市須磨区
41	神戸お手玉の会	井上 三美	お手玉遊びとりハビリ	神戸市須磨区

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
42	神戸西・助け合いネットワーク	在里 俊一	心も身体もリフレッシュ講座(地域活性化をめざして)	神戸市須磨区
43	神戸西・助け合いネットワーク	在里 俊一	助け合う地域をめざして	神戸市須磨区
44	西須磨まちづくり懇談会	岡本 硯也	セミナーIN西須磨自立する地域「住民主体への挑戦」 一分権時代のまちづくりをどうすすめるか	神戸市須磨区
45	松風南ふれまちグループ	広岡 肇	その気になって体験学習	神戸市須磨区
46	神戸市障害児・者放課後を考える会「みっくす」	若水 順子	うちの地域のあんな子、こんな子	神戸市垂水区
47	たんぼぼクラブ	吉田 節子	親子でスキンシップ講座	神戸市垂水区
48	福祉ネット星が丘	三木 熊雄	生き生き元気に安心して暮らしま専科	神戸市垂水区
49	ボランティアグループひまわり	下田美代子	高齢化社会に向けてとりくみと地域のかかわり	神戸市垂水区
50	学園東町ふれあいのまちづくり協議会福祉部	植村 勝紀	共に築く地域コミュニティ	神戸市西区
51	阪神高齢者・障害者支援ネットワーク	中辻 直行	家庭でおこなえる介護の知識と援助のしかた	神戸市西区
52	阪神高齢者・障害者支援ネットワーク	中辻 直行	手話を通してのコミュニケーションコントロール	神戸市西区
53	フェニックス・サポート月が丘	高口 和子	～高齢者・障害者の方と共に～ 「こころとからだ」楽しくいきいきと!	神戸市西区
54	尼崎ココロン・クラブ	作田 咲枝	これからの人づくり、まちづくり	尼崎市
55	尼崎市女性団体協議会	入口 泰美	フェミニストカウンセリング講座パートⅡ	尼崎市
56	尼崎消費者協会	松田登巳子	いきいきライフ	尼崎市
57	尼崎どんぐりの会	中嶋 裕子	手作り紙芝居	尼崎市
58	猪名庄遺跡を学ぶ会	川本ミハル	歴史を活かすまちづくり	尼崎市
59	さくらんぼの会	内田 信子	精神保健ボランティア講座	尼崎市
60	生協都市生活コミュニティ部会尼崎	前川智佳子	家庭介護の基本を身につけつつ、地域福祉の必要性を知る	尼崎市
61	男女共生街づくり研究会	内田 信子	連続セミナー「私たちのくらしと自治体」	尼崎市
62	波紋グループ	岡田 陽子	家庭廃品リサイクル講座(おばあちゃんの知恵袋)	尼崎市
63	ネットワーク・そのだ	園田 政子	安心づくりちえづくり講座	尼崎市
64	おむすびクラブ	武田 博子	あなたとわたしのエンパワメント「手をつなごうよ」	西宮市
65	おもちゃライブラリー「ばばーる」	吉田 照美	家庭教育講座「子育て支援」	西宮市
66	関西学院ヒューマンサービスセンター	山本 有紀	できることからはじめよう～ボランティア活動へのお誘い～	西宮市
67	コープこうべ・塩瀬コープ委員会	荻野美紗子	心豊かな地域づくりに向けて	西宮市
68	社会福祉協議会東山台分区分東山台ボランティアセンター	東野 弘美	情報ボランティア養成講座「地域情報紙をつくろう」	西宮市
69	社会福祉協議会東山台分区分東山台ボランティアセンター	東野 弘美	パソコンでつながり地域活動「お父さんのためのパソコン講座」	西宮市
70	新日本婦人の会西宮支部えんどう班親子リズム組	鈴木 千草	子育て支援講座	西宮市
71	生活協同組合都市生活コミュニティ部会西宮	前川智佳子	この地で自分らしく心豊かに暮らしたい	西宮市
72	多文化共生センター・ひょうご	野間 恵	多文化ボランティア入門 ～違っていればみんな友達・ワークショップで学ぼう～	西宮市
73	特定非営利活動法人ブレンヒューマニティー	能島 裕介	ユース・ボランティア講座	西宮市
74	名塩婦人会	田中 克子	心豊かなくらしに向けて 一住みよい地域づくり、楽しい仲間づくり講座	西宮市

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
75	にしのみや遊び場つくる会	米山 清美	プレーリーダーの養成とプレーパークの実際	西宮市
76	西宮ココロン・クラブ	山形 隆子	地域活動“ツボのツボ”	西宮市
77	西宮在日韓国・朝鮮人教育を考える会	太田 光一	在日外国人教育セミナー	西宮市
78	ブリアデスR	中西 頼子	ブラッシュアップ講座	西宮市
79	木馬の会	岩波 真理	さあ始めよう夢を形へ ～女性たちがはじめた地域活動の取り組みに学ぶ～	西宮市
80	わんぱく会	青木 裕子	親子体操であそぼう	西宮市
81	芦屋おたすけたい	松本 壽子	今、私たちにできることは	芦屋市
82	芦屋おたすけたい	松本 壽子	リサイクルで生活にうおいを	芦屋市
83	おもしろプランニング	毛利 寿子	Let's Talk-芦屋で生きる	芦屋市
84	グリーンマントの会(芦屋市民街づくり連絡会)	藤原 千秋	みどりのまちづくり	芦屋市
85	イーブンネット桜台	石井 裕子	あなたらしく、私らしくコミュニケーションしませんか?	伊丹市
86	伊丹NPOセンター	赤松 弘揮	始めてみよう。できことからのNPO	伊丹市
87	伊丹学まちづくり会議	関 恒雄	まち工房@いたみ-みんなで考えよう!みんなで創ろう!伊丹のまち	伊丹市
88	桜台地区民生・児童委員協議会	倉橋八津夫	高齢期に向けての健康づくり	伊丹市
89	社会福祉法人伊丹市社会福祉協議会	正賀 スミ	あなたの地域で「ふれ愛福祉サロン」を開設しませんか	伊丹市
90	紙芝居サークル“ちょうちょ”	角田 宜子	紙芝居講座 つくってあそぼう	宝塚市
91	グループ・FT	難波 栄子	思春期の子どもをもつ悩める親たちへ…	宝塚市
92	コープくらしの助け合いの会	稲田 敏子	知って安心介護講座	宝塚市
93	子育て支援グループ「スマイル」	亀井 幸江	「子育て支援講座」地域で子育て ～育児中の人も一段落した人もこれから育児する人も～	宝塚市
94	たからづか女のねっと	橘 統子	平和の文化を私達から～ローカルからグローバルへ～	宝塚市
95	宝塚ふぁみりい劇場	三橋あき子	ワークショップ“表現あそびでともだちづくり”	宝塚市
96	宝塚ふぁみりい劇場	三橋あき子	「生きる力」を身につけるためのワークショップ	宝塚市
97	トークスクエア	高橋 清子	話して元気になろう	宝塚市
98	仁川コープ委員会	吉田 啓子	地域活動推進講座パート1～パート3	宝塚市
99	光が丘福祉活動委員会	藤川 誠子	介護保険制度と地域のかかわり	宝塚市
100	フェニックス長尾	堀 信義	わくわくライフ	宝塚市
101	本音を語る会	福田 悦子	わたしと家族	宝塚市
102	メディア18	山田 恵	人間関係のこつさがし	宝塚市
103	めふコープ委員会	酒井富美子	心もからだもいきいき講座	宝塚市
104	わいどあんどぐる	大森 佳子	母と子の仲間づくり	宝塚市
105	川西レクリエーション協会	曾根 千衣	ウェル・ビーイングな社会を目指して	川西市
106	ボランティアグループ「ハイ・はい」	河崎 輝子	地域で取り組むボランティア	川西市
107	山本コープ委員会	武藤 明子	地域に根ざした仲間づくり	川西市

資料編 I

No	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
108	夢あぐる	家市 和美	知って得する子育て あ・れ・こ・れ	川西市
109	ライブを楽しむ会	村上 雅美	ライブを仕掛よう!!	川西市
110	We兵庫の会、パールブリッジわくわくネット	西本 和代	大人も子どもも地域で学ぶ、地域で楽しむ	明石市
111	明石気功研究会	赤崎 辰男	らくらく気功で健康づくり	明石市
112	明石コープ福祉ボランティアセンター	木下 俊治	知って得する楽ちん介護講座	明石市
113	食カレッジ・あかし	石上 幸子	健康な食生活	明石市
114	オシャベリルーム里の家	赤松 彰子	子どものこころとからだを見直す講座	三木市
115	どんどこネット	片山 操代	一障害者(児)の社会参加を支える一ずっと交流講座	三木市
116	三木おやこ劇場	坂口 慶子	いい人間関係づくり講座	三木市
117	すもと高齢社会をよくする会	木田 繁子	介護保険時代と私たちのまちづくり	洲本市
118	洲本コープ委員会	川端 初音	ひとりひとりが考える環境問題	洲本市
119	外町連合婦人会	野口 純子	洲本市外町地域活動推進講座	洲本市
120	一粒の会	黒岩 恵	新世紀での生き方シリーズ2年目 「自分を見直す、幸せな自然界、社会に」	洲本市
121	郡家元気アップグループ	伊藤 勇次	郡家市街地「元気アップ講座」	津名郡一宮町

【平成13年度】

No	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
1	東灘地域助け合いネットワーク	安井 久子	ボランティア活動のすすめ地域の障害者と共に生きる	神戸市東灘区
2	多文化共生センター・ひょうご	野間 恵	多文化共生の保育「その子らしさを育てる保育とは」	神戸市東灘区
3	寿ボランティアグループ	姫野 操子	地域の中で生まれる市民活動	神戸市灘区
4	サポートステーション灘・つどいの家	笹原 順子	身近に感じよう介護保険	神戸市灘区
5	KOBEふれあいの会	川口 重義	月例在宅介護実践基本講習会	神戸市中央区
6	神戸絵手紙友の会(あじさい)	矢野 愛子	絵手紙ボランティア	神戸市中央区
7	福祉交流懇話会	宮前亨一郎	落ちつけば子どもの笑顔が見えてくる	神戸市中央区
8	兵庫余暇会	折橋 孝志	身につく技で大変身講座	神戸市中央区
9	神戸まちづくり研究所	小森 星児	神戸まちづくり塾	神戸市中央区
10	神戸YMCA福祉委員会	寺内 真子	はじめよう第一歩!ボランティア事始	神戸市中央区
11	ヒューマン・サービス・ネットワーク	藤田美佐子	環境とのかかわりのなかで軽やかに生きる	神戸市中央区
12	双葉会	後藤 文江	恒久住宅内の親睦、健康、地域交流。	神戸市中央区
13	忍者ごっこ楽しみ隊	能勢 雅子	地域で子どもと関わる大人のためのリーダー養成講座	神戸市兵庫区
14	ゆうゆう鹿の子	佐藤由美子	ふるさとづくり	神戸市北区
15	ひよどり山の学校	澤田千賀子	NOと言える子供づくり	神戸市北区
16	森の小学校「サポートくらぶ」	和田 邦孝	森・人・語る(かかわる)	神戸市北区

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
17	NPO法人パラレルサポート	寺澤 美香	簡単な介護の心得・初級編	神戸市長田区
18	プラザ5	上田 諭信	生きがい見つけワクワク講座	神戸市長田区
19	みくら健康なまちをつくる会	吉田 信昭	まちづくりは健康づくり	神戸市長田区
20	VO・信愛	菅野 喜一	ちょっとのぞいてみよう金曜サテライト・デイサービス	神戸市長田区
21	まち・コミュニケーション	宮定 章	先人の知恵を伝承する異世代交流	神戸市長田区
22	板宿料理教室実行委員会	桑村源太郎	交通安全と交通事故防止、防災知識の高揚、救急、救命、身近に役立つ応急処置、料理教室による健康保持	神戸市須磨区
23	500人委員会板宿会	倉島 陽子	花とみどりのまちづくり、人の“わ”づくり	神戸市須磨区
24	福祉ネットワーク西須磨だんらん	岡本 硯也	地域で支える在宅介護	神戸市須磨区
25	神戸市青少年団体連絡協議会 ユースプラザKOBE・WEST	岡田 林一	ユースプラザ 青少年育成ボランティア研修会	神戸市須磨区
26	絵本に親しむ会	北村 義雄	絵本と子育て	神戸市須磨区
27	保護者の会・青少年問題協議会南落合支部	上嶋ゆかり	CAP(キャップ)子供が暴力から自分を守るためのプログラム	神戸市須磨区
28	神戸西・助け合いネットワーク	在里 俊一	助け合う地域をめざして	神戸市須磨区
29	NPO福祉ネット星が丘	三木 熊雄	生き生き元気に安心して暮らしま専科パートⅡ	神戸市垂水区
30	フェニックス・サポート月が丘	高口 和子	～聴覚障害の方とのコミュニケーション～ 「手話で広がる共生の“わ”！」	神戸市西区
31	神戸須磨北おやこ劇場	西村 文子	子どもの居場所づくりをサポートする大人のための講座	神戸市西区
32	阪神高齢者障害者支援ネットワーク	中辻 直行	家庭でおこなえる介護の知識と援助方法No 2	神戸市西区
33	あまがさき市民まちづくり研究会	武田 浩	わがまちを知る・創る	尼崎市
34	ネットワーク・そのだ	園田 政子	安心づくりまちづくり 講座	尼崎市
35	ヘルスカウンセリング学会(兵庫県支部)	渡壁 久恵	大切な人とのコミュニケーションをとる時のコツ	尼崎市
36	子どもの生きる力を育む会	西川 靖子	コミュニケーション・スキル(より良い人間関係を育むために)	西宮市
37	西宮くぐつ座	山形 隆子	人形劇に挑戦してみよう!!	西宮市
38	西宮ココロン・クラブ	山形 隆子	地域活動のコツを学ぼう 地域活動“ツボのツボ”PART 2	西宮市
39	名塩婦人会	田中 克子	心豊かな暮らしに向けて、住み良い地域づくり、楽しい仲間づくり	西宮市
40	おもちゃライブラリー「ばばーる」	吉田 照美	子育て支援講座	西宮市
41	西宮女性ネットの会	高橋 倫恵	女性が元気な地域づくり～ネットワークを広げよう!～	西宮市
42	西宮地域たすけあいネットワーク	岡本 順子	自分の住んでいる街を知ろう!! <自分たちでバリアフリーマップをつくる>	西宮市
43	西宮地域たすけあいネットワーク	岡本 順子	「介護とは?」知識と体験、積極的な介護生活を送ろう	西宮市
44	わんぱく会	松尾 たえ	親子体操で遊ぼう	西宮市
45	木馬の会	岩波 真理	手芸ボランティア体験講座	西宮市
46	子育てネットワーク西宮	藤沢かおる	一人じゃないよ、楽しもう子育て!	西宮市
47	まぜん太	南條理恵子	子どもの心を見つめたい、私のところを見つめたい	西宮市
48	ACIいれぶん	川下 好明	輝いてコーラス“キララ”PART Ⅱ	芦屋市
49	ふれあいの会	友田 雅子	童謡、唱歌で心のハーモニーを介護職員も共に	芦屋市

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
50	おもしろプランニング	毛利 寿子	Let's Talk—芦屋で生きる	芦屋市
51	伊丹NPOセンター	赤松 弘揮	21世紀の地域教育を考える	伊丹市
52	宝塚こどもフェスティバル実行委員会	角田 宜子	仲間づくり講座	宝塚市
53	長寿が丘くりの実会/ 一校区コミュニティ第一ブロック	綱島 昭子	パソコンを使いこなそう	宝塚市
54	山本コープ委員会	竹本 章子	心豊かな暮らしづくり・仲間づくり・地域づくり	宝塚市
55	めふコープ委員会	三條 薫	心もからだも健康講座	宝塚市
56	DESC'95	黒坂 操	こころ良い対人関係をつくるために…	宝塚市
57	宝塚コープ福祉ボランティアセンター	稲田 敏子	知って安心介護講座	宝塚市
58	宝塚ワイズメンズクラブ	多湖 葉子	親子の子育てセミナー	宝塚市
59	宝塚女性協議会	藤川 誠子	地域活動において女性の果たす役割パート1～パート4	宝塚市
60	共に学び実践する親子の会(BIG-TREE)	浅場 万里	より良い人間関係、家族関係とコミュニケーションのコツ	宝塚市
61	はな・みどりネット萩原台	武藤 明子	いろを生活にとり入れよう、そして地域に広げよう	川西市
62	兵庫県移送サービスネットワーク	西村 貢	誰でも出来る「外出支援介助」	明石市
63	兵庫えほんばたけの会	佐田きみよ	絵本の楽しさを伝えたい!～「きよの流絵本読み語り」講座	明石市
64	食カレッジ・あかし	藤田久仁子	21世紀に求められる食生活のあり方	明石市
65	郡家元気アップグループ	伊藤 勇次	郡家市街地“元気アップ”講座	津名郡一宮町
66	いきいきネット宅急便	高田 とし	ボランティア活動をより充実させるため取組み (さわる布遊具でバリアフリー)	神戸市東灘区
67	緑花コミュニティ四季	富永 邦夫	共生の知恵を生きている植物から学ぶ	神戸市東灘区
68	兵庫県健康生きがいづくり協議会	佐野 好彦	「家族はかわる」ふれあいコミュニケーションでいきいき親子	神戸市東灘区
69	いきいきネットワーク第4班	大賀 実	東灘・御影・住吉地区ミュージックステーション	神戸市東灘区
70	特定非営利活動法人コミュニティ・ サポートセンター神戸	中村 順子	地域活動の組織を見直そう～プロジェクト1-2-3～	神戸市東灘区
71	住吉食生活キャラバン隊	大河 琴恵	食と健康～健康は正しい食生活から～	神戸市東灘区
72	レープハフトホール&ガーデン花ともだちネット	山口 和子	花と緑にありがとう	神戸市東灘区
73	RIC ふれあい広場ボランティアグループ	米谷 稔	秋期パソコン教室 初級クラスA水曜コース	神戸市東灘区
74	つくし・サロン	上野 万弓	“ひきこもり”～心の環境問題～	神戸市灘区
75	ヘルスカウンセリング学会兵庫県支部	中嶋 悦子	ストレスを理解して、上手につきあう方法	神戸市灘区
76	プレアデスR	中西 頼子	ミュージックケアを楽しむ会(加賀谷式集団音楽療法)	神戸市中央区
77	ことのはネットワーク	山名 輝世	チョット専門の高齢者介護ボランティアのススメ!	神戸市中央区
78	コミコミを考える会	力宗 幸男	豊かなコミュニケーションと コミュニティづくりのための空間を考える	神戸市中央区
79	ウィメンズネット・こうべ	正井 礼子	夫・恋人からの暴力(DV)被害者へのサポーター養成講座	神戸市中央区
80	神戸中央おやこ劇場	平澤 寿枝	パンダクラブ(親子で遊ぶ会)	神戸市中央区
81	神戸復興塾	小森 星児	コミュニケーションセミナー～聴き上手は人間関係上手～	神戸市中央区
82	ニューシルバー脇の浜	立石富治子	高齢者のための手芸教室	神戸市中央区

No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
83	めだかグループ	森野 君江	高齢化社会を楽しくすごすために	神戸市中央区
84	神戸まちづくり研究所	小森 星児	とことん知ろうまちづくり	神戸市中央区
85	ヒューマンサービス東会	吉本 悦	傾聴トレーニング講座	神戸市中央区
86	フォーラム・ココ	藤原 恒子	私の古い支度	神戸市中央区
87	特定非営利活動法人ブラーマ・クマリ	柳田 幹代	こころとからだのリラックス、生活の中のめい想の スヌメー後期講座	神戸市中央区
88	忍者ごっこ楽しみ隊	能勢 雅子	地域で子どもと関わる大人のためのリーダー 養成ステップアップ講座	神戸市兵庫区
89	鹿の子台北ハイツ子ども会子どもを考える会	加藤 早苗	ウェル アクシオン ワークショップ -良い市民・良い街・良いつながりづくりワークショップ-	神戸市北区
90	里遊び	上月 千代	里と暮らしと遊び	神戸市北区
91	神戸絵手紙友の会(あじさい)	矢野 愛子	絵手紙ボランティア講座Ⅱ	神戸市北区
92	ゆうゆう鹿の子	佐藤由美子	ふるさとづくり	神戸市北区
93	ゴミを考える市民連絡会	上田 諭信	環境を考えた復興まちづくり	神戸市長田区
94	まち・コミュニケーション	宮定 章	まち探検隊～もっとまち・まちづくりを知ろう～	神戸市長田区
95	住まいを考える会	藤川 幸宏	住まいを考える	神戸市長田区
96	神戸定住外国人支援センター	神田 裕	日本語学習支援者のためのステップアップ講座	神戸市長田区
97	ウィメンズネット・こうべ	正井 礼子	こころとからだはぐし講座～ダンスセラピー～	神戸市長田区
98	北須磨団地自治会	横山 昭	学校、家庭、地域の連携によるコミュニティづくり	神戸市須磨区
99	グループ宙	藤原奈央子	手話で話そう!	神戸市須磨区
100	ベルデ名谷友愛訪問グループ	葛城まつほ	みんなで楽しくパソコンを楽しもう	神戸市垂水区
101	神戸須磨北おやこ劇場	西村 文子	子どもの居場所づくりをサポートする大人のための講座	神戸市西区
102	美賀多ふれあいのまちづくり協議会	小林 成好	少子・高齢化時代の地域活動	神戸市西区
103	尼崎消費者協会	松田登巳子	いきいきライフ	尼崎市
104	あまがさき市民まちづくり研究会	武田 浩	親子で学ぶ環境問題	尼崎市
105	コープくらしの助け合いの会	佐々木ゆき	健康の食生活講座	尼崎市
106	立花サロン	山室 英子	立花サロン	尼崎市
107	尼崎どんぐりの会	中嶋 裕子	紙芝居を作ろう 子育てに生かす紙芝居	尼崎市
108	西宮市くらしの研究会	水澤 久子	環境にやさしいくらしの講座	西宮市
109	西宮コープ福祉・ボランティアセンター	辰巳由美子	「手話講座」10回シリーズ(入門コース)	西宮市
110	西宮くぐつ座	山形 隆子	人形劇に挑戦してみよう!	西宮市
111	W・Sひょうご	あがた晶子	地域で気づこうドメスティック・バイオレンス	西宮市
112	子育てネットワーク西宮	藤沢かおる	サークルを作ろうよ!	西宮市
113	はらっぱ保育所親の会	安部由布子	家族の絆と地域文化	西宮市
114	おもちゃライブラリー「ばばーる」	吉田 照美	育て支援講座パートⅡ	西宮市
115	名塩婦人会	田中 克子	心豊かな暮らしに向けて、 伝統文化で住みよい地域づくり・楽しい仲間づくり	西宮市

資料編1

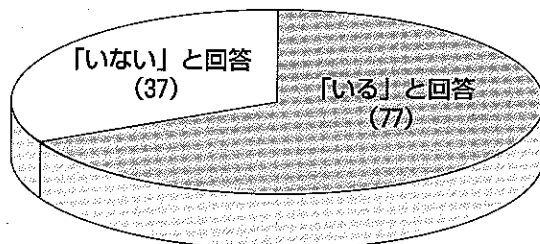
No.	開催グループ・団体名	代表者名	講座名	開催地域
116	西宮CRの会	村上 良江	子どもの心が育つ聴き方・話し方	西宮市
117	社会福祉法人のぞみ会	藤本 義一	第3回チャイルドケアスペシャリスト養成教室 子供講座	芦屋市
118	兵庫えほんばたけの会	佐田さみよ	絵本の楽しさを伝えたい!「さよの流絵本読み語り」講座	芦屋市
119	芦屋市子ども会連絡協議会	松村 和紀	クリスマス・正月をつくろう!	芦屋市
120	ふれあい短歌会	友田 雅子	心の輪を街づくりに繋げたい	芦屋市
121	伊丹まちづくり会議	関 恒雄	まち工房@いたみ「伊丹、たて、よこ、ななめ」	伊丹市
122	どりー夢	岡田 智子	コミュニティ・ケア～豊かな地域づくりのためにできること	伊丹市
123	桜台地区民協会	辻田 泰男	地域でボランティアはじめてみませんか	伊丹市
124	子育て支援グループ「スマイル」	亀井 幸江	子育て支援講座～育児仲間のつながり、 子育て支援ボランティアとのつながりを育もう～	宝塚市
125	宝塚コープ福祉ボランティアセンター	稲田 敏子	介護保険をもっと知ろう	宝塚市
126	本音を語る会	行平 敬子	ワークショップを体験しよう!	宝塚市
127	ファインダー	村上 員与	フォトセラピー／写真による癒しと表現	宝塚市
128	たからづか女のねっと	橋 統子	平和の文化を私たちから	宝塚市
129	長寿ガ丘くりの実会/一小校区コミュニティ第一ブロック	綱島 昭子	みんなで囲むための手軽でおいしいパーティ料理	宝塚市
130	フェニックス長尾	堀 信義	わくわくライブ	宝塚市
131	グループ・えふ	佐野 圭子	輝け!!グループリーダーあなたのためのファシリテーター養成講座	宝塚市
132	ココロン川西	上馬 勇	お母さんといっしょに! おーいみんな、おいでよ!	川西市
133	たんぼぼクラブ	大迫 恵美	母子でスキンシップ講座	明石市
134	明石気功研究会	赤崎 辰男	らくらく気功で健康づくり	明石市
135	フロンティア明石21	石原 洋二	教養とまちづくり	明石市
136	ココロンクラブ三木	井土 裕子	地域ハッ!見学(発見学)	三木市
137	一粒の会	西村 英司	新世紀に生き方シリーズ3年目 「自分を見直す、幸せな自然界・社会に」	洲本市
138	安乎民踊同好会	大畑 悦子	作ろうよ!皆で楽しく元気にコミュニケーション	洲本市

◆ 地域活動推進講座の事業効果に関するアンケート調査結果 ◆

平成13年度地域活動推進講座の助成団体を対象に、講座の受講者がその後、どの程度地域活動等に取り組むようになったのかを調査いたしました。その結果です。

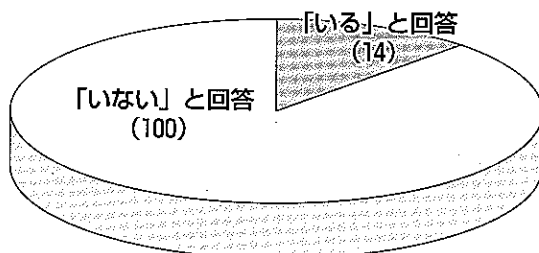
〈開催講座数138に対して、回答数114（回答率82.6%）〉

調査内容① 講座の受講を機に開催団体の活動に参加するようになった方はいますか。



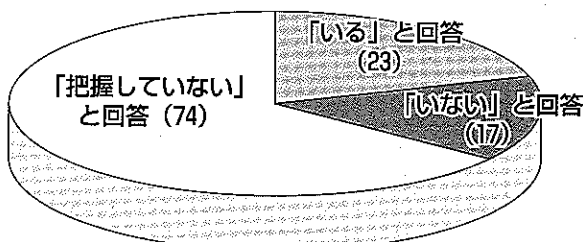
有効回答数	114	
回答内容	回答数	割合
① 「いる」	77	67.5%
② 「いない」	37	32.5%

調査内容② 講座の受講を機に自ら新団体を立ち上げ活動を始めた方がいますか。



有効回答数	114	
回答内容	回答数	割合
① 「いる」	14	12.3%
② 「いない」	100	87.7%

調査内容③ 講座の受講を機に開催団体以外の団体活動に参加した方がいますか。



有効回答数	114	
回答内容	回答数	割合
① 「いる」	23	20.2%
② 「いない」	17	14.9%
③ 「把握していない」	74	64.9%

【調査結果】

調査内容①から、「講座の受講を機に開催団体の活動に参加するようになった方がいる」と回答した団体は、7割弱（67.5%）に及び、多くの方が講座の受講を機に、そこで得た、ボランティア活動、まちづくり、健康づくり等様々な知識を活かし、地域活動に参加するようになったことがわかる。

また、調査内容②では、「講座の受講を機に、自ら新団体を立ち上げ活動を始めた方がいる」と回答した団体は、1割強（12.3%）あり、受講者の中には、受講を機にすぐさま、地域活動リーダーとしての活動を始めた方も少なからずいることがわかる。

◆ 平成13年度地域活動ステーション一覧 ◆

(平成14年3月31日)

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
神戸市東灘区	生活協同組合コープこうべはーとらんど甲南	神戸市東灘区甲南町2-1-20 コープリビング甲南2階	078-412-2081	生活協同組合コープこうべ福祉・環境活動部	黒田 昌子
神戸市東灘区	本庄地域福祉センター	神戸市東灘区本庄町2-5-1	078-412-8470	本庄ふれあいのまちづくり協議会	佐野 末夫
神戸市東灘区	野寄地域福祉センター	神戸市東灘区西岡本4-8-7	078-412-8513	本山西ふれあいのまちづくり協議会	渡辺 利信
神戸市東灘区	本山東地域福祉センター	神戸市東灘区森南町2-8-28	078-412-9393	本山東ふれあいのまちづくり協議会	島田 照二
神戸市東灘区	魚崎南地域福祉センター	神戸市東灘区魚崎南町2-9-4	078-413-2354	魚崎南ふれあいのまちづくり協議会	仲和 治
神戸市東灘区	ココライフ魚崎	神戸市東灘区魚崎北町4-6-17	078-435-2030	NPO法人 てみずの会	桑原美千子
神戸市東灘区	住吉コープ福祉・ボランティアセンター	神戸市東灘区田中町5-3-18 生活文化センター2階	078-451-4724	住吉コープ福祉・ボランティアセンター	潮 勝利
神戸市東灘区	本山南地域福祉センター	神戸市東灘区本山南町7-1-20	078-452-3550	本山南ふれあいのまちづくり協議会	中西 輝夫
神戸市東灘区	魚崎地域福祉センター	神戸市東灘区魚崎中町4-3-16	078-452-5296	魚崎ふれあいのまちづくり協議会	多田 哲郎
神戸市東灘区	北畑会館	神戸市東灘区本山北町6-2-28	078-452-5383	北畑財産区管理会	谷 昇
神戸市東灘区	青木南地域福祉センター	神戸市東灘区青木4-2-20	078-452-7225	青木南ふれあいのまちづくり協議会	網家 弘一
神戸市東灘区	本山地域福祉センター	神戸市東灘区岡本1-7-3	078-453-2939	本山ふれあいのまちづくり協議会	小原 治
神戸市東灘区	多文化共生センター・ひょうご／東灘日本語教室	神戸市東灘区深江南町4-12-20-201	078-453-7440	多文化共生センター・ひょうご	野間 恵
神戸市東灘区	御影北地域福祉センター	神戸市東灘区御影町御影字岸本1552-12	078-811-1992	御影北ふれあいのまちづくり協議会	藤澤 福男
神戸市東灘区	渦森台地域福祉センター	神戸市東灘区渦森台1-2-1	078-822-8711	渦森台ふれあいのまちづくり協議会	永原 隆憲
神戸市東灘区	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	神戸市東灘区住吉宮町2-19-21	078-841-0310	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸	中村 順子
神戸市東灘区	東灘区ボランティアセンター	神戸市東灘区住吉東町5-2-1	078-841-6941	東灘区ボランティアセンター	尾崎 長生
神戸市東灘区	浜御影地域福祉センター	神戸市東灘区御影本町6-2-14	078-854-0476	浜御影ふれあいのまちづくり協議会	金本 清一
神戸市東灘区	六甲アイランド地域福祉センター	神戸市東灘区向洋町中3-1-6	078-857-3787	六甲アイランドふれあいのまちづくり協議会	前野 正美
神戸市東灘区	向洋地域福祉センター	神戸市東灘区向洋町中6-3-2	078-857-5347	向洋ふれあいのまちづくり協議会	稲荷 眞三
神戸市東灘区	RICふれあい広場	神戸市東灘区向洋町中2-8	078-857-7375	RICふれあい広場運営委員会	飴家 一三
神戸市灘区	灘区ボランティアセンター	神戸市灘区神ノ木通3-6-18 灘区役所1階	078-871-7549	社会福祉法人神戸市灘区社会福祉協議会	松阪太賀志
神戸市灘区	寿ボランティア・グループふれあいの家	神戸市灘区楠丘町2-1-12	078-821-3222	寿ボランティア・グループ	姫野 操子
神戸市灘区	高羽地域福祉センター	神戸市灘区楠丘町4-1-16	078-854-0481	高羽ふれあいのまちづくり協議会	前田 英夫
神戸市灘区	岩屋地域福祉センター	神戸市灘区岩屋北町2-5-3	078-881-4918	岩屋ふれあいのまちづくり協議会	井上 勇
神戸市灘区	鶴甲地域福祉センター	神戸市灘区鶴甲2-10-1	078-822-8709	鶴甲ふれあいのまちづくり協議会	伊藤美智子
神戸市灘区	西郷地域福祉センター	神戸市灘区大石北町8-1	078-882-0331	西郷ふれあいのまちづくり協議会	松井 啓祐
神戸市灘区	王子地域福祉センター	神戸市灘区中原通7-5-1	078-881-9587	王子ふれあいのまちづくり協議会	吉村 春子
神戸市灘区	篠原地域福祉センター	神戸市灘区篠原北町2-2-37	078-801-5627	篠原ふれあいのまちづくり協議会	中村 俱久
神戸市灘区	成徳地域福祉センター	神戸市灘区備後町1-3-1	078-822-6211	成徳ふれあいのまちづくり協議会	関 朝宗
神戸市灘区	稗田地域福祉センター	神戸市灘区倉石通4-1-10	078-801-4340	稗田ふれあいのまちづくり協議会	岡松 時哉
神戸市灘区	摩耶地域福祉センター	神戸市灘区天城通3-3-7	078-801-2059	摩耶ふれあいのまちづくり協議会	日笠 京子

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
神戸市 灘区	灘在宅福祉センター	神戸市灘区琵琶町2-1-27	078-882-1294	灘在宅福祉センター	赤沢 剛
神戸市 灘区	東部在宅障害者福祉センター	神戸市灘区岩屋北町6-1-4	078-882-5675	東部在宅障害者福祉センター	坪内 勇
神戸市 灘区	サポートステーション灘・つどいの家	神戸市灘区大和町3-1-20	078-842-4365	サポートステーション灘・つどいの家	笹原 順子
神戸市 灘区	灘地域福祉センター	神戸市灘区千旦通1-5-2	078-871-6837	灘ふれあいのまちづくり協議会	市場 愛子
神戸市 灘区	なぎさ地域福祉センター	神戸市灘区摩耶海岸通2-3-4-4番館1F	078-871-6122	なぎさふれあいのまちづくり協議会	濱田 保夫
神戸市 灘区	こころのケアステーション	神戸市灘区深田町2-2-19	078-842-1550	こころのケアステーション	尾野田かよ
神戸市 中央区	小野柄地域福祉センター	神戸市中央区旭通2-22-14	078-221-5666	小野柄ふれあいのまちづくり協議会	広瀬 佳子
神戸市 中央区	若菜地域福祉センター	神戸市中央区神若通2-3-7	078-222-4262	若菜ふれあいのまちづくり協議会	松岡 浩典
神戸市 中央区	市民活動総合支援拠点	神戸市中央区吾妻通4-1-6	078-230-8511	特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所	小森 星兒
神戸市 中央区	神戸YWCA	神戸市中央区二宮町1-12-10	078-231-6201	神戸YWCA	平山 芳子
神戸市 中央区	脇の浜地域福祉センター	神戸市中央区脇浜海岸通3-2	078-231-8300	脇の浜ふれあいのまちづくり協議会	斉藤 勇
神戸市 中央区	中央区ボランティアセンター	神戸市中央区雲井通5-1-1 中央区役所7階	078-232-1447	社会福祉法人 神戸市中央区社会福祉協議会	村井 和子
神戸市 中央区	KOBEふれあいの会 つどいの舎	神戸市中央区宮本通2-1-39 メゾン美和1F	078-241-5186	特定非営利活動法人 KOBEふれあいの会	川口 重義
神戸市 中央区	春日野地域福祉センター	神戸市中央区八雲通1-1-7	078-242-0294	春日野ふれあいのまちづくり協議会	内田 明美
神戸市 中央区	グッドライフ兵庫ヘルパーステーション	神戸市中央区熊内町1-1-8	078-251-0391	グッドライフ兵庫	三戸 加代
神戸市 中央区	特定非営利活動法人 市民活動センター・神戸	神戸市中央区割塚通4-2-6	078-265-3511	特定非営利活動法人 市民活動センター・神戸	中田 豊一
神戸市 中央区	中央在宅福祉センター	神戸市中央区磯上通3-1-32	078-271-1294	中央在宅福祉センター	龍本 節子
神戸市 中央区	旗塚地域福祉センター	神戸市中央区旗塚通4-4-20	078-291-0171	旗塚ふれあいのまちづくり協議会	佐野登代子
神戸市 中央区	吾妻地域福祉センター	神戸市中央区吾妻通5-1-12	078-291-8327	吾妻ふれあいのまちづくり協議会	二宮 英喜
神戸市 中央区	サン・コーポラス住宅	神戸市中央区港島中町2-5-1	078-303-0804	サン・コーポラス住宅(FS)	小林 正平
神戸市 中央区	東急ポートアベニュー商店会	神戸市中央区港島中町3-1-2 アドエイブル内	078-303-7586	東急ポートアベニュー商店会	福永 義明
神戸市 中央区	兵庫県中華料理業生活衛生同業組合	神戸市中央区中山手通3-5-8	078-331-1239	兵庫県中華料理業生活衛生同業組合	黄 棟和
神戸市 中央区	兵庫県鮎商生活衛生同業組合	神戸市中央区下山手通4-14-3	078-331-3350	兵庫県鮎商生活衛生同業組合	楠 秀雄
神戸市 中央区	神戸諏訪山地域福祉センター	神戸市中央区北長狭通4-9-5	078-331-5063	神戸諏訪山ふれあいのまちづくり協議会	清水 弘一
神戸市 中央区	たちばなデイサービスセンター	神戸市中央区橘通3-4-1 市立総合福祉センター3階	078-341-1294	たちばなデイサービスセンター	白井八枝子
神戸市 中央区	橘地域福祉センター	神戸市中央区橘通3-4-1	078-341-6322	橘ふれあいのまちづくり協議会	岡田 明子
神戸市 中央区	コープこうべ神戸中コープセンター	神戸市中央区中町通2-1-18 日本生命神戸駅前ビル12階	078-362-2770	コープこうべ神戸中コープセンター	豊島 博
神戸市 中央区	下山手地域福祉センター	神戸市中央区北長狭通7-3-13	078-362-5844	下山手ふれあいのまちづくり協議会	長尾 禎子
神戸市 中央区	職業能力開発支援センター	神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー12階	078-366-1431	職業能力開発支援センター	森 壽彦
神戸市 兵庫区	サポートステーション永沢	神戸市兵庫区永沢町3-2-7	078-512-1905	プロジェクト1-2	有光 るみ
神戸市 兵庫区	兵庫在宅福祉センター	神戸市兵庫区菊水町10-40	078-521-1294	兵庫在宅福祉センター	小林 明子
神戸市 兵庫区	共働工房みんなよって屋	神戸市兵庫区塚本通4-1-14 1階	078-521-2025	プロジェクト1-2	有光 るみ
神戸市 兵庫区	ひよどり地域福祉センター	神戸市兵庫区鶴越町12-1	078-521-6914	ひよどり地域福祉センター(FS)	乾 坤

資料編1

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
神戸市兵庫区	神戸市立兵庫大開小学校	神戸市兵庫区大開通4-1-39	078-575-4773	神戸市立兵庫大開小学校(FS)	大辻 正忠
神戸市兵庫区	荒田地域福祉センター	神戸市兵庫区荒田町2-19-1	078-575-7056	荒田地区ふれあいのまちづくり協議会	佐野 富三
神戸市兵庫区	兵庫区ボランティアセンター	神戸市兵庫区荒田町1-21-1 兵庫区役所1階	078-579-3304	神戸市兵庫区社会福祉協議会	村田 正雄
神戸市兵庫区	和田岬地域福祉センター	神戸市兵庫区浜山通1-1-5	078-652-3633	和田岬地域福祉センター(FS)	嬉野喜八郎
神戸市北区	第2つくしんぼ共同作業所	神戸市北区筑紫が丘6-3-4	078-583-2942	第2つくしんぼ共同作業所(FS)	福西 悦子
神戸市北区	小部地域福祉センター	神戸市北区鈴蘭台北町4-9-9	078-591-7552	小部ふれあいのまちづくり協議会	小池 茂晴
神戸市北区	北在宅福祉センター	神戸市北区鈴蘭台西町1-26-2	078-592-1294	北在宅福祉センター	青木 啓子
神戸市北区	北区ボランティアセンター	神戸市北区鈴蘭台西町1-25-1 北区役所2階	078-593-9910	社会福祉法人 神戸市北区社会福祉協議会	谷口 良雄
神戸市北区	西すず安心センター「元気クラブ」	神戸市北区北五葉1-13-1	078-595-1500	西すず安心センター	秦 敬
神戸市北区	ひよどり台地域福祉センター	神戸市北区ひよどり台3-8	078-741-6658	ひよどり台ふれあいのまちづくり協議会	小松 正
神戸市北区	シルバーハイツひよどり台	神戸市北区山田町下谷上字中一里山14-1	078-742-3357	シルバーハイツひよどり台(FS)	矢野 愛子
神戸市北区	藤原台地域福祉センター	神戸市北区藤原台中町7-14-16	078-987-0124	藤原台ふれあいのまちづくり協議会	三谷 義一
神戸市長田区	長田ボランティアセンター	神戸市長田区北町3-4-3 長田区役所2階	078-574-2408	神戸市長田区社会福祉協議会	藤吉 敏信
神戸市長田区	プラザ5	神戸市長田区御蔵通5-92-2 みくら5-101	078-576-7964	プラザ5運営委員会	上田 諭信
神戸市長田区	共働作業所くららべーかりー	神戸市長田区三番町2-2-6	078-578-1929	共働作業所くららべーかりー運営委員会	石倉 泰三
神戸市長田区	長田在宅福祉センター	神戸市長田区腕塚町2-1-28	078-611-2015	長田在宅福祉センター	田中 靖人
神戸市長田区	旭若松公会堂	神戸市長田区若松町9-12-14	078-611-4490	旭若松公会堂(FS)	石井 弘利
神戸市長田区	神戸定住外国人支援センター	神戸市長田区若松町2-13-1 PIAZZAビル2F	078-612-2402	神戸定住外国人支援センター	神田 裕
神戸市長田区	宮川地域福祉センター	神戸市長田区長田町2-2-1-501	078-612-4160	宮川ふれあいのまちづくり協議会	荒本 春枝
神戸市長田区	共働作業所トゥモロー編集室	神戸市長田区松野通2-2-2 山吉市場内	078-621-1772	共働作業所トゥモロー編集室	吉良 和人
神戸市長田区	丸山地域福祉センター	神戸市長田区丸山町2-3-50	078-631-2761	丸山地区ふれあいのまちづくり協議会	宮崎 義男
神戸市長田区	大日丘地域福祉センター	神戸市長田区大日丘町3-8-10	078-631-3521	大日丘ふれあいのまちづくり協議会	山名 静子
神戸市長田区	被災地障害者センター	神戸市長田区大塚町6-1-1 池内ビル1F	078-642-0142	特定非営利活動法人 被災地障害者センター	福永 年久
神戸市長田区	駒どりの家	神戸市長田区駒ヶ林町1-3-12	078-642-1949	駒どりの家	福井 初美
神戸市長田区	特定非営利活動法人 パラレルサポート	神戸市長田区戸崎通2-7-1-1F	078-642-2494	特定非営利活動法人 パラレルサポート	寺沢 美香
神戸市長田区	共働作業所 パセリジュニア	神戸市長田区庄山町3-1-11	078-642-2620	共働作業所 パセリジュニア	黒田夕起子
神戸市長田区	細田福祉センター	神戸市長田区細田町7-1-30	078-642-4156	細田福祉センター(FS)	本園 健
神戸市長田区	きっさ はあと	神戸市長田区西代通3-10-16	078-643-1016	ハートワーキングクラブ	東條 義子
神戸市長田区	真野地域福祉センター	神戸市長田区東尻池町6-3-19	078-681-2700	真野ふれあいのまちづくり協議会	田中 節子
神戸市長田区	神戸市立池田児童館	神戸市長田区池田広町41-10	078-691-7019	神戸市立池田児童館(FS)	吉田 英子
神戸市長田区	リーフグリーン (たかとりコミュニティセンター内)	神戸市長田区海運町3-3-8 TCC内	078-731-8577	リーフグリーン	吉本加津子
神戸市須磨区	板宿児童館	神戸市須磨区板宿町1-4-9	078-731-2230	板宿児童館(FS)	桑村源太郎
神戸市須磨区	須磨区社会福祉協議会	神戸市須磨区中島町1-1-1 須磨区役所別棟2階	078-731-4341 内線315	社会福祉法人 須磨区社会福祉協議会	中島 一誠

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
神戸市須磨区	禅昌寺地域福祉センター	神戸市須磨区禅昌寺町2-1-5	078-732-4155	禅昌寺ふれあいのまちづくり協議会	石川 紫朗
神戸市須磨区	東須磨域福祉センター	神戸市須磨区若木町3-5-9	078-732-8957	東須磨ふれあいのまちづくり協議会	日野恵次郎
神戸市須磨区	松風南地域福祉センター	神戸市須磨区松風町5-2-1	078-733-0980	松風南ふれあいのまちづくり協議会	廣岡 肇
神戸市須磨区	須磨の浦地域福祉センター	神戸市須磨区千守町1-1-20	078-733-9857	須磨の浦ふれあいのまちづくり協議会	志賀 昌幸
神戸市須磨区	高倉台地域福祉センター	神戸市須磨区高倉台4-1-4	078-735-5632	高倉台ふれあいのまちづくり協議会	柴田 重彦
神戸市須磨区	西地区自治会館	神戸市須磨区衣掛町1-1	078-735-6454	西地区自治会館(FS)	広岡 肇
神戸市須磨区	須磨在宅福祉センター	神戸市須磨区大田町7-3-15	078-736-1294	須磨在宅福祉センター	清水 謙一
神戸市須磨区	稲葉公園安心コミュニティプラザ	神戸市須磨区南町1丁目 稲葉公園内	078-736-5321	月見山連合自治会	岩田 裕
神戸市須磨区	療育スタッフGネット	神戸市須磨区関守町3-8-2 コーポ関守1F西側	078-737-0366	特定非営利活動法人 療育スタッフGネット	藤原 靖子
神戸市須磨区	自由工房 宙	神戸市須磨区衣掛町2-4-10-1F	078-739-5811	グループ 宙	藤原奈央子
神戸市須磨区	横尾地域福祉センター	神戸市須磨区横尾2-1-1	078-741-2004	横尾ふれあいのまちづくり協議会	美田 周三
神戸市須磨区	コープ横尾組合員集会所	神戸市須磨区横尾1-5	078-743-4501	コープ横尾組合員集会所(Fs)	伴 智代
神戸市須磨区	東落合地域福祉センター	神戸市須磨区東落合3-33-12	078-791-0005	東落合ふれあいのまちづくり協議会	山下 始
神戸市須磨区	菅の台地域福祉センター	神戸市須磨区菅の台4-5	078-791-2888	菅の台ふれあいのまちづくり協議会	神吉 隆
神戸市須磨区	西落合地域福祉センター	神戸市須磨区西落合5-13-20	078-791-3880	西落合ふれあいのまちづくり協議会	清水 善久
神戸市須磨区	竜が台地域福祉センター	神戸市須磨区竜が台5-20	078-793-4030	竜が台ふれあいのまちづくり協議会	中塚 貞義
神戸市須磨区	友が丘地域福祉センター	神戸市須磨区友が丘5-2600-2	078-793-5188	友が丘ふれあいのまちづくり協議会	横山 昭
神戸市須磨区	松尾地域福祉センター	神戸市須磨区北落合3-2-1	078-794-0280	松尾ふれあいのまちづくり協議会	岡本 清春
神戸市須磨区	白川台地域福祉センター	神戸市須磨区白川台7-3-8	078-794-0740	白川台ふれあいのまちづくり協議会	古東 孝俊
神戸市須磨区	南落合地域福祉センター	神戸市須磨区南落合3-11-2	078-794-5314	須磨区南落合ふれあいのまちづくり協議会	原岡かずえ
神戸市須磨区	神の谷地域福祉センター	神戸市須磨区神の谷5-2-1	078-795-1344	神の谷ふれあいのまちづくり協議会	中村 五郎
神戸市須磨区	神戸西助け合いネットワーク	神戸市須磨区西落合2-1-6	078-795-3786	神戸西助け合いネットワーク	在里 俊一
神戸市須磨区	クローバーの会・友が丘作業所	神戸市須磨区友が丘5-5-156	078-795-4078	FWSグループ (福祉ワーキンググループ)	高見 俊一
神戸市垂水区	神戸垂水おやお劇場	神戸市垂水区清水通5-21	078-706-1810	神戸垂水おやお劇場	犬伏 美幸
神戸市垂水区	つつじが丘地域福祉センター	神戸市垂水区つつじが丘4-6-7	078-707-5840	つつじが丘ふれあいまちづくり協議会	長谷川和子
神戸市垂水区	星が丘ホーム	神戸市垂水区星が丘3-2-23	078-708-3233	NPO福祉ネット星が丘	三木 熊雄
神戸市垂水区	霞ヶ丘地域福祉センター	神戸市垂水区五色山4-15-8	078-709-8080	霞ヶ丘地域福祉センター(FS)	野口 和子
神戸市垂水区	垂水在宅福祉センター	神戸市垂水区平磯1-2-5	078-751-1294	垂水在宅福祉センター	吉田 史朗
神戸市垂水区	輝たかまる	神戸市垂水区坂上3-2-31	078-751-8581	特定非営利活動法人 輝たかまる	杉山 力子
神戸市垂水区	塩屋地域福祉センター	神戸市垂水区塩屋町4-3-9	078-752-7988	塩屋ふれあいのまちづくり協議会	三浦 定夫
神戸市垂水区	東垂水地域福祉センター	神戸市垂水区王居殿2-5-25	078-753-6002	東垂水ふれあいのまちづくり協議会	圓尾 義子
神戸市垂水区	本多間地域福祉センター	神戸市垂水区本多間4-1-2	078-781-8802	本多間ふれあいのまちづくり協議会	山口 啓一
神戸市垂水区	多間東地域福祉センター	神戸市垂水区学が丘4-3-7	078-784-8210	多間東ふれあいのまちづくり協議会	浅野松太郎

資料編 I

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
神戸市垂水区	多聞南地域福祉センター	神戸市垂水区本多聞6-8-12	078-785-2558	多聞南ふれあいのまちづくり協議会	羽田 勇
神戸市垂水区	多聞台地域福祉センター	神戸市垂水区多聞台4-14-9	078-785-7030	多聞台ふれあいのまちづくり協議会	藤田 昭子
神戸市垂水区	神陵台地域福祉センター	神戸市垂水区南多聞台1-8-8	078-785-7224	神陵台ふれあいのまちづくり協議会	小林 昌夫
神戸市垂水区	ベルデ名谷集会所	神戸市垂水区名谷町字高曾2292-10	078-796-3156	ベルデ名谷友愛訪問グループ	葛城マツホ
神戸市西区	学園地域福祉センター	神戸市西区学園西町5-2-3	078-792-9572	学園ふれあいのまちづくり協議会	西谷 春治
神戸市西区	YMCA西神戸地域活動センター	神戸市西区学園東町2-1-3	078-793-7402	神戸YMCA西神戸地域活動センター	小澤 昌甲
神戸市西区	学園東地域福祉センター	神戸市西区学園東町5-4	078-795-3581	学園東ふれあいのまちづくり協議会	森田 修三
神戸市西区	高津橋地域福祉センター	神戸市西区玉津町高津橋188	078-914-6336	高津橋ふれあいのまちづくり協議会	岡本 賢二
神戸市西区	玉津地域福祉センター	神戸市西区玉津町出合字古瀬204-4	078-925-3253	玉津ふれあいのまちづくり協議会	上中 源治
神戸市西区	出合地域福祉センター	神戸市西区王塚台5-73	078-927-1201	出合ふれあいのまちづくり協議会	桑原 和志
神戸市西区	枝吉児童館	神戸市西区枝吉4-26	078-927-5617	枝吉児童館(FS)	井ノ上洋子
神戸市西区	西在宅福祉センター	神戸市西区春日台5-174-10	078-961-1294	西在宅福祉センター	本田 幹雄
神戸市西区	美賀多台地域福祉センター	神戸市西区美賀多台3-13-4	078-961-6392	美賀多台ふれあいのまちづくり協議会	小林 茂好
神戸市西区	ヴァンヴェールK2管理事務所	神戸市西区美賀多台1-9-2	078-991-7539	ヴァンヴェールK2管理事務所(FS)	幸福 敏一
神戸市西区	櫻野台地域福祉センター	神戸市西区櫻野台5-4-2	078-991-9922	櫻野台ふれあいのまちづくり協議会	渡邊 實
神戸市西区	靴台地域福祉センター	神戸市西区靴台3-32-6	078-992-4178	靴台ふれあいのまちづくり協議会	島原 文男
神戸市西区	狩場台地域福祉センター	神戸市西区狩場台3-6-2	078-992-8408	狩場台ふれあいのまちづくり協議会	宮本 英夫
神戸市西区	北山地域福祉センター	神戸市西区北山台3-26-1	078-994-1195	北山ふれあいのまちづくり協議会	澤村蔵之助
神戸市西区	月が丘地域福祉センター	神戸市西区月が丘5-1-12	078-995-1195	月が丘ふれあいのまちづくり協議会	穂本 治男
神戸市西区	桜が丘地域福祉センター	神戸市西区桜が丘東町1-3-1	078-995-2298	桜が丘ふれあいのまちづくり協議会	山崎 敏輝
神戸市西区	井吹西地域福祉センター	神戸市西区井吹西町4-4	078-996-3006	井吹西ふれあいのまちづくり協議会	白波瀬敏夫
神戸市西区	井吹東地域福祉センター	神戸市西区井吹台東町4-21-2	078-996-3569	井吹東ふれあいのまちづくり協議会	白波瀬敏夫
尼崎市	グループハウス健寿荘	尼崎市金楽寺町2-10-1	06-4868-3590	NPO在宅福祉支援グループ コスモス	清水志津子
尼崎市	尼崎商工会議所	尼崎市昭和通3-96	06-6411-2251	尼崎商工会議所	氏平 競重
尼崎市	尼崎市立大庄公民館	尼崎市大庄西町3-6-14	06-6416-0159	尼崎市立大庄公民館	小河 博
尼崎市	塚口コープ	尼崎市塚口町1-16-1	06-6421-1503	塚口コープ(FS)	佐々木ゆき
尼崎市	尼崎市立立花公民館	尼崎市塚口町3-39-7	06-6422-6741	尼崎市立立花公民館	石本栄三郎
尼崎市	医療法人正道会在宅介護支援センターほうびいん名和	尼崎市久々知西町2-2-7	06-6428-7666	医療法人正道会在宅介護支援センターほうびいん名和	作道 義治
尼崎市	WACゆずり葉サロン	尼崎市立花町2-13-31	06-6429-8568	社団法人 長寿社会文化協会 WACゆずり葉	桑山 信子
尼崎市	尼崎市立武庫公民館	尼崎市武庫之荘8-1-1	06-6432-1177	尼崎市立武庫公民館	竹内 雅子
尼崎市	尼崎女性センターテレビエ	尼崎市南武庫之荘3-36-1	06-6436-6331	尼崎女性センターテレビエ(FS)	岡田 陽子
尼崎市	尼崎市立中央公民館	尼崎市西難波町6-14-30	06-6482-1750	尼崎市立中央公民館	福田 耕三
尼崎市	特定非営利活動法人シンフォニー	尼崎市北城内88-4-2-106	06-6483-2328	特定非営利活動法人シンフォニー	山崎 勲

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
尼崎市	尼崎市立園田公民館	尼崎市食満2-1-1	06-6491-5496	尼崎市立園田公民館	山本 敏雄
尼崎市	尼崎市立園田地区会館	尼崎市東園田町4-12-4	06-6493-0140	尼崎市立園田地区会館(FS)	園田 政子
尼崎市	尼崎市立小田公民館	尼崎市潮江1-11-1-101	06-6495-3181	尼崎市立小田公民館	大内 建
尼崎市	園田苑在宅介護支援センター	尼崎市小中島2-10-20	06-6495-3581	社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑在宅介護支援センター	岩下 維亮
西宮市	西宮市立山口公民館	西宮市山口町下山口4-3-8	078-904-0287	西宮市立山口公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立塩瀬公民館	西宮市名塩新町1	0797-61-0321	西宮市立塩瀬公民館	松村 政信
西宮市	東山台ボランティアセンター	西宮市東山台4-10	0797-63-2822	東山台ボランティアセンター(FS)	東野 弘美
西宮市	西宮市立今津公民館	西宮市今津水波町9-28	0798-22-3529	西宮市立今津公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立用海公民館	西宮市石在町10-21	0798-26-0532	西宮市立用海公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立浜脇公民館	西宮市浜脇町5-14	0798-26-0656	西宮市立浜脇公民館	松村 政信
西宮市	西宮・地域たすけあいネットワーク	西宮市宮前町7-21-101	0798-26-2855	西宮地域たすけあいネットワーク	岡本 順子
西宮市	西宮市立春風公民館	西宮市甲子園春風町2-21	0798-33-1123	西宮市立春風公民館	松村 政信
西宮市	西宮商工会議所	西宮市榎塚町2-20	0798-33-1131	西宮商工会議所	辰馬 寛男
西宮市	西宮市立夙川公民館	西宮市羽衣町1-39	0798-33-1928	西宮市立夙川公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立西宮浜公民館	西宮市西宮浜4-13-1	0798-34-2002	西宮市立西宮浜公民館	松村 政信
西宮市	夙川西市民館	西宮市大谷町3-50	0798-35-4005	夙川西市民館(FS)	大河内圓江
西宮市	西宮YMCA	西宮市神楽町5-23	0798-35-5987	西宮YMCA	馬場 一郎
西宮市	西宮市香榎園市民館	西宮市中浜町3-15	0798-35-9197	西宮市香榎園市民館(FS)	山本 則男
西宮市	特定非営利活動法人 日本災害 救援ボランティアネットワーク	西宮市上甲子園5-1-1	0798-36-9900	特定非営利活動法人 日本災害 救援ボランティアネットワーク	田中 稔昭
西宮市	西宮市立学文公民館	西宮市学文殿町2-4-24	0798-41-6050	西宮市立学文公民館	松村 政信
西宮市	夢作業所	西宮市鳴尾町2-25-10 栄マンション	0798-41-9677	夢作業所	中野 英一
西宮市	西宮市立鳴尾公民館	西宮市鳴尾町1-8-2	0798-47-3838	西宮市立鳴尾公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立鳴尾東公民館	西宮市東鳴尾町1-9-1	0798-49-1300	西宮市立鳴尾東公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立高須公民館	西宮市高須町2-1-35	0798-49-1312	西宮市立高須公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立南甲子園公民館	西宮市甲子園9番町15-40	0798-49-4741	西宮市立南甲子園公民館	松村 政信
西宮市	コープ武庫川	西宮市高須町1-1-2-101	0798-49-6503	コープ武庫川(FS)	吉田 昭子
西宮市	西宮市立甲東公民館	西宮市上甲東園2-11-60	0798-51-3748	西宮市立甲東公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立段上公民館	西宮市段上町2-10-3	0798-53-0931	西宮市立段上公民館	松村 政信
西宮市	段上センター	西宮市段上町2-10-23	0798-53-8304	段上センター(FS)	久野アイ子
西宮市	プレーンヒューマニティー	西宮市甲風園1-3-12カミヤビル3階	0798-63-4441	特定非営利活動法人 プレーンヒューマニティー	能島 裕介
西宮市	木馬の会	西宮市森下町11-24-111	0798-64-5830	木馬の会	岩波 真理
西宮市	北瓦木センター	西宮市上之町24-40	0798-65-0600	フェニックスひのくち	中村賢一郎
西宮市	西宮市立瓦木公民館	西宮市瓦林町8-1	0798-65-0660	西宮市立瓦木公民館	松村 政信

資料編 1

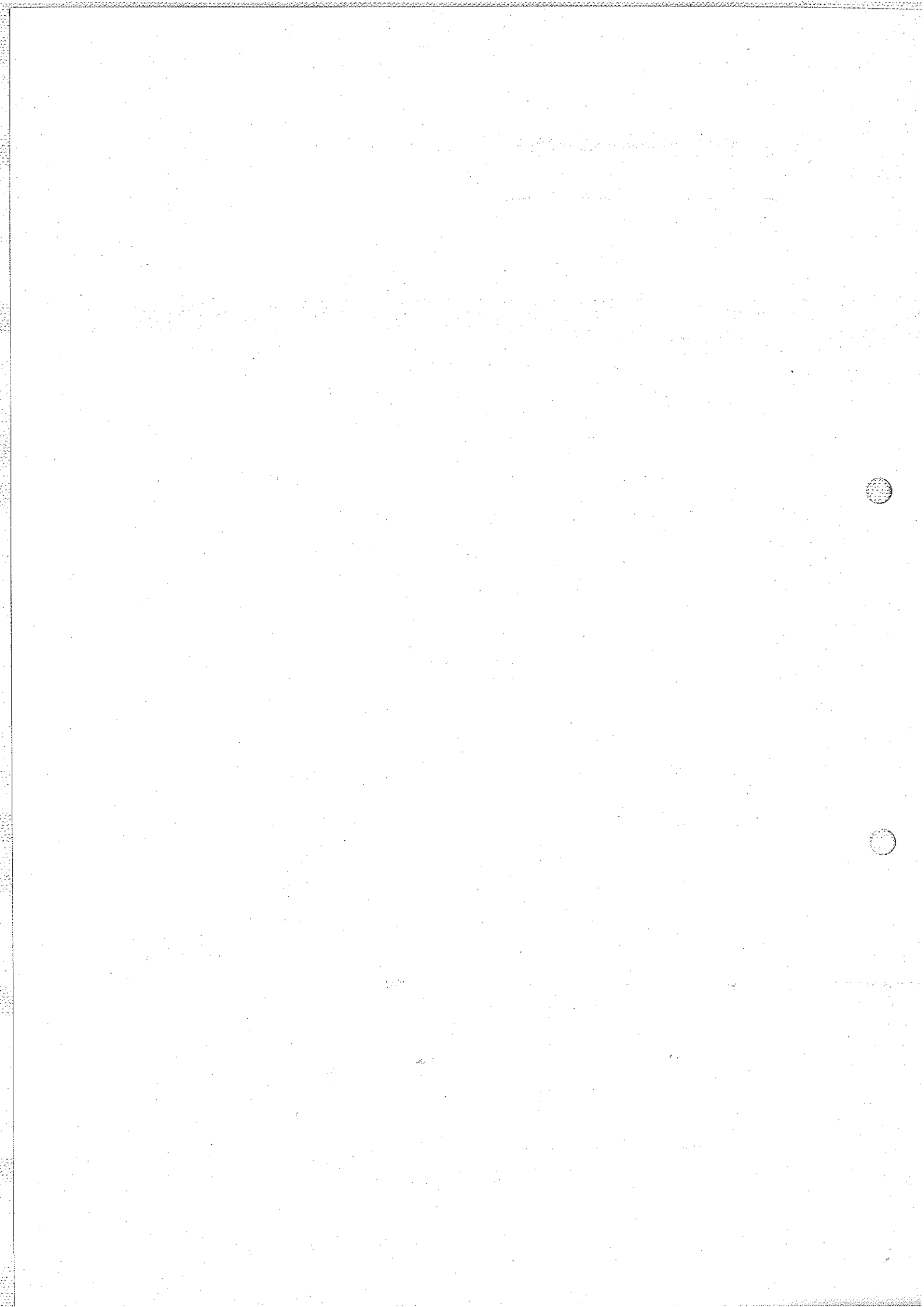
市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
西宮市	西宮市立高木公民館	西宮市高木東町15-10	0798-65-1569	西宮市立高木公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立中央公民館	西宮市高松町4-8	0798-67-1567	西宮市立中央公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立上甲子園公民館	西宮市甲子園口3-9-26	0798-67-4329	西宮市立上甲子園公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立若竹公民館	西宮市西福町15-12	0798-67-7171	西宮市立若竹公民館	松村 政信
西宮市	西宮コープ福祉・ボランティアセンター	西宮市甲風園1-8-1	0798-67-8927	西宮コープ福祉・ボランティアセンター	所崎 旦
西宮市	西宮市立大社公民館	西宮市柳本町1-37	0798-71-3649	西宮市立大社公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立神原公民館	西宮市神原6-11	0798-71-7444	西宮市立神原公民館	松村 政信
西宮市	特別養護老人ホーム甲寿園	西宮市甲山町53	0798-71-8236	特別養護老人ホーム甲寿園	松岡 信哉
西宮市	西宮市立上ヶ原公民館	西宮市六軒町1-32	0798-72-7286	西宮市立上ヶ原公民館	松村 政信
西宮市	西宮市立越木岩公民館	西宮市樋之池町5-29	0798-72-7521	西宮市立越木岩公民館	松村 政信
西宮市	コープ夙川	西宮市若松町4-1	0798-74-1414	コープ夙川(FS)	田中 逸男
西宮市	越木岩会館	西宮市豊楽町2-29	0798-74-2110	越木岩会館(FS)	大石 伸雄
西宮市	くつろぎの家 らく	西宮市松風町3-15 富楽ハイツ1F	0798-75-5233	地域密着型デイサービスホーム くつろぎの家 らく	前田基久子
芦屋市	芦屋市立上宮川文化センター	芦屋市上宮川町10-5	0797-22-9229	芦屋市立上宮川文化センター	平川 勉
芦屋市	芦屋市立図書館	芦屋市伊勢町12-5	0797-31-2301	芦屋市立図書館(FS)	半田 孝代
芦屋市	あしや喜楽苑	芦屋市潮見町31-1	0797-34-9287	社会福祉法人 尼崎老人福祉会	衣川 哲夫
伊丹市	知的障害者通所授産施設ゆうゆう	伊丹市鴻池字南畑1-2	0727-77-7486	社会福祉法人 いたみ杉の子	久野 茂治
伊丹市	T.C.C(トータル・コミュニケーション・センター)	伊丹市昆陽池2-160 T.C.C内	0727-77-8066	T.C.C(トータル・コミュニケーション・センター)	赤松 弘揮
伊丹市	サンシティホール	伊丹市中野西1-148-1	0727-83-2350	サンシティホール(FS)	石井 裕子
伊丹市	伊丹市立中央公民館	伊丹市千僧1-1-1	0727-84-8000	伊丹市立中央公民館	梅本 照雄
宝塚市	小林会館	宝塚市小林1-3-20	0797-72-6503	小林自治会	岩田 貞雄
宝塚市	宝塚YMCA	宝塚市伊子志3-14-59 プリメロイトビル1F	0797-72-9055	宝塚YMCA	馬場 一郎
宝塚市	光明地区センター	宝塚市光明町10-24 光明デイサービスセンター内	0797-74-3690	社会福祉法人 宝塚市社会福祉協議会	谷口 勇
宝塚市	山本合同利用施設	宝塚市山本東2-2-1 アイアイパーク内	0797-82-3570	山本合同利用施設(FS)	堀 信義
宝塚市	生活協同組合コープこうべ 宝塚コープセンター	宝塚市売布2-5-1 ピビアめふ12階	0797-83-1015	生活協同組合コープこうべ 宝塚コープセンター	木戸 正勝
宝塚市	旭町会館	宝塚市旭町2-22-37	0797-84-4301	旭町会館(FS)	松本多貴子
宝塚市	美座会館	宝塚市美座2-10-1	0797-85-1497	美座会館管理運営委員会	奥川 浩
宝塚市	スマイル・ルーム	宝塚市川面5-13-5 2F	0797-85-2004	子育て支援グループ スマイル	亀井 幸江
宝塚市	宝塚市立女性センター	宝塚市栄町2-1-2 ソリオ2 4階	0797-86-4006	宝塚市立女性センター	正司泰一郎
宝塚市	売布会館	宝塚市売布1-7-1	0797-87-5314	売布会館	松崎 哲育
宝塚市	中山台会館	宝塚市中山桜台2-2-6	0797-88-4340	中山台会館(FS)	安藤 純子
宝塚市	長尾南会館	宝塚市山本丸橋2-1-1	0797-89-7359	丸橋自治会	阪上源之介
宝塚市	中山台コミュニティセンター	宝塚市中山桜台5丁目15番2号	0797-89-9605	宝塚市	正司泰一郎

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
宝塚市	宝塚市立自然休養村センター	宝塚市大原野字南宮2-7	0797-91-0001	西谷地区まちづくり協議会	前坂 定義
川西市	川西市大和自治会	川西市大和西4-1-1	0727-94-0375	川西市大和自治会	木村 治久
川西市	川西市けやき坂公民館	川西市けやき坂2丁目63-1	0727-98-0770	川西市けやき坂公民館	久野 龍巳
川西市	託老デイホーム&サロン ぬくもりの家	川西市清和台東5-1-4	0727-99-1008	川西コミュニティケア研究会	高木 玲子
明石市	明石市立大蔵コミュニティセンター	明石市西朝霧丘4-7	078-912-3620	明石市立大蔵コミュニティセンター	古川 肇
明石市	明石市立朝霧コミュニティセンター	明石市松が丘5-7-1	078-912-7084	朝霧コミュニティセンター	垣谷 忠彦
明石市	明石市立朝霧北コミュニティセンター	明石市大蔵谷奥4-1	078-913-0633	明石市立朝霧北コミュニティセンター	垣谷 忠彦
明石市	コープこうべ明石コープセンター	明石市大明石町2-1-29	078-914-2636	コープこうべ明石コープセンター	大川 保
明石市	明石市立中央公民館(分室)	明石市明石公園1-27	078-917-1601	明石市立中央公民館	藤井 善年
明石市	明石市立錦城コミュニティセンター	明石市上ノ丸3-1-11	078-918-1612	明石市立錦城コミュニティセンター	筒崎 彰康
明石市	明石法律事務所	明石市天文町2-1-20	078-919-1122	明石NPO支援センター準備室	泉 房穂
明石市	明石市立衣川コミュニティセンター	明石市田町2-1-18	078-922-4700	明石市立衣川コミュニティセンター	澁谷 博隆
明石市	明石市立望海コミュニティセンター	明石市西明石南町1-1-33	078-923-1439	明石市立望海コミュニティセンター	後藤 正彦
明石市	明石市立林コミュニティセンター	明石市林崎町1-11-2	078-923-7314	明石市立林コミュニティセンター	大西 玲子
明石市	明石市立野々池コミュニティセンター	明石市沢野1-3-1	078-929-0355	明石市立野々池コミュニティセンター	秋山 隆教
明石市	ウエルフェア・グランデ・ 明石 在宅介護支援センター	明石市北王子町13-41	078-929-2630	社会福祉法人 山輝会 ウェルフェア・ グランデ・明石 在宅介護支援センター	山口 紀子
明石市	明石市立大久保北コミュニティセンター	明石市大久保町大窪2030	078-935-3588	明石市立大久保北コミュニティセンター	田中 錦也
明石市	明石市立高丘コミュニティセンター	明石市大久保町高丘3-3	078-935-5325	明石市立高丘コミュニティセンター	高見 慶吾
明石市	明石市立谷八木コミュニティセンター	明石市大久保町谷八木878	078-935-7720	谷八木コミュニティセンター運営委員会	栗山 麻男
明石市	明石市大久保市民センター	明石市大久保町大窪612-1	078-936-0814	明石市大久保市民センター	山田 恵一
明石市	明石市立大久保コミュニティセンター	明石市大久保町大久保町200	078-936-0879	明石市立大久保コミュニティセンター	武内 丈夫
明石市	明石市立大久保南小コミュニティセンター	明石市大久保町ゆりのき通3-1	078-937-7338	大久保南小コミュニティセンター	後藤ミエ子
明石市	高丘在宅介護支援センター恵泉	明石市大久保町大窪3101-1	078-938-2121	社会福祉法人 明石恵泉福祉会	石井 三郎
明石市	大久保北在宅介護支援センター恵泉	明石市大久保町大窪2041-3	078-938-2395	社会福祉法人 明石恵泉福祉会	石井 三郎
明石市	明石市立魚住コミュニティセンター	明石市魚住町清水364	078-943-0303	明石市立魚住コミュニティセンター	池澤 典昭
明石市	明石市立二見コミュニティセンター	明石市二見町西二見597-2 西部文化会館内	078-943-6741	二見コミュニティセンター	魚住 一久
明石市	江井ヶ島作業所	明石市大久保町江井ヶ島638	078-946-4351	江井ヶ島作業所	村松 敬
明石市	明石市立江井島コミュニティセンター	明石市大久保町西島680-5	078-947-0073	明石市立江井島コミュニティセンター	角谷 勉
明石市	明石市立魚住東コミュニティセンター	明石市魚住町金ヶ崎1687-14	078-947-0199	魚住東コミュニティセンター	和田 兌
三木市	三木商工会議所	三木市本町2-1-18	0794-82-3190	三木商工会議所	岡田 保
三木市	青山公民館	三木市志染町青山3-15-2	0794-87-1300	青山公民館(Fs)	茂木美知子
洲本市	洲本中央公民館	洲本市山手3-3-2	0799-22-1280	洲本中央公民館	立田 只好
洲本市	洲本千草公民館	洲本市千草甲221-7	0799-23-0516	洲本千草公民館	富本 節子

資料編1

市町	施設名	所在地(施)	TEL(施)	団体等名	代表者名
洲本市	洲本市大野公民館	洲本市大野1404	0799-24-3602	洲本市大野公民館	川口 齊
洲本市	洲本市加茂公民館	洲本市下内膳470	0799-24-4783	洲本市加茂公民館	小森 靖
洲本市	かけはし会館	洲本市栄町3-1-52	0799-26-1810	グループかけはし	仲野 絃介
洲本市	洲本市立由良公民館	洲本市由良1-6-10	0799-27-2167	洲本市立由良公民館	中島 襄兒
洲本市	洲本市立安乎公民館	洲本市安乎町中田11-2	0799-28-0007	洲本市立安乎公民館	古形喜代巳
洲本市	洲本市立中川原公民館	洲本市中川原町中川原908	0799-28-1024	洲本市立中川原公民館	畑田 孝夫
津名郡 津名町	しづのおだまき館	津名郡津名町志筑3117-1	0799-62-0157	津名町中央公民館	西岡善一郎
津名郡 津名町	津名町立しづかホール	津名郡津名町志筑新島5-4	0799-62-2001	津名町立しづかホール	増田 春治
津名郡 津名町	津名町立図書館	津名郡津名町志筑818-1	0799-62-2345	津名町立図書館	増田 春治
津名郡 淡路町	淡路町公民館	津名郡淡路町岩屋515-1	0799-72-3105	淡路町ふれあいのまちづくり協議会	東根 賢次
津名郡 一宮町	一宮町中央公民館	津名郡一宮町郡家396-1	0799-85-0509	一宮町中央公民館(FS)	高橋 武信
津名郡 五色町	中山間総合活性化センター	津名郡五色町鮎原宇谷352	0799-32-1211	五色町教育委員会	十川 英二
津名郡 五色町	五色町すこやか子育てセンター	津名郡五色町鮎原西142-4	0799-32-1433	五色町教育委員会	十川 英二
津名郡 五色町	五色町中央公民館	津名郡五色町都志170	0799-33-0160	五色町中央公民館	三田 弘
津名郡 五色町	全天候型多目的運動広場	津名郡五色町都志1087	0799-33-0343	財団法人 五色町ふるさと振興公社	砂尾 治
津名郡 五色町	高田屋顕彰館	津名郡五色町都志1087	0799-33-0354	五色町ふるさと振興公社	砂尾 治
三原郡 緑町	緑町商工会	三原郡緑町広田広田1057-1	0799-45-0396	緑町商工会	斉藤 勝巳
三原郡 緑町	特別養護老人ホーム緑風館	三原郡緑町広田中筋1025-19	0799-45-1718	特別養護老人ホーム緑風館	凧 博也
三原郡 西淡町	西淡町社会教育センター	三原郡西淡町松帆古津路978-71	0799-36-2027	西淡町社会教育センター	西岡 幸子
三原郡 西淡町	松帆活性化センター	三原郡西淡町松帆高屋丙100-1	0799-36-2137	松帆活性化センター	富岡 純
三原郡 西淡町	西淡町商工会	三原郡西淡町湊61-1	0799-36-2275	西淡町商工会	志智 宣夫
三原郡 西淡町	西淡町立滝川記念美術館玉青館	三原郡西淡町松帆西路1137-1	0799-36-2314	西淡町立滝川記念美術館玉青館	福岡 久雄
三原郡 西淡町	西淡町中央公民館図書室	三原郡西淡町湊90-1	0799-36-3800	西淡町中央公民館図書室	福岡 久雄
三原郡 西淡町	魚彩館	三原郡西淡町阿那賀丸山漁港	0799-39-0399	魚彩館	小磯 富男
三原郡 三原町	三原町社会福祉協議会	三原郡三原町市345-1	0799-42-4966	三原町社会福祉協議会(FS)	木田 薫
三原郡 南淡町	和太鼓「美鼓音」	三原郡南淡町福良乙934-6	0799-52-0808	和太鼓「美鼓音」	楓 るみ子
三原郡 南淡町	南淡町賀集公民館	三原郡南淡町賀集1053	0799-54-0331	南淡町賀集公民館	大濱 恵史

IV 資料編 2



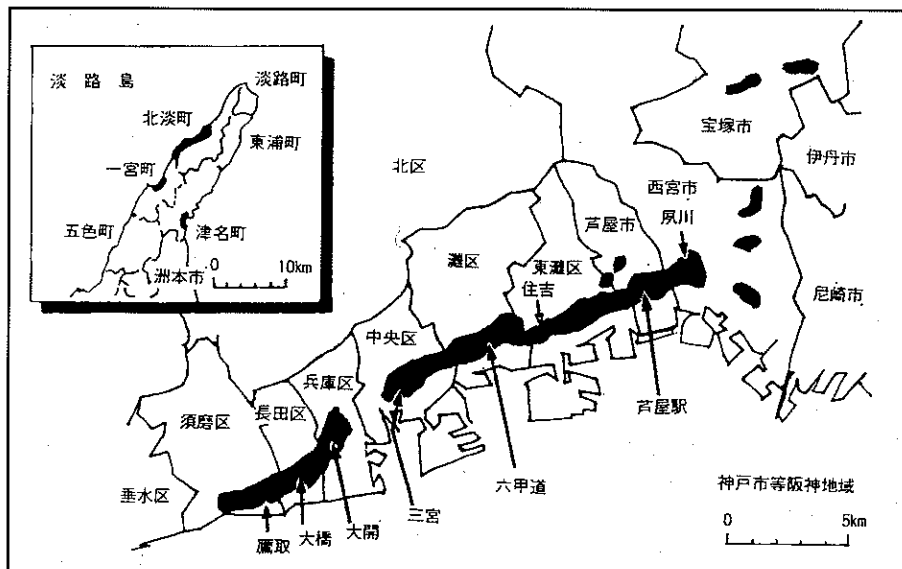
◆ I 阪神・淡路大震災の被害状況 ◆

1 地震の概要

平成7年1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源地とするマグニチュード7.3の大地震が発生した。人類未曾有の高齢社会下における都市直下型地震であり、甚大な人的被害と家屋の倒壊・焼失、都市基盤の損壊、商業・業務機能の停滞といった様々な被害を引き起こした。

震源地	淡路島北部（北緯34度36分、東経135度02分）
震源の深さ	16km
規模	マグニチュード7.3
各地の震度	7（神戸、芦屋、西宮、宝塚、北淡、一宮、津名の一部） 6（神戸、洲本） 5（豊岡） 4（姫路など）

震度7の地域



〔平成8年版 今日気象業務〕気象庁編 1996年6月による

2 地震の特徴

- (1) 人口350万人余りが密集し、わが国の経済活動の中核を担う淡路島北部から神戸市及び阪神地域の直下で発生した内陸・都市直下型地震であった。
- (2) 深さ14kmという比較的浅い部分で発生し、断層が横にずれることにより起ったもので、大きなエネルギーが一挙に解放されるタイプであった。このため地震の継続時間が短い半面、振幅が最大18cmと観測史上最大になるといふ強い揺れを観測した。

3 被害の特徴

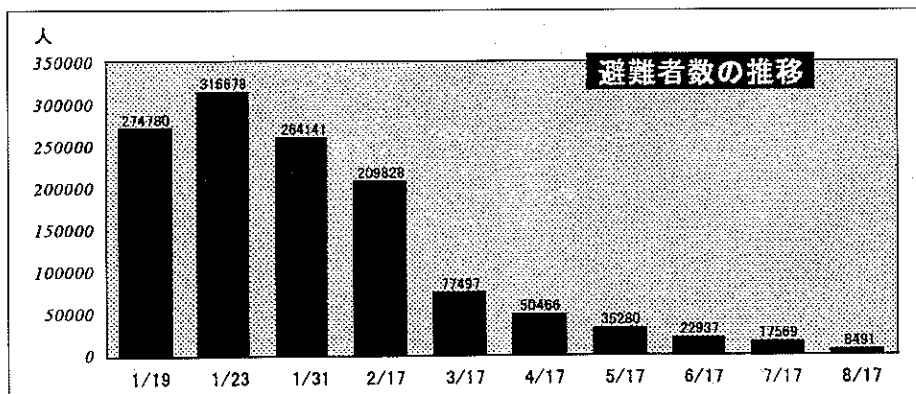
- (1) 大都市を直撃した地震のため、電気、水道、ガスなど被害が広範囲になるとともに、新幹線、高速道路、新交通システム、都市間交通・地下鉄が破壊し、生活必需基盤（ライフライン）に壊滅的な打撃を与えた。

資料編 II

- (2) 古い木造住宅の密集した地域において、地震による大規模な倒壊、火災が発生し、特に、神戸市兵庫区、長田区などでは大火災が多発した。
- (3) 戦後50年間、近畿には特に大きい地震が無く、各分野において緊急事態への備えが十分であったとは言えないなか、未曾有（みぞう）の大地震により災害の規模が広がった。神戸・阪神地域というわが国多数の人口密集地に発生したため、最大31万人を超える住民が避難所での生活を余儀なくされた。

4 兵庫県内の被害状況等（平成13年12月27日現在）

- (1) 災害救助法の適用 10市10町
（神戸・尼崎・明石・西宮・洲本・芦屋・伊丹・宝塚・三木・川西の10市、津名・淡路・北淡・一宮・五色・東浦・緑・西淡・三原・南淡の10町）
- (2) 死者数 6,400人
※関連死を除いた死因では窒息・圧死が77.0%、年齢別では65歳以上が43.7%を占める
- (3) 行方不明 3人
- (4) 負傷者数 40,092人
- (5) 家屋被害 248,412棟 448,928世帯
 - ① 全壊家屋（全焼を含む） 111,123棟 191,617世帯
 - ② 半壊家屋（半焼を含む） 137,289棟 257,311世帯
- (6) 避難者数（ピーク時：H7.1.23） 316,678人 1,153箇所



※応急仮設住宅が全て完成したことに伴い、平成7年8月20日をもって災害救助法による避難所の設置運営を終了

5 ライフラインの被害と復旧

区分	主な被害	復旧年月日
電気	約260万戸が停電（大阪府北部含）	H7.1.23 倒壊家屋等除き復旧
ガス	約84万5千戸が供給停止	H7.4.11 倒壊家屋等除き復旧
水道	約127万戸が断水	H7.2.28 仮復旧完了
		H7.4.17 全戸通水完了
下水道	被災施設：18処理場、47ポンプ場 管渠延長約316km	H7.4.20 仮復旧完了
		H11.4.27 復旧工事完了
電話	交換機系：約28万5千回線が不通 加入者系：約19万3千回線が不通	H7.1.18 交換設備復旧完了
		H7.1.31 倒壊家屋等除き復旧

6 鉄道・道路の復旧

鉄 道	復旧完了日
J R 山陽新幹線	H 7. 4. 8
J R 東海道・山陽線	H 7. 4. 1
阪 神 電 鉄	H 7. 6. 26
阪 急 電 鉄	H 7. 6. 12
神 戸 電 鉄	H 7. 6. 22
山 陽 電 鉄	H 7. 6. 18
神戸市営地下鉄	H 7. 2. 16
神戸新交通	H 7. 8. 23
神戸高速鉄道	H 7. 8. 13

道 路	復旧完了日
阪神高速道路(神戸線)	H 8. 9. 30
// (湾岸線)	H 7. 9. 1
// (北神戸線)	H 7. 2. 25
名神高速道路	H 7. 7. 29
第二神明道路	H 7. 2. 25
中国自動車道	H 7. 7. 21

7 被害総額

9兆9,268億円(平成7年4月5日推計)

項 目	被 害 額
① 建築物	約 5兆8,000億円
② 鉄 道	約 3,439億円
③ 高速道路	約 5,500億円
④ 公共土木施設(高速道路を除く)	約 2,961億円
⑤ 港 湾	約 1兆円
⑥ 埋立地	約 64億円
⑦ 文教施設	約 3,352億円
⑧ 農林水産関係	約 1,181億円
⑨ 保健医療・福祉関係施設	約 1,733億円
⑩ 廃棄物処理、し尿処理施設	約 44億円
⑪ 水道施設	約 541億円
⑫ ガス・電気	約 4,200億円
⑬ 通信・放送施設	約 1,202億円
⑭ 商工関係	約 6,300億円
⑮ その他の公共施設等	約 751億円
合 計	約 9兆9,268億円

8 義援金受入額

1,793億円(平成14年3月31日現在)

◆ II 生活復興への足どり ◆

【緊急復興3か年計画の進捗状況】

復興に向けた取り組みのうち、特に緊急を要するインフラ、住宅、産業の3分野について、「緊急復興3か年計画」を策定。この計画の推進により、震災前の水準に戻すという目標は、平成10年3月総量的にほぼ達成された。

区分	インフラ	住宅	産業
計画目標	57,000億円 (予算ベース)	125,000戸 (発注ベース)	100.0 (純生産ベース)
達成状況	58,700億円 (103%)	169,000戸 (135%)	101.7

(注) 達成状況欄

- ・インフラ：平成9年度までの累計
- ・住宅：平成10年3月末までの累計（公団・公社賃貸住宅の空家募集含む）
- ・産業：平成9年度の純生産を、震災前（平成5年度）を100として比較したもの（建設業除く）

【人口の推移】

平成13年11月1日推計人口により、被災地全体の人口が初めて震災前を上回った。

なお、最も落ち込んだのは平成8年4月1日推計人口：3,426,847人（△162,279人）。

区分	H7.1.1	H7.10.1	H8.10.1	H9.10.1	H10.10.1	H11.10.1	H12.10.1	H13.10.1	H14.3.1
被災地	3,589,126 (100)	3,442,310 (95.9)	3,442,447 (95.9)	3,458,286 (96.4)	3,479,968 (97.0)	3,500,472 (97.5)	3,569,392 (99.5)	3,587,605 (99.9)	3,592,498 (100.1)
兵庫県	5,526,689 (100)	5,401,877 (97.7)	5,416,747 (98.0)	5,442,131 (98.5)	5,470,169 (99.0)	5,494,441 (99.4)	5,550,574 (100.4)	5,568,305 (100.8)	5,572,705 (100.8)

※（ ）内の数値はH7.1.1との比較。H7.10.1とH12.10.1は国勢調査人口、その他は推計人口。

【市区町別人口の状況】

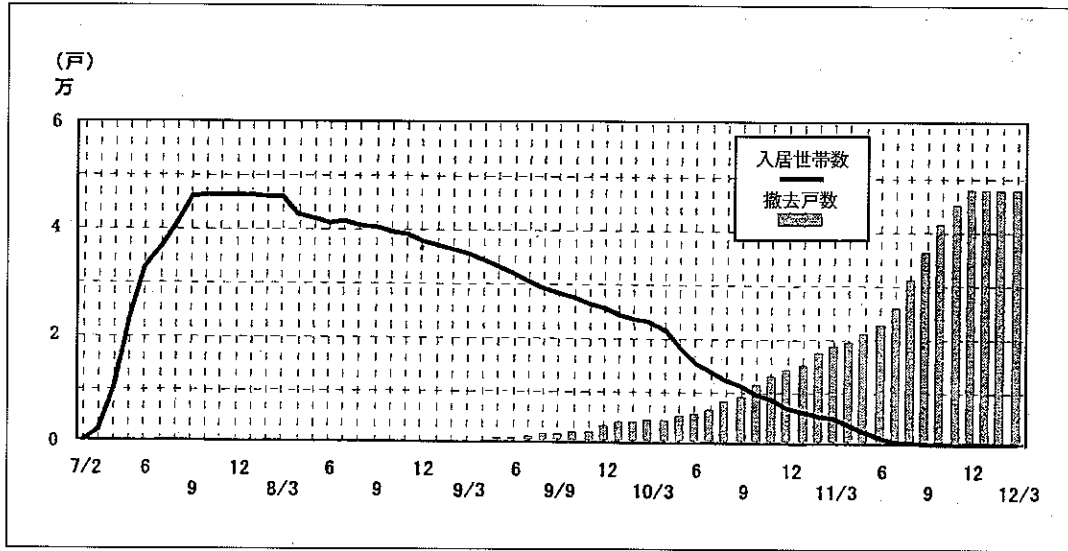
市町名	対震災前比
神戸市	99.1%
東灘区	103.0%
灘区	99.2%
中央区	99.1%
兵庫区	91.3%
北区	103.5%
長田区	80.6%
須磨区	92.1%
垂水区	94.8%
西区	118.3%

市町名	対震災前比
尼崎市	94.2%
明石市	103.1%
西宮市	105.5%
洲本市	95.9%
芦屋市	99.2%
伊丹市	101.0%
宝塚市	104.7%
三木市	97.5%
川西市	107.8%

市町名	対震災前比
津名町	97.4%
淡路町	90.1%
北淡町	93.1%
一宮町	92.8%
五色町	106.4%
東浦町	102.7%
緑町	104.3%
西淡町	91.6%
三原町	99.8%
南淡町	92.9%

※H7.1.1推計人口とH14.3.1推計人口との比較。

【応急仮設住宅の推移】



【鋳工業生産指数】

(平成6年=100)

区分	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
兵庫県	100.0	97.8	103.7	111.8	106.8	105.2	110.8	99.6
国	100.0	103.2	105.6	109.4	101.5	102.4	108.4	99.9

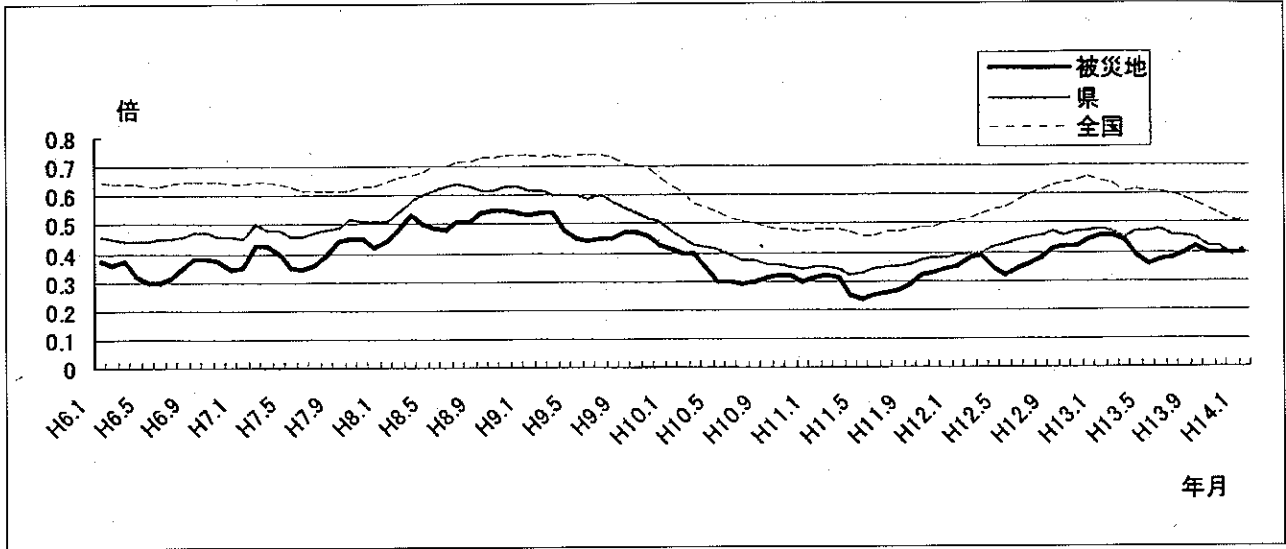
※県統計課「兵庫県鋳工業指数(年報)」、経済産業省「平成13年鋳工業指数年報」

【観光入込客数】

(単位:千人、%)

区分	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
神戸市	27,500 (100)	22,150 (80.5)	12,280 (44.7)	21,130 (76.8)	22,710 (82.6)	25,130 (91.4)	26,310 (95.7)	25,250 (91.8)
阪神地域	28,901 (100)	27,722 (95.9)	22,033 (76.2)	25,821 (89.3)	26,686 (92.3)	27,607 (95.5)	27,878 (96.5)	28,361 (98.1)
明石三木	7,270 (100)	7,163 (98.5)	6,787 (93.4)	7,875 (108.3)	7,097 (97.6)	8,075 (111.1)	7,981 (109.8)	7,902 (108.7)
淡路地域	8,890 (100)	7,886 (88.7)	6,009 (67.6)	7,029 (79.1)	7,233 (81.4)	22,975 (258.4)	15,027 (169.0)	17,310 (194.7)
被災地計	72,561 (100)	64,921 (89.5)	47,109 (64.9)	61,855 (85.2)	63,726 (87.8)	83,787 (115.5)	77,196 (106.4)	78,823 (108.6)

【有効求人倍率】



(単位：倍)

区分	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	H14.2
被災地	0.37	0.36	0.41	0.52	0.44	0.31	0.30	0.40	0.40
兵庫県	0.50	0.46	0.50	0.62	0.54	0.37	0.37	0.46	0.39
全国	0.71	0.64	0.64	0.72	0.69	0.50	0.49	0.62	0.50

※全国及び兵庫県の数値は季節調整値、被災地の数値は原数値となっている。

◆ III 震災の経験と教訓の発信 ◆

(1) 阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」の開設

阪神・淡路大震災の経験や教訓を後世に継承し、国内外の災害による被害の軽減に貢献するとともに、いのちの尊さや共生の大切さなどを世界に発信していくため、人と防災未来センターを開設する。

今後は、センターの活動を広く国内外にアピールするとともに、集積しつつある国際的な防災関連施設と連携し、国際防災・人道支援拠点の形成を図る。特に、大規模災害発生時に、実戦的なノウハウや豊富な災害対応の経験を有する専門家を被災地に派遣し、被害状況の調査や専門的な助言等の支援を行うことができるような実効性のある人材育成システムや広域支援システムを構築していく。

ア 場所	神戸東部新都心（神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2）
イ 規模	地上7階地下1階、2棟、延床面積18,400㎡（1期-8,200㎡、2期-10,200㎡）
ウ 機能	① 大震災にかかる資料等の収集・保存・展示といのちの尊さの発信 ② 災害対策にかかる広域支援及び実戦的な人材の育成 ③ 災害対策に関する実戦面を重視した総合的な調査研究 ④ 国内外の防災関係機関等との交流・ネットワーク
エ 開設日程	平成14年4月21日（日） 開設記念式典 平成14年4月23日（火） 開設記念シンポジウム 平成14年4月27日（土） 一般公開開始

※2期施設のオープンは、平成15年春予定

(2) 被災者住宅再建支援制度の実現

震災の教訓から地震等自然災害による被災者の復興を進めるためには、生活再建と住宅再建の新たな制度が不可欠であると考え、被災10市10町等とともに「総合的国民安心システム」を提唱（平成9年4月）し、生活再建については「被災者生活再建支援法」として実現した。

住宅再建支援制度については、各団体による検討が進められており、県としても全国知事会等と連携しつつ、住宅所有者間の相互扶助を基本としながら、「自助」、「共助」、「公助」が相まった制度の早期実現に向けて取り組んでいく。

(3) 1.17ひょうごメモリアルウォークの実施

震災6周年を契機として、県公館で行ってきた追悼式典を、だれもが参加できる屋外での開放的な式典にあらためるとともに、「防災とボランティアの日」である1月17日に被災地内をともに歩き、防災意識を新たにしながら震災の経験と教訓を次世代に語り継ぐため、平成12年度から「1.17ひょうごメモリアルウォーク」を実施している。

2回目となる「1.17ひょうごメモリアルウォーク2002」では、新たに西ルートを設定したほか、東ルートも拡充し、県内外から約5,100人が参加した。

.....【生活復興県民ネットの英語訳】.....

“Phoenix Citizen’s Recovery Network”

“Phoenix” は、「阪神・淡路大震災からの復興」という意味で広く使われています。こうした理由からも、生活復興県民ネットの事務局は、フェニックス・プラザ（阪神・淡路大震災復興支援館）に本拠を置きました。

“Citizen’s Recovery” は、「市民の立ち直り」、「市民による復興」という意味です。

多少の思い上がりがあるかもしれませんが、発足以降、この英訳名に恥じないよう、「生活復興県民ネット」は、そのネットワークやエネルギーを結集して、被災地の状況変遷に応じた被災者の支援活動を展開してきました。

編集後記

「生活復興県民ネット」が発足したのは、阪神・淡路大震災から1年8か月余が経過した平成8年10月8日です。

当時は、「ひょうご住宅5ヶ年計画」の策定をはじめとして、持ち家住宅再建の支援策の拡充・創設、民間賃貸住宅家賃負担の軽減事業の受付が開始されるなど、行政による本格的な「住まい復興」の諸施策が打ち出された頃です。

一方では、被災者自身の懸命の努力により、生きがいづくりや生活復興への力強い気運が高まるとともに、仮設住宅を中心に、生活復興に向けて多様なボランティア活動が展開されていました。

こうした活動がさらに広がり、大きな助け合いの輪になることをめざして、地域の54団体、グループ、企業、個人などが互いに持てる力を持ち寄ろうとしてつくったネットワーク組織が、「生活復興県民ネット」です。

奇しくも、このネットが発足した日（8年10月8日）から数えて、平成13年度（2001年度）の末日（14年3月31日）が「2001」日目にあたります。

また、2002年4月1日が「2002」日目となり、創造的復興の目標年次である2005年まで、残された3年間の初日でもあることから、これまでの活動の軌跡を振り返るとともに、決意を新たにして、県民とともに生活復興に取り組むという意味合いを込めて、この記録集の編纂にとりかかりました。

最後に、この記録集の編纂にあたり、ご協力いただきました生活復興県民ネット事務局OB、事務局参与の方々に厚くお礼申し上げます。

